

長岡技科大振興財団

40年の
歩み

長岡技術科学大学

長岡技科大振興財団

40年の
歩み

大学全景 今昔 建物が増えて、植栽が立派になりました。





目 次

✿ 発刊のごあいさつ 「当財団の使命 ―長岡技術科学大学発展のために―」 理事長 吉井 剛 ……	6
✿ 祝辞「長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会と歩んだ40周年」 長岡技術科学大学 学長 鎌土 重晴 ……	8
✿ 寄稿「財団設立に関与した皆様の気持ちを想う」 業務執行理事・長岡技術科学大学教授 斎藤 秀俊 ……	9
✿ 特別掲載「財団設立当時の思い出」 ……	12
✿ 40年のあゆみ	
●財団設立経緯・主なできごと ……	18
●事業報告	
◆ 1. 実践的な技術の開発を主眼とする教育研究に対する援助	
(1) 産学共同教育研究助成 ……	36
(2) 実務訓練実施助成 ……	45
(3) 諸外国産学共同教育研究制度研究・調査等に対する助成 ……	46
(4) 学間共同研究参加助成 ……	51
(5) ツイニングプログラム支援助成 ……	53
(6) 研究助成 …… (H23年度からは「I教育研究助成事業の1研究助成」)	53
(7) 実践的教育研究奨励助成 …… (H23年度からは「I教育研究助成事業の2海外市場探究奨学金」)	68
◆ 2. 教育研究機関と産業界等との連携・交流の実施	
(1) 産学共同教育研究問題検討会の開催 ……	74
(2) 企業の技術に関する資料の収集、展示、配布 ……	86
(3) 工業技術に関する見学会の実施 …… (H23年度からは「II産学地域連携交流事業の2見学会の実施」)	86
(4) 工業技術に関する相談の実施 ……	93
(5) 技術開発懇談会の開催 …… (H23年度からは「II産学地域連携交流事業の3産学地域交流会の実施」)	94
◆ 3. 工業所有権の取得に対する援助 ……	108

◆ 4. 講習会、研究会等の開催	
(1) 講習会の開催	111
(2) 講演会の開催	126
(H23年度からは「II産学地域連携交流事業の1産学地域連携事業支援」)	
(3) 研究会の開催	174
◆ 5. 研究成果の刊行	179
◆ 6. その他目的を達成するために必要な事業	180
◆ 平成23年度以降実施の事業	182
● 年度別収支一覧	188
● 年度別事業費一覧	194
● 年度別基本財産寄附状況	200
● 役員名簿	202
● 歴代役員・評議員	224
● 基本財産寄附企業等一覧	230
● 賛助会員一覧	236
● 公益財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会 定款	238
✿ 編集後記	246

発刊のごあいさつ



公益財団法人
長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会
理事長 吉井 剛

当財団の使命 ー長岡技術科学大学発展のためにー

初代齋藤進六理事長から数えて7代目の理事長を務めさせていただいている吉井剛と申します。皆様のおかげをもちまして当財団が創立40周年を迎えることができましたのでこれを記念して本書を発刊することになりました。

これまで当財団では10周年の際、「長岡技科大振興財団 10年の歩み」と題する冊子を発刊させていただきましたが、それ以降何ら冊子などは発刊作成していません。10年後の50周年を見据え、これまでの当財団の活動などを整理総括し、今後の発展に役立つという趣旨で、本書を発刊させていただいた次第です。

ご存知のとおり、当財団は長岡技術科学大学を産学共同の視点からも支援するため財団法人として誕生しました（平成24年4月1日から公益財団法人に移行）。上記冊子からは創立までの苦労が沢山あったことが読みとれ、7代目理事長として感謝申し上げる次第です。

本書をご覧いただくと、これまで当財団が種々の活動を行ってきたことがお分かりいただけると思います。例えば先生方や学生たちの支援、産業界との交流、水泳教室などの地域との交流、高専などの教育機関との交流など多岐に渡ります。これらの活動により当財団は徐々に周知され長岡技術科学大学と産業界との関係は深まったものと自負しています。

さて、近年、日本の技術力の低下、技術開発の機運の消失が叫ばれていますが、何故、日本の技術力が低下してしまったのか、どうしたら我国の技術力が従前のように世界のトップレベルになるのかを考えながら、ふと、10年以上前の昔のことですが、長岡技術科学大学の名誉教授小林勝先生のことを思い出しました。

小林先生は私と同じ町内にお住まいであったため、プライベートにおいても仲良くさせていただきました。ゴルフを共にし、お酒もよくご一緒させていただきました。しかし、酔いが回ってくると、ご自分の専門であるマグネシウムの話になります。「高価で燃え易い金属だが、軽いのでレーシングカーのホイールに採用されたりしている。しかし、1番のメリットは衝撃吸収性が優れている点である。したがって、私はテニスラケット、ゴルフ

フクラブに採用したいと考えている。特許化に協力して欲しい。」と言われ（私が特許事務所を経営しているからです。）、「テニスはしませんが、ゴルフであれば協力できます。」と答えると、マグネシウムドライバーを作ることを具体的に考えているなど、将来の夢を数時間、楽しそうにお話しされます。そして、翌日、突然私の事務所においでになり、「手作りだがマグネシウムフェースのパターを作ってみた。まずは、パターからだ。使ってみて感想を聞かせて欲しい。」と言われました。「このパターが合格であれば、次はドライバーを試作して持ってくるよ。」と笑顔で話され、お茶を一杯お飲みになり帰られました。正直、大学の教授は、職人と異なり、自分で試作をすることは無いと思っていましたから、当時、驚いた記憶があります。

あれから、数十年、小林先生は定年後東京に戻られ、2018年に他界されました。しかし、今、小林先生がよく仰っていた「技術の発展には、自己の興味に基づき、実験や検証を繰り返す地道な作業を経て行うものづくりが欠かせない。ものづくりなくして将来の技術の発展は有り得ない。だから、我々は、頑張らなければならない。」という言葉が最近の日本を見て妙に納得でき、ふと「米百俵」が頭に浮かびました。

長岡技術科学大学は日本の、いや世界の科学技術のリーダーを輩出すべく、ますます発展しなければならず、当財団はそれを支える重大な使命を有しているものと思います。このことを40周年を迎え、改めて再認識している次第です。

当財団はまだ資金不足です。長岡技術科学大学をはじめとする研究教育機関等を十分に支援できていません。何卒、今後も当財団へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、本書の発刊に際し、ご尽力いただいた当財団の業務執行理事齋藤秀俊先生、当財団事務局諸橋緑様に心から感謝申し上げ、あわせて、ここに小林勝先生のご冥福をお祈り申し上げます。

祝 辞



長岡技術科学大学

学長 鎌土 重晴

長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会と歩んだ40周年

公益財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会（略称「長岡技科大振興財団」）が設立40周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

長岡技術科学大学は産学官連携で実践的な教育研究を推進するという新構想の大学として設置されました。開学当初から産学協働教育研究推進のための国内初の「技術開発センター」の設置や、大学院進学予定者を約5か月間もの長期に渡り企業等に派遣する「実務訓練制度」の導入等、新たな概念による企業等との強固な連携のもとに教育研究を推進する制度を設け、これらは現在も本学の大きな強みとして受け継がれています。1990年代からはグローバルに活躍できる技術者の養成にも対応すべく、海外実務訓練も開始し、現在では海外派遣学生は全体の15%程度にまで増えています。本制度は本学学生の学習意欲の向上、更には本学進学を目指す優秀な学生の確保にも大きく貢献しています。

貴振興財団からは、開学当初から上記のような本学の目指す方向性の中で、本学だけでは成し得なかった組織的・財政的なご支援を頂き、上記のような推進事業の成功へとお導き頂きましたこと、心より感謝申し上げます。特に、開学当初の世相から、産学協働研究の推進は難しいところを、財団からのご支援で産学連携のための新たな組織の形成、当時の大学教員の不得手な実務訓練派遣先企業の開拓、加えて教員・学生の海外派遣等にご尽力頂きましたこと、大変ありがたく思っています。これらの成功が、教職員の教育研究への産学連携の波及効果の重要性・有効性の認識と産学連携マインドの醸成、グローバル化を目指した優秀な留学生の確保等に大いに役立ち、現在では本学のグローバル・実践教育研究の礎となっています。これらの実践モデルは現在の本学の強み分野として国内はもとより、国際的にも高い評価を受け、外部資金獲得の大幅増へと繋がっています。一方で、公益財団となってからは本学学生に加えて、本学の重要なステークホルダーでもある全国高専の教員・学生への研究助成へと拡大、海外実務訓練生への奨学金支給、産学地域連携交流事業としての企業見学会や会員企業等と教員・学生との懇談会等、本学の教育研究活動の変遷に合わせて事業計画を立案頂けていることにも大いに感謝しています。

本学も、皆様からの期待に応えられるように、「人が変わる」「大学が変わる」「社会が変わる」、「未来のありたい社会」を実現する産学官の共創を目指す、地域中核大学へと飛躍できるよう邁進していく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。なお、本学も令和8年10月に開学50周年を迎えます。教職員・学生が一体となって記念事業を盛り上げられるよう計画していますので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

寄稿



公益財団法人
長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会
業務執行理事 齋藤 秀俊

財団設立に関与した皆様の気持ちを想う

それは30年ほど前のことでした。今は長岡技術科学大学名誉教授になられている五十野善信先生から「齋藤さん、技術開発センタープロジェクトをやらんか、私のプロジェクトが終了してちょうど場所が空くから、できれば取っておいた方がいいぞ」と声を掛けられました。当時は、私を大学に呼び戻した鎌田喜一郎先生が突然亡くなられた直後で、若い助教授がこれからどうやって立ち立っていかうかと途方に暮れていた時でもありました。

当時から、技術開発センタープロジェクトを企画するには3年間で500万円以上の共同研究費と客員教授候補を同時に提案できる企業を見つけなければなりません。でもまだ30歳になりたてそこそこの若い助教授にそのような大それたことができないと思い込んでいました。五十野先生の凄い所は、五十野先生ご自身も若くして上の教授を突然亡くされて、当時化学系が小講座制だったのでその中でかなり苦勞をされていましたが、持ち前の迫力で研究を積極的に進めていたことでした。まるで一匹狼の生き方のヒントをくれたかのようなのでした。

幸いなことに、今でも技術開発センタープロジェクトでお付き合いのある中部キレスト株式会社の当時の南部信義社長に「うちが面倒を見る」と助けられて、博士号をお持ちの南部社長ご自身が教授会にて満場一致で客員教授に採用されて、同社の中村淳氏が研究員としてプロジェクトに参加してくれました。その時から30年近く、同社とのお付き合いの中から様々なアイデアが生まれ、関連する研究プロジェクトが次々と生まれたばかりでなく、ご縁あって10社以上の企業との技術開発センタープロジェクトに恵まれました。

そうこうしているうちに、40歳になって間もなく当時の小島陽学長に学長室に呼ばれ、「高田雅介技術開発センター長が副学長になって忙しくなるから、あんたが技術開発センター長をやれ」と厳命されました。実は当時は技術開発センター長が本財団の評議員を兼任することになっており、技術開発センター長拝命とともに、平成18年に財団評議員に就任したのです。さらに、平成22年には理事を拝命、まだ若くて実力もない証拠に、財団法人の理事と評議員の役割分担も知らないどころか、理事がどのような責任を負われるかも知らないまま、今日まで20年近く理事の末席を汚すことになりました。

だいたい、こういういきさつで理事になるとそれは「当て職」であり、つまりある身分・役職の人に対して自動的に割り振られる仕事というもの。年2回の理事会に顔を出して「し

ゃんしゃん」で仕事が終わるものです。当時事務職員でおられた横山紀美江さんはたいへん有能で、財団の基本財産をしっかりと守り、その運用益である果実をきちっと財団の事業費に回していました。そのまま時代が過ぎれば私は「当て職」のまま理事を退任できたはずだったのです。

ところが、大学の財政改革の嵐にすぐに直面することになりました。本財団は当時、技術開発センタープロジェクトの経費を企業等から財団に入金していただき、各研究者には財団から寄附金の形で配分していました。そのため、財団には常に大きなお金が通過していて、大きな事業を進めているように見えたのです。ところが、大学の共同研究制度が実効的に動き出しているのに、いまだに別ルートでお金の流れがあるのは不明瞭であるという理由で（今考えれば至極当然です）、技術開発センタープロジェクト経費の流れを財団から大学本体に移すことになりました。そのような作業をこれまた怖い先輩教授を説得しながら進めなければならず、今だからこんな簡単な文章で書けますが、当時のまだ40歳そこそこの若い教授には結構堪える毎日でした。

そして、政府の法人改革と低金利政策が本財団をも襲うことになったのです。法人改革では、財団法人が一般財団法人か公益財団法人か選ぶ選択を迫られました。一般財団法人を選べば自由度高く事業を推進できるようでしたが、やはり法人のブランドを守るためには公益財団法人を選ばざるを得ませんでした。低金利政策では、国債などの優良債券などへの投資ではまったく果実が生まれなくなり、さらに公益法人として事業費の50%以上を公益事業に回さなければならず、これはこれでたいへんなことでした。当時の横山事務職員とともに、少しでも有利な投資先をぎりぎり許せる格付けで見つけ、そこに資金を投入したものでした。そうこうしているうちに、当て職ではない業務執行理事として、いわゆるファンドマネージャーばりに勉強を始め、それが今でも続いています。

でも最大の勉強の成果は、基本財産の考え方です。財団が生まれた当時、新潟県などの自治体、地域の企業、全国の企業、そして大学の先輩の方々がこの財団のためにそれぞれいくら出資したのか、そのお名前と金額を全て確認しました。そこから読み取れたものは、それぞれの立場で、この財団を設立することによって、大学の未来にどのような夢を持ったのか、どのような希望を託したのか、まさにそういうことでした。

一理事として身の引き締まる思いです。基本財産を守りつつ果実を出すばかりでなく、

その果実によって大学と社会との間にどのような関係性を作るのか、そしてそれが技術科学を社会に浸透・推進するためにどのように役立つのか、このようなことを常に考えながら財団を運営しなければならない。このような役割がまさに理事長を中心とした理事、そして評議員の皆様の使命であることをつくづくと思い知りました。

今回40周年を記念して、本財団のこれまでの歩みとともに資料をまとめました。この資料の1ページずつをめくることによって、多くの人々の想いがつたわってくるように感じます。そして大学と本財団の歴史の中で活躍された一人一人の足跡を紹介しているようにも感じます。ぜひ、資料の中にて懐かしい名前を探し出してください。

最後に、膨大な資料を丁寧に集めてまとめてくださった財団現職員の諸橋緑さんには心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

—特別掲載—

財団設立当時の思い出

～「長岡技科大振興財団 10 年の歩み」より～

●「一層の発展を期して」



丸山 一雄（第三代目理事長）

この長岡技科大振興財団が昭和 57 年に創設されて、はや 10 年になりました。ここに 10 年の足跡をまとめ、創設以来を省みて今後の発展を図ることは大変有意義のことと思います。

長岡技術科学大学が新構想大学として昭和 51 年 10 月に開学し、大学としての態勢が着々と整えられるにつれて、新構想大学らしく、産学共同によるいろいろな研究開発活動が次から次へと展開し始めました。やがて、学生の実務訓練や技術開発センターの開設も表面化してきました。

そして、これら事業の実施が進むにつれて、共同研究開発を一層進展させ、その実をあげるには、どうしても、その研究開発事業を支援促進する組織、いわゆる財団がぜひ必要であり、この財団の支援活動によってこそ技術開発教育研究の振興が図られるという考えが浮かび上がってきました。

こうして開学後、数年ならずして昭和 55 年には財団設立準備委員会が設置されました。そして「財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会」という長い名が示す様に関係の方々の大変な御尽力の結果、昭和 57 年 1 月には文部省の認可を得ることができました。

しかし、その頃の産業界はあのオイルショックと呼ばれる大不況に直面していて企業の縮小を余儀なくされ、いかに教育研究のためとはいえ、寄附金どころではありませんでした。そのために募金など思うにまかせませんでした。大学当局、県、市はじめ関係方面の方々の非常な努力のおかげで、ようやく、今日、財団としての形を整えることができました。関係の方々に重ねてお礼を申し上げ、今後とも御支援を賜りますようお願いする次第であります。

なお、更に財団が発展するためには、何と云っても基本財産の拡充を図って、健全財政を確立することが大切であります。創設後 10 年にしてようやく基本財産第 1 次募金目標の 3 億円を満たすことができたとはいうものの、第 2 次目標の 5 億円には道いまだ遠しの感があります。今後更に、産学官のより綿密な連携交流によって研究開発事業を盛んにし、民間活力の導入に努め、事業の活性化による健全財政の確立に尽力すべきであります。

そのためには、財団活動の軸となって企画し、行動する専従員あるいは嘱託員を迎えて事務局を充実強化することが必要と思われま。強力な事務局の活躍は産学官の間に立って開発研究を促進し、日本産業の発展に大いに寄与することと思われま。

終わりに、この小冊子の発刊に際して、御尽力くださった関係者各位に、心から感謝の意を表する次第であります。



齋藤信義(初代監事)

●「財団創立10周年に当たって ～ 一適水～」

長岡技術科学大学は、新構想の大学として創設されました。その目的に添って振り返って見て実際にその制度的に代表されるのが、実務訓練と技術開発センターにおける産学共同研究と言えらると思ひます。

私は、大学創設時の学長事務取扱を拝命して、まず、始めに新しい構想を実現するための方法論、手立など色々なことを考へていかなければならないと思つたものです。

産学共同という大きな一つの旗印を実現するためには、どうしても産学共同を実施していくため産業界を始め関係方面から、広く開かれた大学としての御協力を仰がねばなりませんし、産学共同を推進していくための裏打ちになる第3セクター方式のような財団が必要でした。

これにつきましては、当時経団連会長であられた土光敏夫先生に大変なお力をいただきました。今、本財団の監事をしてくださっている居林次雄先生は当時経団連の秘書室長でありました。

この長岡の新構想大学につきまして御理解をいただくために居林さんの御斡旋をいただき、当時、土光先生は既に名誉会長になられ、稲山先生が会長でおられました、その時に経団連の理事会に川上学長と私が、しばらくお時間をいただき、新構想の大学についての御説明をさせて頂いて御協力を仰いだのです。

ひとつは、産学共同を進めていくために、産業界からしかるべき教授陣・先生方の御参加をいただきたいことであり、二番目は制度的に柱である実務訓練に御協力を是非お願いしたいということ、三番目には将来新しい大学院大学としての卒業生についてよろしくお願いしたいということ、四番目には産学共同を進めていくための第3セクター方式のような財団設立のための援助がどうしても必要なので、そのことについても将来お力を仰がねばならないという、この四つの点をお願いさせていただきました。

一方、試験研究法人等認可のための文部省としての指導あるいは力添えが必要であり、このことについては、初代の朝日事務局長さん始め、事務当局の方々に活躍いただきました。特に、設立時の大谷事務局長さんが大変苦勞をされたことと思ひます。

次に、経済界につきましては、居林さんの並々ならない御斡旋のお力で、土光先生、稲山先生、花村先生には大変な力をお尽くしくくださったと聞き及んでおります。

この経団連の御後援の御尽力については、最終的に色々な紆余曲折があつたようでありすが、ある日、居林さんからの連絡を受け、稲山会長、名誉会長となられた土光先生それに花村先生の3人の方々が御同席していらっしゃる経団連会長室へ、川上学長と私とそして事務局長とが伺つて、居林さん立会いのもとに、経団連としての御協力の基本的な内諾を頂戴した経緯があります。また、文部省としましても、初めてのことでありますから、大変に色々御苦心と御指導をいただいたことと思ひます。このことにつきましては、当時の大谷事務局長さんがその辺の事情について一番御

承知です。

財団法人設立の端緒の詳細等につきましては、VOS17号に大谷事務局長さんが書かれておりますので省略することといたします。

さて、その財団設立の原資をどうするかでございますが、最初はまあ5千万円ぐらいが適当であると思われましたが、文部省の行政指導で国のレベルなら7千万円にしろということになったと思います。これについて、基金としては3億円くらいを目標に財界からお願いしたいという気持ちで経団連の理事会をお願いした覚えがございます。

原資については、大体地元が中心でございましたが、実際には長岡市等とどうしようかと大変に時間をかけて相談をさせていただきましたが、どうしてもその話がなかなか進まないものですから、新潟県へということになり、たまたま当時、副知事の関昭一さんが私の郷里との関係もあって、この副知事を通して県の方へ働きかけていただき、そして7千万円を長岡市と県でまとめていただくことに君知事さんのときによく決まったのでした。

中身は、長岡市が2千5百万円、新潟県が4千5百万円で、その中身については県のお力で、経済界特に銀行関係からの県への寄付が主たる財源であったようです。

新潟県議会と長岡市議会がこの財団設立出資金の決議をいただいて本財団が設立出来たということでございます。

理事長については、最初土光先生をお願いして御内諾をいただいたのですが、臨調の問題があって、ご自分が理事長になるわけにはいかないと、理事で御承認くださり、初代理事長には、東京工業大学名誉教授の齋藤進六先生（後の長岡技科大学長、現西東京科学大学長）をお願いし、そして齋藤先生のあとに、土光先生の推薦によって、橋本宇一先生をお願いするという事になったわけです。

財団の運営資金につきましては、勧募といいましょうか経団連の御指導を仰ぎながら、それぞれ企業との関連の深い先生方のお陰で進めることができたと思います。

財団の歩みにつきましては、VOS並びに長岡技科大振興財団ニュースで詳細に伺っておりますが、本財団を作るについて御指導をいただいて忘れがたいことに、ひとつは、私が学長事務取扱となつて間もなく東京大学生産技術研究所に伺い、個人的な御縁もありまして、その当時の所長さんの武藤義一先生（現埼玉工業大学名誉学長）から東京大学生産技術研究所への産業界の協力とか色々なことを聞いて御指導をいただきました。

次に、産学共同を進めるについて、色々な条件をつくらなければならないし、また全く新しい構想の大学でありますし、難問が山積しておりました。長岡技科大が創設された当時は、学長会議で、ある学長から「産学共同なんて言ったら大学が火を吹くよ」というような発言があった時代でした。今では一般的なことになっているようですが。

大学としては豊橋と一緒にではありますが、長岡技科大の新構想としてのこれまでの歩みとそして財団の10年の節目に会って、今更のように感慨深いものがあります。

私としましては、右も左もわからない中で托鉢にきたと申し上げたこともあります。色々な方々からの教えをいただいて、どのようにして新構想の大学の近い将来に展望をもち、そしてまた大学

自体が独自性というものを建学の精神をもって発揮できるか、そのために一つの核である技術開発センターが、また大学を支えていく財団が一つの力になってほしいと思っております。

長岡技科大の新構想を実現していくためには、実務訓練の実施と技術開発センター（その制度的な特徴としては民間企業等との共同研究の推進、技術教育のための教育方法の開発・研究等であり、文部省が大学を創設するまでの調査会の段階では技術教育開発センターとなっていた。）の設置、それに加えて本財団の設立が不可欠であったのであります。

なお、最後に振り返って見ますと、国立大学としての初めての構想を実現するために、並々ならないほどお力をいただいた方々が既にお亡くなりになられておられます。

土光先生を始め稲山先生、君知事、小林市長の方々の御恩徳を改めて振り返らせていただき、有り難く静かに御冥福をお祈り申し上げたいと思います。

大学全体の社会的なあるいは国際的な役割がますます新しい時代に対応できるように要望されている折、産学官一体となつての技術科学の開発は重要なことと思われまふ。技術開発センターと財団が大学の一つの柱となつて、ますます建学の精神の実現に向かって発展されることをひたすら御祈念いたします。



● 「長岡技科大振興財団設立の思い出」

居 林 次 雄 (初代監事)

10 数年前、経団連会長の土光敏夫氏のところへ、長岡技科大の川上学長と斎藤副学長とが来られて、是非とも、長岡に技科大の財団を設立したい、とのお話しがあつた。当時、経団連の秘書室長として土光さんにお仕えしていた筆者に対して、土光さんは、「居林君、これは日本の科学技術の振興にとって大切な事柄だと思ふから、積極的に進めるように」という指示を下された。そうでなくても経団連には、四方八方から寄附金の申し込みが殺到していたから、又もや一つの難問が加わつたというので、経団連事務局では当惑する思いも一部にあつた。

一方、筑波大学でも、同じような財団を設立する動きが先行していて、土光さんはその財団の会長を引き受けることが内定していた。筑波大学の方では、経団連の総務部長を退職した先輩が専務理事として募金活動を進めており、ほぼ纏まった金額が集まっていたので、土光さんは二つ目の財団をスタートさせても良いとお考へになつたものであろう。

川上学長と斎藤副学長に何うと、学者の研究費は微々たるもので、とてもこのままでは先端技術の研究には取りかかれない上に、文部省や大蔵省の規制も厳しくて、民間からの寄附金は技科大に

入れても、直接には使えないシステムであるということであった。

そこで土光さんは、大学とは別に財団を作って、そこへ民間からの基金を積み、果実で研究費を作り出し、また民間の委託研究を沢山に出して貰って、財団を窓口として産学協同を進める糸口にしようとお考えになったようである。大学をセンター・オブ・エクセレンスにしようというのが土光さんのエンジニアとしての発想法であった。

折柄、第一次オイルショックの大不況の真只中にあったから、企業は赤字で人員整理の最中であり、寄附金どころの話ではなかったが、科学技術を最重要視する土光会長の鶴の一声で、長岡技科大の財団の募金は、例外として進めることになった。

特に、実務訓練を採り入れて、卒業年度に企業で研修をする、という長岡技科大のアイデアに土光さんは大変感心されて、財団の募金にも、あるいは委託研究にも経団連が協力してこそ、良い学生が育ち、日本のためになると号令をかけられた。

曲折を経て、財団として発足できる目途が立った時、土光さんは経団連名誉会長に退かれ、新日鐵の稲山嘉寛会長が経団連会長に就任された。引続き筆者は両会長の秘書の立場にあったので、川上学長、斎藤副学長に経団連会長室にお出で賜って、土光、稲山両会長と四者トップ会談を開催するように取り図らうことができた。

稲山さんは土光さんと異って、社会科学系の出身であったが、土光さんの意を汲んで財団には経団連として積極的に協力申し上げる旨、確認された。残念なことには、土光さんはその直後、臨時行政調査会の会長として、行政改革に大ナタを振るわれることになったので、財団の理事長就任の予定であったのを、橋本宇一さんに理事長就任を要請せざるを得なくなった。

筆者が橋本さんのところへお願いに上がって、以上の経緯を御説明したところ、「土光君の依頼なら二つ返事で引き受けましょう。」とおっしゃった。当時 85 才であった土光さんを「土光君」と呼べるのは、橋本さんくらいしかなかった訳で、随分偉い人が財団の理事長がお引き受けくださったのだと、その当時感じた次第である。

長岡技科大の実務訓練について、難行する場面のあったとき、土光さんは、経団連理事会で並み居る社長さん方に対して、「長岡技科大は特別な大学だから、是非、実務訓練に各位が学生を受け容れるように」とハッパをかけられた。以後、実務訓練は順調となり、逆にこれが縁となって、学生の確保に各企業は有力な道が開けたと嬉しがっていたほどである。

土光さんの行革の結果、国の予算はゼロシーリングが敷かれて、伸びが止まり、大学も例外なく予算規模が押さえ込まれて、研究費も伸びなくなった。しかし、財団を抱えている長岡技科大は、別途に研究助成ができるわけで、今日に至って、長岡技科大の先見の明があったと敬服するばかりである。

橋本さん、土光さん亡き今、丸山理事長の下で、立派に財団が 10 周年を迎えられ、活動して居られるのをみて、長岡の地に技術科学の灯が大きく輝くのを感じ、諸先輩が草葉の陰から喜んで居られると思うこの頃である。

大学風景 昭和 57 年頃



のどかな大学風景



事務棟 正面玄関



完成当時の技術開発センター1号棟



樹木がない頃の中庭



昔は雪も多かった

財団設立経緯・主なできごと

- 昭和 55 年 3 月 6 日 財団設立準備委員会設置
 委員長 齋藤信義
 委員 手嶋立男、服部一郎、津端一郎、難波江章、三山 創、今井清和、池田俊雄、石川 允、棚町知弥、朝日義之
- 5 月 9 日 第 1 回財団設立準備委員会
 ・財団の名称について
 ・事業の範囲について
 ・資産の構成について
 ・役員等について
- 10 月 13 日 土光敏夫氏（経団連名誉会長）財団設立代表者受諾
- 10 月 29 日 第 2 回財団設立準備委員会
 ・設立趣意書について
 ・寄附行為について
 ・事業計画について
 ・資金計画について
- 11 月 6 日 文部省（技術教育課）に対し、財団設立構想説明
- 昭和 56 年 3 月 26 日 第 3 回財団設立準備委員会
 中間報告
- 昭和 57 年 1 月 13 日 設立発起人集会
 ・寄附行為、賛助会員規則制定
 ・財産目録の構成承認
 ・56、57、58 年度の事業計画、収支予算承認
 ・役員、設立代表者選任
- 1 月 30 日 財団設立認可（57.1.30 付け雑大第 18 の 1 号文部大臣小川平二）
- 2 月 10 日 財団設立登記（登記簿上の設立年月日…昭和 57 年 2 月 8 日）
 名称：財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会
 主たる事務所：新潟県長岡市上富岡町字長峰 1603 番地 1
 理事長：齋藤進六（東京工業大学名誉教授）
 常務理事：丸山一雄（長岡商工会議所副会頭）
 事務局長：大谷正明（長岡技術科学大学事務局長）
 理事：青柳忠克、池田朔次、大久保政賢、岡野 澄、川上正光、君 健男、熊澤源三、小林孝平、酒井信之、辰野千壽、土光敏夫、南野竹男、吉川孔敏
 目的：1. 実践的な技術の開発を主眼とする教育研究に対する援助
 2. 教育研究機関と産業界等との連携・交流の実施
 3. 工業所有権の取得に対する援助
 4. 講習会、研究会等の開催
 5. 研究成果の刊行
 6. その他目的を達成するために必要な事業
 資金の総額：金 71,867,000 円





- 昭和 57 年 3 月 2 日 第 1 回理事会
財団設立披露パーティー } (於：ホテル・サンルート長岡)
- ・昭和 56 年度事業計画・収支予算案について
 - ・昭和 57 年度事業計画・収支予算案について
 - ・共同研究助成規程の制定について
 - ・事務局規程の制定について
 - ・事務局職員就業規程の制定について
 - ・事務局職員給与規程の制定について
 - ・旅費規程の制定について
 - ・会計処理規程の制定について
 - ・事務局長の任命について
- 4 月 23 日 試験研究法人等であることの証明 (57.4.23 付け雑大第 5 の 9 号文部大臣小川平二)
- 6 月 4 日 第 2 回理事会 (於：長岡商工会議所)
- ・昭和 56 年度事業報告、収支決算報告について
- 昭和 58 年 3 月 11 日 第 3 回理事会 (於：長岡技術科学大学)
- ・評議員 (32 名) の選出について
 - ・昭和 58 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
 - ・事務局職員就業規程の一部改正について
 - ・事務局職員給与規程の一部改正について
- 4 月 1 日 第 1 期評議員就任
- 6 月 29 日 第 1 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
第 4 回理事会 }
- ・昭和 57 年度事業報告、収支決算報告について
- 9 月 15 日 齋藤進六理事長辞任
(丸山一雄常務理事が理事長代理)
- 昭和 59 年 3 月 6 日 第 2 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
第 5 回理事会 }
- ・理事の選出について (評議員会)
 - ・理事長の互選について (理事会)
 - ・昭和 59 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
 - ・事務局職員給与規程の一部改正について (理事会)
- 4 月 1 日 橋本宇一氏が理事長に就任
安藤和夫氏が理事 (事務局長) に就任
- 4 月 23 日 試験研究法人等であることの証明 (59.4.23 付け雑大第 5 の 10 号文部大臣森 喜朗)
- 6 月 15 日 小林孝平理事辞任
- 6 月 21 日 齋藤進六理事辞任
- 6 月 28 日 第 3 回評議員会 } (於：ホテル・サンルート長岡)
第 6 回理事会 }
- ・理事の選出について (評議員会)
 - ・評議員の選出について (理事会)
 - ・昭和 58 年度事業報告、収支決算報告について
 - ・昭和 59 年度収支予算の変更について
 - ・役員給与規程について (理事会)



昭和59年7月1日	大来佐武郎、高橋 旦、日浦晴三郎、上野 學の4氏が理事に就任
昭和60年1月28日	第4回評議員会 } (於：ホテル・サンルート長岡)
	第7回理事会 } ・任期満了に伴う役員の改選について(評議員会) ・昭和60年度事業計画及びこれに伴う収支予算について ・事務局職員給与規程の一部改正について(理事会)
1月30日	第1期役員任期満了 ・なお、寄附行為第20条第3項により、後任が就任するまで(60.3.31まで)は、引き続きその職務を行うこととなった。
4月1日	第2期役員就任 理事長に橋本宇一氏、常務理事に丸山一雄氏が就任
6月25日	第5回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
	第8回理事会 } ・理事の選出について(評議員会) ・評議員の選出について(理事会) ・昭和59年度事業報告及び収支決算報告について
7月1日	慶伊富長、下田 茂、田中良平の3氏が理事に就任
昭和61年3月12日	第6回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
	第9回理事会 } ・理事の選出について(評議員会) ・任期満了に伴う評議員の改選について(理事会) ・昭和61年度事業計画及びこれに伴う収支予算について ・事務局職員給与規程の一部改正について(理事会)
3月31日	第1期評議員任期満了
4月1日	第2期評議員就任 森嶋和次氏が理事(事務局長)に就任
4月23日	試験研究法人等であることの証明(61.4.23付け雑高第9の15号文部大臣海部俊樹)
6月18日	第7回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
	第10回理事会 } ・理事の選出について(評議員会) ・昭和60年度事業報告及び収支決算報告について
7月1日	鈴木誠一氏が理事に就任
11月29日	橋本宇一理事長逝去 (丸山一雄常務理事が理事長代理)
12月19日	故橋本宇一理事長 財団・金材研合同葬式(青山斎場)
昭和62年3月11日	第8回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
	第11回理事会 } ・理事の選出について(評議員会) ・昭和62年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
4月1日	斎藤英四郎、太田博夫の両氏が理事に就任



昭和 62 年 6 月 10 日	第 9 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡) 第 12 回理事会 }	
	・理事の選出について（評議員会） ・昭和 61 年度事業報告及び収支決算報告について	
7 月 1 日	阿部武雄氏が理事に就任	
昭和 63 年 3 月 9 日	第 10 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡) 第 13 回理事会 }	
	・任期満了に伴う役員の改選について（評議員会） ・昭和 63 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について	
3 月 31 日	第 2 期役員任期満了	
4 月 1 日	第 3 期役員就任 五十嵐剛（事務局長）、小林 勝、穴戸駿太郎、永井淳夫の 4 氏が理事に就任 丸山一雄理事が理事長（兼常務理事）に就任	
4 月 23 日	特定公益増進法人（旧名称：試験研究法人等）であることの証明 (63.4.23 付け雑高第 9 の 8 号文部大臣中島源太郎)	
6 月 8 日	第 11 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡) 第 14 回理事会 }	
	・昭和 62 年度事業報告及び収支決算報告について ・事務局職員就業規程の一部改正について（理事会）	
平成元年 3 月 8 日	第 12 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡) 第 15 回理事会 }	
	・任期満了に伴う評議員の改選について（理事会） ・平成元年度事業計画及びこれに伴う収支予算について	
3 月 31 日	第 2 期評議員任期満了	
4 月 1 日	第 3 期評議員就任	
6 月 7 日	第 13 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡) 第 16 回理事会 }	
	・理事の選出について（評議員会） ・評議員選出職名の追加について（理事会） ・昭和 63 年度事業報告及び収支決算報告について	
7 月 1 日	松野純孝、脇田 仁、小川幸男、金子 清の 4 氏が理事に就任	
平成 2 年 3 月 7 日	第 14 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡) 第 17 回理事会 }	
	・理事の選出について（評議員会） ・剰余金の基本財産への編入について ・平成 2 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について	
4 月 1 日	井上 清氏が理事（事務局長）に就任	
4 月 23 日	特定公益増進法人であることの証明（2.4.23 付け諸高第 9 の 6 号文部大臣保利耕輔）	
6 月 6 日	第 15 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡) 第 18 回理事会 }	
	・理事の選出について（評議員会） ・平成元年度事業報告及び収支決算報告について ・旅費規程の一部改正について（理事会）	

- 平成 2 年 7 月 1 日 伊藤 惇、今井清和、岡本祥一、木村寛治、吉田 暁の 5 氏が理事に就任
- 平成 3 年 3 月 6 日 第 16 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 19 回理事会 }
 ・任期満了に伴う役員の改選について (評議員会)
 ・剰余金の基本財産への編入について
 ・平成 3 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
 ・事務局職員給与規程の一部改正について (理事会)
- 3 月 31 日 第 3 期役員任期満了
- 4 月 1 日 第 4 期役員就任
 清水敬二、田中誠三の両氏が理事に就任
 丸山一雄理事が理事長 (兼常務理事) に就任
- 6 月 5 日 第 17 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 20 回理事会 }
 ・理事の選出について (評議員会)
 ・平成 2 年度事業報告及び収支決算報告について
- 7 月 1 日 一宮亮一、清水二郎の両氏が理事に就任
- 平成 4 年 3 月 11 日 第 18 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 21 回理事会 }
 ・理事の選出について (評議員会)
 ・任期満了に伴う評議員の改選について (理事会)
 ・剰余金の基本財産への編入について
 ・平成 4 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
- 3 月 31 日 第 3 期評議員任期満了
- 4 月 1 日 第 4 期評議員就任
 中田久蔵、脇坂正典 (事務局長) の両氏が理事に就任
- 6 月 10 日 第 19 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 22 回理事会 }
 ・理事の選出について (評議員会)
 ・平成 3 年度事業報告及び収支決算報告について
 ・事務局職員就業規程の一部改正について (理事会)
- 7 月 1 日 岩本洋氏が理事に就任
- 11 月 20 日 第 20 回評議員会 (於：長岡技術科学大学)
 ・理事の選出について
- 12 月 1 日 平山征夫氏が理事に就任
- 平成 5 年 3 月 8 日 第 21 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 23 回理事会 }
 ・理事の選出について (評議員会)
 ・平成 5 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
- 4 月 1 日 磯野守正氏が理事 (事務局長) に就任
- 6 月 10 日 第 22 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 24 回理事会 }
 ・理事の選出について (評議員会)
 ・平成 4 年度事業報告及び収支決算報告について



- 平成 5 年 7 月 1 日 浦壁英紀、加藤章、春山志郎の 3 氏が理事に就任
- 平成 6 年 3 月 10 日 第 23 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
第 25 回理事会 }
・任期満了に伴う役員の改選について（評議員会）
・平成 6 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
- 3 月 31 日 第 4 期役員任期満了
- 4 月 1 日 第 5 期役員就任
五十嵐昭男氏が理事に就任
- 6 月 7 日 第 24 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
第 26 回理事会 }
・理事の選出について（評議員会）
・平成 5 年度事業報告及び収支決算報告について
- 7 月 1 日 坂田昌裕、渡邊光男の両氏が理事に就任
- 平成 7 年 3 月 9 日 第 25 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
第 27 回理事会 }
・理事の選出について（評議員会）
・任期満了に伴う評議員の改選について（理事会）
・平成 7 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
- 3 月 31 日 第 4 期評議員任期満了
- 4 月 1 日 第 5 期評議員就任
丸茂明則、鈴木直和の両氏が理事に就任
- 6 月 7 日 第 26 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
第 28 回理事会 }
・理事の選出について（評議員会）
・平成 6 年度事業報告及び収支決算報告について
- 7 月 1 日 齊藤義明氏が理事に就任
- 平成 8 年 3 月 7 日 第 27 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
第 29 回理事会 }
・理事の選出について（評議員会）
・平成 8 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
- 4 月 1 日 木島令己氏が理事（事務局長）に就任
- 6 月 7 日 第 28 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
第 30 回理事会 }
・理事の選出について（評議員会）
・平成 7 年度事業報告及び収支決算報告について
- 7 月 1 日 石田康雄、小川正二、速水清の 3 氏が理事に就任
- 平成 9 年 3 月 10 日 第 29 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
第 31 回理事会 }
・任期満了に伴う役員の改選について（評議員会）
・平成 9 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
- 3 月 31 日 第 5 期役員任期満了
- 4 月 1 日 第 6 期役員就任
井口茂、新島良夫、林正の 3 氏が理事に就任



- 平成9年 6月3日 第30回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第32回理事会 }
 ・理事の選出について(評議員会)
 ・平成8年度事業報告及び収支決算報告について
 丸山一雄理事長逝去
- 7月1日 斉藤正三郎氏が理事に就任
- 10月14日 第31回評議員会 (於：長岡技術科学大学)
 ・理事の選出について
- 10月16日 東府義之氏が理事(事務局長)に就任
- 平成10年 1月20日 第32回評議員会 (於：長岡技術科学大学)
 ・理事の選任について
- 2月1日 渡邊健三氏が理事に就任
- 3月10日 第33回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第33回理事会 }
 ・理事長の互選について(理事会)
 ・任期満了に伴う評議員の改選について(理事会)
 ・平成10年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
 渡邊健三理事長が理事長に就任
- 3月31日 第5期評議員任期満了
- 4月1日 第6期評議員就任
- 6月3日 第34回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第34回理事会 }
 ・理事の選任について(評議員会)
 ・平成9年度事業報告及び収支決算報告について
- 7月1日 山下省藏氏が理事に就任
- 平成11年 3月4日 第35回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第35回理事会 }
 ・寄附行為の変更について
 ・理事及び評議員の辞任について
 ・理事の選任について(評議員会)
 ・常務理事の選任について(理事会)
 ・評議員の選出について(理事会)
 ・平成11年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
- 4月1日 大槻聰幸氏が理事に就任
- 6月11日 第36回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第36回理事会 }
 ・評議員会議長の選任について(評議員会)
 ・理事の選任について(評議員会)
 ・平成10年度事業報告及び収支決算報告について
 ・賛助会員に関する規則の一部改正について(理事会)
- 7月1日 大澤健郎、後藤靖夫、長谷川富市の3氏が理事に就任



- 平成 11 年 12 月 17 日 第 37 回評議員会 (於：長岡技術科学大学)
 ・評議員会議長の選任について
 ・理事の選任について
- 平成 12 年 1 月 1 日 島野卓爾、森民夫の両氏が理事に就任
 3 月 9 日 第 38 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 37 回理事会 }
 ・評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・任期満了に伴う役員の改選について (評議員会)
 ・平成 12 年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
- 3 月 31 日 第 6 期役員任期満了
 4 月 1 日 第 7 期役員就任
 生越久靖、西埜孝樹、松田甚一の 3 氏が理事に就任
- 5 月 31 日 第 39 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 38 回理事会 }
 ・評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・理事の選任について (評議員会)
 ・評議員の選出について (理事会)
 永井正二、山崎彬の両氏が理事に就任
- 6 月 23 日 第 40 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 39 回理事会 }
 ・評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・理事の選任について (評議員会)
 ・平成 11 年度事業報告及び収支決算報告について
- 7 月 1 日 高間伸一氏が理事に就任
 7 月 31 日 第 41 回評議員会 (於：長岡技術科学大学)
 ・評議員会議長の選任について
 ・理事の選任について
- 8 月 1 日 高橋傳一郎氏が理事に就任
- 平成 13 年 1 月 26 日 第 42 回評議員会 (於：長岡技術科学大学)
 ・評議員会議長の選任について
 ・理事の選任について
- 2 月 1 日 吉田曉氏が理事に就任
 2 月 9 日 第 43 回評議員会 (於：長岡技術科学大学)
 ・評議員会議長の選任について
 ・理事の選任について
- 3 月 1 日 田村巖氏が理事に就任
 3 月 13 日 第 44 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 40 回理事会 }
 ・評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・理事の選任について (評議員会)
 ・任期満了に伴う評議員の改選について (理事会)
 ・理事長の互選について (理事会)
 ・平成 13 年度事業計画及び収支予算について



- 平成 13 年 3 月 31 日 第 6 期評議員任期満了
- 4 月 1 日 第 7 期評議員就任
有澤榮一、福田実の 2 氏が理事に就任
田村巖理事が理事長に就任
- 6 月 22 日 第 45 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
第 41 回理事会 }
・評議員会議長の選任について (評議員会)
・理事の選任について (評議員会)
・平成 12 年度事業報告及び収支決算報告について
- 7 月 1 日 笹本正司、高橋豊の両氏が理事に就任
- 平成 14 年 3 月 11 日 第 46 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
第 42 回理事会 }
・評議員会議長の選任について (評議員会)
・任期満了に伴う役員の改選について (評議員会)
・平成 14 年度事業計画及び収支予算について
- 3 月 31 日 第 7 期役員任期満了
- 4 月 1 日 第 8 期役員就任
上原明、小島陽の両氏が理事に就任
- 6 月 21 日 第 47 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
第 43 回理事会 }
・評議員会議長の選任について (評議員会)
・理事の選任について (評議員会)
・平成 13 年度事業報告及び収支決算報告について
- 7 月 1 日 四ツ柳隆夫、原田昭、宮崎俊磨の 3 氏が理事に就任
財団創立 20 周年記念式典、記念祝賀会開催



平成 15 年 3 月 14 日	第 48 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 44 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 任期満了に伴う評議員の改選について (理事会) ・ 平成 15 年度事業計画及び収支予算について ・ 資産運用基準の制定について
3 月 31 日	第 7 期評議員任期満了
4 月 1 日	第 8 期評議員就任
6 月 16 日	第 49 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 45 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 理事の選任について (評議員会) ・ 平成 14 年度事業報告及び収支決算報告について
7 月 1 日	小林征四郎、仙石正和、高田孝次、渡邊隆の 4 氏が理事に就任
平成 16 年 3 月 15 日	第 50 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 46 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 任期満了に伴う役員の改選について (評議員会) ・ 平成 16 年度事業計画及び収支予算について
3 月 31 日	第 8 期役員任期満了
4 月 1 日	第 9 期役員就任 齊藤昭治、西口郁三、山澤逸平の 3 氏が理事に就任
6 月 18 日	第 51 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 47 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 理事の選任について (評議員会) ・ 平成 15 年度事業報告及び決算報告について
7 月 1 日	久住和裕、小林聰の両氏が理事に就任
平成 17 年 3 月 15 日	第 52 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 48 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 役員の選任について (評議員会) ・ 任期満了に伴う評議員の改選について (理事会) ・ 平成 17 年度事業計画及び収支予算について
3 月 31 日	第 8 期評議員任期満了
4 月 1 日	第 9 期評議員就任 小島陽氏が理事に就任
6 月 15 日	第 53 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 49 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 理事の選任について (評議員会) ・ 平成 16 年度事業報告及び決算報告について
7 月 1 日	久保田幸正氏が理事に就任



- 平成 18 年 3 月 13 日 第 54 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 50 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 任期満了に伴う役員の改選について (評議員会)
 ・ 平成 18 年度事業計画及び収支予算について
- 3 月 31 日 第 9 期役員任期満了
- 4 月 1 日 第 10 期役員就任
- 6 月 16 日 第 55 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 51 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 理事の選任について (評議員会)
 ・ 平成 17 年度事業報告及び決算報告について
- 7 月 1 日 能智功、丸山仁の両氏が理事に就任
- 平成 19 年 3 月 12 日 第 56 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 52 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 役員の選任について (評議員会)
 ・ 任期満了に伴う評議員の改選について (理事会)
 ・ 『産学共同教育研究助成』事業の経過措置を設けての終了について
 ・ 平成 19 年度事業計画及び収支予算について
- 3 月 31 日 第 9 期評議員任期満了
- 4 月 1 日 第 10 期評議員就任
 杉原泰馬氏が理事に就任
- 6 月 18 日 第 57 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 53 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 理事の選任について (評議員会)
 ・ 平成 18 年度事業報告及び決算報告について
- 7 月 1 日 大川秀雄、長谷川雅人の両氏が理事に就任
- 平成 20 年 3 月 11 日 第 58 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 54 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 任期満了に伴う役員の改選について (評議員会)
 ・ 平成 19 年度一般会計補正予算について
 ・ 平成 20 年度事業計画及び収支予算について
 ・ 公益法人制度改革に伴う本財団の方向性について
 ・ 平成 20 年度助成事業の選考基準及び助成金額について
- 3 月 31 日 第 10 期役員任期満了
- 4 月 1 日 第 11 期役員就任
 敦井榮一氏が理事に就任



平成 20 年 6 月 16 日	第 59 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 55 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 理事の選任について (評議員会) ・ 平成 19 年度事業報告及び決算報告について
7 月 1 日	高井盛雄、宮下孝洋の両氏が理事に就任
平成 21 年 3 月 13 日	第 60 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 56 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 任期満了に伴う評議員の改選について (理事会) ・ 平成 21 年度事業計画及び収支予算について ・ 方針・課題検討委員会の設置について
3 月 31 日	第 10 期評議員任期満了
4 月 1 日	第 11 期評議員就任
6 月 16 日	第 61 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 57 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 理事の選任について (評議員会) ・ 平成 20 年度事業報告及び決算報告について
7 月 1 日	村山健一、若井彌一の両氏が理事に就任
平成 22 年 3 月 15 日	第 62 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 58 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 任期満了に伴う役員の改選について (評議員会) ・ 顧問の設置及び選出について (理事会) ・ 平成 22 年度事業計画及び収支予算について
3 月 31 日	第 11 期役員任期満了
4 月 1 日	第 12 期役員就任
	池田忠彦、河野伊一郎、斎藤秀俊、新原皓一、森正勝の 5 氏が理事に就任
6 月 11 日	第 63 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 59 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 平成 21 年度事業報告及び決算報告について
平成 23 年 3 月 15 日	第 64 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
	第 60 回理事会 } <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会議長の選任について (評議員会) ・ 任期満了に伴う評議員の改選について (理事会) ・ 平成 23 年度事業計画及び予算について ・ 公益法人制度改革に伴う本財団の方向性について ・ 新法人の役員、評議員の定数について ・ 最初の評議員の選任方法及び委員会運営規程について (理事会)
3 月 31 日	第 11 期評議員任期満了



- 平成 23 年 4 月 1 日 第 12 期評議員就任
- 6 月 20 日 第 65 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 61 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 理事の選任について (評議員会)
 ・ 平成 22 年度事業報告及び決算報告について
 ・ 最初の評議員選定委員会の外部委員の選任について
 ・ 新法人移行後の役員の選任について (評議員会)
 ・ 定款変更案について
- 7 月 1 日 渡邊和忠氏が理事に就任
- 9 月 28 日 第 66 回評議員会 } (於：長岡技術科学大学)
 第 62 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 新法人移行後の諸規程について
 ・ 公益財団法人のための申請書について
 ・ 新法人における理事長、業務執行理事の選任について (理事会)
 ・ 新法人移行時における顧問の選出について (理事会)
- 10 月 11 日 公益財団法人への移行認定申請書提出
- 平成 24 年 3 月 6 日 第 67 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 63 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 平成 24 年度事業計画及び予算について
 ・ 新法人移行後の旅費規程について
- 3 月 21 日 公益財団法人として認定 (府益担第 3066 号内閣総理大臣野田佳彦)
- 3 月 31 日 第 12 期役員任期満了



- 平成 24 年 4 月 1 日 公益財団法人に移行・登記
- 名称：公益財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会
 主たる事務所：新潟県長岡市上富岡町字長峰 1603 番地 1
 代表理事：山崎 彬
 理事：斎藤秀俊、永井正二、新原皓一、宮下孝洋、吉井剛、渡邊和忠
 目的：この法人は、実践的な技術の開発と多様化する社会のニーズや課題の解決を主眼とする教育・研究活動への支援事業及び産学地域連携交流事業を行うことにより、技術開発、人材育成、産業の活性化を推進し、もって我が国の科学技術の向上と社会の発展に寄与することを目的とする。

- 5 月 29 日 第 1 回理事会
- ・ 平成 23 年度事業報告及び決算報告について
 ・ 評議員会の招集について



- 平成 24 年 6 月 14 日 第 1 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 2 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 平成 23 年度事業報告及び決算報告について (評議員会)
 ・ 評議員の選任について (評議員会)
 ・ 教育研究助成選考委員会規程の制定及び選考委員の選出について (理事会)
- 平成 25 年 3 月 12 日 第 3 回理事会 (於：長岡技術科学大学)
 ・ 平成 25 年度事業計画及び予算について
 ・ 理事の職務権限規程について
 ・ 基本財産に対する寄附金について
- 5 月 28 日 第 4 回理事会
 ・ 平成 24 年度事業報告及び決算報告について
 ・ 評議員会の招集について
- 6 月 12 日 第 2 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 5 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 平成 24 年度事業報告及び決算報告について (評議員会)
 ・ 評議員の選任について (評議員会)
 ・ 役員の選任について (評議員会)
 ・ 規程の制定について
- 平成 26 年 3 月 11 日 第 6 回理事会 (於：長岡技術科学大学)
 ・ 平成 26 年度事業計画及び予算について
 ・ 資産運用規程の一部改正について
- 5 月 7 日 第 7 回理事会
 ・ 評議員会の招集について
- 5 月 15 日 第 3 回評議員会
 ・ 評議員の選任について
- 5 月 22 日 第 8 回理事会
 ・ 平成 25 年度決算時における資産安定積立資産への積立について
 ・ 平成 25 年度事業報告及び決算報告について
 ・ 第 4 回評議員会の招集について
- 6 月 5 日 第 4 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 9 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 平成 25 年度事業報告及び決算報告について (評議員会)
 ・ 評議員の選任について (評議員会)
 ・ 任期満了に伴う役員の選任について (評議員会)
 ・ 理事長、業務執行理事の互選について (理事会)
 ・ 顧問の選出について (理事会)
 ・ 教育研究助成選考委員会の選考委員について (理事会)
- 6 月 23 日 第 10 回理事会
 ・ 第 5 回評議員会の招集について



- 平成 26 年 7 月 1 日 第 5 回評議員会
 ・評議員の選任について
- 平成 27 年 3 月 3 日 第 11 回理事会 (於：長岡技術科学大学)
 ・平成 27 年度事業計画及び予算について
 ・平成 27 年度以降の資産運用益減少に対する今後の運営方針について
- 6 月 1 日 第 12 回理事会 (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 ・平成 26 年度事業報告及び決算報告について
 ・評議員会の招集について
 ・平成 27 年度赤字予算に対する具体策について
- 6 月 19 日 第 6 回評議員会 (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 ・評議員会議長の選任について
 ・平成 26 年度事業報告及び決算報告について
- 平成 28 年 3 月 8 日 第 13 回理事会 (於：長岡技術科学大学)
 ・謝金単価について
 ・非常勤職員就業規程の制定について
 ・事務局職員給与規程の改正について
 ・非常勤職員給与規程の制定について
 ・平成 28 年度事業計画及び予算について
 ・資産運用について
- 5 月 23 日 第 14 回理事会
 ・平成 27 年度事業報告及び決算報告について
 ・第 7 回評議員会の招集について
- 6 月 7 日 第 7 回評議員会 (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 15 回理事会
 ・評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・平成 27 年度事業報告及び決算報告について (評議員会)
 ・任期満了に伴う評議員の選任について (評議員会)
 ・任期満了に伴う役員の選任について (評議員会)
 ・理事長、業務執行理事の互選について (理事会)
 ・顧問の選出について (理事会)
 ・教育研究助成選考委員会の選考委員について (理事会)
- 6 月 24 日 第 16 回理事会
 ・第 8 回評議員会の招集について
- 7 月 1 日 第 8 回評議員会
 ・評議員の選任について
- 平成 29 年 3 月 6 日 第 17 回理事会 (於：長岡技術科学大学)
 ・平成 29 年度事業計画及び予算について
 ・資産安定積立資産への積立について
- 5 月 22 日 第 18 回理事会
 ・平成 28 年度事業報告及び決算報告について
 ・第 9 回評議員会の招集について



- 平成 29 年 6 月 6 日 第 9 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 19 回理事会 }
 ・ 評議員会議長の選任について (評議員会)
 ・ 平成 28 年度事業報告及び決算報告について (評議員会)
 ・ 評議員の選任について (評議員会)
 ・ 役員の選任について (評議員会)
- 6 月 29 日 第 20 回理事会
 ・ 第 10 回評議員会の招集について
- 7 月 7 日 第 10 回評議員会
 ・ 評議員の選任について
- 平成 30 年 3 月 14 日 第 21 回理事会 (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 ・ 謝金単価について
 ・ 平成 30 年度事業計画、予算、資金調達及び設備投資の見込みについて
 ・ 特定費用準備資金の積立について
- 5 月 28 日 第 22 回理事会
 ・ 平成 29 年度事業報告及び決算報告について
 ・ 第 11 回評議員会の招集について
- 6 月 14 日 第 11 回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第 23 回理事会 }
 ・ 平成 29 年度事業報告について (評議員会)
 ・ 平成 29 年度決算報告について (評議員会)
 ・ 評議員の選任について (評議員会)
 ・ 任期満了に伴う役員の選任について (評議員会)
 ・ 理事長、業務執行理事の互選について (理事会)
 ・ 顧問の選出について (理事会)
 ・ 教育研究助成選考委員会の選考委員について (理事会)
 吉井剛理事が理事長に就任
- 平成 31 年 3 月 13 日 第 24 回理事会 (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 ・ 謝金単価について
 ・ 特定費用準備資金等取扱規程の制定について
 ・ 特定費用準備資金の積立について
 ・ 平成 31 年度事業計画、予算、資金調達及び設備投資の見込みについて
- 4 月 24 日 第 25 回理事会
 ・ 第 12 回評議員会の招集について
- 令和元年 5 月 15 日 第 12 回評議員会
 ・ 評議員の選任について
- 5 月 20 日 第 26 回理事会
 ・ 平成 30 年度事業報告及び決算報告について
 ・ 第 13 回評議員会の招集について
- 6 月 4 日 第 13 回評議員会 (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 ・ 評議員会議長の選任について
 ・ 平成 30 年度事業報告及び決算報告について



- 令和元年 6月12日 第27回理事会 (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 ・職務執行状況の報告等
- 7月4日 第28回理事会
 ・第14回評議員会の招集について
- 7月18日 第14回評議員会
 ・評議員の選任について
- 11月13日 第29回理事会 (於：長岡技術科学大学)
 ・資産運用について
- 令和2年 3月16日 第30回理事会
 ・令和2年度事業計画、予算、資金調達及び設備投資の見込みについて
- 5月15日 第31回理事会
 ・令和元年度事業報告及び決算報告について
 ・第15回評議員会の招集について
- 6月1日 第15回評議員会
 ・令和元年度事業報告について
 ・令和元年度決算報告について
 ・任期満了に伴う評議員の選任について
 ・任期満了に伴う役員の選任について
- 第32回理事会
 ・理事長、業務執行理事の選定について
 ・任期満了に伴う顧問の選出について
 ・教育研究助成選考委員会の選考委員について
- 11月19日 第33回理事会
 ・令和2年度事業計画の執行予定及び予算の見直しについて
- 令和3年 3月5日 第34回理事会 (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 ・個人情報保護に関する基本方針の制定について
 ・個人情報保護規程の制定について
 ・特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針の制定について
 ・特定個人情報取扱規程の制定について
 ・教育研究助成選考委員会委員の選定について
 ・令和3年度事業計画、予算、資金調達及び設備投資の見込みについて
- 4月22日 第35回理事会
 ・第16回評議員会の開催について
 ・顧問の選出について
- 5月12日 第16回評議員会
 ・理事の選任について
 ・評議員の選任について
- 5月21日 第36回理事会
 ・令和2年度事業報告及び決算報告について
 ・第17回評議員会の招集について



- 令和3年6月7日 第17回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第37回理事会 }
 ・評議員会議長の選任について(評議員会)
 ・令和2年度事業報告及び決算報告について(評議員会)
- 令和4年3月7日 第38回理事会 (於：長岡技術科学大学)
 ・令和4年度事業計画、予算、資金調達及び設備投資の見込みについて
- 4月15日 第39回理事会
 ・第18回評議員会の開催について
 ・令和4年度事業計画の執行予定及び予算の見直しについて
- 4月27日 第18回評議員会
 ・理事の選任について
- 5月20日 第40回理事会
 ・令和3年度事業報告及び決算報告について
 ・第19回評議員会の招集について
- 6月15日 第19回評議員会 } (於：ホテル・ニューオータニ長岡)
 第41回理事会 }
 ・令和3年度事業報告について(評議員会)
 ・令和3年度決算報告について(評議員会)
 ・評議員の選任について(評議員会)
 ・任期満了に伴う役員の選任について(評議員会)
 ・理事長、業務執行理事の互選について(理事会)
 ・顧問の選出について(理事会)
 ・教育研究助成選考委員会の選考委員について(理事会)
- 10月13日 第42回理事会
 ・第20回評議員会の開催について
- 10月27日 第20回評議員会
 ・評議員の選任について
- 令和5年3月15日 第43回理事会 (於：長岡技術科学大学)
 ・令和5年度事業計画、予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

大学風景 今昔



事業報告

1. 実践的な技術の開発を主眼とする教育研究に対する援助

- (1) 産学共同教育研究助成（産学共同教育研究プロジェクトに対する研究経費等の助成）
 昭和 57 年度から平成 21 年度までの間に以下の研究に対し研究経費の助成を行った。

共同研究助成一覧

No.	研究課題名	プロジェクトリーダー (長岡技術科学大学教員)	共同研究企業名	研究期間
1	騒音・振動の制御に関する研究	建設系教授 笹戸 松二	(財)高速道路調査会, (社)日本橋梁建設協会	S57.4.1- S59.3.31
2	ブロック重合体を素材とする選択分離膜の基礎研究とその応用研究	化学系教授 藤本 輝雄	東洋曹達工業(株)	S57.6.1- S60.3.31
3	鋼構造物の組立検査システムの開発	建設系教授 笹戸 松二	(株)横河橋梁製作所	S57.6.1- S60.3.31
4	高温超伝導デバイスの構成法	電気系教授 小俣 虎之助	日電アネルバ(株)	S57.7.1- S60.3.31
5	建設機械のシミュレーションモデルによる動的解析を基本にした設計法の確立	機械系教授 伊藤 廣	(株)神戸製鋼所	S57.7.1- H元.3.31
6	集雪・冷房システムの開発	機械系教授 梅村 晃由	(株)新潟鉄工所, (株)荏原製作所, 佐藤工業(株), 丸磯建設(株)	S57.10.1- S62.9.30
7	高炭素鋼の疲労強度に関する研究	機械系教授 中村 正久	三菱製鋼(株)	S57
8	金属材料のフレットング疲労破壊の研究	機械系教授 中村 正久	石川島播磨重工業(株)	S57
9	自動X線応力測定装置の開発及び精度向上に関する研究	機械系助教授 栗田 政則	(株)小松製作所	S57-S58
10	ファインピッチマスタギアの新しい仕上げの開発	機械系教授 豊山 晃	大阪精密機械(株)	S57-S58
11	レーザー技術の応用を中心とする生産自動化とその社会的影響についての研究	計画・経営系教授 松島 康夫	(財)本田財団, (株)ホンダエンジニアリング	S58.9.1- S62.7.31
12	都市における河辺空間の活用に関する研究	建設系教授 石川 允	総合研究開発機構	S58-S59

No.	研究課題名	プロジェクトリーダー (長岡技術科学大学教員)	共同研究企業名	研究期間
13	材料組織の測定	機械系教授 小林 勝	工業技術院 機械技術研究所	S58
14	高精度薄膜抵抗の研究	電気系教授 津端 一郎	タケダ理研工業(株)	S59.4.1- S61.3.31
15	ステンレス鋼屋根材の滑雪性と耐候性に関する研究	機械系教授 服部 賢	日新製鋼(株)	S59.11.1- H2.10.31
16	IN-100 の異常硬化現象に及ぼす γ の挙動調査	機械系教授 小林 勝	工業技術院 機械技術研究所	S59
17	ケイ素を構成成分とする高分子の合成とその応用	化学系教授 藤本 輝雄	信越化学工業(株)	S60.4.1- S63.3.31
18	ジョセフソンデバイスを用いた高感度センサーの開発	電気系教授 山下 努	東洋曹達工業(株)	S60.4.1- S63.3.31
19	MBE 法による ZnS 青色発光素子の開発研究	電気系教授 金田 重男	日本精機(株)	S60.4.1- S63.3.31
20	雪害対策情報システムの開発	建設系教授 後藤 巖	(社)北陸建設弘済会	S60.4.1- H元.3.31
21	加工履歴を受けた Mod. IN-100 の高温組織変化の調査	機械系教授 小林 勝	工業技術院 機械技術研究所	S60
22	二相消化方式による UASB メタン発酵法の適用性拡大に関する研究	建設系教授 桃井 清至 (助教授 原田 秀樹)	(株)荏原総合研究所, 荏原インフィルコ(株)	S61.2.1- H2.1.31
23	同時多点三次元測定法に関する開発研究	建設系教授 鳥居 邦夫	(株)横河橋梁製作所, (株)越路屋	S61.6.1- H元.3.31
24	地方道路の維持修繕工法とたわみに関する研究	建設系教授 後藤 巖	東亜道路工業(株)	S61.10.1- H2.3.31
25	金属間化合物ガンマプライムの創製・評価	機械系教授 小林 勝	工業技術院 機械技術研究所	S60
26	セラミックス光メモリーの開発	電気系教授 岡本 祥一	小野田セメント(株)	S62.4.1- H2.3.31
27	米菓製造における品質管理法及び工程管理法の探索	化学系助教授 五十野 善信	亀田製菓(株)	S62.6.1- H2.5.31
28	高温超伝導材料に関する研究	電気系教授 高田 雅介	日本セメント(株)	S62.6.1- H4.3.31

No.	研究課題名	プロジェクトリーダー (長岡技術科学大学教員)	共同研究企業名	研究期間
29	雪の水力輸送用機器の開発	機械系教授 白樫 正高	(株)新潟鉄工所, (株)荏原製作所	S62.10.1- H2.3.31
30	個人住宅用滑雪及び融雪屋根実用化 の開発研究	機械系教授 服部 賢	日新製鋼(株)	S62.12.1- H3.11.30
31	水分散系用高分子の合成と応用	化学系助教授 五十野 善信	日本ペイント(株)	S63.4.1- H3.3.31
32	酸化物高温超伝導セラミックスの製 造法及び応用開発の研究	化学系教授 松下 和正	アルプス電気(株) 新潟事業部	S63.5.1- H3.3.31
33	低濃度有機性廃水の嫌気性高速処理 バイオリクターの開発	建設系教授 桃井 清至	(株)荏原製作所	S63.6.1- H4.3.31
34	雪氷と構造用各種金属材料の動的相 互作用に関する基礎的研究	機械系教授 伊藤 廣	(株)神戸製鋼所	H元.4.1- H4.3.31
35	市街地の除排雪システムの開発研究	建設系教授 早川 典生	日本ブルカン(株)	H2.4.1- H4.3.31
36	大強度パルス軽イオンビームを用い た機能性材料の開発に関する 研究	電気系教授 八井 浄	日本精機(株)	H2.4.1- H5.3.31
37	道路舗装の非破壊検査方法に関する 研究	建設系教授 丸山 暉彦	東亜道路工業(株)	H2.4.1- H5.3.31
38	磁気ディスクの表面トライボロジ特 性の評価	機械系教授 田中 紘一	HMT Technology Corp.	H2.4.1- H5.3.31
39	非線形光学材料の研究	電気系教授 高田 雅介	小野田セメント(株)	H2.5.1- H5.3.31
40	ポーラスアスファルトに関する研究	建設系教授 丸山 暉彦	(株)ブリヂストン	H2.6.1- H5.3.31
41	斜坑シールド工法における切羽安定 性の評価	建設系助教授 杉本 光隆	三菱重工業(株)	H2.8.1- H4.3.31
42	天然多糖高分子の音響化学的研究と その応用	化学系助教授 五十野 善信	亀田製菓(株)	H3.4.1- H6.3.31
43	熔融急冷法による酸化物高温超伝導 ガラスセラミックス及び線材の研究	化学系教授 松下 和正	三菱電線工業(株)	H3.7.1- H6.6.30
44	ガラスと磁性材料の界面反応の解析 及び磁気ヘッド用低融点ガラスの 開発	化学系教授 松下 和正	アルプス電気(株)	H3.10.1- H6.3.31

No.	研究課題名	プロジェクトリーダー (長岡技術科学大学教員)	共同研究企業名	研究期間
45	CCD カメラを使用した斜面破壊監視システムに関する研究	建設系教授 小川 正二	東日本旅客鉄道(株)	H3.12.1- H6.11.30
46	市街地のための高性能除排雪システムの設計法	建設系教授 早川 典生	(株)日本ブルカン, (株)荏原製作所, 佐藤工業(株), (株)アルゴス, (株)新潟鉄工所	H4.4.1- H6.3.31
47	多連型シールド機切羽安定性の評価	建設系 助教授 杉本 光隆 教授 小川 正二	(株)間組	H4.6.1- H7.5.31
48	嫌気性細菌群の自己固定化機能を利用した新規高速廃水処理プロセスの開発	建設系助教授 原田 秀樹	(株)小松製作所	H4.6.1- H7.5.31
49	有限要素法による熱機材の熱分布の解析	機械系教授 石崎 幸三	(株)サーモンファ- イースト	H4.11.1- H7.10.31
50	地域冷暖房における冷熱輸送システムの開発	機械系教授 服部 賢	(株)荏原総合研究所 流体研究所, 住友金属工業(株)	H4.11.1- H8.3.31
51	ナノインデンテーション試験機の開発	機械系教授 田中 紘一	(株)エリオニクス	H5.4.1- H8.3.31
52	アクティブコントロールによるドーム構造の制振に関する研究	建設系教授 鳥居 邦夫	太陽工業(株)	H5.9.1- H9.8.31
53	舗装維持管理システム (PMS) の開発	建設系教授 丸山 暉彦	東亜道路工業(株)	H6.2.1- H8.3.31
54	排水性舗装の機能改善に関する研究	建設系教授 丸山 暉彦	(株)ブリヂストン, 福田道路(株)	H6.2.1- H8.8.31
55	強(高)誘電体材料の研究	電気系教授 高田 雅介	小野田セメント(株)	H6.4.1- H9.3.31
56	ポリマーバッテリーの開発	化学系助教授 五十野 善信	信越化学工業(株)	H6.4.1- H10.3.31
57	鋼構造の自動仮組検査システムに関する開発研究	建設系教授 鳥居 邦夫	(株)横河技術情報	H6.5.1- H10.4.30
58	雪崩の発生と運動機構及びその災害防止技術への応用に関する研究	建設系教授 早川 典生	アルゴス(株), 新井リゾート(株)	H7.4.1- H10.3.31
59	自己固定型メタン発酵バイオリアクターによる超高速・高負荷廃水処理プロセスの開発	建設系教授 原田 秀樹	(株)荏原製作所	H7.4.1- H10.3.31

No.	研究課題名	プロジェクトリーダー (長岡技術科学大学教員)	共同研究企業名	研究期間
60	HMIのマイクロトライボロジ	機械系教授 田中 紘一	情報ストレージ研究推進機構	H7.12.1- H11.11.30
61	プラズマ・マグネトロン組み合わせによるナノコンポジット膜形成とその確性試験	機械系教授 石崎 幸三	I T A C(株)	H7.12.1- H9.1.31
62	電子材料セラミックスの加工及びメタライズの研究	電気系教授 高田 雅介	(株)トクヤマ	H8.4.1- H11.3.31
63	氷水混相流による地域冷房システムの開発	機械系教授 白樫 正高	(株)荏原製作所, 住友金属工業(株)	H8.4.1- H10.3.31
64	ナノインデンテーション試験法の確立	機械系教授 田中 紘一	(株)エリオニクス	H8.4.1- H11.3.31
65	4心円H&Vシールド工法における地盤挙動およびシールド機挙動の総合評価	環境・建設系助教授 杉本 光隆	(株)間組	H8.10.1- H12.3.31
66	衛星・地理情報システムを用いた融雪流出予測システムの実用化に関する研究	環境・建設系助教授 小池 俊雄	日本工営(株)	H8.11.1- H11.10.31
67	HIP(高温等方加圧)法による耐熱酸化物セラミックスフィルターの作製	機械系教授 石崎 幸三	(株)黒木工業所	H9.1.1- H11.12.31
68	上昇温脱離法によるセラミックス原料粉の表面解析	機械系教授 石崎 幸三	シナノテクノロジー(有)	H9.11.1- H12.10.31
69	ハンマー鍛造の自動化	機械系教授 梅村 晃由	上越工業(株), (株)キャメルロボット ・ジャパン	H9.11.1- H12.10.31
70	氷水混相流利用方式の地域冷房システムにおける機器の開発	機械系教授 白樫 正高	(株)荏原製作所, 住友金属工業(株)	H10.4.1- H14.3.31
71	建設汚泥の再生利用に関する研究	環境・建設系教授 丸山 久一	(株)中越興業	H10.4.1- H14.3.31
72	自己固定型メタン発酵バイオリアクターによる超高速・高負荷廃水処理プロセスの開発-フェイズII-	環境・建設系教授 原田 秀樹	(株)荏原製作所	H10.4.1- H13.3.31
73	超平坦平面材料加工用砥石の基礎研究	機械系教授 石崎 幸三	シナノテクノロジー(有)	H10.4.1- H13.3.31
74	ナノインデンテーション硬度測定及び試験機評価	機械系教授 田中 紘一	(株)エリオニクス	H11.4.1- H16.3.31

No.	研究課題名	プロジェクトリーダー (長岡技術科学大学教員)	共同研究企業名	研究期間
75	室温作動型光検知式水素ガスセンサーの実用化研究	電気系教授 高田 雅介	(有)エッチ・ティ・エス	H11.4.1- H14.3.31
76	超平坦セラミックス材の開発	機械系教授 石崎 幸三	システム精工(株)	H11.7.1- H13.3.31
77	金属錯体を利用した酸化物薄膜形成	化学系助教授 斎藤 秀俊	中部キレスト(株)	H12.4.1- H15.3.31
78	大気開放型熱CVD法による機能膜の作製とその評価	化学系助教授 斎藤 秀俊	(株)日本セラテック	H12.4.1- H15.3.31
79	高精度光学式表面形状測定装置の開発	機械系教授 田中 紘一	シマモト技術研究所, (株)フォトンクス, リングアンドリンク(株)	H12.4.1- H15.3.31
80	ホットスポット現象を利用した多機能素子の開発研究	電気系教授 高田 雅介	(株)日立製作所	H12.7.1- H15.6.30
81	地盤構造物の小型非破壊試験装置の開発と評価に関する研究	環境・建設系教授 丸山 暉彦	(株)東京測器研究所, (株)村役場	H12.10.1- H14.3.31
82	ダイヤモンド薄刃砥石用スラリーの均質化(旧 セラミックス粉末表面特性評価)	機械系教授 石崎 幸三	シナノテクノロジー (有) → (株)ナノテム	H12.11.1- H18.10.31
83	高機能光デバイスの開発研究	電気系教授 高田 雅介	大成化工(株)	H12.11.1- H15.10.31
84	超平坦平面材料加工技術の開発	機械系教授 石崎 幸三	(株)ナノテム	H13.4.1- H16.3.31
85	変形解析と表面工学に基づいたハンマー鍛造プロセスの改善	機械系教授 柳 和久	上越工業(株)	H13.4.1- H16.3.31
86	高周波を用いた工業電力用高効率電源装置の開発	電気系教授 高橋 勲	マコー(株)	H13.4.1- H16.3.31
87	通電加熱法による酸化亜鉛結晶の成長制御	電気系教授 高田 雅介	太平洋セメント(株) 中央研究所	H13.4.1- H16.3.31
88	各種溶媒中での有機酸金属塩の金属イオンの解離機構および固体微粒子表面上への溶媒分子吸着機構の研究	化学系助教授 内田 希	セイコーエプソン(株)	H13.4.1- H16.3.31
89	下水汚泥の高効率嫌気消化の研究	環境・建設系教授 原田 秀樹	栗田工業(株)	H13.4.1- H16.3.31
90	エネルギー最小消費型下水処理システムの開発	環境・建設系教授 原田 秀樹	三機工業(株)	H13.11.1- H16.10.31

No.	研究課題名	プロジェクトリーダー (長岡技術科学大学教員)	共同研究企業名	研究期間
91	酸化物誘電体多層膜の光特性に関する研究	化学系教授 斎藤 秀俊	(株)アルネアラボラトリ (株)オプトクエスト	H13.11.1- H16.10.31
92	産業副産物の再資源化に関する研究	環境・建設系教授 丸山 久一	緑物産(株), (株)笠原建設, 西山開発(株), 中越環境開発(株)	H14.4.1- H17.3.31
93	アモルファス炭素系膜を用いたX線源に関する研究	化学系教授 斎藤 秀俊	(有)大河原製作所	H15.1.1- H17.12.31
94	炭素系ガス吸蔵材料測定技術に関する研究	化学系教授 斎藤 秀俊	(株)レスカ	H15.2.1- H18.1.31
95	金属錯体を利用した酸化物粉末の合成	化学系教授 斎藤 秀俊	中部キレスト(株)	H15.4.1- H18.3.31
96	大気開放型CVD法によるセラミックス複合材料の機能化	化学系教授 斎藤 秀俊	(株)日本セラテック	H15.4.1- H18.3.31
97	ダイレクトアルコール燃料電池の開発	化学系教授 梅田 実	(株)リコー, 東北リコー(株)	H15.4.1- H18.3.31
98	大気開放型CVD装置用途原料の開発	化学系教授 斎藤 秀俊	昭和電工(株)	H15.7.1- H18.6.30
99	絶縁性セラミックスに関する研究	電気系教授 高田 雅介	(有)ヨシムラ化研	H15.8.1- H18.7.31
100	高精度・高能率サファイヤ基盤ダイシング加工技術	機械系助手 松丸 幸司	(株)ナノテム	H15.8.1- H18.7.31
101	マグネシウム合金接合法の開発と福祉医療機器への応用	機械系教授 武藤 睦治	(財)新潟県県央地域地場産業振興センター, (有)小林製作所, (株)内山熔接工業, フジイコーポレーション(株)	H15.9.1- H18.8.31
102	リサイクルゴムを使用した高機能舗装の開発研究	環境・建設系教授 丸山 暉彦	中央大学理工学部, (社)日本自動車タイヤ協会, 日本舗道(株), 大成ロテック(株), 福田道路(株)	H15.10.1- H18.9.30
103	次世代白色LEDの完全無機材料化プロセスの確立	機械系助教授 南口 誠	(株)ナノテム	H15.10.1- H18.9.30

No.	研究課題名	プロジェクトリーダー (長岡技術科学大学教員)	共同研究企業名	研究期間
104	窒化アルミニウムセラミックスへの新規メタライズ法の開発	電気系教授 高田 雅介	(株)トクヤマ	H16.1.1- H18.12.31
105	ナノインデンテーション試験法の開発とその先進材料評価への適用	機械系助教授 井原 郁夫	(株)エリオニクス	H16.4.1- H19.3.31
106	レーザーによる微細表面構造実量器の製作と加工条件の定量化	機械系教授 柳 和久	東成エレクトロビーム (株)	H16.4.1- H19.3.31
107	高周波を用いた特定用途向け産業用電力変換装置の開発	電気系助教授 野口 敏彦	マコー(株)	H16.4.1- H19.3.31
108	セラミックス基板材料の低欠陥密度加工法	機械系教授 石崎 幸三	(株)ナノテム	H16.4.1- H19.3.31
109	熱間型鍛造時における金型とワーク間の付着現象解明とその防止技術開発	機械系教授 柳 和久	上越工業(株)	H16.6.1- H19.5.31
110	マグネシウム合金の開発	機械系教授 鎌土 重晴	東北パイオニア(株)	H16.6.1- H19.5.31
111	シリカ原料粉末の表面特性評価と合成	機械系教授 石崎 幸三	ナミックス(株)	H16.7.1- H19.6.30
112	ダイヤモンド砥粒内蔵石油掘削用トリコンビットの開発	機械系教授 石崎 幸三	ティクス(株)	H16.8.1- H17.7.31
113	変形解析に基づく薄板材の精密押抜加工法の開発	機械系助教授 永澤 茂	(株)片山抜型製作所, (株)塚谷刃物製作所, (株)江東彫刻, (株)飯島製作所	H16.9.1- H20.3.31
114	生物膜における微生物群の機能解析に関する研究	環境・建設系教授 原田 秀樹	栗田工業(株)	H16.10.1- H19.9.30
115	エネルギー最小消費型下水処理システムの開発(フェイズ2)	環境・建設系教授 原田 秀樹	三機工業(株)	H16.12.1- H19.11.30
116	耐湿無機薄膜の材料設計	化学系教授 斎藤 秀俊	(株)オプトクエスト	H16.12.1- H19.11.30
117	大気開放型 CVD 装置の新規開発	化学系教授 斎藤 秀俊	時田シーブイディー システムズ(株)	H16.12.1- H19.11.30
118	光触媒を用いた汚染土壌浄化の研究	環境・建設系教授 丸山 久一	緑物産(株)	H17.4.1- H20.3.31
119	乾式メタン発酵の連続運転性能評価に関する研究	環境・建設系助教授 大橋 晶良	大成建設(株)	H17.7.1- H20.6.30

No.	研究課題名	プロジェクトリーダー (長岡技術科学大学教員)	共同研究企業名	研究期間
120	高熱伝導性多孔質材料の開発	機械系助手 松丸 幸司	(株)ナノテム	H17.9.1- H20.8.31
121	光・電子セラミックス素子の開発	化学系教授 斎藤 秀俊	(有)大河原製作所	H17-H20
122	カオス・フラクタル理論に基づいた ヒト脳計測による行動理論と行動特 性の定量化	電気系教授 中川 匡弘	(株)ジェック	H17-H21
123	ガス吸蔵材料評価と流れ場解析に関 する研究	化学系教授 斎藤 秀俊	(株)レスカ, シーブイディープロダ クツ	H17-H20
124	スポーツ用品支援材料の開発	化学系教授 斎藤 秀俊	ヨネックス(株), シーブイディープロダ クツ	H17-H20
125	金属錯体を利用した新規青色蛍光体 の合成	物質・材料系教授 斎藤 秀俊	中部キレスト(株)	H18-H20
126	大気開放型CVD法の半導体製造装置 部材への用途開発	物質・材料系教授 斎藤 秀俊	(株)日本セラテック	H18-H20
127	高機能光デバイスの開発研究	電気系教授 高田 雅介	(有)ヨシムラ化研	H18-H21
128	超音波を用いた製造プロセス制御・ 品質モニタリング技術の要素開発	機械系助教授 井原 郁夫	トヨタ自動車(株)	H18-H20
129	高密度小型エネルギー源の開発研究	物質・材料系教授 梅田 実	日本ピラー(株), (株)KR I	H18-H21
130	冬季バリアフリーを実現する低コス ト・低環境負荷な雪処理技術の開発	機械系助教授 上村 靖司	上越市, (株)興和, (株)アルゴス, (財)日本システム開発 研究所	H18-H20
131	燃料電池の利用技術の包括的研究	物質・材料系教授 梅田 実	オリンパス(株)	H18-H21
132	光触媒を用いた汚染土壌浄化の研究	環境・建設系教授 丸山 久一	緑物産(株), (社)新潟県環境衛生 中央研究所, 中越環境開発(株)	H20

その他、延べ 56 件に対し、物品貸与による助成を行った。

技術開発センタープロジェクトの管理が財団から大学へ移ったことにより、
財団の事業としては平成 21 年度で終了。

- (2) 実務訓練実施助成（長岡技術科学大学の実務訓練実施経費の一部助成）
昭和 57 年度から平成 20 年度の間、以下の助成を行った。

年度	内 容	金額（円）
昭和 57	「産学共同教育研究方法調査費」として、長岡技術科学大学の 実務訓練等に係る経費の助成を行った。	1,380,000
58	〃	1,380,000
59	〃	2,000,000
60	〃	2,000,000
61	〃	3,000,000
62	〃	2,300,000
63	〃	2,500,000
平成 元	〃	2,500,000
2	〃	2,500,000
3	〃	2,900,000
4	〃	2,900,000
5	〃	2,900,000
6	〃	2,900,000
7	〃	2,900,000
8	〃	1,000,000
9	〃	1,000,000
10	〃	1,000,000
11	〃	1,000,000
12	〃	1,000,000
13	〃	1,000,000
14	〃	1,000,000
15	助成なし	—
16	〃	—
17	〃	—
18	〃	—
19	〃	—
20	長岡技術科学大学の実務訓練実施に係る経費の助成を行った。	1,000,000

(3) 諸外国産学共同教育研究制度研究・調査等に対する助成

(長岡技術科学大学若手教員等の海外における研究発表等のための渡航経費の一部助成)

昭和 59 年度から平成 22 年度までの間、以下の助成を行った。

(平成 19 年度～平成 22 年度は助成対象者を高専の若手教員等に拡大した)

年度	渡 航 者	期 間	主な渡航先
昭和 59	白樫 正高〔機械系助教授〕	S59.10. 6 ～ S59.10.22	メキシコ
	瀬 和則〔化学系助手〕	S59.12.17 ～ S61. 6.29	アメリカ
	小長井一男〔建設系助教授〕	S60. 1. 3 ～ S60.12.21	アメリカ
	飯田 誠之〔電気系助教授〕	S60. 3. 2 ～ S60. 3.11	フランス
昭和 60	柳 和久〔工作センター助教授〕	S60. 4. 8 ～ S60. 4.22	イギリス
	K.S.Harlow〔外国人教師〕	S60. 7. 4 ～ S60. 7.17	イギリス
	手塚 育志〔化学系助手〕	S60. 8. 3 ～ S60. 8.28	オランダ
	赤木 泰文〔電気系助教授〕	S60. 9.28 ～ S60.10.12	カナダ
	武藤 睦治〔機械系助教授〕	S60.10. 6 ～ S60.10.14	中国
	栗田 政則〔機械系助教授〕	S60.10. 6 ～ S60.10.14	中国
	内藤 祥雄〔電気系助教授〕	S61. 2.21 ～ S61. 3. 1	西ドイツ
	久曾神 煌〔機械系助教授〕	S61. 2.28 ～ S61. 3.10	フランス
その他、欧州における産学共同教育研究制度の実情調査のため、長岡技術科学大学及び長岡商工会議所に対し、経費の一部助成を行った。			
昭和 61	大西 隆〔建設系助教授〕	S61. 5.23 ～ S61. 6. 6	スウェーデン
	鎌田喜一郎〔化学系助教授〕	S61. 6.21 ～ S61. 6.30	イタリア
	中川 匡弘〔電気系助手〕	S61. 6.27 ～ S61. 7. 9	アメリカ
	赤羽 正志〔電気系助教授〕	S61. 6.27 ～ S61. 7. 9	アメリカ
	原田 秀樹〔建設系助教授〕	S61. 8.15 ～ S61. 8.31	ブラジル
	川田 重夫〔電気系助教授〕	S61. 8.31 ～ S61. 9.20	フランス
	田辺 郁男〔機械系助手〕	S61. 9.16 ～ S61. 9.25	イギリス
	高田 雅介〔電気系助教授〕	S61.10.20 ～ S61.11. 1	アメリカ
	小林健吉郎〔電気系助手〕	S61.10.20 ～ S61.11. 6	アメリカ
	作久田博司〔機械系助手〕	S61.11.23 ～ S61.12. 6	スペイン
	その他、外国における産学共同教育研究制度の実情調査のため、長岡技術科学大学に対し、経費の一部助成を行った。		
昭和 62	反町 嘉夫〔電気系助手〕	S62. 6. 1 ～ S62. 6. 8	イギリス
	陶山 明〔機械系助教授〕	S62. 6. 1 ～ S62. 6. 9	アメリカ
	石崎 幸三〔機械系助教授〕	S62. 6.10 ～ S62. 7. 2	スウェーデン
	伊藤 義郎〔機械系助手〕	S62. 7.13 ～ S62. 8. 3	イギリス
	戸井 啓夫〔化学系助手〕	S62. 7.25 ～ S62. 8. 1	中国
	矢鍋 重夫〔機械系助教授〕	S62. 9. 8 ～ S62. 9.26	スペイン
	宮田 保教〔機械系助教授〕	S62. 9.18 ～ S62.10. 1	イギリス
その他、外国における産学共同教育研究制度の実情調査のため、長岡技術科学大学に対し、経費の一部助成を行った。			

年度	渡 航 者	期 間	主な渡航先
昭和 63	塩見 友雄〔化学系助教授〕	S63. 5. 1 ~ S63. 5. 8	中国
	神林 紀嘉〔電気系助教授〕	S63. 6. 1 ~ S63. 6.14	フィンランド
	井上 泰宣〔分析計測センター助教授〕	S63. 6.25 ~ S63. 7. 5	カナダ
	江島 俊朗〔電気系助教授〕	S63. 7.21 ~ S63. 7.30	アメリカ
	野坂 芳雄〔化学系助手〕	S63. 7.30 ~ S63. 8. 7	アメリカ
	井原 郁夫〔機械系助手〕	S63. 7.31 ~ S63. 8.17	アメリカ
	増田 渉〔機械系助教授〕	S63. 8.19 ~ S63. 9. 5	オーストリア
	打木 久雄〔電気系助教授〕	S63. 8.21 ~ S63. 9.11	東ドイツ
	小林 史典〔機械系助教授〕	S63. 9. 4 ~ S63. 9.16	フランス
	太刀川信一〔電気系助手〕	S63.10.30 ~ S63.11. 5	シンガポール
	橋本 親典〔建設系助手〕	S63.11.26 ~ S63.12. 7	アメリカ
平成 元	福澤 康〔機械系助教授〕	H 元. 4.23 ~ H 元. 5.10	西ドイツ
	浅野 一志〔電気系助手〕	H 元. 7.16 ~ H 元. 7.22	シンガポール
	濱崎 勝義〔電気系助教授〕	H 元. 7.22 ~ H 元. 7.30	アメリカ
	五十野善信〔化学系助教授〕	H 元.10.21 ~ H 元.11. 5	カナダ
	加藤 和夫〔電気系助手〕	H 元.11. 7 ~ H 元.11.15	アメリカ
	池田 清宏〔建設系助教授〕	H 元.12. 9 ~ H 元.12.17	アメリカ
	岡田 昌章〔機械系助手〕	H 2. 3. 3 ~ H 2. 3.20	イスラエル
平成 2	柳 和久〔工作センター助教授〕	H 2. 4.14 ~ H 2. 4.26	イギリス
	小林 俊一〔機械系助手〕	H 2. 4.20 ~ H 2. 5. 3	イギリス
	安井 寛治〔電気系助手〕	H 2. 6.26 ~ H 2. 7. 5	アメリカ
	升方 勝己〔電気系助教授〕	H 2. 6.29 ~ H 2. 7. 6	ソ連
	阿部雅二郎〔機械系助手〕	H 2. 7.15 ~ H 2. 7.22	アメリカ
	小林 迪夫〔化学系助教授〕	H 2. 7.18 ~ H 2. 8. 2	カナダ
	曾田 邦嗣〔理学センター助教授〕	H 2. 7.19 ~ H 2. 8. 8	カナダ
	丸山 一典〔理学センター助教授〕	H 2. 7.22 ~ H 2. 7.29	イギリス
	宮内信之助〔電気系助教授〕	H 2. 9. 1 ~ H 2. 9.19	西ドイツ
	坪井 望〔電気系助手〕	H 2. 9. 9 ~ H 2. 9.17	ソ連
	中村 和郎〔生物系助教授〕	H 2. 9.16 ~ H 2. 9.23	スペイン
青木 和夫〔機械系助教授〕	H 3. 3.16 ~ H 3. 3.26	アメリカ	
平成 3	丸山 久一〔建設系助教授〕	H 3. 4. 8 ~ H 3. 4.17	ドイツ
	中村 奨〔ラジオアイソトープセンター助手〕	H 3. 6.14 ~ H 3. 6.24	ドイツ
	大里 有生〔計画・経営系助教授〕	H 3. 6.28 ~ H 3. 7.22	ベルギー
	小松 高行〔化学系助教授〕	H 3. 8. 2 ~ H 3. 8.13	イギリス
	渡邊 裕一〔電気系助手〕	H 3. 9.30 ~ H 3.10. 9	ソ連
	加藤 幸夫〔計画・経営系助教授〕	H 4. 3.12 ~ H 4. 3.28	ギリシア
その他、外国における産学共同教育研究実態調査等のため、長岡技術科学大学に対し、経費の一部助成を行った。			

年度	渡航者	期間	主な渡航先
平成 4	大岩 孝彰〔機械系助手〕	H 4. 4.10 ~ H 4. 4.19	アメリカ
	古口日出男〔機械系助教授〕	H 4. 6. 7 ~ H 4. 6.18	アメリカ
	中川 匡弘〔電気系助教授〕	H 4. 6.19 ~ H 4. 7. 4	イタリア
	稲垣 文雄〔語学センター助教授〕	H 4. 7.10 ~ H 4. 8. 4	フランス
	小林 高臣〔化学系助手〕	H 4. 7.11 ~ H 4. 7.19	チェコスロバキア
	北谷 英嗣〔理学センター助教授〕	H 4. 7.31 ~ H 4. 8.10	ドイツ
	永澤 茂〔機械系講師〕	H 4. 8. 1 ~ H 4. 8. 9	アメリカ
	高橋 勉〔機械系助手〕	H 4. 8.14 ~ H 4. 8.23	ベルギー
	岡崎 正和〔機械系助教授〕	H 4. 9. 6 ~ H 4. 9.16	ドイツ
	佐藤 隆士〔化学系助手〕	H 4.10. 3 ~ H 4.10.10	スペイン
平成 5	ヒューブレヒツ ベン ジョセフ〔電気系助手〕	H 5. 4.16 ~ H 5. 5. 3	ベルギー
	松原 浩〔化学系助手〕	H 5. 5.18 ~ H 5. 5.25	アメリカ
	白石万紀子〔語学センター助手〕	H 5. 7.18 ~ H 5. 8.22	アメリカ
	川田 重夫〔電気系助教授〕	H 5. 7.26 ~ H 5. 8. 1	アメリカ
	打木 久雄〔電気系助教授〕	H 5. 9.12 ~ H 5. 9.19	アメリカ
	明田川正人〔機械系助手〕	H 5.11. 6 ~ H 5.11.14	アメリカ
	西尾 嘉之〔生物系助教授〕	H 6. 3.12 ~ H 6. 3.20	アメリカ
その他、外国における産学共同教育研究実態調査等のため、長岡技術科学大学に対し経費の助成を行った。			
平成 6	太刀川信一〔電気系助教授〕	H 6. 7. 1 ~ H 6. 7. 9	フィンランド
	加納 満〔語学センター講師〕	H 6. 7.28 ~ H 6. 8.29	スリランカ
	福本 一朗〔生物系助教授〕	H 6. 8.20 ~ H 6. 8.29	ブラジル
	塩野谷 明〔体育保健センター講師〕	H 6. 9. 9 ~ H 6. 9.20	ドイツ
	十河 宏行〔技術開発センター助教授〕	H 6.10.24 ~ H 6.11. 1	中国
その他、外国における産学共同教育研究実態調査等のため、長岡技術科学大学に対し経費の助成を行った。			
平成 7	丸山 一典〔化学系助教授〕	H 7. 5.21 ~ H 7. 5.28	フランス
	ハンソン トーマス〔機械系助手〕	H 7. 7.15 ~ H 7. 7.29	ドイツ
	マメドフ ナジム〔電気系助教授〕	H 7. 9.18 ~ H 7. 9.27	ドイツ
	小出 学〔建設系助手〕	H 7.10. 8 ~ H 7.10.15	中国
	佐藤 一則〔分析計測センター助教授〕	H 7.10.10 ~ H 7.10.16	アメリカ
	竹中 克彦〔化学系助教授〕	H 7.12.18 ~ H 7.12.24	ハワイ
その他、外国における産学共同教育研究実態調査等のため、長岡技術科学大学に対し経費の助成を行った。			
平成 8	山内 健〔生物系助手〕	H 8. 7.27 ~ H 8. 8. 3	アメリカ
	太田 浩之〔機械系助教授〕	H 8.10.12 ~ H 8.10.19	アメリカ
平成 9	小林 泰秀〔機械系助手〕	H 9. 7.22 ~ H 9. 7.27	韓国
	松本 珠緒〔電気系助手〕	H 9. 9. 7 ~ H 9. 9.14	イギリス
	朱 世杰〔機械系助手〕	H 9. 9.20 ~ H 9. 9.28	アメリカ

年度	渡航者	期間	主な渡航先
平成 10	助成なし		
平成 11	山田 耕一〔計画・経営系助教授〕	H11. 8.16 ~ H11. 8.21	台湾
	郁 蓮〔計画・経営系助手〕	H11. 8.22 ~ H11. 8.25	韓国
	加藤 有行〔電気系助手〕	H12. 3.12 ~ H12. 3.18	台湾
平成 12	竹下 宏樹〔化学系助手〕	H12. 7. 7 ~ H12. 7.15	ポーランド
	今田 剛〔電気系助手〕	H12. 9.15 ~ H12. 9.25	イタリア
	細山田得三〔環境・建設系助教授〕	H12. 9.25 ~ H12. 9.29	韓国
平成 13	助成なし（応募なし）		
平成 14	サラムーン アピチャート 〔環境・建設系助手〕	H14.10.20 ~ H14.10.29	フランス
平成 15	助成なし（応募なし）		
平成 16	助成なし（応募なし）		
平成 17	山田 昇〔機械系助教授〕	H17. 8. 5 ~ H17. 8.13	アメリカ
	桂 誠一郎〔電気系助手〕	H17.11. 5 ~ H17.11.11	アメリカ
	高橋 一義〔環境・建設系助手〕	H17.11. 7 ~ H17.11.12	ベトナム
平成 18	高橋 一義〔環境・建設系助手〕	H18. 7.15 ~ H18. 7.19	中国
	竹峰 秀祐〔エネルギー・環境専攻 3 年〕	H18. 7.15 ~ H18. 7.19	中国
	宮下 剛〔環境・建設系助手〕	H19. 2.18 ~ H19. 2.23	アメリカ

（※平成 19 年度～平成 22 年度は助成対象者を高専の若手教員等に拡大）

年度	渡航者	期間	主な渡航先
平成 19	吉田 正堯〔長岡技術科学大学 情報・制御工学専攻 1 年〕	H19.10. 4 ~ H19.10.10	アメリカ
	井上 誠〔富山工業高等専門学校 環境材料工学科 准教授〕	H19.11. 5 ~ H19.11. 8	韓国
	阿部 達雄〔鶴岡工業高等専門学校 物質工学科 助教〕	H19.11.10 ~ H19.11.16	アメリカ
	村上 能規〔長岡技術科学大学 物質・材料系 助教〕	H19.11.22 ~ H19.11.26	韓国
	松本 慎平〔大分工業高等専門学校 制御情報工学科 助教〕	H19.12. 8 ~ H19.12.13	台湾
	鍋島 康之〔明石工業高等専門学校 都市システム工学科准教授〕	H19.12.11 ~ H19.12.16	インド
	ブッタペン チャイナロン 〔長岡技術科学大学 エネルギー・環境工学専攻 2 年〕	H20. 1. 8 ~ H20. 1.13	アメリカ
	石田 依子〔大島商船高等専門学校 一般科目 准教授〕	H20. 1. 9 ~ H20. 1.16	ハワイ

年度	渡航者	期間	主な渡航先
平成 20	古屋 治 〔東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科 准教授〕	H20.10.11 ~ H20.10.19	中国
	南口 誠〔長岡技術科学大学 機械系 准教授〕	H20.10.26 ~ H20.10.30	韓国
	鈴木 厚行〔徳山工業高等専門学校 機械電気工学科 助教〕	H20.11. 2 ~ H20.11. 6	中国
	田嶋 拓也〔石川工業高等専門学校 電子情報工学科 助教〕	H20.12. 1 ~ H20.12. 6	インドネシア
	金 弘大〔長岡技術科学大学 エネルギー・環境工学専攻 1 年〕	H21. 1.18 ~ H21. 1.25	アメリカ
平成 21	徳安 達士〔大分工業高等専門学校 機械工学科 准教授〕	H21.10.10 ~ H21.10.18	アメリカ
	森原 崇〔石川工業高等専門学校 建築学科 助教〕	H21.10.25 ~ H21.10.29	イギリス
	佐沢 政樹〔長岡技術科学大学 電気系 助教〕	H21.11. 1 ~ H21.11. 8	ポルトガル
	杉浦 公彦〔大阪府立工業高等専門学校 総合工学システム学科准教授〕	H21.11.15 ~ H21.11.21	アメリカ
	菅井 光信〔長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻 2 年〕	H21.12.13 ~ H21.12.18	台湾
	麓 耕二〔釧路工業高等専門学校 機械工学科 准教授〕	H21.12.17 ~ H21.12.22	中国
平成 22	小野寺良二〔鶴岡工業高等専門学校 機械工学科 助教〕	H22.10.31 ~ H22.11. 4	アメリカ
	新谷 浩一〔大島商船高等専門学校 商船学科 准教授〕	H22.11.16 ~ H22.11.21	ポーランド
	田中 淑晴〔豊田工業高等専門学校 機械工学科 講師〕	H22.11.23 ~ H22.11.25	韓国
	阿部 秀樹〔鶴岡工業高等専門学校 総合科学科 准教授〕	H22.12. 8 ~ H22.12.13	ポーランド
	友坂 秀之〔群馬工業高等専門学校 物質工学科 准教授〕	H22.12.16 ~ H22.12.21	ハワイ

(4) 学間共同研究参加助成

平成6年度・平成7年度に以下の共同研究に対し、参加に必要な経費の助成を行った。

年度	プロジェクトの名称	研 究 組 織	
		長岡技術科学大学	高等専門学校
平成6	超音速流よう素レーザーの数値シミュレーション	機械系 教授 増田 渉	東京都立航空高等専門学校 講師 山田 裕一
	自己傾斜組織化したチタン合金の開発と耐環境度の向上化	機械系 助教授 岡崎 正和	富山商船高等専門学校 助教授 水谷 淳之介
	強誘電材料の開発	電気系 助教授 河合 晃 助手 ヘン ヒューブレツ	鶴岡工業高等専門学校 助手 渡辺 誠二
	化合物半導体の深い準位に関する研究	電気系 助教授 打木 久雄 助手 坪井 望	高知工業高等専門学校 講師 岸本 誠一
	放電加工用セラミックス材料の開発	化学系 教授 鎌田 喜一郎 講師 斎藤 秀俊 技官 大塩 茂夫	長野工業高等専門学校 助教授 森山 実
	Bruxismの客観的診断法に関する研究	生物系 助教授 福本 一朗	長野工業高等専門学校 教授 坂口 正雄 助手 小野 伸幸
	大学生、高専生の工学領域に関する知識の学習環境による影響についての基礎調査 ー海外技術科学教育番組を用いた視聴覚能力の比較調査ー	計画・経営系 教授 根木 昭 助手 黒田 卓	大阪府立工業高等専門学校 教授 高橋 参吉 講師 西端 律子
	パルスイオンビーム技術に関するシミュレーションコードの開発と応用	粒子ビーム工学センター 教授 八井 浄	小山工業高等専門学校 助手 今成 一雄
平成7	セラミック溶射皮膜材の疲労破壊機構の解明	機械系 教授 武藤 睦治	松江工業高等専門学校 助教授 天野 順
	小径円筒体の回転振れベクトルと偏心成分の分離評価	機械系 教授 柳 和久	長岡工業高等専門学校 助教授 山田 隆一 東京都立工業高等専門学校 助教授 深津 拓也
	計算科学における数値情報のグラフ化に関する研究	電気系 助教授 川田 重夫	米子工業高等専門学校 講師 松本 正己 富山商船高等専門学校 助手 早勢 欣和

年度	プロジェクトの名称	研 究 組 織	
		長岡技術科学大学	高等専門学校
平成 7	準一次元超伝導量子細線デバイスのテラヘルツ帯ミクサ応用に関する基礎研究	電気系 教授 濱崎 勝義	詫間電波工業高等専門学校 講師 三崎 幸典 助手 三河 通男
	原子間力顕微鏡による量子効果デバイスの試作	電気系 助教授 河合 晃	高松工業高等専門学校 助教授 鹿間 共一
	超伝導ガラスセラミックスの結晶配向制御	化学系 教授 小松 高行	鶴岡工業高等専門学校 講師 佐藤 隆士
	モレキュラー・プローブ 16S-rRNAによる水界生態系からの温室効果ガス発生能の診断	建設系 教授 原田 秀樹 助教授 大橋 晶良	長岡工業高等専門学校 助教授 荒木 信夫 呉工業高等専門学校 助手 山口 隆司
	情報通信技術を利用した高専・大学間の授業交流に関する実験的研究	計画・経営系 教授 根木 昭 教授 大里 有生 助教授 李 志東	福島工業高等専門学校 教授 小林 伸吉 教授 森川 治 助手 布施 雅彦
	総合計測制御システムの開発研究と、生体分子分光測定への応用	生物系 教授 曾田 邦嗣 助手 三木洋一郎	長岡工業高等専門学校 助手 外川 一仁
	大学と高専を結ぶ健康相談・学生相談ネットワークシステムのフィージビリティスタディ	体育・保健センター 助教授 三宅 仁 講師 塩野谷 明 計画・経営系 助手 黒田 卓	長岡工業高等専門学校 校長 岡本 祥一 大阪府立工業高等専門学校 講師 西端 律子
	照射欠陥の材料科学	技術開発センター 助教授 古曳 重美	熊本電波工業高等専門学校 助教授 大山 英典
	コンピュータ支援による選択組立の最適化	工作センター 助教授 田辺 郁男 機械系 教授 高田 孝次	福井工業高等専門学校 助手 山田 泰弘
	プラズマ中の活性粒子を用いた反応性スパッタによる機能性薄膜の作成と評価	粒子ビーム工学センター 教授 八井 浄	福井工業高等専門学校 講師 沖村 邦雄
	位相差分光法による青色発光デバイス材料の物性評価	電気系 教授 飯田 誠之	木更津工業高等専門学校 助教授 鈴木 聡
	温熱療法における生体内3次元温度分布逆推定問題に関する研究	電気系 教授 松田 甚一 講師 加藤 和夫	木更津工業高等専門学校 助教授 高橋 秀雄 助手 石川 幸治

(5) ツイニングプログラム支援助成

長岡技術科学大学とハノイ工科大学とのツイニングプログラムに対し、支援助成を行った。

・平成 17 年度のみ (金額 200,000 円)

(6) 研究助成 (実践的な技術の開発に必要な研究経費の助成)

以下の研究に対し研究経費の助成を行った。(平成 19 年度～)

年度	所属機関名	所属 職・氏名	研究課題名
平成 19	長岡技術科学大学	電気系 准教授 内富 直隆	Si 基板上に形成する赤外領域面発光 レーザ (VCSEL-on-Si) 用半導体ブラ ッグ反射鏡の開発
	長岡技術科学大学	エネルギー・環境工学専攻 1 年 竹下 慎二	ディスク形 MHD 加速機における速度 計測手法の確立
	仙台電波工業高等専門学校	電子制御工学科 助教 大場 譲	既約分解表現を用いた加速度制御系 による触覚再現ロボットの実現
	舞鶴工業高等専門学校	建設システム工学科 准教授 尾上 亮介	ホフマン窯の保存方法と地域開発に 関する研究—舞鶴市を事例として—
	宇部工業高等専門学校	経営情報学科 助教 吉川 周二	ヒステレシス効果の数理ファイナン スへの応用
	鈴鹿工業高等専門学校	生物応用化学科 助教 小川 亜希子	環境負荷の軽減を目指した、めっき加 工液に添加する防腐剤の適正量を決定 する手法の開発
	鈴鹿工業高等専門学校	材料工学科 講師 和田 憲幸	MWO ₄ (M:Mg,Ca,Zn,Si および Ba) セラ ミックス中の酸素欠損欠陥の生成機 構とその発光特性
	大分工業高等専門学校	電気電子工学科 助教 湯地 敏史 他 2 名	大気圧非平衡マイクロ波プラズマジ ェットによる癌細胞死滅にプロセス の研究
	仙台電波工業高等専門学校	電子制御工学科 准教授 矢島 邦昭	超音波を用いた腹部断面像の可視化 による体脂肪計測器の開発
	和歌山工業高等専門学校	機械工学科 助教 津田 尚明	磁気浮上を用いた制御実験装置の 開発
八戸工業高等専門学校	建設環境工学科 准教授 杉田 尚男	積雪寒冷地における冬季道路環境向 上のための分散協調型エキスパート モニタリングシステムの開発	

年度	所属機関名	所属 職・氏名	研究課題名
平成 19	宇部工業高等専門学校	物質工学科 准教授 伊藤 太二	高感度の環境ホルモン計測技術及び 高効率での分解・除去技術の開発 ー環境ホルモンに対する新規受容体 タンパク質の探索・機能解析に基づく 分子生物学的アプローチ
	松江工業高等専門学校	機械工学科 助教 新野邊 幸市	Fe-Al 系金属間化合物の積層クラッド と反応拡散を利用した低環境負荷型 製造プロセスに及ぼす Fe 基材の化学 組成の影響
平成 20	都城工業高等専門学校	機械工学科 助教 栗田 伸幸	アキシナル磁気浮上モータを用いた 両心室補助人工心臓の開発
	小山工業高等専門学校	物質工学科 助教 田中 孝国	プラズマ溶射法によるエンドトキシ ン除去フィルターの開発
	八代工業高等専門学校	土木建築工学科 准教授 岩坪 要	鋼橋の腐食状況に影響を与える環境 条件に関する研究
	米子工業高等専門学校	物質工学科 助教 谷藤 尚貴	フォトクロミック分子を用いた機能 性材料の合成
	津山工業高等専門学校	電子制御工学科 准教授 奥山 圭一	粘土鉱物シートで強化した炭素繊維 混入コンクリートの試作と、その放射 性廃棄物の貯蔵特性の取得
	仙台電波工業高等専門学校	情報工学科 助教 佐藤 貴之	音楽理論に基づいたメロディ付き 物語創作支援システムの改良
	鳥羽商船高等専門学校	制御情報工学科 准教授 坂牧 孝規	防災医療支援を目的とした小型船舶 環境下で使用する医療機器開発のた めの生体信号変動解析に関する研究
	長岡工業高等専門学校	電気電子システム工学科 助教 竹内 麻希子	パルス変調クロロフィル蛍光法によ る植物健康診断装置の開発
	長岡技術科学大学	物質・材料系 准教授 伊藤 治彦	超硬質アモルファス炭化ケイ素薄膜 の創製
	長岡技術科学大学	教育開発系 講師 松田 真希子	技術者間バリアフリーを志向する日 ー越機械翻訳システムの開発
	高知工業高等専門学校	物質工学科 准教授 秦 隆志	バクテリオファージは自然界におけ る遺伝子プールとして働くか？

年度	所属機関名	所属 職・氏名	研究課題名
平成 20	木更津工業高等専門学校	基礎学系 准教授 山下 哲	LaTeX 文書中への描画を目的として開発された、数式処理システムに付属したマクロパッケージ (KETpic) における空間曲面描画機能の強化と、その数学教育上の効果に関する研究
	群馬工業高等専門学校	電子情報工学科 助教 牛田 啓太	都市計画応用を指向したインタラクティブミュージックシステムの開発と社会実験
	函館工業高等専門学校	機械工学科 助教 中村 尚彦	食事用オーダーメイド自助具の開発
	長野工業高等専門学校	機械工学科 講師 宮下 大輔	紙の折り曲げ工程の自動化に関する基礎研究
平成 21	久留米工業高等専門学校	材料工学科 准教授 田中 慎一	交流電解法によるチタン表面への生体活性な多孔質皮膜の創成
	奈良工業高等専門学校	電子制御工学科 助教 鬼頭 みずき	粗面における衝突噴流熱伝達特性
	長岡工業高等専門学校	電子制御工学科 講師 佐藤 拓史	旋回型クレーンの操作支援システムを想定したロボスト制御
	仙台電波工業高等専門学校	電子制御工学科 助教 芳賀 仁	リアクトル・コンデンサ小容量化を実現する単相無停電電源装置に関する研究
	鹿児島工業高等専門学校	情報工学科 准教授 入江 智和	外部側インタフェースで受信したローカルブロードキャストを内部側インタフェースに転送する NAT(Network Address Translation: ネットワークアドレス変換)の拡張の提案
	都城工業高等専門学校	建築学科 助教 後藤 勝彦	強震動を受ける CFT 多層骨組の CFT 柱と H 形鋼梁の亀裂破壊に関する研究
	松江工業高等専門学校	機械工学科 准教授 山根 清美	ナノメートルすきまにおける気体の流れ特性把握の為の分子動力学法による新しい解析手法の提案
	津山工業高等専門学校	電気電子工学科 講師 西尾 公裕	音源方向を検出する CMOS 電子回路と移動体への応用

年度	所属機関名	所属 職・氏名	研究課題名
平成 21	佐世保工業高等専門学校	電気電子工学科 講師 大島 多美子	プラズマプロセス成膜による蓄光材料薄膜のサイズ効果及び触媒効果の検討
	旭川工業高等専門学校	物質化学工学科 准教授 高田 知哉	光による酸発生反応を利用した新規な紫外線計測材料の作製
平成 22	徳山工業高等専門学校	土木建築工学科 助教 海田 辰将	性能回復を意識した腐食鋼材の圧縮強度解析と残存強度評価法の改善
	木更津工業高等専門学校	環境都市工学科 准教授 鬼塚 信弘	歩行者系舗装の硬軟質路面が人体に与える影響について
	茨城工業高等専門学校	物質工学科 助教 小林 孝行	サポニンを用いた PAH 汚染土壌の新規バイオレメディエーション促進手法の開発
	岐阜工業高等専門学校	電子制御工学科 准教授 森 貴彦	パワーアシスト搬送を考慮した柔軟構造物の位置決め操作支援法の提案
	高知工業高等専門学校	機械工学科 准教授 陳 強	パリレン生体適合材料の力学特性に及ぼす真空アニールの影響
	長岡工業高等専門学校	電子制御工学科 講師 皆川 正寛	ルイス酸分子を用いた電荷発生型 Ambipolar 型有機トランジスタの開発
	広島商船高等専門学校	電子制御工学科 助教 今井 慎一	画像処理技術とものづくり教育を融合させた NC 工作機械原点計測システム構築に関する研究
	沖縄工業高等専門学校	情報通信システム工学科 准教授 兼城 千波	LiNbO ₃ /GeO ₂ 構造を持つ機能デバイスに関する研究
	大分工業高等専門学校	電気電子工学科 助教 上野 崇寿	脳内磁気刺激用電源の開発のための基礎研究
	米子工業高等専門学校	建築学科 講師 細田 智久	歴史的町並み地区における多世代が同居や近居によって支え合う持続可能な居住環境の整備技術に関する研究
	長岡技術科学大学	材料工学専攻 1年 丸岡 大佑	ナノ Ni 粒子分散 Al ₂ O ₃ ハイブリッドにおける高速き裂治癒化と高靱性化の両立
	久留米工業高等専門学校	機械工学科 助教 南山 靖博	本質的安全設計方策に基づいた空気圧ゴム人工筋による安全性の高い位置決め及び追従制御

※ 平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し

I 教育研究助成事業

1 研究助成（幅広い分野の独創的・先駆的な研究に対して必要な研究経費の助成）

以下の研究に対し研究経費の助成を行った。

年度	所属機関名	所属 職・氏名	研究課題名
平成 23	函館工業高等専門学校	物質工学科 准教授 寿 雅史	水性リチウム電池用負極材料の開発
	茨城工業高等専門学校	物質工学科 准教授 宮下 美晴	界面活性剤との錯形成を経由した キトサン誘導体の合成法の開拓
	群馬工業高等専門学校	機械工学科 准教授 平社 信人	群型空中浮遊ロボットの自律分散 協調誘導航法方式の研究
	長岡工業高等専門学校	物質工学科 准教授 田崎 裕二	キノコ香を利用した清酒製造技術の 開発に関する基礎研究
	富山高等専門学校	物質化学工学科 助教 高柳 真里子	Au/TiO ₂ 複合微粒子の機能性薄膜の 開発に関する基礎研究
	福井工業高等専門学校	物質工学科 准教授 高山 勝己	有機ハロゲン系難燃剤分解活性を 有する微生物の特性解析
	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科 准教授 野毛 悟	RF マグネトロンスパッタ法による AZO(Al doped ZnO)薄膜の形成と特 性評価
	津山工業高等専門学校	機械工学科 講師 北條 智彦	超高強度鋼の遅れ破壊特性評価の 標準化
	香川高等専門学校	機械電子工学科 准教授 逸見 知弘	車椅子転回装置の実用化に向けた 改善
	大阪府立大学工業高等専門 学校	都市環境コース 准教授 藤長 愛一郎	汚染土壌由来揮発物質の高精度大気 濃度予測に基づく健康リスク管理手 法の開発
平成 24	長岡技術科学大学	技術支援センター 技術専門職員 豊田 英之	シリコン基板上アンチモン系化合物 半導体 GaSb ヘテロエピタキシーにお ける、成長初期の結晶構造の解析及び 高品質化に関する研究
	一関工業高等専門学校	物質化学工学科 助教 中川 裕子	CBM33 がキチンの酵素分解系に与え る効果
	小山工業高等専門学校	物質工学科 准教授 田中 孝国	かんぴょう乾燥粉末を利用した新し い乾燥剤の開発

年度	所属機関名	所属 職・氏名	研究課題名
平成 24	木更津工業高等専門学校	情報工学科 准教授 米村 恵一	対象となる人物が一旦形成された個人情報とは異なる印象を持つ際にそれを認知する側の脳内情報処理過程はどのように変化するのか?
	舞鶴工業高等専門学校	電子制御工学科 助教 南 裕樹	分散型照明システム自律的省エネ制御
	奈良工業高等専門学校	電子制御工学科 助教 中村 篤人	音波共鳴管による水の蒸発係数測定と温度依存性に関する検証
	宇部工業高等専門学校	物質工学科 講師 島袋 勝弥	イオン液体による分子モーターの力学的出力のモジュレーション
	久留米工業高等専門学校	生物応用化学科 准教授 松山 清	超臨界流体を用いた多孔性配位高分子の合成と CO2 分離膜としての利用技術の開発
	有明工業高等専門学校	建築学科 准教授 岩下 勉	機械切欠きを有する 3 点曲げ試験片における切欠き深さの違いが脆性破壊の発生に及ぼす影響
	沖縄工業高等専門学校	情報通信システム工学科 准教授 兼城 千波	微細配線のための Micro-Spring プローブ/ワイヤの作製
平成 25	長岡技術科学大学	エネルギー・環境工学専攻 3 年 佐藤 雄哉	景観協定の活用実態とその課題に関する研究
	函館工業高等専門学校	物質環境工学科 准教授 寿 雅史	ゾルーゲル法による水性リチウム電池用コーティング材料 Li _{1.5} Al _{0.5} Ge _{1.5} (PO ₄) ₃ の開発
	小山工業高等専門学校	一般科 准教授 山西 敏博	高専生に対する「絵本」を活用した「精神的癒しの効果」に関する研究 -英語教育からの認知心理学的応用アプローチ-
	木更津工業高等専門学校	機械工学科 助教 小川 登志男	Ni-Ti 超弾性合金の水素脆化特性に及ぼす水素の存在状態の影響
	長野工業高等専門学校	機械工学科 講師 小林 裕介	「ものづくりコンテスト」による実践型エンジニアリングデザイン教育
	呉工業高等専門学校	自然科学系分野 准教授 田中 慎一	蛍光性金属ナノクラスターの開発とそれらを利用した新規の太陽光発電システムの構築
	新居浜工業高等専門学校	環境材料工学科 助教 平澤 英之	交流磁場中で著しく発熱するガーネット型フェライト微粒子の開発とがんの誘導焼灼治療への応用

年度	所属機関名	所属 職(学年)・氏名	研究課題名
平成 25	久留米工業高等専門学校	機械工学科 助教 南山 靖博	定荷重領域の広い定荷重バランスの 開発
	久留米工業高等専門学校	生物応用化学科 准教授 石井 努	ドナー・アクセプター分子の自己会合 による蛍光 OFF-ON 型生体検出
	都城工業高等専門学校	物質工学科 講師 高橋 利幸	微細藻類の増殖誘導能を有する人工 分子の分子構造解析と当該分子によ るバイオ燃料候補成分(糖類・脂質)の 総収量への影響
平成 26	長岡技術科学大学	機械創造工学専攻 1年 山下 直樹	3D Factory 設立・運営を通じての “3づくり”の実現
	函館工業高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 中野 翔馬	ソナーを用いた魚群探知機における データ伝送方法の開発
	秋田工業高等専門学校	環境システム工学専攻 2年 佐藤 丈実	安定同位体比を用いた八郎湖流域にお ける人為負荷由来の亜酸化窒素間接発 生量の推定
	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 金井 綾香	同時蒸着法を用いたレアメタルフリー 新材料Cu ₂ SnS ₃ 薄膜太陽電池のサブモジ ュール化
	福井工業高等専門学校	環境システム工学専攻 1年 松浦 和也	混合分散染料分析のための 3次元蛍光 スペクトルデータベースの構築
	奈良工業高等専門学校	化学工学専攻 2年 盤井 秀香	高機能な薬剤カプセルの調製を目指し て-非イオン性界面活性剤を用いた自 己集合体の選択的調製と特性評価に基 づいた薬剤カプセルへの応用-
	米子工業高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 松本 凌	電極性能の劣化過程を 3次元的に可視 化する表面分析ソフトウェアの開発
	米子工業高等専門学校	物質工学専攻 2年 野々村 拓也	光線力学療法用光増感剤の合成と評価
	沖縄工業高等専門学校	創造システム工業専攻 2年 大城 龍之助	バイオイメージングを応用した炭化水 素生産微細藻類が生産する脂肪酸の簡 易評価系開発
	沖縄工業高等専門学校	創造システム工業専攻 2年 比嘉 一葉	バイオレメディエーション用石油分解 細菌の全ゲノム解析とアルカン類分解 資化の代謝機構の解明

年度	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名
平成 27	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻 1年 丸山 祐樹	電気二重層キャパシタの高容量化に向けたマルチチャージ型電解質の開発
	木更津工業高等専門学校	電子システム工学専攻 2年 永沼 和也	羽ばたき型飛行ロボット実用化に向けた流体力学的メカニズムの解明
	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 江部 日南子	塗布型ペロブスカイト太陽電池のサブモジュールへの応用のための技術開発
	石川工業高等専門学校	電子機械工学専攻 2年 徳野 隆介	A C サーボシステムの操作量飽和対策に関する研究
	鈴鹿工業高等専門学校	電子機械工学専攻 1年 坂本 拓朗	白金ナノ粒子の二層構造化による触媒作用の活性化
	奈良工業高等専門学校	化学工学専攻 2年 近山 友梨	より良い透析膜の開発を目指して -人工透析膜におけるタンパク質の吸着特性と相互作用の解明-
	香川高等専門学校	創造工学専攻 1年 松本 一輔	球状 Si 太陽電池用の均一径 Si 球の製造：電場印加による液滴合体防止
	大分工業高等専門学校	機械・環境システム工学専攻 1年 麻生 更紗	製鋼スラグを対象とした地球環境負荷定低減型対応の緩速炭酸化処理技術の開発
	沖縄工業高等専門学校	創造システム工学専攻 2年 照屋 未来	1550 nm帯 OFDM 変調 RoF における光波長多重通信と周波数多重通信の研究
	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 2年 大倉 拓磨	大気圧低温プラズマを利用した酸化亜鉛薄膜の低温・高速一括成膜法の開発
平成 28	長岡技術科学大学	生物統合工学専攻 2年 太刀川 彩保子	ヒト iPS 細胞を用いたサリドマイドの胎児毒性試験法の開発
	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻 1年 永沼 和也	High-k 材料を用いた酸化物半導体薄膜トランジスタの開発
	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 矢萩 諭紀	難揮発性と耐熱性を有するダブルネットワーククイオンゲルの作製
	木更津工業高等専門学校	制御・情報システム工学専攻 2年 福原 直也	神経難病者のためのコミュニケーション支援システムの開発
	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 2年 町田 悠	バイオ医薬品生産を目指したミミズ形質転換法の開発

年度	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名
平成 28	奈良工業高等専門学校	化学工学専攻 2年 木村 汐里	新規 n 型半導体の合成開発・物性 評価-
	松江工業高等専門学校	生産・建設システム工学 専攻 1年 木村 圭佑	Click chemistry(新規蛍光増幅技術) を 用いた微生物視覚的検出技術の開発
	有明工業高等専門学校	建築学専攻 1年 上野 卓実	高性能な RC 造柱梁接合部の開発
	熊本高等専門学校	電子情報システム工学 専攻 2年 草野 欽太	非熱エネルギー重畳法による“IV 族半 導体結晶 on 絶縁基板”形成温度の低 温化 (≤150°C)
	鹿児島工業高等専門学校	機械・電子システム工学 専攻 2年 川原 和也	インクジェット法を用いた透明導電 膜に関する研究
平成 29	長岡技術科学大学	機械創造工学専攻 1年 塩谷 昌行	3D 工作ツールの知育・教育への役割； 新時代の教育を提供する先進的アプ リケーションの活用
	群馬工業高等専門学校	環境工学専攻 2年 小野塚 洸太	Si ナノクラスター含有多孔質炭素小 球体負極材料の作製
	木更津工業高等専門学校	機械・電子システム工学 専攻 2年 板澤 磨央	複数の前縁フラップの組合せによる デルタ翼の空力特性の改善
	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 伊佐 猛	物質生産やバイオアッセイを可能と するミミズ細胞培養系の開発
	長野工業高等専門学校	電気情報システム専攻 2年 南澤 拓法	ナノ空間を利用した超高容量エネル ギーデバイス用電極の開発
	和歌山工業高等専門学校	エコシステム工学専攻 2年 湊 絵美	買い物支援サービス導入による都市 への副次的影響に関する推計モデル の開発
	呉工業高等専門学校	プロジェクトデザイン 工学専攻 2年 大室 拓也	縦渦を利用した円柱翼風車の技術開 発研究
	阿南工業高等専門学校	電気・制御システム工学 専攻 1年 古川 敦史	有機無機ハイブリッドフィルムにお ける局所電界による 3次元粒子配列 制御
	新居浜工業高等専門学校	生物応用化学専攻 2年 内田 聖人	AOT によるタンパク質沈殿分離法を 利用した変性タンパク質のリフォー ルディング

年度	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名
平成 29	北九州工業高等専門学校	生産デザイン工学専攻 2年 猿橋 拓弥	自動洗濯物折り畳みシステムの開発
	熊本高等専門学校	電子情報システム工学 専攻1年 西嶋 泰樹	非加法的測度を用いたオノマトベによる疼痛の数値表現
平成 30	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻 1年 日下部 太星	頭部の随意動作によるハンズフリー操作型電動車椅子の実用化研究
	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 2年 三上 和也	ナノ微細構造を持つ有機顔料色素の活性酸素による退色反応機構に関する研究
	米子工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 山田 知宏	テトラエチルアンモニウム p-トルエンスルホナートを活用した電解反応におけるリグニンの効率的分解反応の開発
	松江工業高等専門学校	生産・建設システム工学 専攻1年 水田 裕貴	畜産排水を対象とした水処理装置内の微生物同定と多様性解析
	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻 1年 岸田 里保	白色LEDへの応用を目指した新規白色蛍光ガラスの作製と各種特性評価
	北九州工業高等専門学校	生産デザイン工学専攻 1年 野元 聖矢	ビスマス系複合酸化物微粒子の調製とキャラクタリゼーション
	都城工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 蔵下 はづき	長岡市「大口レンコン」栽培圃場の線虫害防除を目指した Bacillus 属細菌の寄生性線虫防除機構の解明
	鹿児島工業高等専門学校	機械・電子システム工学 専攻2年 日高 輝	銀を用いたフレキシブルな多層型透明導電膜に関する研究
	東京都立産業技術高等専門学校	創造工学専攻 2年 須田 優駿	デトネーション管内を伝播する燃焼波の圧力上昇及び伝播速度分布計測用コンビネーションプローブの開発
	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 2年 安田 匠	GaN パワーデバイスの高周波動作を活かした超小型高昇圧比絶縁 DC-DC コンバータの開発
令和元	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻 1年 西村 涼汰	大気圧マイクロプラズマを用いた DLC 薄膜のオンサイト合成
	小山工業高等専門学校	複合工学専攻 1年 伊澤 優太	磁気センサを用いた非破壊計測手法による燃料電池診断・制御方法の検討

年度	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名
令和元	長野工業高等専門学校	電気情報システム専攻 2年 小林 希	電界紡糸を用いた異種物質混合による微細空間の創製と超高容量リチウムイオン電池用負極材料の開発
	鈴鹿工業高等専門学校	総合イノベーション工学 専攻2年 鈴木 啓耀	新規半導体プロセス開拓のための準溶融表面液相エピタキシャル結晶成長の精密制御
	奈良工業高等専門学校	物質創成工学専攻 2年 杉村 春奈	自己集合体の立体的溶媒としての応用：反応物質の自己集合体中での階層的な親水・疎水性の違いを利用した配向制御とエポキシ化反応
	和歌山工業高等専門学校	メカトロニクス工学専攻 1年 堀内 睦之	マルチマテリアル化に向けた熱可塑性 CFRP の革新的な融着接合技術の開発と接合挙動評価
	呉工業高等専門学校	プロジェクトデザイン 工学専攻 2年 木村 颯	縦渦を駆動力とする円柱翼風車の開発研究
	香川高等専門学校	電子情報通信工学専攻 2年 杉村 高弘	妨害波電界強度測定前点検用楕円パッチアンテナの設計と評価
	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻 1年 川堀 龍	新規生体材料としてのbcc型ハイエントロピー合金の開発
	佐世保工業高等専門学校	複合工学専攻 2年 川添 皓平	生物の判別動作を参考にした判別電子回路
令和2	八戸工業高等専門学校	産業システム工学専攻 1年 上野 晴奈	口腔癌患者のQOL向上を目的とした新規癌温熱治療装置の開発
	仙台高等専門学校	情報電子システム工学 専攻2年 片山 堅斗	微量放射能測定を実現する可搬型非破壊検査装置の開発
	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 五十嵐 優	高齢者がん患者用診断・治療を目的とした光感受性化合物のフラスコ合成による機能化
	奈良工業高等専門学校	システム創成工学専攻 2年 宮奥 晃希	3DW-BOS法を用いた、衝撃波閉じ込め現象の定量的測定
	呉工業高等専門学校	プロジェクトデザイン 工学専攻 2年 藤本 健明	縦渦駆動円柱翼風車における縦渦制御の技術開発
	高知工業高等専門学校	物質工学専攻 2年 天久 海希	ウルトラファインバブルを用いたサーファクタントフリーエマルション作製技術に関する研究

年度	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名
令和 2	久留米工業高等専門学校	物質工学専攻 2年 吉瀬 里穂子	リン光発光性結晶の会合構造制御による白色発光の創出
	大分工業高等専門学校	電気電子情報工学専攻 2年 原尻 駿吾	簡素なナノ構造の光渦励起による多重極子型プラズモン共鳴とその選択性に関する研究
	都城工業高等専門学校	機械電気工学専攻 2年 内村 友宏	大規模量産化に適した希少金属・有毒元素フリーな新規Ag系化合物薄膜太陽電池の開発
	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 1年 長谷 元気	高密度・高効率・高信頼性を同時に実現する三巻線結合インダクタを用いた高昇圧比電力変換器の開発
令和 3	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 工藤 礼士	スピコート法による $\text{CuCl}_2 \cdot x\text{H}_2\text{O}$ を用いた銅ハライド系太陽電池の作製および効果
	小山工業高等専門学校	複合工学専攻 2年 小松原 圭亮	5Gネットワークアーキテクチャに基づくカメラ型小学生登下校見守りシステムの実証
	木更津工業高等専門学校	制御・情報システム工学専攻 2年 影山 稚紘	太陽光型植物工場における遠隔コントロール型空間 $\text{H}_2\text{O}/\text{CO}_2$ 計測IoTシステムの開発
	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 五十嵐 梨紗	ミミズ細胞株の構築並びに細胞へのトランスフェクション法の開発
	奈良工業高等専門学校	システム創成工学専攻 2年 小川 奈那子	能動制御キャスターの開発（能動制御台車の4輪化）
	松江工業高等専門学校	生産・建設システム工学専攻 1年 村上 穂香	ポリウレタンスポンジを用いたバイオリアクターによる comammox 細菌の集積培養の試み
	呉工業高等専門学校	プロジェクトデザイン工学専攻 1年 西林 寛大	血中DNA分解酵素から各種疾患の早期発見が可能なデバイス開発
	高知工業高等専門学校	ソーシャルデザイン工学専攻 1年 小松 晃也	2・3次元振動台を用いた立面・平面形状の複雑な免震建物振動モデルの振動実験
	久留米工業高等専門学校	機械・電気システム工学専攻 2年 豊田 桃子	クワッドロータの動特性再測定を要しないLADRCとLQR法を応用した高精度飛行制御に関する研究
	佐世保工業高等専門学校	複合工学専攻 2年 井元 乃絵	温和な条件下において作製可能な天然高分子由来ゲル化剤の開発と脂肪組織工学への応用

年度	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名
令和 3	熊本高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 木永 真聖	高力ボルト接合された鋼ブレース添板の座屈に関する実験的研究
	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 2年 石谷 文絵	電気回路網の双対原理を用いた新しいパッシブ高降圧比整流器の開発
令和 4	長岡技術科学大学	機械創造工学専攻 2年 岡田 瞬	マイクロ流体デバイスを用いた人工細胞型発電システムの創製
	長岡技術科学大学	機械創造工学専攻 2年 赤井 大夢	ATPの濃度測定を目指した人工DNAレセプターの新製
	長岡技術科学大学	技術科学イノベーション専攻 GD5 高樋 美佳	ヒト心臓の再生に向けて：ゼブラフィッシュを用いた、ヒトiPS由来心筋異種間移植モデルの開発
	八戸工業高等専門学校	産業システム工学専攻 1年 黒沢 航二郎	医師の技量に依存しない皮膚癌の定量的診断を実現する非侵襲診断装置の開発
	秋田工業高等専門学校	グローバル地域創生工学専攻 1年 折野 円香	生体高分子および合成高分子を用いた時間温度依存型インジケータの開発
	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 五十嵐 優聴	ゾルゲル・ディップコート法を用いた低コスト環境調和型太陽電池材料であるCu ₂ SnS ₃ 薄膜の作製
	小山工業高等専門学校	複合工学専攻 2年 小林 明珠	PTPを用いた高精度な時刻ドリフト特性の抽出と、セキュリティ向上のための機器識別手法の開発
	小山工業高等専門学校	複合工学専攻 1年 渡邊 海斗	フラクタルモデルと遺伝的アルゴリズムによる3D風景データのプロシージャル技術の研究
	木更津工業高等専門学校	機械・電子システム工学専攻 1年 香川 詩花	鳥の飛行を規範とした革新的飛行体の開発
	木更津工業高等専門学校	制御・情報システム工学専攻 1年 島津 康平	メタ認知発生時における脳機能信号解析（統合脳機能信号解析システムの開発）
	木更津工業高等専門学校	制御・情報システム工学専攻 1年 藤平 翔太	認知検出クリッカーを用いたメタ認知トレーニング手法の検討・評価
	木更津工業高等専門学校	制御・情報システム工学専攻 2年 野口 蓮太	植物工場における環境データと植物体生育時系列データのモデル化

年度	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名
令和 4	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 橘 駿介	ミリオンスクリーニングシステムを活用した環境土壌中からの油脂生産微生物スクリーニングシステムの開発
	豊田工業高等専門学校	建設工学専攻 1年 筧 優祐	暖温帯二次林の斜面に生育するコナラの樹幹流水質と樹木直下の土壌微生物群集構造の解明
	鈴鹿工業高等専門学校	総合イノベーション工学専攻 2年 木村 知喜	表面融液のファセット成長を応用した自己修復可能なナノ電子源の開発
	米子工業高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 足立 凜	有害鳥類撃退を目指したエッジ AI × ドローン自動制御システムの開発
	米子工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 八尾 颯斗	糖を光増感剤に合わせ持つ分子設計の有効性と細胞深部への PDT 実現を志向した研究
	呉工業高等専門学校	プロジェクトデザイン工学専攻 1年 町 依路	交流電気浸透流および抗原抗体反応を用いたエクソソーム収集デバイスについての検討
	大島商船高等専門学校	電子・情報システム工学専攻 2年 小野坂 成龍	デスクトップ型 ECR イオンビーム装置による外付け蒸発源を用いた金属イオン生成の検証
	香川高等専門学校	創造工学専攻 2年 上高 正寛	全天球カメラを使用した橋梁 3次元モデル構築の効率化及び高品質化に関する研究
	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻 2年 藤田 涼雅	原子空孔欠陥がもたらすナノヘマタイト光触媒の高活性化メカニズムの解明
	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻 1年 高橋 凪	新規生体用ミディアムエントロピー合金の相安定性
	高知工業高等専門学校	ソーシャルデザイン工学専攻 1年 野並 玲奈	炭素-炭素結合切断を基軸とする機能的有機材料の新規合成法
	久留米工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 長野 太洋	細孔径と酸点の存在位置が精密制御された高寿命セルロース加水分解触媒の開発
	久留米工業高等専門学校	機械・電気システム工学専攻 1年 鐘ヶ江 泰成	探索方向を逐次更新する下顎輪郭線追跡法を応用した研究

年度	所属機関名	所属 学年・氏名	研究課題名
令和4	久留米工業高等専門学校	機械・電気システム工学 専攻1年 宮下 美里	機械学習を用いた医用画像における 経年変化の可視化手法に関する研究
	北九州工業高等専門学校	生産デザイン工学専攻 1年 野村 光	ガン診断薬への応用を目指した新規 ヒト型ナノ抗体の作製と評価系の 構築
	熊本高等専門学校	生産システム工学専攻 1年 宅島 幸正	自動動作を想定した検証用移動ロボ ットの汎用主構造の設計及び製作
	熊本高等専門学校	生産システム工学専攻 1年 日迫 友也	2次元LiDARとDepthカメラを用いた 床面積測定ロボットのアルゴリズム 開発
	熊本高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 赤澤 奏耶	紙型を用いた金属板の高速成形にお ける紙材の変形評価
	熊本高等専門学校	生産システム工学専攻 2年 松岡 歩	海中爆破処理の環境への影響評価の ための小規模モデル中の衝撃波特性 評価試験
	鹿児島工業高等専門学校	機械・電子システム工学 専攻2年 松久保 寧	金属導体の添加による透明導電膜の 電気的特性改善
	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 2年 遠藤 優介	プラズマアクチュエータによるeV TOL用ダクトファンのインレット リップ流れ剥離の抑制
	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 1年 若林 楓真	4光束ダブルヘテロダイン軸外偏光 干渉計による高ダイナミックレンジ 膜厚測定
	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 1年 森中 直也	太陽光発電システムの普及に向けた インバータの負荷推定技術
	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 1年 大西 達也	運動機能回復のための低コストなデ バイスを用いたBCI-FESシス テムの構築
	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 2年 原田 遼太郎	画像からの高速な物体検出手法の提 案と応用

(7) 実践的教育研究奨励助成（外国での実務訓練に対する助成）

長岡技術科学大学の学生を対象に以下の助成を行った。（平成7年度～）

年度	氏名	期間	実務訓練先
平成7	高津 雅一	H7.10～約5か月	サセックス大学（英国）
	浜田 和也	〃	〃
	中松 哲也	〃	〃
平成8	佐藤 有美	H8.9～約5か月半	サセックス大学（英国）
平成9	富樫 健太 〔環境システム工学課程〕	H9.9～約5か月半	サセックス大学（英国）
平成10	助成なし		
平成11	小林 悟志〔建設工学課程〕	H11.9.8～H12.2.29	マニトバ大学（カナダ）
	ニャマー ガンバー 〔建設工学課程〕	〃	オタワ大学（カナダ）
平成12	海外で行う実務訓練学生18名に対し、学資の一部助成を行った。（一人あたり5,500円分の図書券を進呈）		
平成13	諸外国における産学共同の実態および実践的な課題等について調査・研究する学生24名に対し、学資の一部助成を行った。（一人あたり4,000円分の図書券を進呈）		
平成14	諸外国における産学共同の実態および実践的な課題等について調査・研究する学生33名に対し、学資の一部助成を行った。（一人あたり3,000円分の図書券を進呈）		
平成15	諸外国における産学共同の実態および実践的な課題等について調査・研究する学生24名に対し、学資の一部助成を行った。（一人あたり4,000円分の図書券を進呈）		
平成16	諸外国における産学共同の実態および実践的な課題等について調査・研究する学生38名に対し、学資の一部助成を行った。（一人あたり2,500円分の図書券を進呈）		
平成17	諸外国における産学共同の実態および実践的な課題等について調査・研究する学生42名に対し、学資の一部助成を行った。（一人あたり10,000円分の図書券を進呈）		
平成18	諸外国における産学共同の実態および実践的な課題等について調査・研究する学生49名に対し、学資の一部助成を行った。		
平成19	諸外国における産学共同の実態および実践的な課題等について調査・研究する学生44名に対し、旅費の一部助成を行った。		
平成20	諸外国における産学共同の実態および実践的な課題等について調査・研究する学生47名に対し、旅費の一部助成を行った。		
平成21	諸外国における産学共同の実態および実践的な課題等について調査・研究する学生47名に対し、奨励助成を行った。		

年度	所属・氏名	実務訓練におけるテーマ	実務訓練先
平成 22	生物機能工学課程 佐藤 夏美	光学的手法を用いた新規細胞機能・遺伝子発現解析法の開発	ジュネーヴ大学 (スイス)
	生物機能工学課程 伊藤 淳平	細胞内小器官のカルシウム濃度測定	ジュネーヴ大学 (スイス)
	材料開発工学課程 中林 志達	キトサン膜の再生生体組織への応用に関する研究	モンテレイ工科大学 (メキシコ)
	材料開発工学課程 井田 博詞	陶磁器用の Glaze の調整	グアナファト大学 (メキシコ)
	機械創造工学課程 箕輪 大輝	メキシコツインニングプログラムにおける日本語ティーチングアシスタント	モンテレイ工科大学 (メキシコ)
	生物機能工学課程 金子 隆明	ニコチンの電位依存性カリウムチャンネルに対する直接作用	ピッツバーグ大学 (米国)

※ 平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し

I 教育研究助成事業

- 2 海外市場探究奨学金（海外における産業、社会を積極的に探究する学生への奨励助成）
長岡技術科学大学の学生を対象に以下の助成を行った。

年度	所属・氏名	テーマ	渡航先
平成 23	機械創造工学課程 角島 悠太	都市化が進むチェンナイの産業の変化	インド
	電気電子情報工学課程 松田 理絵	ドイツにおける日本製工業品及び その他工業製品の普及調査	ドイツ
	電気電子情報工学課程 杉山 敬香	マレーシア半島における産業動向と 生活状況	マレーシア
	電気電子情報工学課程 諸橋 和真	広告から見るマレーシア経済の今と これから	マレーシア
	電気電子情報工学課程 山仲 芳和	民族・宗教から生じる文化の違い及び 現地での生活水準と将来求められる製 品・サービスの調査	マレーシア
	生物機能工学課程 仲村渠 志郎	シンガポールにおける公共交通機関の 発展	シンガポール

年度	所属・氏名	テーマ	渡航先
平成 24	機械創造工学課程 山中 成美	チェンナイ地方における大学と産業との結びつき	インド
	電気電子情報工学課程 佐藤 航	熱帯地域、複合民族国家であるシンガポールの生活の調査	シンガポール
	電気電子情報工学課程 泉田 恵介	伝統的な価値と近代化・科学技術の共存	イギリス
	建設工学課程 鍋島 渉	ベトナム中部主要都市ダナンにおける産業及び物流の現状	ベトナム
	生物機能工学課程 柴崎 雄基	高い人口密度と経済の共存	シンガポール
	生物機能工学課程 石川 有希華	自動電子料金徴収システム“ERP”の調査	シンガポール
平成 25	機械創造工学課程 作花 拓	インドの経済成長と生活水準	インド
	電気電子情報工学課程 長澤 忍	国内バイクメーカーの今後の市場拡大先としてのインド	インド
	材料開発工学課程 長谷川 眞也	メキシコ グアナファト州における産業変遷とそれによる人々の暮らしの変化	メキシコ
	環境システム工学課程 林 真那	タイの学生生活からみる今後の発展の可能性	タイ
	環境システム工学課程 三浦 克恵	セカンドホームや教育のため移住した人々が魅せられた理由から推察できる今後のマレーシアの経済の動向	マレーシア
	生物機能工学課程 新田 美春	シンガポールにおける学習教材の内容と値段	シンガポール
平成 26	機械創造工学課程 松浦 傑	オーストラリア・シドニー州の化粧品 の販売経路と日本企業参入についての検討	オーストラリア
	機械創造工学課程 高桑 勇太	スペインにおける自動車市場の探究	スペイン
	材料開発工学課程 目黒 燎	鉄道について	イギリス
	材料開発工学課程 平 楓吹	メキシコ、グアナファト州における 日系自動車産業の進出状況	メキシコ

年度	所属・氏名	テーマ	渡航先
平成 26	環境システム工学課程 塩澤 大和	タイにおける水事情からみる経済の発展の可能性	タイ
	生物機能工学課程 加藤 史子	アメリカ主要都市のひとつマイアミにおけるニーズと物流の調査	アメリカ合衆国
	生物機能工学課程 杉山 あてな	世界一労働時間の短いオランダの労働環境と産業の変遷	オランダ
平成 27	機械創造工学課程 佐藤 靖徳	近年著しい経済成長をしているインドの都市部のくらしとそこに普及する日本製品について	インド
	電気電子情報工学課程 大西 彦紀	イギリスの先進国としての伝統的文化及び近代的科学技術の共存	イギリス
	材料開発工学課程 馬場 勇至	英国の航空産業の探究	イギリス
	建設工学課程 平澤 佑太	日本企業と今後のタイの産業動向	タイ
	建設工学課程 塚本 尚規	スペインでの交通機関・交通手段について	スペイン
	環境システム工学課程 奏 裕弥	ベトナムの Wi-Fi 事情からみる経済状況と今後の見込み	ベトナム
	環境システム工学課程 中澤 駿一	タイ王国における SNS が及ぼす市場への波及効果について	タイ
平成 28	経営情報システム工学課程 天野 崇広	タイの交通事情から見る経済発展の見込みと地方格差	タイ
	電気電子情報工学課程 廣澤 克儀	タイに日系企業が進出する理由と、サッカーにおける日本との経済的な結びつきについて	タイ
	電気電子情報工学課程 長尾 和樹	イギリスにおける「パブ文化」が現代社会にもたらす作用	イギリス
	生物機能工学課程 中園 孝平	インドにおける交通状況	インド
	建設工学課程 宇井 智章	・インドでの暮らしの中の日本製品 ・インドにおける交通機関の現状	インド
	建設工学課程 井上 晋太郎	タイ王国におけるコンビニエンスストアの存在と影響	タイ

年度	所属・氏名	テーマ	渡航先
平成 29	機械創造工学課程 畑里 和雄	インドネシアにおける経済発展状況	インドネシア
	電気電子情報工学課程 中川 隼輔	チェンナイにおける歴史や伝統的建造物の保存と産業の関係性	インド
	経営情報システム工学課程 浅野 大樹	タイにおける日本文化の影響と産業的変容	タイ
	経営情報システム工学課程 石谷 友宏	タイの食品衛生状態から見る経済状況と今後の見込み	タイ
	生物機能工学課程 牛澤 美樹	シンガポールの生活と普及している日本製品について	シンガポール
	生物機能工学課程 武田 嶺花	シンガポールにおける日本企業の進出と今後の見込み	シンガポール
	建設工学課程 山本 一貴	ダナンにおける海岸利用について、現状と今後の発展	ベトナム
平成 30	生物機能工学課程 内山 玄太郎	シンガポールで普及している日本製品の現状と今後について	シンガポール
	機械創造工学課程 伊藤 萌乃芽	シドニーにおける日系企業の進出および今後の展望	オーストラリア
	機械創造工学課程 宮川 知也	IT産業が盛んなインドにおける電子機器の調査	インド
	電気電子情報工学課程 久野 裕由	海を渡った日本食の変化	オーストラリア
	機械創造工学課程 齋藤 尚人	タイにおける経済状況と今後の見込み	タイ
	機械創造工学課程 上村 海	世界のIT産業における現在のインドの立ち位置と今後の発展について	インド
	機械創造工学課程 皆川 泰輝	タイの食品衛生に関する調査	タイ

年度	所属・氏名	テーマ	渡航先
令和元	機械創造工学課程 畑中 智江	インドの現代食文化	インド
	電気電子情報工学課程 大田 迪広	イギリスヨークの街並みや建造物に関する歴史（日本との違い）	イギリス
	機械創造工学課程 荒木 浩考	マレーシア・ペナン島における交通機関	マレーシア
	電気電子情報工学課程 乾 健太郎	オーストラリアにおける道路交通事情	オーストラリア
	機械創造工学課程 小柏 悠太郎	物価から見るベトナム都市部のインフレ事情	ベトナム
	機械創造工学課程 遠藤 浩毅	スペインバスク地方での電化製品店にある、電化製品の相場と日本企業製品	スペイン
令和2	長岡技術科学大学の令和2年度海外実務訓練が中止になったため、実施なし。		
令和3	長岡技術科学大学の令和3年度海外への実務訓練生の派遣が中止になったため、実施なし。		
令和4	環境社会基盤工学課程 藤本 泰地	ベトナムの食品市場の変遷と食品衛生の現状	ベトナム
	環境社会基盤工学課程 酒井 大翔	タイにおけるライドシェアサービスの実態、及び日本におけるサービス展開の可能性に関する調査	タイ



海外市場探究奨学金報告会の様子



海外市場探究奨学金報告書




イメージ

2. 教育研究機関と産業界等との連携・交流の実施

(1) 産学共同教育研究問題検討会の開催（産業界等と教育研究界からなる検討会の実施）

年度	件名・開催日等
昭和 57	<p>*「産学協同研究の明日を拓く長岡シンポジウム」</p> <p>主催：本会 開催日：昭和 57 年 11 月 29 日(月) 開催場所：長岡文化会館</p> <p>パネラー：居林 次雄〔(社)経済団体連合会国際経済部長〕 大山 梅雄〔(株)ツガミ取締役社長〕 川上 正光〔長岡技術科学大学長〕 河野 石根〔文部省学術国際局研究助成課長〕 小林 孝平〔長岡市長〕 小林 啓美〔東京工業大学研究・情報交流センター長〕 関 昭一〔新潟県副知事〕 西 成基〔豊橋技術科学大学副学長〕 平戸 正尚〔通商産業省工業技術院次世代産業技術企画官〕 齋藤 進六〔本会理事長〕</p> <p>参加者：新潟県、長岡市、地元企業及び長岡技術科学大学関係者 約 300 名</p> 
昭和 58	<p>*「産学協同国際シンポジウム」</p> <p>主催：電気学会東京支部（本会後援） 開催日：昭和 58 年 4 月 17 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>パネラー：R.G.Hoft〔ミズーリコロンビア大学〕 T.A.Lipo〔ウィスコンシン大学〕 D.Naunin〔ベルリン大学〕 V.R.Stefanovic〔ゼネラル・エレクトリック社〕</p> <p>参加者：長岡技術科学大学教職員・学生、電気学会新潟支所所属会員等</p>
	<p>*「次代の研究開発を担う研究者・技術者を語る長岡シンポジウム」</p> <p>主催：本会 開催日：昭和 59 年 1 月 17 日(火) 開催場所：北越銀行本店ホール</p> <p>パネラー：居林 次雄〔(社)経済団体連合会国際経済部長〕 植木 浩〔文部省学術国際局審議官〕 慶伊 富長〔沼津工業高等専門学校長〕 小林 孝平〔長岡市長〕 榊 米一郎〔豊橋技術科学大学長〕 長島 英雄〔通商産業省立地公害局企画官〕 斑目 力曠〔ネミック・ラムダ(株)代表取締役社長〕</p> <p>司会：齋藤 進六〔長岡技術科学大学長〕</p> <p>参加者：企業関係者、一般市民、長岡技術科学大学教職員 約 200 名</p> 
昭和 59	<p>*「明日の技術都市長岡を考える市民シンポジウム」</p> <p>主催：(財)長岡テクノポリス開発機構（本会共催） 開催日：昭和 59 年 7 月 18 日(水) 開催場所：北越銀行本店ホール</p> <p>パネラー：岡部 冬彦〔漫画家〕 高橋柵太郎〔新潟県商工労働部長〕 日浦晴三郎〔長岡市長〕 津端 一郎〔長岡技術科学大学教授〕 丸山 一雄〔長岡商工会議所副会頭〕 重山 六郎〔(株)新潟鉄工所長岡工場長〕 小西 統雄〔市民代表〕 江口 郁子〔市民代表〕</p> <p>コーディネーター：南野 竹男〔(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事〕</p> <p>参加者：事業所、行政機関、学術研究機関、一般市民 約 300 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
昭和 59	<p>* 「昭和 59 年度実務訓練シンポジウム」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開 催 日：昭和 60 年 3 月 12 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「実務訓練の実施方法及び問題点 ―テーマの設定について―」 パネラー：小谷 重遠〔(株)神戸製鋼所人事部企画担当課長〕 石原 直〔日本電信電話公社研究開発本部調査役〕 姜 砂男〔(株)クラレ中央研究所第一研究室長〕 稲沢 秀行〔(株)東京鉄骨橋梁製作所橋梁設計部長〕 コメンター：小林 清〔トヨタ車体(株)第 2 技術部長〕 谷口 晃〔安立電気(株)計測器事業部第 3 技術部第 2 課長〕 佐藤 栄一〔H O Y A(株)人事部人事課長〕 土谷 尚〔基礎地盤コンサルタンツ(株)技術センター部長代理〕 五十嵐昭男〔長岡技術科学大学教授〕 栗田 政則〔 〃 助教授〕 高田 孝次〔 〃 助教授〕 丸林 元〔 〃 教授〕 宮原 誠〔 〃 助教授〕 三山 創〔 〃 教授〕 鎌田喜一郎〔 〃 助教授〕 清水 敬二〔 〃 教授〕 桃井 清至〔 〃 助教授〕 鳥居 邦夫〔 〃 助教授〕 乾 侑〔 〃 助教授〕 司 会：岡本 祥一〔 〃 教授〕 参 加 者：実務訓練実施機関の実務訓練担当者、長岡技術科学大学教職員及び学生 約 100 名</p>
昭和 60	<p>* 「明日を拓くニューメディア・ニュービジネス長岡フォーラム '85」 主 催：長岡市、長岡商工会議所、長岡技術科学大学、新潟日報社（本会后援） 開 催 日：昭和 60 年 5 月 2 日(木)～5 月 6 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 参 加 者：延べ 22,500 名</p> <p>* 「産学官連携問題検討委員会」 開 催 日：昭和 60 年 4 月～7 月の間に 4 回 開催場所：長岡技術科学大学等 委 員：生越 久靖〔長岡技術科学大学教授〕 児玉 文雄〔埼玉大学教授〕 清水 武明〔長岡技術科学大学講師〕 吉谷 豊〔 〃 教授〕 吉村 融〔埼玉大学教授〕</p> <p>* 「テクノポリス推進シンポジウム」 共同主催：(財)長岡テクノポリス開発機構、本会 開 催 日：昭和 60 年 9 月 13 日(金) 開催場所：ホテル・サンルート長岡 テ ー マ：「人間性豊かなハイテク・ニューメディア地域社会をどのように構築するか」 パネラー：君 健男〔新潟県知事〕 内藤 忠一〔長岡市助役〕 永井 淳夫〔日本精機(株)取締役社長〕 松井 秀吉〔アルプス電気(株)新潟事業部長〕 三澤千代治〔ミサワホーム(株)社長〕 コーディネーター：齋藤 進六〔長岡技術科学大学長〕 参 加 者：約 400 名</p> 


年度	件 名 ・ 開 催 日 等
昭和 60	＊「昭和 60 年度実務訓練シンポジウム」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開 催 日：昭和 61 年 3 月 24 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「本年度の実務訓練を顧みて」 パネラー：島津 尚志〔石川島播磨重工業(株)原子力事業部第四プラント設計部 プラント設計グループ課長〕 山本 泉也〔国際電信電話(株)研究所研究室長副参事〕 松下 駿〔東洋曹達工業(株)開発生産部膜開発室長〕 小野 精一〔日本橋梁(株)橋梁本部設計部長〕 コメンター：本田希久雄〔(株)日立製作所人事教育部人事課長〕 高橋 英雄〔富士通(株)研究所企画調査室長〕 木下 正一〔大日本インキ化学工業(株)、 (財)川村理化学研究所有機化学研究室長〕 南雲 重孝〔(株)福田組新榎トンネル作業所長〕 小林 勝〔長岡技術科学大学教授〕 梅村 晃由〔 〃 教授〕 矢田 敏夫〔 〃 教授〕 難波江 章〔 〃 教授〕 丸林 元〔 〃 教授〕 三山 創〔 〃 教授〕 青山 安宏〔 〃 助教授〕 早川 典生〔 〃 教授〕 本田 幸雄〔 〃 教授〕 司 会：岡本 祥一〔 〃 教授〕 参 加 者：実務訓練実施機関の実務訓練担当者、長岡技術科学大学教職員及び学生
昭和 61	＊「テクノポリス推進シンポジウム」 共同主催：(財)長岡テクノポリス開発機構、本会 開 催 日：昭和 61 年 9 月 4 日(木) 開催場所：ホテル・サンルート長岡 テ ー マ：「21 世紀とテクノポリス」 パネラー：日浦晴三郎〔長岡市長〕 齋藤 進六〔長岡技術科学大学長〕 斑目 力曠〔ネミック・ラムダ(株)代表取締役社長〕 浜野 義光〔京セラ(株)専務取締役〕 コーディネーター：南野 竹男〔(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事〕 参 加 者：約 400 名

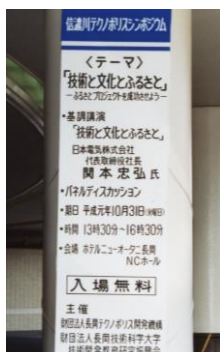


年度	件 名 ・ 開 催 日 等
昭和 61	<p>* 「昭和 61 年度実務訓練シンポジウム」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開 催 日：昭和 62 年 3 月 13 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「学理と実践の統合」 パネラー：(第 1 セッション) 加賀 敬悦〔日本精工(株)精機開発技術部長〕 平野 新一〔日本アイ・ビー・エム(株)大和研究所技術開発担当〕 蓮沼 啓一〔新日本気象海洋(株)システム開発部長〕 袖山 忠一〔長岡技術科学大学教授〕 早川 典生〔 “ 教授〕 (第 2 セッション) 秋葉 一男〔ソニー(株)生産技術本部課長〕 久米 克一〔東芝シリコーン(株)管理部勤労担当課長〕 坂田 茂夫〔三井建設(株)筒石トンネル作業所長〕 矢田 敏夫〔長岡技術科学大学教授〕 藤本 輝雄〔 “ 教授〕 (第 3 セッション) 鈴木 忠二〔シャープ(株)音響システム事業本部副部長兼音響研究所長〕 黒崎 富裕〔花王(株)和歌山研究所油脂化学第二研究室長〕 梅村 晃由〔長岡技術科学大学教授〕 丸林 元〔 “ 教授〕 山田 明文〔 “ 助教授〕 林 正〔 “ 教授〕 司 会：乾 侑〔 “ 教授〕 参 加 者：実務訓練実施機関の実務訓練担当者、長岡技術科学大学教職員及び学生</p>
昭和 62	<p>* 「テクノポリス推進シンポジウム」 共同主催：(財)長岡テクノポリス開発機構、本会 開 催 日：昭和 62 年 9 月 3 日(木) 開催場所：ホテル・サンルート長岡 テ ー マ：「国際化に対応するテクノポリスの展開 ―産業空洞化と地域活性化戦略―」 パネラー：日浦晴三郎〔長岡市長〕 齋藤 進六〔長岡技術科学大学長〕 小島 慶三〔(財)日本立地センター理事長〕 片岡勝太郎〔アルプス電気(株)取締役社長〕 コーディネーター：南野 竹男〔(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事〕 参 加 者：約 400 名</p>



年度	件 名 ・ 開 催 日 等
昭和 62	<p>* 「昭和 62 年度実務訓練シンポジウム」</p> <p>主 催：長岡技術科学大学（本会共催）</p> <p>開 催 日：昭和 62 年 3 月 16 日(水)</p> <p>開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>テ ー マ：「本学の教育における実務訓練の位置づけ」</p> <p>パネラー等：(第 1 セッション)</p> <p>加藤 満〔日立金属(株)磁性材料研究所副所長〕</p> <p>神田 求〔日本モトローラ(株)人事部人事一課長〕</p> <p>植村 明憲〔日立化成工業(株)山崎工場勤労課長〕</p> <p>袖山 忠一〔長岡技術科学大学教授〕</p> <p>松本 昌二〔 “ 助教授〕</p> <p>鈴木 誠一〔新潟県工業技術センター館長〕</p> <p>(第 2 セッション)</p> <p>山田 幸良〔日清製粉(株)生産技術研究所粉体研究室長代理〕</p> <p>山本 文治〔日本無線(株)主幹〕</p> <p>小口 恭徳〔パシフィックコンサルタンツ(株)仙台支社次長〕</p> <p>吉谷 豊〔長岡技術科学大学教授〕</p> <p>井上 泰宣〔 “ 助教授〕</p> <p>清水 武明〔 “ 助教授〕</p> <p>司 会：乾 侑〔 “ 教授〕</p> <p>参 加 者：実務訓練実施機関の実務訓練担当者、長岡技術科学大学教職員及び学生</p>
昭和 63	<p>* 「信濃川テクノポリスシンポジウム」</p> <p>共同主催：(財)長岡テクノポリス開発機構、本会</p> <p>開 催 日：昭和 63 年 10 月 28 日(金)</p> <p>開催場所：長岡グランドホテル</p> <p>テ ー マ：「産業構造変革に対応する地域ニューフロンティアの展開 ー産・学・官連携による地域活性化戦略ー」</p> <p>パネラー：向坊 隆〔東京大学名誉教授・元学長〕</p> <p>金子 清〔新潟県副知事〕</p> <p>日浦晴三郎〔長岡市長〕</p> <p>菅野 昌義〔長岡技術科学大学学長〕</p> <p>本多 波雄〔豊橋技術科学大学学長〕</p> <p>植木 馨〔柏崎商工会議所会頭〕</p> <p>兼古 敏男〔燕商工会議所会頭〕</p> <p>コーディネーター：南野 竹男〔(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事〕</p> <p>参 加 者：約 350 名</p>
	<p>* 「昭和 63 年度実務訓練シンポジウム」</p> <p>主 催：長岡技術科学大学（本会共催）</p> <p>開 催 日：平成元年 3 月 17 日(金)</p> <p>開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>テ ー マ：「実務訓練による実践的・技術的感覚の涵養」</p> <p>パネラー等：向井林太郎〔東レ(株)人事部採用・教育課長〕</p> <p>西脇 常彦〔日本精機(株)開発部チーフリーダー〕</p> <p>黒岩 宏行〔(株)東芝人事教育部採用担当部長〕</p> <p>及川 四郎〔(株)島津製作所医用事業部医用機器研究所主任研究員〕</p> <p>後藤 信弘〔新日鐵化学(株)戸畑製造所第一製造部長〕</p> <p>土谷 尚〔基礎地盤コンサルタンツ(株)技術センター所長〕</p> <p>池谷 光栄〔長岡技術科学大学教授〕</p> <p>袖山 忠一〔 “ 教授〕</p> <p>藤井 信行〔 “ 助教授〕</p> <p>丸山 暉彦〔 “ 助教授〕</p> <p>柳 和久〔 “ 助教授〕</p> <p>司 会：矢田 敏夫〔 “ 教授〕</p> <p>参 加 者：実務訓練実施機関の実務訓練担当者、長岡技術科学大学教職員及び学生</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成元	<p>* 「信濃川テクノポリスシンポジウム」 共同主催：(財)長岡テクノポリス開発機構、本会 開催日：平成元年10月31日(火) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 テーマ：「技術と文化とふるさとーふるさとプロジェクトを成功させようー」 パネラー：関本 忠弘〔日本電気(株)代表取締役社長〕 小林 惇〔関東通商産業局長〕 金子 清〔新潟県知事〕 日浦晴三郎〔長岡市長〕 菅野 昌義〔長岡技術科学大学長〕 羽二生良夫〔三条商工会議所技術公害対策委員長〕 藤村 一夫〔柏崎商工会議所副会頭〕 コーディネーター：南野 竹男〔(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事〕 参加者：約390名</p> <hr/> <p>* 「平成元年度実務訓練シンポジウム」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開催日：平成2年3月16日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ：「実務訓練の推進について」 パネラー等：吉間 豊〔(株)神戸製鋼所人事部人事企画室課長〕 原 巖〔(株)日立製作所人事教育部人事課長〕 高田 利幸〔徳山曹達(株)電子材料事業部主席〕 吉村 文達〔駒井鉄工(株)橋梁技術部次長〕 野本 祐春〔本田技研工業(株)技術計算課〕 初森 智〔東北セミコンダクタ(株)技術部技術開発員〕 新田 敦己〔アルプス電気(株)長岡工場製造技術課研究員〕 寺村 芳明〔東京電力(株)新潟原子力建設所土木課〕 半澤 宏〔長岡技術科学大学副学長〕 司 会：矢田 敏夫〔 〃 教授〕 参加者：実務訓練実施機関の実務訓練担当者、長岡技術科学大学教職員及び学生</p>
平成2	<p>* 「信濃川テクノポリスシンポジウム」 共同主催：(財)信濃川テクノポリス開発機構、新潟県、本会 開催日：平成3年3月11日(月) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 テーマ：「魅力ある地域社会の形成をめざして」 パネラー：竹内 宏〔長銀総合研究所理事長〕 高木 正幹〔新潟日本電気(株)社長〕 高橋 太郎〔(株)タカハシキカイ代表取締役社長〕 四方田武紀〔日経産業消費者研究所地域経済研究部長〕 コーディネーター：足立 芳寛〔長岡技術科学大学教授〕 参加者：約300名</p> 



年度	件名・開催日等
平成 2	* 「平成 2 年度実務訓練シンポジウム」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開 催 日：平成 3 年 3 月 19 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「実務訓練の新しい展開」 パネラ 等：水野 洋〔農林水産省農業生物資源研究所遺伝子情報管理室長〕 岡本 祥一〔長岡工業高等専門学校長〕 加賀 敬悦〔日本精工(株)精機開発技術部長〕 篠原 肇〔日立金属(株)磁性材料研究所土浦分室長〕 奥宮正太郎〔旭硝子(株)中央研究所主幹研究員〕 高橋 仁〔パシフィックコンサルタンツ(株)総務部次長〕 半澤 宏〔長岡技術科学大学副学長〕 司 会：山下 努〔 // 教授〕 参 加 者：実務訓練実施機関の実務訓練担当者、長岡技術科学大学教職員及び学生
平成 3	* 「信濃川テクノポリスシンポジウム」 共同主催：(財)信濃川テクノポリス開発機構、新潟県、本会 開 催 日：平成 3 年 12 月 3 日(火) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 テ ー マ：「魅力あるものづくり拠点をめざして」 パネラー：鳥井 弘之〔日本経済新聞社論説委員〕 星野 信之〔クーロン(株)代表取締役社長〕 藤井 大介〔フジイコーポレーション(株)代表取締役社長〕 柴内 哲雄〔(株)野村総合研究所技術産業研究部 技術経営コンサルティング室長〕 コーディネーター：沖野 英明〔長岡技術科学大学教授〕 参 加 者：約 200 名
	* 「平成 3 年度実務訓練シンポジウム」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開 催 日：平成 4 年 3 月 18 日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「実務訓練の再認識と新展開」 パネリスト：伊藤 典男〔Link-Belt Con. Eq. Vice President〕 山本 哲雄〔松下電器産業(株)採用部長〕 大福 族生〔日本分光工業(株)総務部人事課長〕 土谷 尚〔基礎地盤コンサルタンツ(株)技術センター所長〕 馬渡 雅夫〔キリンビール(株)技術開発部長〕 コメント：吉崎 裕之〔創造設計工学専攻第 1 学年〕 丸山 哲也〔電気・電子システム工学専攻第 1 学年〕 通岩 典生〔材料開発工学専攻第 1 学年〕 渋谷 智美〔建設工学専攻第 1 学年〕 司 会 等：飯田 誠之〔長岡技術科学大学教授〕 乾 侑〔長岡技術科学大学副学長〕 参 加 者：実務訓練実施機関の実務訓練担当者、長岡技術科学大学教職員及び学生
平成 4	* 「信濃川テクノポリスコロキアム」 共同主催：(財)信濃川テクノポリス開発機構、本会 開 催 日：平成 4 年 11 月 5 日(木) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 演 題：「環日本海時代と国際化進展に伴う摩擦 ―経済進出の尖兵の経験から―」 講 演 者：下山 敏郎〔オリンパス光学工業(株)代表取締役社長〕 参 加 者：約 170 名

年度	件名・開催日等
平成4	<p>*「平成4年度実務訓練シンポジウム」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開 催 日：平成5年3月17日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「実務訓練の多様化を考える」 パネリスト：原田 英樹〔日立金属(株)専務取締役技術本部長〕 亘理 誠夫〔日本電気(株)人事部採用担当部長〕 植田 浩義〔大日本インキ化学工業(株)総合研究所主任研究員〕 竹内 光〔三井建設(株)技術開発本部技術研究所主任研究員〕 辻井 薫〔花王(株)基礎科学研究所長〕 コメンター：伊藤 廣〔長岡技術科学大学機械系教授〕 伊藤 猷顯〔 〃 電気系教授〕 植松 敬三〔 〃 化学系教授〕 小川 正二〔 〃 建設系教授〕 青山 安宏〔 〃 生物系教授〕 富田 幸宏〔創造設計工学専攻第1学年〕 塩屋 和秀〔材料開発工学専攻第1学年〕 新井 恵一〔建設工学専攻第1学年〕 藤本 孝子〔生物機能工学専攻第1学年〕 テ・ベ・ット エトワ・ド・ブ・ス [(株)日本マネジメントアカデミー研修生] 司 会 等：早川 典生〔長岡技術科学大学建設系教授〕 参 加 者：実務訓練実施機関の実務訓練担当者、長岡技術科学大学教職員及び学生</p>
平成5	<p>*「テクノポリス10周年記念フォーラム」 開 催 日：(財)信濃川テクノポリス開発機構、本会 開催期日：平成5年11月11日(木) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 演 題：「～環日本海時代にむけて、更なる飛躍・発展をめざして～」</p> <p>*「産・学・官技術情報交流会」 主 催：(財)信濃川テクノポリス開発機構、長岡市（本会共催） 開 催 日：平成6年1月21日(金) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 テ ー マ：「ロケット・人工衛星工学の現状」 講 師：伊藤 猷顯〔長岡技術科学大学教授〕 参 加 者：104名</p>
平成6	<p>*「平成6年度長岡技術科学大学実務訓練シンポジウム」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開 催 日：平成6年7月6日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「実務訓練の将来を考える」</p> <p>*「新潟県産・学・公研究者交流会」 共同主催：新潟県、(財)信濃川テクノポリス開発機構、本会 他 開 催 日：平成6年11月7日(月) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡</p> <p>*「新潟経営大学開学記念 ソフトウェーブ・in 加茂」 主 催：加茂市、加茂商工会議所、(財)信濃川テクノポリス開発機構 共 催：新潟経営大学、本会 開 催 日：平成7年1月25日(水) 開催場所：加茂市産業センター</p>
平成7	<p>*「平成7年度長岡技術科学大学実務訓練シンポジウム」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開 催 日：平成7年6月28日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「環境問題と技術者教育」</p>

年度	件名・開催日等
平成7	* 「平成7年度『産・学・官』技術学術情報交流会」 主催：(財)新潟県県央地域地場産業振興センター (財)信濃川テクノポリス開発機構（本会共催） 開催日：平成7年12月5日(火) 開催場所：県央メッセピア 参加者：104名
平成8	* 「平成8年度長岡技術科学大学実務訓練シンポジウム」 主催：長岡技術科学大学（本会共催） 開催日：平成8年6月26日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ：「技術の進展と工学教育」 参加者：約410名
	* 「平成8年度『産・学・官』技術学術情報交流会」 主催：(財)信濃川テクノポリス開発機構 共催：小千谷市、小千谷商工会議所、本会 開催日：平成8年11月8日(金) 開催場所：小千谷市総合産業会館サンブラザ 講演テーマ：「国際経済と新潟県産業－企業経営と人材育成－」 講師：原 敏明〔新潟経済社会リサーチセンター理事〕 参加者：約80名
平成9	* 「平成9年度長岡技術科学大学実務訓練シンポジウム」 主催：長岡技術科学大学（本会共催） 開催日：平成9年6月25日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ：「産業の国際化と技術者の対応」 参加者：約510名
	* 平成9年度「産・学・官交流会」 主催：(財)信濃川テクノポリス開発機構、(財)新潟県県央地域地場産業振興センター 共催：三条市、燕市、三条商工会議所、燕商工会議所、本会 開催日：平成9年12月8日(月) 開催場所：県央メッセピア（新潟県県央地域地場産業振興センター） 講演テーマ：「中小企業における経営戦略」 講師：榎本 国男〔(有)バン企画代表取締役〕
平成10	* 「平成10年度長岡技術科学大学実務訓練シンポジウム」 主催：長岡技術科学大学（本会共催） 開催日：平成10年6月24日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ：「新産業創出に関わる工学教育」 参加者：約400名
	* 平成10年度「広域的産・学・官交流会」 主催：(財)信濃川テクノポリス開発機構（本会共催） 開催日：平成10年12月4日(金) 開催場所：柏崎市産業文化会館 参加者：147名
平成11	* 「平成11年度長岡技術科学大学実務訓練シンポジウム」 主催：長岡技術科学大学（本会共催） 開催日：平成11年6月2日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ：「21世紀の企業が求める技術者」 参加者：約500名
	* 平成11年度「地域共同研究センター長と企業の交流会」 主催：(財)信濃川テクノポリス開発機構（本会共催） 開催日：第1回 平成12年1月24日(月) 第2回 平成12年2月23日(水) 開催場所：長岡グランドホテル 参加者：約40名

年度	件名・開催日等
平成 12	* 「地域企業と長岡技科大との交流フェア 2000」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催日：平成 12 年 8 月 19 日(土) 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：技大 49 研究室（長岡高専 1 研究室含む）・地域企業 53 社
	* 「平成 12 年度大学地域共同研究センター長と企業の交流会」 主催：(財)信濃川テクノポリス開発機構（本会共催） 開催日：第 1 回 平成 12 年 12 月 14 日(木) 第 2 回 平成 13 年 1 月 23 日(火) 開催場所：長岡グランドホテル
平成 13	* 「地域企業と長岡技大との交流フェア 2001」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催日：平成 13 年 8 月 10 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：技大 50 研究室(長岡高専 5 研究室含む)・地域企業 49 社
平成 14	* 「地域企業と長岡技大との交流フェア 2002」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催日：平成 14 年 8 月 24 日(土) 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：大学等 47 研究室・企業等 58 団体
	* 「平成 14 年度産学連携・先端技術開発研究会」 主催：(財)信濃川テクノポリス開発機構（本会共催） 部会名：ロボット開発部会・医療福祉工学部会・食品化学部会 開催日：各部会 5 月～10 月の月 1 回 開催場所：(財)信濃川テクノポリス開発機構
平成 15	* 「長岡技術科学大学技術シーズプレゼンテーション」 主催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター (財)にいがた産業創造機構・長岡工業高等専門学校 (財)信濃川テクノポリス開発機構（本会后援） 開催日：平成 15 年 6 月 28 日(土) 開催場所：長岡技術科学大学 参加人数：194 名
	* 「長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク 『産学官連携ルネサンス』～産と学と官のパートナーシップの近未来像～」 主催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター（本会后援） 開催日：平成 16 年 1 月 5 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：121 名
平成 16	* 「長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク 『地域経済活性化を意図した産学官連携の模索』」 主催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター（本会后援） 開催日：平成 17 年 1 月 4 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：106 名
	* 「産学官ジョイント交流会」 主催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター 長岡工業高等専門学校地域共同テクノセンター (財)にいがた産業創造機構（本会后援） 開催日：平成 17 年 1 月 29 日(土) 開催場所：ハイブ長岡 参加者：187 名

年度	件名・開催日等
平成 17	* 「長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク 『世界三大熱帯雨林から学ぶ(西アフリカ・ボルネオ・アマゾン)』 主 催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター(本会後援) 開 催 日：平成 18 年 1 月 4 日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：天野 尚〔(株)アクアデザインアマノ代表取締役〕 参 加 者：111 名
	* 「平成 17 年度長岡技科大・長岡高専技術シーズプレゼンテーション」 主 催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター 長岡工業高等専門学校地域共同テクノセンター (財)にいがた産業創造機構(本会後援) 開 催 日：平成 17 年 8 月 25 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学
平成 18	* 「平成 18 年度長岡技科大・長岡高専技術シーズプレゼンテーション in 上越」 主 催：長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、上越市 上越商工会議所、(財)にいがた産業創造機構(本会共催) 開 催 日：平成 18 年 8 月 31 日(木) 開催場所：ホテルハイマート(上越市) 参 加 者：182 名
	* 「長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク 『地道なものづくり、モノづくり』 主 催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター(本会後援) 開 催 日：平成 19 年 1 月 4 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：関 順司〔八海クリエイツ(株)取締役会長〕 大平 俊治〔緑川酒造(株)代表取締役社長〕 鈴木 俊郎〔小千谷市錦鯉漁業協同組合副組合長〕 玉川 基行〔(株)玉川堂代表取締役七代目〕 佐藤 英児〔(株)プロデュース代表取締役社長〕 羽賀 友信〔長岡市国際交流センター長〕 参 加 者：140 名
平成 19	* 「平成 19 年度長岡技科大・長岡高専技術シーズプレゼンテーション in 魚沼」 主 催：長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、魚沼市、南魚沼市、 魚沼市ものづくり振興協議会、(財)にいがた産業創造機構(本会共催) 開 催 日：平成 19 年 8 月 30 日(木) 開催場所：会館 魚新(魚沼市) 参 加 者：184 名
	* 「長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク 『教育談義 ー地域活性化のための人財養成と育成』 主 催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター(本会後援) 開 催 日：平成 20 年 1 月 7 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：高田喜久司〔上越教育大学副学長・理事〕 武藤 克己〔新潟県教育委員会教育長〕 高口 和治〔長岡市堤岡中学校長〕 大平美恵子〔長岡市議会議員〕 富所真太郎〔新潟日報社長岡支社報道部記者〕 松原 亨〔マコー株式会社顧問〕 樋口 栄治〔長岡商工会議所専務理事〕 参 加 者：135 名

年度	件名・開催日等
平成 20	* 「新潟工科大学・長岡技術科学大学・長岡高専 2008 技術シーズプレゼンテーション in 柏崎」 主催：新潟工科大学、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校 柏崎市、柏崎商工会議所、柏崎技術開発振興協会 (財)にいがた産業創造機構（本会共催） 開催日：平成 20 年 8 月 27 日(水) 開催場所：柏崎市民プラザ（柏崎市） 参加者：146 名
	* 「テクノ・デザインプレゼンテーション in 燕三条」 主催：長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡工業高等専門学校（本会共催） 開催日：平成 20 年 11 月 6 日(木) 開催場所：新潟県県央地域地場産業振興センター（三条市） 参加者：延べ 197 名
平成 21	* 「技術シーズプレゼンテーション in 新発田」 主催：長岡技術科学大学、新潟大学、新潟職業能力開発短期大学校 長岡工業高等専門学校、新発田市、聖籠町、新発田商工会議所（本会共催） 開催日：平成 21 年 8 月 25 日(火) 開催場所：新潟職業能力開発短期大学校（新発田市） 参加者：157 名
	* 「長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク 『コミュニケーションとファシリテーション』」 主催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター（本会後援） 開催日：平成 22 年 1 月 4 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 講師：剣持 庸一〔(社)日本工学教育協会専務理事〕 大石加奈子〔沼津工業高等専門学校准教授〕 参加者：62 名
平成 22	* 「2010 技術シーズプレゼンテーション in 上越」 主催：長岡技術科学大学、信州大学、長岡工業高等専門学校 長野工業高等専門学校、上越市、上越商工会議所 上越ものづくり協議会（本会共催） 開催日：平成 22 年 8 月 24 日(火) 開催場所：上越市教育プラザ（上越市） 参加者：122 名
	* 「NTIC 新春トーク『県内主要地域における製造業の過去・現在・未来』」 主催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター 日本機械学会北陸信越支部（本会後援） 開催日：平成 23 年 1 月 5 日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 講師：木村 文夫〔三条市経済部長〕 澤海 雄一〔上越市産業観光部長〕 品田 満〔長岡市商工部長〕 嶽岡 悦雄〔新潟県工業技術総合研究所長〕 参加者：85 名

※ 平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し

- 「2. 教育研究機関と産業界等との連携・交流の実施の(1)産学共同教育研究問題検討会の開催」と
 「4. 講習会、研究会等の開催の(1)講習会の開催・後援、(2)講演会の開催・後援」をまとめ、
 「Ⅱ 産学地域連携交流事業 1 産学地域連携事業支援」に（158 ページ～）

(2) 企業の技術に関する資料の収集、展示、配布（技術報告書等を収集し、関係者に供覧）

分類	品目	時期
賛助会員等に対する 配布資料	長岡技術科学大学研究者総覧（隔年発行）	配布年度 S59, S61, S63, H2, H4, H6, H8, H10, H12, H14, H16, H19
	長岡技術科学大学研究レビュー（隔年発行）	S60, S62, H元, H3, H5, H7, H9, H11, H13, H15, H17, H18
	長岡技術科学大学雑誌目録（随時）	S58, S60
	教育研究と地域社会パンフレット（随時） 〔長岡技術科学大学発行〕	S58, S59, S61, S63
長岡技術科学大学 附属図書館へ寄附 雑誌	日経メカニカル（隔週） 〔日経マグロウヒル社発行〕	購入年度 S60 ~ H7
	日経ハイテク情報（毎月2回） 〔日経産業消費研究所発行〕	S63 ~ H7
その他資料の収集	文部省関係法人名鑑（随時） 〔(株)官庁通信社〕	収集年度 S60
	高等専門学校研究者総覧（随時） 〔国立高等専門学校長協会〕	S62

※ 平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し、終了

(3) 工業技術に関する見学会の実施（顕著な生産技術を有する工場等の見学会の実施）

年度	実施日	見学先	参加人数
昭和 58	5月19日(木)～ 5月20日(金)	*石川島播磨重工業(株)横浜工場（神奈川県横浜市） *(株)日立製作所 神奈川工場（神奈川県秦野市）	27名
	10月24日(月)～ 10月25日(火)	*(株)保谷硝子 武蔵工場（埼玉県入間市） *日産自動車(株)座間工場（神奈川県座間市）	20名
昭和 59	10月16日(火)	*(株)丸五技研 新潟工場（新潟県加茂市） *燕プレス工業(株) 中之口工場（新潟県中之口村）	58名
	11月19日(月)～ 11月20日(火)	*(株)三豊製作所 宇都宮工場（栃木県宇都宮市） *(株)三豊製作所 清原工場（"） *(株)浦和製作所 久喜工場（埼玉県菖蒲町）	34名

年度	実施日	見 学 先	参加人数
昭和 60	10月11日(金)	*北日本食品工業(株)大潟工場 (新潟県大潟町) *上越教育大学 (新潟県上越市) *(株)南雲製作所 (")	50名
	11月25日(月)～ 11月26日(火)	*(株)T.D.K. 千曲川工場 (長野県佐久市) *(株)シチズン精機 (長野県御代田町)	35名
昭和 61	11月11日(火)	*(株)コパル 六日町工場 (新潟県六日町) *(株)粉研 六日町工場 (") *ニューロング精密工業(株) (")	55名
	12月4日(木)～ 12月5日(金)	*(株)チノー 藤岡工場 (群馬県藤岡市) *マックス(株)藤岡工場 (") *レオン自動機(株)本社工場 (栃木県宇都宮市) *共立精機(株)本社工場 (")	24名
昭和 62	10月28日(水)	*新潟日本電気(株) (新潟県柏崎市) *(株)加藤スプリング製作所 (") *東京電力(株)柏崎・刈羽原子力発電所 (")	55名
	11月12日(木)～ 11月13日(金)	*東芝セラミックス(株)小国製造所 (山形県小国町) *ミクロン精密(株)本社工場 (山形県山形市)	21名
昭和 63	10月18日(火)	*(株)内田製作所 (新潟県三条市) *(株)北村製作所 (新潟県新潟市) *三国コカコーラボトリング(株)新潟支社 (新潟県黒崎町)	51名
	11月1日(火)～ 11月2日(水)	*文部省高エネルギー物理学研究所 (茨城県つくば市) *宇宙開発事業団筑波宇宙センター (") *通産省工業技術院電子技術総合研究所 (") *科学技術庁無機材質研究所 (")	18名



年度	実施日	見 学 先	参加人数
平成元	11月1日(水)～ 11月2日(木)	* (株)和泉電気富山製作所 (富山県婦中町) * (株)不二越 (富山県富山市)	20名
	11月28日(火)	* ネミック・ラムダ(株)長岡工場 (新潟県長岡市) * 越後製菓(株)片貝新工場 (新潟県小千谷市) * (株)真人日本精機小千谷工場 (")	46名
平成2	11月1日(木)～ 11月2日(金)	* 日本電子機器(株)本社工場 (群馬県伊勢崎市) * サンデン(株)八斗島事業所 (")	23名
	11月22日(木)	* 吉乃川(株) (新潟県長岡市) * (株)酒井鉄工所 (新潟県柏崎市) * 柏崎シルバー精工(株) (")	39名
平成3	7月22日(月)	* 永田精機(株)新潟工場 (新潟県分水町) * 柳下蒲鉾(株)リバーサイド国上工場 (")	39名
	11月21日(木)～ 11月22日(金)	* (株)岡本工作機械製作所 安中工場 (群馬県安中市) * 山洋電気(株)富士山工場 (長野県上田市)	22名
平成4	9月11日(金)	* 丸互(株) (新潟県上越市) * (株)カザマスキー (") * 岩の原葡萄園 (")	39名
	11月12日(木)～ 11月13日(金)	* (株)ニコン横浜製作所 (神奈川県横浜市) * 石川島播磨重工業(株)横浜工場 (")	19名
平成5	9月29日(水)	* 新潟三洋電子(株) (新潟県小千谷市) * 松下電工(株)新潟工場 (新潟県分水町) * 信濃川大河津資料館 (")	68名
	11月9日(火)～ 11月10日(水)	* 日野自動車工業(株) (東京都日野市) * オリエンタル酵母工業(株) (東京都板橋区)	17名
平成6	9月9日(金)	* 一正蒲鉾(株) (新潟県新潟市) * 新潟みなとトンネル函体製作ドック (新潟県聖籠町) * (株)日立製作所 産業機器事業部 (新潟県中条町)	50名
	11月7日(月)～ 11月8日(火)	* 武内プレス工業(株)滑川工場 (富山県滑川市) * (株)スギノマシン滑川工場、早月工場 (") * Y.K.K(株)黒部工場 (富山県黒部市) * (株)不二越 富山工場 (富山県富山市)	37名



年度	実施日	見 学 先	参加人数
平成 7	9月19日(火)	*日本曹達(株)二本木工場 (新潟県中郷村) *新潟ウオシントン(株)柏崎工場 (新潟県柏崎市) *(株)リケン 柏崎事業所 (")	48名
	11月6日(月)～ 11月7日(火)	*正田醤油(株)本社工場、館林東工場 (群馬県館林市) *富士電機(株)吹上工場 (埼玉県吹上町)	22名
平成 8	9月17日(火)	*(株)レーザー応用工学センター長岡センター (新潟県長岡市) *新潟県工業技術総合研究所研究開発センター (") *(株)長岡歯車製作所長岡歯車資料館 (") *吉乃川(株) (")	36名
	11月5日(火)	*日新電機(株)前橋製作所 (群馬県前橋市) *日本精工(株)前橋工場 (")	26名
平成 9	9月9日(火)	*ツインバード工業(株)本社工場 (新潟県吉田町) *(株)コロナ本社工場 (新潟県三条市) *東北電力(株)東新潟火力発電所 (新潟県聖籠町)	44名
	10月6日(月)	*高崎ハム (群馬県高崎市) *太陽誘電(株)玉村工場 (群馬県玉村町)	24名
平成 10	9月8日(火)	*日本道路公団新潟建設局糸魚川工事事務所 (新潟県糸魚川市) *電気化学工業(株)青海工場 (新潟県青海町) *青海町自然史博物館 (")	22名
	10月7日(水)	*(株)東和製作所 (新潟県新発田市) *(株)クラレ 中条工場 (新潟県中条町)	32名
平成 11	9月16日(木)～ 9月17日(金)	*田子倉ダム (福島県只見町) *東北電力(株)柳津西山地熱発電所 (福島県柳津町) *(株)ショウティック (福島県喜多方市) *ダイニチ工業(株) (新潟県白根市) ※共催：長岡技術者協会	19名
平成 12	11月2日(木)	*(株)新潟鉄工所ガスタービン工場 (新潟県北蒲原郡) *(株)ピーエムテクノ (新潟県新潟市) *新潟みなと館 (") ※共催：長岡技術者協会	23名
	11月29日(水)	*「長岡技術科学大学施設・研究室の見学会」 ※主催：長岡技術科学大学協力会 (本会共催)	50名
平成 13	10月26日(金)	*大平洋特殊鑄造(株)直江津製造所 (新潟県上越市) *(株)住友金属直江津 (") *岩の原ワイン工場 (") ※共催：長岡技術者協会	32名
平成 14	11月1日(金)	*東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所 (新潟県刈羽村) *新潟工科大学 (新潟県柏崎市) *朝日酒造(株) (新潟県越路町) ※共催：長岡技術者協会	32名

年度	実施日	見 学 先	参加人数
平成 15	10月8日(水)	*(株)日立金属MPF (新潟県六日町) *八海クリエイツ(株) (" 大和町) ※共催：長岡技術者協会	43名
平成 16	9月9日(木)	*(株)第一測範製作所 (新潟県小千谷市) *越後製菓(株)片貝工場、沼田工場 (") ※共催：長岡技術者協会	65名
平成 17	10月18日(火)	*(株)アクアデザインアミノ (新潟県新潟市) *富士通フロンテック(株) (新潟県吉田町) *北越工業(株) (") ※共催：長岡技術者協会	47名
平成 18	10月24日(火)	*サンデンフォレスト サンデン(株)赤城事業所 (群馬県前橋市) *(財)電力中央研究所 赤城試験センター (") ※共催：長岡技術者協会	42名
平成 19	6月1日(金)	*(株)タナベ (新潟県糸魚川市) *新潟ポリマー(株) (") *電気化学工業(株)青海工場 (") ※共催：長岡技術者協会	52名
	12月4日(火)	*(株)日立産機システム中条事業所 (新潟県胎内市) *(株)北村製作所 (新潟県新潟市) ※共催：長岡技術者協会	29名
平成 20	6月6日(金)～ 6月7日(土)	*サンアロー(株) (新潟県佐渡市) *佐渡精密(株) (") *尾畑酒造(株) (") ※共催：長岡技術者協会、長岡技術科学大学協力会	21名
平成 21	実施なし		
平成 22	4月23日(金)	*羽田空港D滑走路 (東京都大田区)	10名
	7月23日(金)	*第九管区海上保安本部新潟航空基地 (新潟県新潟市)	14名
	10月1日(金)	*オリエント機械(株) (長野県須坂市) *山洋電気(株)上田事業所神川工場 (長野県上田市) *気象庁精密地震観測室 松代地震センター (長野県長野市) ※主催：長岡技術者協会 (本会共催)	16名



※ 平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し

II 産学地域連携交流事業

2 先端技術・施設見学会の実施

年度	実施日	見 学 先	参加人数
平成 23	24 年 2 月 16 日(木)	*長岡技術科学大学テクノミュージアム・ 音響振動工学センター *越後製菓(株)小千谷工場 *朝日酒造(株)「松籟閣」 ※共催：蒼紫の杜	33 名
平成 24	10 月 1 日(月)	*国道 289 号八十里越 (新潟県三条市-福島県只見町) ※主催：長岡技術者協会 (本会后援)	22 名
	10 月 19 日(金)	*Y K K 黒部ファスニング工場 ※主催：蒼紫の杜 (本会共催)	41 名
平成 25	10 月 1 日(火)	*中部電力(株)上越火力発電所 (新潟県上越市) ※主催：長岡技術者協会 (本会后援)	25 名
	10 月 11 日(金)	*「長岡技術科学大学研究室見学会」 ・機械系 岡崎正和研究室 ・生物系 山本麻希研究室 ・環境・建設系 山口隆司研究室	8 名
	26 年 1 月 29 日(水)	◆賛助会員企業工場見学会 *(株)セブン・セブン (新潟県燕市)	12 名
	26 年 2 月 13 日(木)	◆先端技術工場見学会 *日産自動車(株)追浜工場 (神奈川県横須賀市)	13 名
平成 26	6 月 18 日(水)	*北越工業(株) (新潟県燕市) *(株)武田金型製作所 (") ※主催：長岡技術者協会 (本会后援)	
	11 月 18 日(火)	◆賛助会員企業工場見学会 *朝日酒造(株) (新潟県長岡市) *(株)グリーンズプラント中越 (") *中越環境開発(株)太陽光発電所 (")	19 名
	27 年 2 月 2 日(月)	◆先端技術工場見学会 *A N A 機体整備工場 (東京都大田区)	10 名



年度	実施日	見 学 先	参加人数
平成 27	9 月 28 日(月)	◆賛助会員企業工場見学会 *原信ナルス物流センター (新潟県長岡市)	12 名
	10 月 13 日(火)	◆先端技術工場見学会 *新日鉄住金(株)君津製鉄所 (千葉県君津市)	10 名
平成 28	12 月 15 日(木)	◆先端技術工場見学会 *アサヒ飲料(株)北陸工場 (富山県入善町)	26 名
	29 年 1 月 19 日(木)	◆賛助会員企業工場見学会 *越後製菓(株)小千谷工場、片貝工場 (新潟県小千谷市)	21 名
平成 29	12 月 7 日(木)	*J X 石油開発(株)中条油業所 (新潟県胎内市)	9 名
平成 30	10 月 25 日(木)	*魚沼の里 (新潟県南魚沼市) *ゆきぐに温泉マンゴー (")	10 名
	12 月 12 日(水)	*首都圏外郭放水路 (埼玉県春日部市)	27 名
令和元	12 月 3 日(火)	*(株)タンガロイ (福島県いわき市)	22 名
	2 年 1 月 23 日(木)	*東北電力(株)東新潟火力発電所 (新潟県聖籠町)	14 名
令和 2	実施なし (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から)		
令和 3	11 月 26 日(金)	*岩の原葡萄園 (新潟県上越市)	8 名
		*山本味噌 (")	
令和 4	10 月 25 日(火)	*ジャパンスネークセンター (群馬県太田市)	8 名
		*ガトーフェスタハラダ (群馬県高崎市)	



(4) 工業技術に関する相談の実施（技術上の問題解決のための相談に対応）

昭和 57 年度から平成 14 年度までの間、実施した。

年度	内 容	件数
昭和 57	主として、地域産業における技術開発上の問題解決の相談に応じるため、「技術開発相談室」を開設し、対応した。	3
58	〃	13
59	〃	10
60	〃	24
61	〃	8
62	〃	10
63	〃	4
平成 元	〃	8
2	〃	13
3	〃	16
4	〃	6
5	〃	6
6	〃	2
7	〃	—
8	〃	—
9	〃	—
10	〃	—
11	〃	—
12	〃	—
13	〃	—
14	〃	—

※ 平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し



技術相談風景



大学風景

(5) 技術開発懇談会の開催

次の技術開発懇談会を長岡技術科学大学との共催により実施（平成4年度～）

年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 4	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	11月5日(木)	企業における外国人研修生の受入れに当たって	中越鋳物工業協同組合 理事長 品川 英夫	18名
	11月6日(金)	情報化時代の符号と暗号 －企業戦略のための情報収集－	電気系 教授 袖山 忠一	22名
	11月13日(金)	生物からの教訓	生物系 教授 松野 孝一郎	14名
	11月20日(金)	ビール缶はどのようにして作るか	機械系 教授 小島 陽	16名
	11月27日(金)	新素材を創る	化学系 教授 鎌田 喜一郎	19名
	12月3日(木)	コンピュータ技術の最前線 －人工現実感の世界－	計画・経営系 教授 沖野 英明	24名
	12月8日(火)	地盤沈下と地下水	建設系 教授 小川 正二	22名
平成 5	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	5月28日(金)	排水舗装について	建設系 教授 丸山 暉彦	36名
	6月17日(木)	地球環境とバイオマス資源	生物系 教授 森川 康	20名
	7月22日(木)	『冷』を作る	機械系 教授 服部 賢	14名
	9月10日(金)	ファジィ技術の利用法	計画・経営系 教授 大里 有生	23名
	10月6日(水)	最近の合成樹脂事情	化学系 教授 塩見 友雄	17名
	10月20日(水)	(人工衛星からの)リモートセンシング	電気系 教授 伊藤 猷顯	17名



年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 6	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	4月27日(水)	直径一定は円だろうか	機械系 教授 久曾神 煌	17名
	5月26日(木)	水と雪の恵み	建設系 教授 早川 典生	17名
	6月20日(月)	D-アミノ酸は鏡の中の生物界のものか？	生物系 教授 山田 良平	16名
	9月12日(月)	塩化物の功罪	化学系 教授 山田 明文	17名
	10月14日(金)	身近にある磁石の話	電気系 教授 一ノ瀬 幸雄	19名
	10月24日(月)	数学四方山話	計画・経営系 教授 小林 昇治	21名
平成 7	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	5月16日(火)	廃棄物とリサイクル	建設系 教授 桃井 清至	18名
	6月12日(月)	マルチメディアと通信・放送融合	電気系 教授 花木 真一	27名
	7月6日(木)	長寿社会における医療福祉工学 ーハイパーヒューマンエンジニア リングを目指してー	体育・保健センター 助教授 三宅 仁	16名
	10月18日(水)	企業の海外進出 ー成功と失敗との要因ー	計画・経営系 教授 西川 文夫	24名
	11月17日(金)	生物の進化とバイオテクノロジー	生物系 教授 山本 皓二	18名
	12月13日(水)	廃棄物の固形化处理と再利用 ー廃棄物を原料とするガラスと セラミックスの製造ー	建設系 教授 松下 和正	22名
平成 8	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	6月25日(火)	高齢化社会に適應する医用生体工学 ー特に徘徊性痴呆老人安全介護 システムの基礎研究ー	生物系 教授 福本 一朗	19名
	7月16日(火)	インターネットの利用とその行方	電気系 教授 花木 真一	17名
	9月3日(火)	多相系高分子材料の開発動向	化学系 教授 五十野 善信	13名
	10月17日(木)	水に浮く金属 ー超軽量新素材の開発ー	機械系 教授 小島 陽	15名
11月13日(水)	人工衛星を用いた地球環境の解明 ー新潟～ユーラシア大陸の雪氷の 変動を考えるー	環境・建設系 助教授 小池 俊雄	17名	

年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 9	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	5月14日(水)	セラミックガスタービン開発の現状 ーセラミックをいかに使いこなすかー	化学系 教授 植松 敬三	15名
	6月10日(火)	日本の大学・アメリカの大学	計画・経営系 助教授 溝上 智恵子	16名
	7月28日(月)	光ファイバ技術の最近事情	電気系 教授 作田 共平	15名
	9月18日(木)	光で測る欠陥、寸法 ー機械部品、電子部品の自動検査	機械系 教授 秋山 伸幸	14名
	10月15日(水)	地方都市の都市計画の今後の型	環境・建設系 教授 森村 道美	22名
	11月6日(木)	生物素材を含めたエキゾチックな組み合わせから生み出される機能性材料	生物系 教授 宮内 信之助	15名
平成 10	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	5月11日(月)	近接工事の問題点	環境・建設系 教授 海野 隆哉	20名
	6月19日(金)	生体系における水の役割	生物系 教授 曾田 邦嗣	14名
	7月14日(火)	地球環境問題と今後の産業技術のあり方	計画・経営系 教授 三上 喜貴	21名
	9月18日(金)	分光計測技術 ー色々な波長の光を分けて計測する技術ー	化学系 教授 藤井 信行	14名
	10月14日(水)	最近の可視域半導体発光素子	電気系 教授 飯田 誠之	18名
	11月17日(火)	絶縁性セラミックスの放電加工	機械系 教授 福澤 康	19名
平成 11	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	5月26日(水)	日本のエネルギー資源を求めて	機械系 教授 白樫 正高	14名
	6月17日(木)	接続可能な交通に向けて ー交通における地球温暖化対策ー	環境・建設系 教授 松本 昌二	16名
	7月16日(金)	人にやさしい製品・環境づくりをめざして	計画・経営系 教授 中村 和男	30名
	9月14日(火)	有機合成化合物 ー人間社会に及ぼす光と影ー	化学系 教授 西口 郁三	20名
	10月22日(金)	糖質、多糖、糖鎖高分子	生物系 教授 鈴木 秀松	11名
	11月17日(水)	画像処理技術の話題	電気系 教授 松田 甚一	17名

年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 12	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	5月16日(金)	遺伝子組換え食品について	生物系 教授 福田 雅夫	15名
	6月21日(木)	光触媒の働きー光エネルギーの化学的 変換と環境浄化ー	化学系 教授 井上 泰宣	20名
	7月13日(木)	極限エネルギー密度状態の発生と応用	極限エネルギー密度工 学研究センター 教授 八井 浄	15名
	9月21日(木)	アジアの大学事情と教育・研究協力 (タイ、インド、中国)	機械系 教授 武藤 睦治	13名
	10月13日(金)	コンクリートの劣化とその対策	環境・建設系 教授 丸山 久一	14名
	11月20日(月)	マルチメディアの世界	経営情報系 教授 長谷川 光彦	13名
	11月20日(月)	エネルギー・環境分野の日中協力に ついて	経営情報系 助教授 李 志東	13名
12月14日(木)	アナログは生き残れるか？	電気系 教授 神林 紀嘉	14名	
平成 13	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	5月18日(金)	宇宙から地球を見る	環境・建設系 教授 向井 幸男	12名
	6月13日(水)	極限エネルギー密度状態を用いた 物作り	極限エネルギー密度工 学研究センター 助教授 末松 久幸	12名
	7月27日(金)	人は太陽をつくれるか ー新しいエネルギーを求めてー	電気系 教授 入澤 寿逸	13名
	9月13日(木)	企業活動の情報化	経営情報系 講師 樋口 良之	15名
	10月19日(金)	薬ができるまで	化学系 教授 塚本 吾郎	13名
	11月9日(金)	生物系素材のハイブリッド化とその応用	生物系 助教授 下村 雅人	11名
12月14日(金)	機械安全規格のグローバルスタンダード 化の動向	機械系 助教授 阿部 雅二郎	11名	



年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 14	(開催場所：いずれも長岡パークホテル)			
	5月22日(水)	先端e-Learningの動向と技術	経営情報系 助教授 植野 真臣	20名
	6月27日(木)	電気自動車はエネルギー問題を解決できるか？	電気系 教授 高橋 勲	12名
	7月18日(木)	製品設計に寄与する感性工学と品質工学の導入を	機械系 教授 柳 和久	29名
	9月6日(金)	光触媒と半導体材料	化学系 教授 野坂 芳雄	20名
	10月24日(木)	環境ビジネスと静脈産業(廃棄物・廃液処理)の動向	環境・建設系 教授 原田 秀樹	23名
	11月20日(水)	酵素の技術：体の中の酵素から工業用触媒まで	生物系 助教授 城所 俊一	9名
平成 15	5月28日(水)	ブロードバンド通信を支えるガラス材料 (開催場所：長岡パークホテル)	化学系 教授 小松 高行	11名
	6月20日(金)	液晶と液晶ディスプレイ (開催場所：長岡パークホテル)	電気系 教授 赤羽 正志	15名
	7月25日(金)	経営資源と管理機能のマトリックス経営 (開催場所：長岡パークホテル)	経営情報系 教授 嶋田 英輔	9名
	9月8日(月)	持続可能な水循環 ー新技術採用の道筋ー (開催場所：ホテルルートイン長岡駅前)	環境・建設系教授 教授 藤田 昌一	17名
	10月17日(金)	残留応力とその測定法 (開催場所：アトリウム長岡)	機械系 教授 栗田 政則	12名
	11月14日(金)	酵素の基礎と応用 ーバイオマス変換へのセルラーゼの利用を中心としてー (開催場所：アトリウム長岡)	生物系 助教授 岡田 宏文	5名
平成 16	6月28日(月)	着衣泳に貢献する材料化学 (開催場所：ニュー大黒ビル)	化学系 教授 斎藤 秀俊	14名
	7月20日(火)	大都市部地下空間構築技術の現状と将来展望 (開催場所：ニュー大黒ビル)	環境・建設系 教授 杉本 光隆	13名
	9月10日(金)	高臨場感デジタルサウンド再生技術 (開催場所：アトリウム長岡)	電気系 教授 島田 正治	11名
	10月18日(月)	マイクロ波加熱の特性とその応用 (開催場所：ニュー大黒ビル)	機械系 教授 青木 和夫	10名
	11月15日(月)	遺伝子組換え技術と病気の診断・治療	生物系 教授 渡邊 和忠	地震のため中止
	12月9日(木)	企業と市場の見方 ー先駆的研究からのアプローチー (開催場所：アトリウム長岡)	経営情報系 助教授 遠山 正朗	10名

年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 17	6月28日(火)	燃料電池の最前線 ～ビジネスチャンスは到来か?～ (開催場所：ニュー大黒ビル)	化学系 教授 梅田 実	11名
	7月26日(火)	現代経営におけるIT依存性の増加と事業継続マネジメントの重要性 (開催場所：ニュー大黒ビル)	経営情報系 助教授 渡辺 研司	11名
	9月15日(木)	情報通信技術における符号化・暗号化 (開催場所：ニュー大黒ビル)	電気系 教授 荻原 春生	7名
	10月25日(火)	最近の加工用レーザーと、それによる加工 (開催場所：ニュー大黒ビル)	機械系 教授 伊藤 義郎	12名
	11月8日(火)	遺伝子組換え技術とその応用 (開催場所：ニュー大黒ビル)	生物系 教授 渡邊 和忠	10名
	12月9日(木)	コンパクトな都市とは (開催場所：アトリウム長岡)	環境・建設系 教授 中出 文平	17名
平成 18	6月27日(火)	液晶ディスプレイ製造におけるG9はあるのか? (開催場所：ニュー大黒ビル)	電気系 助教授 木村 宗弘	22名
	7月18日(火)	携帯機器用燃料電池～リチウムイオン二次電池がなくなる日～ (開催場所：ニュー大黒ビル)	物質・材料系 教授 梅田 実	18名
	8月29日(火)	酵素と電極反応の融合ーセンサーとバイオ燃料電池への応用ー (開催場所：ニュー大黒ビル)	生物系 助教授 下村 雅人	18名
	9月12日(火)	中小企業の事業継続マネジメントー緊急時対応のポイントー (開催場所：ニュー大黒ビル)	システム安全系 助教授 渡辺 研司	9名
	11月14日(火)	本物志向のものづくりーグレステン・ナイフの商品化と低発熱型ブレーキ装置の実用化ー (開催場所：ニュー大黒ビル)	ホンマ科学(株) 代表取締役 本間 侃	26名
	12月15日(金)	持続可能な都市交通に向けてークルマ社会におけるソフト事業ー (開催場所：アトリウム長岡)	環境・建設系 教授 松本 昌二	14名



年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 19	6月26日(火)	ISO12100 時代の安全社会と企業活動 (開催場所：ニュー大黒ビル)	システム安全系 准教授 木村 哲也	19名
	7月24日(火)	高次機能調和ナノコンポジット材料の 開発と産業応用 (開催場所：ニュー大黒ビル)	電気系 特任教授 新原 皓一	17名
	8月28日(火)	地震による建築物の変位を増幅して吸収 する制震構法の実用化に関わって (開催場所：ニュー大黒ビル)	上越工業(株) 常務取締役工場長 元井 憲雄	32名
	9月11日(火)	高温固体燃料電池 ー自動車排気ガスセンサー利用から メタンガス直接発電までー (開催場所：ニュー大黒ビル)	環境・建設系 教授 佐藤 一則	9名
	11月13日(火)	環境にやさしい電力変換技術 ～インバ ータの新しい回路方式とその応用～ (開催場所：ニュー大黒ビル)	電気系 准教授 伊東 淳一	16名
	12月11日(火)	「本草酒」四十余年 ～果実酒造りへの挑戦～ (開催場所：アトリウム長岡)	NTIC リエゾンマネージャー 山田 明文	19名
平成 20	(開催場所：いずれもニュー大黒ビル)			
	5月13日(火)	先端技術応用による特徴ある地場産業活 性化への試み	物質・材料系 教授 小林 高臣	24名
	6月17日(火)	お客さんが欲しくなるようなデザインを 目指して	経営情報系 准教授 綿引 宣道 マーラシンハ チャンドラ ジット アーシュボーダ	19名
	7月10日(木)	ハイブリッド橋梁の動向	環境・建設系 教授 長井 正嗣	13名
	8月26日(火)	生産革新活動の展開 ～国内工場から海外工場へ～	デンセイ・ラムダ(株) 生産本部長 本山 宗尚	25名
	9月10日(水)	太陽光・太陽熱・排熱の有効利用	機械系 准教授 山田 昇	24名
	11月18日(火)	カワウの漁業被害防除に向けて ～科学の力はカワウに勝てるか?～	生物系 助教 山本 麻希	15名



年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 21	6月17日(水)	激動の時代の企業経営とリスクマネジメントのあり方 (開催場所：ニュー大黒ビル)	システム安全系 准教授 渡辺 研司	19名
	7月8日(水)	完全に透明な氷をつくる/ 冷水で“気持ちイイ”冷房 (開催場所：ニュー大黒ビル)	機械系 准教授 上村 靖司	17名
	8月20日(木)	渦が織り成す不思議な現象 知って得する流体力学 (開催場所：ニュー大黒ビル)	機械系 准教授 高橋 勉	17名
	9月11日(金)	分子レベルでCO ₂ のみを分離可能な セラミック膜によるCO ₂ 除去技術の ご紹介 (開催場所：アトリウム長岡)	環境・建設系 准教授 姫野 修司	12名
	10月6日(火)	飛躍する機能性先進セラミックス (開催場所：ニュー大黒ビル)	産学融合トップランナ ー養成センター 産学融合特任准教授 田中 諭	10名
	11月17日(火)	スポーツ工学の最前線 (開催場所：ニュー大黒ビル)	経営情報系 准教授 塩野谷 明	13名
平成 22	7月29日(木)	CAE技術の現状と新開発ツールの紹介 (開催場所：ニュー大黒ビル)	機械系 教授 田辺 郁男	11名
	8月18日(水)	プラズマの基礎から応用から (開催場所：ニュー大黒ビル)	電気系 准教授 菊池 崇志	13名
	9月15日(水)	持続可能な都市を目指して ー都市圏再構築への長岡市の展望ー (開催場所：ニュー大黒ビル)	環境・建設系 教授 中出 文平	13名
	10月13日(水)	摩擦の話 ーまばたきする時に摩擦を感じますかー (開催場所：ニュー大黒ビル)	物質・材料系 教授 斎藤 秀俊	14名
	11月12日(金)	木・カニ殻・きのこから新規プラスチックを作る (開催場所：アトリウム長岡)	生物系 准教授 木村 悟隆	11名
	12月7日(火)	産学官連携成功の秘訣 ー技大の活用術ー (開催場所：アトリウム長岡)	産学官連携コーディネ ーター 品田 正人	17名



※ 平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し

Ⅱ 産学地域連携交流事業

3 産学地域交流の実施

(1) 技術開発懇談会を長岡技術科学大学との共催により実施した。

年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 23	6 月 25 日(土)	『今夏の暑さをどう乗り切るか』 〈第 1 部〉暮らしに役立つ天気予報の話 ー天気予報をより良く活用しようー 〈第 2 部〉家庭でのピークカット 15%を 実現するためのモデル生活 ー大停電を回避するためにー (開催場所：長岡市立中央図書館)	環境・建設系 准教授 熊倉 俊郎 電気系 助教 芳賀 仁	23 名
	10 月 31 日(月)	東日本大震災 ー津波の被害についてー (開催場所：ニュー大黒ビル)	環境・建設系 教授 丸山 久一	16 名
	11 月 21 日(月)	キノコが作る天然ゴムとその応用に関する研究 (開催場所：ニュー大黒ビル)	物質・材料系 准教授 河原 成元	11 名
	11 月 29 日(火)	熱電変換技術による排熱利用発電の可能性 (開催場所：直江津学びの交流館)	機械系 准教授 武田 雅敏	21 名
	12 月 6 日(火)	タンパク質を 10 倍活用する (開催場所：アトリウム長岡)	生物系 准教授 城所 俊一	13 名
	1 月 23 日(月)	感性工学によるカタチのデザイン ～成熟した消費社会で～ (開催場所：小出ボランティアセンター)	経営情報系 教授 山田 耕一	19 名
平成 24	9 月 3 日(月)	セラミックス材料の金型、ダイス部品加工 ー放電加工による、絶縁性セラミックス材料の精密 3 次元複雑形状加工ー (開催場所：燕三条地場産業振興センター)	機械系 教授 福澤 康	16 名
	9 月 11 日(火)	時代はアナログからデジタルへ。 何がどう変わったのか？ (開催場所：ニュー大黒ビル)	電気系 准教授 岩橋 政宏	11 名
	10 月 4 日(木)	ポリマー材料におけるナノテクノロジー (開催場所：ニュー大黒ビル)	物質・材料系 教授 塩見 友雄	13 名
	10 月 30 日(火)	原子力の利用による新たな鉱脈の創造 (開催場所：ニュー大黒ビル)	原子力安全系 教授 鈴木 達也	14 名
	11 月 7 日(水)	システム安全の基礎 「安全な設計とは？」を考えるヒント (開催場所：直江津学びの交流館)	システム安全系 教授 福田 隆文	19 名
	11 月 22 日(木)	イノベーション達成のための極意 (開催場所：イングリッシュガーデンホテル)	機械系 教授 田辺 郁男	20 名
	12 月 6 日(木)	新潟の水害と水防災 (開催場所：アトリウム長岡)	環境・建設系 教授 陸 旻皎	11 名
	1 月 24 日(木)	日本のものづくり (開催場所：小出ボランティアセンター)	機械系 教授 田辺 郁男	28 名

年度	実施日	テ ー マ	話題提供者 (長岡技術科学大学教員等)	参加者
平成 25	7月25日(木)	金属薄膜とナノ粒子との複合材料 ～めっきでなければできないものを作る (開催場所：ニュー大黒ビル)	物質・材料系 准教授 松原 浩	20名
	9月30日(月)	効果的なサル・クマ被害対策について (開催場所：ウェルネスしただ)	生物系 助教 山本 麻希	30名
	10月8日(火)	21世紀の技術立国を担う医用生体工学 (開催場所：上越市教育プラザ)	生物系 教授 福本 一朗	27名
	10月29日(火)	手の平サイズのホットスポット型酸素センサシステムのしくみ (開催場所：ニュー大黒ビル)	電気系 准教授 岡元 智一郎	16名
	11月6日(水)	システムの安全の基礎 「安全な設計とは？」を考える (開催場所：グランドール四季亭)	システム安全系 教授 福田 隆文	25名
	11月28日(木)	古い原子力と新しい原子力 (開催場所：ニュー大黒ビル)	原子力安全系 教授 小川 徹	15名
	1月24日(金)	超音波振動を活用した切削・研削の加工特性向上 (開催場所：小出ボランティアセンター)	機械系 准教授 磯部 浩巳	32名
平成 26	7月17日(木)	ヒト幹細胞を用いた次世代の医療・創薬 (開催場所：ニュー大黒ビル)	生物系 准教授 大沼 清	19名
	10月15日(水)	老朽化する橋梁の先進的な維持管理技術 (開催場所：ニュー大黒ビル)	環境・建設系 准教授 宮下 剛	26名
	11月14日(金)	レーザーと粒子ビームの発生と応用 (開催場所：ニュー大黒ビル)	電気系 助教 高橋 一匡	12名
	12月5日(金)	21世紀の技術立国を担う医用生体工学 －自ら守る心と体の健康－ (開催場所：燕市役所)	生物系 教授 福本 一朗	19名
	1月22日(木)	太陽エネルギーおよび排熱利用技術等の 動向と課題 (開催場所：見附市 イングリッシュガーデンホテル レアント)	機械系 准教授 山田 昇	15名
	1月26日(月)	異種金属および樹脂／金属異材レーザー 接合 (開催場所：小出ボランティアセンター)	機械系 准教授 宮下 幸雄	36名



年度	実施日	内容等	講師等	参加者
平成 27	7月13日(月)	3次元プリンタの近年の動向とビジネス展開 (開催場所：ニュー大黒ビル)	技術科学イノベーション専攻 准教授 中山 忠親	23名
	8月24日(月)	雪利用最前線 ～食品熟成からデータセンターまで～ (開催場所：直江津学びの交流館)	機械創造工学専攻 教授 上村 靖司	50名
	10月21日(水)	交通ミクロシミュレーションを用いた災害時の交通状況の予測 (開催場所：ニュー大黒ビル)	原子力システム安全工学専攻 教授 佐野 可寸志	13名
	11月19日(木)	異種金属および樹脂/金属異材レーザ接合 (開催場所：燕市役所)	機械創造工学専攻 准教授 宮下 幸雄	20名
	1月19日(火)	触媒を用いた酸化物半導体結晶の作製技術 一窒化物半導体青色LEDの次を目指してー (開催場所：見附市役所)	電気電子情報工学専攻 教授 安井 寛治	24名
	3月8日(火)	雪利用最前線 ～食品熟成からデータセンターまで～ (開催場所：南魚沼市立総合支援学校)	機械創造工学専攻 教授 上村 靖司	
平成 28	6月5日(日)	これだけ採れる・使える下水熱 まだまだ作れるバイオマスエネルギー (開催場所：道の駅クロステン十日町)	技術科学イノベーション専攻 准教授 姫野 修司	71名
	8月30日(火)	1.鋼の浸硫窒化とその特性と応用 2.競争的資金獲得のために今やるべきこと (開催場所：三条ものづくり学校)	1.機械創造工学専攻 教授 南口 誠 2.(公財)にいがた産業創造機構(NICO)産業創造グループ産学連携チーム シニアエキスパート 五十嵐 晃	23名
	9月8日(木)	1.微生物を利用した天然ゴム低分子化技術の開発 2.NICOの産学連携支援で新たなステージへ！ (開催場所：ニュー大黒ビル)	1.生物機能工学専攻 助教 笠井 大輔 2.(公財)にいがた産業創造機構(NICO)産業創造グループ 総括マネージャー 内山 雅彦	24名
	10月13日(木)	強いものづくりの現場の能力構築 (開催場所：上越市 市民プラザ)	情報・経営システム工学専攻 准教授 鈴木 信貴	38名
	11月25日(金)	モーションコピーシステムによる人間の接触動作の保存と再現 (開催場所：燕市役所)	電気電子情報工学専攻 助教 横倉 勇希	18名
	1月19日(木)	野生動物問題とそこに見出すビジネスチャンス (開催場所：堀之内公民館)	生物機能工学専攻 准教授 山本 麻希	22名
	1月27日(金)	好かれる産学連携：研究室側の本音 (開催場所：見附市役所)	情報・経営システム工学専攻 教授 綿引 宣道	24名

年度	実施日	内容等	講師等	参加者
平成 28	2月27日(月)	1.空から宝ものが降ってきた！ 2.雪冷熱利用の科学と応用 ～雪室活用の実際～ (開催場所：ホテル坂戸城)	1.(公財)雪だるま財団 チーフスノーマン 伊藤 親臣 2.機械創造工学専攻 教授 上村 靖司 (株)吉兆楽 代表取締役 北本健一郎 (株)アオスフィールド 代表取締役 佐藤 文則	47名
平成 29	4月7日(金)	ものづくりに役立つ I T ・ I o T ・ A I セミナー ～更なる生産性改善のため現場データを活用しましょう！～ 1.事例発表 1 2.事例発表 2 3.講演「AIでできること、できないこと…」 (開催場所：N I C O テクノプラザ)	1.NPO法人長岡産業活性化協会 N A Z E エヌ・エス・エス(株) 2.長岡IoT推進協議会副会長 (株)K C S 代表取締役 神田 英一朗 3.技術科学イノベーション専攻 教授 湯川 高志	97名
	6月4日(日)	もみ殻を活かして、より豊かな地域へ (開催場所：道の駅クロスステン十日町)	機械創造工学専攻 助教 山岸 郷志	55名
	10月20日(金)	障がい者スポーツ・パラリンピックから地域振興を考える (開催場所：小出ボランティアセンター)	情報・経営システム工学専攻 教授 塩野谷 明	24名
	10月30日(月)	人工知能と機械学習：そもそも何なのか・何ができるのか・どう変わるのか (開催場所：上越市 市民プラザ)	技術科学イノベーション専攻 教授 湯川 高志	46名
	12月13日(水)	1部 基調講演 「困ったときの大学、公設試！産学官連携活用による製品開発」 2部 産学連携の事例発表会 (開催場所：南魚沼市図書館)	(1部)ウエノテックス(株) 代表取締役社長 上野 光陽	52名
	2月23日(金)	AIで生産性を向上させることは可能か？ (開催場所：見附市 イングリッシュガーデンホテル レアント)	情報・経営システム工学専攻 講師 野中 尋史	64名
平成 30	10月14日(日)	新潟県自慢の資源を生活密着型の新資源に変換する途は無いのか？ (開催場所：道の駅クロスステン十日町)	機械創造工学専攻 教授 岡崎 正和	47名
	11月7日(水)	1.AIとIoTによる生産性向上 (この日本で生き抜くために) 2.AIで生産性を向上させよう！ 3.にいがた産業創造機構の研究開発支援 (情報提供) (開催場所：直江津学びの交流館)	1.機械創造工学専攻 教授 田辺 郁男 2.情報・経営システム工学専攻 講師 野中 尋史 3.(公財)にいがた産業創造機構	54名



年度	実施日	内容等	講師等	参加者
平成 30	11月15日(木)	生産性の向上について考える 1.生産性向上について考える 2.生産性向上に役立つ、近くの大学とIT企業～産学コラボで新しい価値を生み出そう！ 3.生産量確保のためのグローバル展開とITへの取り組み 4.NICOの研究開発支援 (開催場所：南魚沼市図書館)	1.機械創造工学専攻 教授 田辺 郁男 2.新潟大学 地域創生推進機構 産学官連携リサーチコーディネーター 横山 淳 3.(株)オーヒラ 取締役部長 池田 明 4.(公財)にいがた産業創造機構	42名
	12月11日(火)	1.ものづくりと安全づくり 2.にいがた産業創造機構の研究開発支援(情報提供) (開催場所：まちなかキャンパス長岡)	1.システム安全専攻 准教授 芳司 俊郎 2.(公財)にいがた産業創造機構(NICO)産業創造グループ産学連携チーム	33名
	2月21日(木)	ものづくりと安全づくり (開催場所：見附市 イングリッシュガーデンホテル レアント)	システム安全専攻 准教授 芳司 俊郎	66名
令和 元	11月7日(木)	ものづくりと安全づくり 1.ものづくりと安全づくり 2.新潟大学のものづくり 3.南魚沼からのグローバル発信 4.NICOの研究開発支援 (開催場所：南魚沼市民会館)	1.システム安全専攻 准教授 芳司 俊郎 2.新潟大学 地域創生推進機構 産学官連携リサーチコーディネーター 上松 和義 3.hakka i(株) 取締役 宮坂 重寿 4.(公財)にいがた産業創造機構	45名
	1月21日(火)	1.再生可能エネルギーの課題と展望 2.MAX相セラミックス 〈機械加工ができる高強度セラミックス〉 ～その材料特性と被加工性～ 3.にいがた産業創造機構の研究開発支援(情報提供) (開催場所：上越市市民プラザ)	1.物質材料工学専攻 教授 梅田 実 2.機械創造工学専攻 教授 南口 誠 3.(公財)にいがた産業創造機構	59名
	2月21日(金)	1.SDGsとサーキュラーエコノミーの使い方 2.にいがた産業創造機構の研究開発支援(情報提供) (開催場所：見附市 イングリッシュガーデンホテル レアント)	1.機械創造工学専攻 教授 南口 誠 2.(公財)にいがた産業創造機構	61名
令和 2	11月11日(水)	1.メタマテリアルによる光・電磁波の制御 ～微細加工が拓く将来の情報通信技術～ 2.長岡技術科学大学の産学官連携の紹介と話題提供(チタン関連の塑性加工) (開催場所：上越市市民プラザ)	1.電気電子情報工学専攻 准教授 玉山 泰宏 2.産学官連携コーディネーター 山崎 栄一	25名

年度	実施日	内容等	講師等	参加者
令和 3	11月15日(月)	1.ガラスの結晶化によるナトリウム系酸化 物全固体電池の開発 2.長岡技術科学大学の産学官連携の紹介 と話題提供(ステンレス鋼の温間絞り加工) (開催場所：上越市市民プラザ)	1.物質材料工学専攻 准教授 本間 剛 2.産学官連携コーディネ ーター 山崎 栄一	25名
	11月18日(木)	発酵技術を知る 1.地域資源完全循環型バイオコミュニティ 2.新潟大学における『発酵』研究の紹介 3.和食のキープレイヤー『麴』の魅力 4.N I C Oの研究開発支援 (開催場所：金誠館 グレースコートレア リス)	1.技術科学イノベーション 専攻 教授 小笠原 涉 2.新潟大学 地域創生推進 機構 産学官リサーチ・コ ーディネーター 上松 和義 3.八海醸造(株) 取締役 製造部長兼研究開発 室長 倉橋 敦 4.(公財)にいがた産業創 造機構	38名
令和 4	7月20日(水)	基礎から見直す DX：誰がそれに取り組む べきか？ (開催場所：見附市 イングリッシュガー デンホテル レアント)	情報・経営システム系 准教授 白川 智弘	35名
	11月18日(木)	1.チタンスクラップを活用したプラズマ 溶射技術の開発と抗菌性評価 2.異種金属および樹脂と金属の異材接合 と強度信頼性評価 3.長岡技術科学大学の産学官連携の紹介 (開催場所：上越市市民プラザ)	1.システム安全系 准教授 大塚 雄市 2.機械系 教授 宮下 幸雄 3.産学官連携コーディネ ーター 山崎 栄一	30名
	12月1日(木)	アグリテック 1.スマート農業による楽農支援 2.大学附属農場のアグリテックと農業共創 拠点 3. N I C Oの研究開発支援 (開催場所：MUSUBI-BA (南魚沼市事業創発拠点))	1.技術科学イノベーション 系 教授 中山 忠親 2.新潟大学農学部 教授 長谷川 英夫 3.(公財)にいがた産業創 造機構	36名



3. 工業所有権の取得に対する援助

(研究成果の工業所有権取得に必要な経費の助成)

昭和 56 年度から平成 20 年度までの間、以下の助成を行った。

年度	件数	発 明 の 名 称	発 明 代 表 者
昭和 56	2	* 放射線エネルギーによる高エネルギー化合物の生成・貯蔵方法	松井 正夫 (長岡技科大)
		* 超伝導交流バイアス増幅装置	山下 努 (長岡技科大)
昭和 57	4	* 光ファイバジャイロスコープ	作田 共平 (長岡技科大)
		* 化合物超伝導体の形成方法	津端 一郎 (長岡技科大)
		* 曲線法を用いたX線回折による応力測定方法	栗田 政則 (長岡技科大)
		* 潜熱交換方式による融雪、蓄熱、冷房装置	服部 賢 (長岡技科大)
昭和 58	4	* 光通信網	増田 孝雄 (長岡技科大)
		* 超伝導増巾回路	山下 努 (長岡技科大)
		* 定吐出圧制御ポンプ	矢野 俊雄 (和歌山工業高専)
		* 磁気記録媒体の製造法	弘津 禎彦 (長岡技科大)
昭和 59	5	* 水素同位体の膜分離法	松井 正夫 (長岡技科大)
		* 超伝導電子回路	山下 努 (長岡技科大)
		* 蒸気圧縮型の熱移動装置の能力可変法	小暮 晴美 (鹿児島工業高専)
		* マイクロサーモグラフィ装置	松田 甚一 (長岡技科大)
		* 硫酸チタン溶液から硫酸チタニルニ水塩を結晶として析出させる方法	高倉英太郎 (旭川工業高専)
		その他、審査請求に必要な経費 5 件、登録に必要な経費 1 件の助成を行った。	
昭和 60	5	* 手軽に遅進させることを可能ならしめた水晶式電子計時装置	小暮 晴美 (鹿児島工業高専)
		* 光増幅機能を有する 3 結合導波路光タップ	作田 共平 (長岡技科大)
		* 単環および多環芳香族カルボン酸類またはそれらの誘導体の製造方法	重康 素夫 (高知工業高専)
		* 積層型 3 次元立体液晶ディスプレイ	中川 匡弘 (長岡技科大)
		* 突切りバイトの刃部構造	豊山 晃 (長岡技科大)
その他、審査請求に必要な経費 3 件の助成を行った。			
昭和 61	4	* チャック構造	門脇 義次 (秋田工業高専)
		* ヘキサシアノ鉄(Ⅲ)酸銀を用いる塩化物の濃度測定方法	山田 明文 (長岡技科大)
		* パワーMOSFETによるインバータ回路	野村 弘 (高知工業高専)
		* 構造力学講義用教材具	佐藤 蕃 (群馬工業高専)
その他、公告、審査請求に必要な経費 5 件の助成を行った。			
昭和 62	3	* 音声符号・復号器	野村 芳男 (熊本電波高専)
		* 移動フレ止めの爪を被削材の外径変化に従って移動させる方法	大柏 哲治 (旭川工業高専)
		* 自動車用融雪氷装置	山崎 保輔 (秋田工業高専)
その他、公告、中間書類提出に必要な経費 2 件の助成を行った。			
昭和 63	2	* ベース入力・エミッタ出力形水晶発振器	千葉作富郎 (長野工業高専)
		* 密度勾配のある空気層による光路の屈折実験装置	北辻 安次 (八代工業高専)
その他、公告、中間書類提出に必要な経費 4 件の助成を行った。			

年度	件数	発 明 の 名 称	発 明 代 表 者
平成 元	6	<ul style="list-style-type: none"> * 双方向通信装置 * 植樹用防雪柵 * 雪水混合体中の雪の濃度の測定装置 * 旋盤における二重六点支持自動心出し装置 * 刃付回転切断具 * 連続植樹および建築物の防雪柵 	高松 政利 (久留米工業高専) 伊藤 廣 (長岡技科大) 北原 拓夫 (長岡技科大) 大柏 哲治 (旭川工業高専) 柳本 憲作 (鶴岡工業高専) 阿部雅二郎 (長岡技科大)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 5 件の助成を行った。	
平成 2	4	<ul style="list-style-type: none"> * ガット張器 * き裂制御爆破工法 * 足で操作できるポインティングデバイス * 車軸の蛇走を人為的なコントロールの下に置いた鉄道車両用台車 	中島 勝行 (久留米工業高専) 中村 裕一 (八代工業高専) 中村 博文 (都城工業高専) 小暮 晴美 (鹿児島工業高専)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 5 件の助成を行った。	
平成 3	5	<ul style="list-style-type: none"> * スピンドル熱変位の測定法 * 電荷減衰特性測定装置 * 硫化物系光導電薄膜の非熱的製造法 * ブラシレス単相半速同期電動機 * リベット列、ボルト列等を用いたパネル接合部分の接合法 	柳 和久 (長岡技科大) 有本 匡男 (長岡工業高専) 伊藤 和男 (大阪府立高専) 藤井 邦夫 (久留米工業高専) 小暮 晴美 (鹿児島工業高専)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 4 件の助成を行った。	
平成 4	6	<ul style="list-style-type: none"> * ドリル * 工作機械の主軸軸受の熱変形抑制方法 * 度数累算型メモリ半導体集積回路 * 電波吸収体 * 重錘式トルクコンバータ * 実体顕微鏡下において仮想臨場感再現機構によって作業する装置 	田口 紘一 (有明工業高専) 田辺 郁男 (富山工業高専) 中島 勝行 (久留米工業高専) 宮田 克正 (秋田工業高専) 藤田 稔 (長岡工業高専) 栗本育三郎 (木更津工業高専)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 3 件の助成を行った。	
平成 5	3	<ul style="list-style-type: none"> * スナバエネルギー回生方式 * 低比重で加工性に優れるマグネシウム合金およびその製造方法 * 逆解析手法による生体筋力特性の測定法 	野村 弘 (高知工業高専) 小島 陽 (長岡技科大) 長谷川光彦 (長岡技科大)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 6 件の助成を行った。	
平成 6	5	<ul style="list-style-type: none"> * 転がり案内振動・音響測定用駆動装置 * 水道用接続管の機密検査装置 * 材料の破面間の架橋力測定法 * 数値データの可視化法 * 疑似高速撮影法 	太田 浩之 (長岡技科大) 有本 匡男 (長岡工業高専) 森 和也 (久留米工業高専) 川田 重夫 (長岡技科大) 梅津 清二 (大分工業高専)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 6 件の助成を行った。	
平成 7	4	<ul style="list-style-type: none"> * 水素吸蔵合金を用いた水道水冷却方法並びに水道水冷却装置 * 無段変速機を用いて制動エネルギーを回収するアンチロックブレーキ * 与圧機体等の空気等漏洩監視、記録システム * 逆解析手法による多関節筋力特性の測定法 	江崎 秀司 (鹿児島工業高専) 大柏 哲治 (旭川工業高専) 小暮 晴美 (鹿児島工業高専) 長谷川光彦 (長岡技科大)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 6 件の助成を行った。	

年度	件数	発 明 の 名 称	発 明 代 表 者
平成 8	2	* ラドン濃度測定方法並びにラドン濃度測定装置 * 大気中の電位差を利用した発電方法及びその発電機	山本 誠一 (市立神戸高専) 千葉 慎二 (仙台電波高専)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 6 件の助成を行った。	
平成 9	2	* 金属薄板のスポット溶接法 * 電荷減衰特性評価装置	相澤 友勝 (東京都立高専) 有本 匡男 (長岡工業高専)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 7 件の助成を行った。	
平成 10	1	* カンチレバー型の吸着センサー並びに吸着力解析方法	河合 晃 (長岡技科大)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 3 件の助成を行った。	
平成 11	1	* 新形状伝熱管	相場 眞也 (秋田工業高専)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 3 件の助成を行った。	
平成 12	1	* 座標入力装置	菅 通久 (高知工業高専)
		その他、公告、中間書類提出に必要な経費 1 件の助成を行った。	
平成 13		工業所有権の取得に係る中間書類提出に必要な経費 2 件の助成を行った。	
平成 14	1	* 細線加熱による液体の比熱測定方法及び比熱測定装置	根本 栄治 (茨城工業高専)
		工業所有権の取得に係る出願、中間書類提出に必要な経費 9 件の助成を行った。	
平成 15	1	* 熱流計式多点温度測定法による二次元異方性物質の主軸熱物性値測定方法およびその測定装置	根本 栄治 (茨城工業高専)
		工業所有権の取得に係る出願に必要な経費 1 件の助成を行った。	
平成 16		工業所有権の取得に係る必要な経費 1 件の助成を行った。	
平成 17		工業所有権の取得に係る必要な経費 1 件の助成を行った。	
平成 18		助成なし	
平成 19		助成なし	
平成 20		工業所有権の取得に係る必要な経費 1 件の助成を行った。	

4. 講習会、研究会等の開催

(1) 講習会の開催（先端的な生産技術に関する講習会の開催）

年度	件名・開催日等
昭和 58	<p>「昭和 58 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学、本会 開 催 日：第 1 回 昭和 58 年 8 月 4 日(木)～8 月 10 日(水)の間の 5 日間 第 2 回 昭和 58 年 8 月 18 日(木)～8 月 24 日(水)の間の 5 日間 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「これからの生産技術 ―メカトロニクスを中心として―」 対 象 者：地域産業界における技術者及び技能者</p>
	<p>「昭和 58 年度ビデオによる市民文化講座」 主 催：長岡技術科学大学、長岡市（本会後援） 開 催 日：昭和 58 年 8 月 17 日(水)～8 月 31 日(水)の 5 日間 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「文化人類学」「美術史・美術論」 対 象 者：一般市民</p>
昭和 59	<p>「三条市中小企業技術者養成特別研修」 主 催：三条市、三条工業会、三条商工会議所、本会 開 催 日：昭和 59 年 7 月 30 日(月)～8 月 29 日(水)の 8 日間 開催場所：長岡技術科学大学 研修内容：「ニューセラミックス」「自動化技術」「生産設計」「精密計測技術」 参 加 者：三条市内中小企業技術者 20 名</p>
	<p>「昭和 59 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開 催 日：第 1 回 昭和 59 年 8 月 7 日(火)～8 月 10 日(金) 第 2 回 昭和 59 年 8 月 27 日(月)～8 月 31 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：第 1 回 「これからの生産技術 ―精密生産技術を中心として―」 第 2 回 「メカトロニクスの基礎」 対 象 者：地域産業界における技術者及び技能者</p>
	<p>「昭和 59 年度ビデオによる市民文化講座」 主 催：長岡技術科学大学、長岡市、長岡市教育委員会（本会後援） 開 催 日：昭和 59 年 9 月 25 日(火)～10 月 9 日(火)の 5 日間 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「地球の歴史」「知能と創造性」 対 象 者：一般市民</p>
昭和 60	<p>「昭和 60 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開 催 日：昭和 60 年 6 月 27 日(木)～7 月 3 日(水)の間の 5 日間 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「新素材の開発と応用」 参 加 者：100 名</p>
	<p>「本田宗一郎氏を囲む座談会」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開 催 日：昭和 60 年 7 月 29 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「現代社会と技術者精神」 参 加 者：長岡技術科学大学教官及び学生等 18 名</p>



年度	件名・開催日等
昭和 60	「三条市技術科学講座」 主 催：三条市、三条工業会、三条商工会議所、本会 開 催 日：昭和 60 年 8 月 7 日(水)～9 月 4 日(水)の間の 10 日間 開催場所：長岡技術科学大学等 研修内容：油圧制御、自動化技術、新産業ロボット、計測工学、システム工学、新素材の利用 参 加 者：三条市内の中小企業技術者 20 名
	「昭和 60 年度ビデオによる市民文化講座」 主 催：長岡技術科学大学、長岡市、長岡市教育委員会（本会后援） 開 催 日：昭和 60 年 9 月 24 日(火)～10 月 8 日(火)の間の 5 日間 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「児童心理」「日本文化論」 参 加 者：64 名
昭和 61	「昭和 61 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：昭和 61 年 6 月 23 日(月)～6 月 27 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「21 世紀をめざす土木技術の動向」 参 加 者：100 名
	「昭和 61 年度ビデオによる市民文化講座」 主 催：長岡技術科学大学、長岡市、長岡市教育委員会（本会后援） 開 催 日：昭和 61 年 9 月 25 日(木)～10 月 9 日(木)の間の 5 日間 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：宇宙の進化、美術史、美術論 参 加 者：60 名
	「技術科学大学コロキウム'86」 主 催：長岡技術科学大学（本会共催） 開 催 日：昭和 61 年 9 月 30 日(火)～10 月 1 日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 参 加 者：50 名
昭和 62	「昭和 62 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：昭和 62 年 6 月 22 日(月)～6 月 27 日(土) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「生物機能工学の新展開」 参 加 者：80 名
	「昭和 62 年度ビデオによる市民文化講座」 主 催：長岡技術科学大学、長岡市、長岡市教育委員会（本会后援） 開 催 日：昭和 62 年 10 月 12 日(月)～10 月 14 日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「現代社会の読み方 ―国際化時代の教養講座―」 参 加 者：60 名
昭和 63	「昭和 63 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：昭和 63 年 6 月 27 日(月)～7 月 1 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「高度情報化社会への展開」 参 加 者：80 名
	「昭和 63 年度ビデオによる市民文化講座」 主 催：長岡技術科学大学、長岡市、長岡市教育委員会（本会后援） 開 催 日：昭和 63 年 11 月 8 日(火)～11 月 11 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「中国語会話講座（入門編・観光編）」 参 加 者：60 名

年度	件名・開催日等
平成元	<p>「平成元年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成元年7月10日(月)～7月14日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「レーザーの基礎と応用」 参 加 者：77名</p>
	<p>「平成元年度ビデオによる市民文化講座」 主 催：長岡技術科学大学、長岡市、長岡市教育委員会（本会后援） 開 催 日：平成元年10月17日(火)～10月20日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「アメリカ・フォートワース・英会話」 参 加 者：56名</p>
平成2	<p>「平成2年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：第1回 平成2年6月6日(水)～6月15日(金)の間の7日間 第2回 平成2年7月4日(水)～7月13日(金)の間の8日間 開催場所：長岡技術科学大学 テ-マ・参加者：第1回 「中国の歴史と文化」 54名 第2回 「生活の中のファインセラミックス」 38名</p>
	<p>「平成2年度ビデオによる市民文化講座」 主 催：長岡技術科学大学、長岡市、長岡市教育委員会（本会后援） 開 催 日：平成2年9月25日(火)～9月28日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「古くて新しいバイオテクノロジー — 民族の酒の伝統と伝承—」 参 加 者：42名</p>
	<p>「平成2年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：第1回 平成3年2月7日(木)～2月8日(金) 第2回 平成3年3月14日(木)～3月15日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ-マ・参加者：第1回 「レーザー加工及び計測の基礎と応用」 15名 第2回 「固体素材の局所物理分析技術の習得」 14名</p>
	<p>「平成3年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：第1回 平成3年6月1日(土)～7月6日(土)の間の4日間 第2回 平成3年9月21日(土)～10月12日(土)の間の4日間 開催場所：長岡技術科学大学 テ-マ・参加者：第1回 「生活の中の科学 — 感覚の世界—」 50名 第2回 「快適な生活環境をめざして — 騒音・振動の低減対策—」 36名</p>
平成3	<p>「平成3年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：第1回 平成3年11月9日(土)・11月16日(土) 第2回 平成4年1月23日(木)・1月24日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ-マ・参加者：第1回 「建設計測技術の基礎と応用」 14名 第2回 「デジタル信号処理の基礎と応用 — 高度情報処理技術の活用を目指して—」 22名</p>
	<p>「平成3年度市民教養講座」 主 催：長岡市、長岡市教育委員会、長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成3年12月2日(月)～12月6日(金) 開催場所：長岡技術科学大学・長岡市立図書館 テ ー マ：「科学のあゆみ」</p>

年度	件名・開催日等
平成4	「平成4年度長岡技術科学大学公開講座」 主催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催日：平成4年6月20日(土)・6月27日(土)・7月4日(土) 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ：「技術と人間性のかかわり」 参加者：61名
	「平成4年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学 〔第1回〕 ・開催日：平成4年9月21日(月)・9月22日(火) ・テーマ：「これからのマシンデザインー機械の軽量化設計ー」 ・参加者：20名 〔第2回〕 ・開催日：平成4年11月24日(火)・11月25日(水) ・テーマ：「ポリマーアロイの基礎と応用ーポリマーリサイクル化への一歩ー」 ・参加者：7名
	「平成4年度市民教養講座」 主催：長岡市、長岡市教育委員会、長岡技術科学大学（本会後援） 開催日：平成4年10月26日(月)～11月19日(木)の間の10日間 開催場所：長岡技術科学大学・長岡市立中央図書館 テーマ：「くらしの中の科学技術」 参加者：38名
平成5	「平成5年度長岡技術科学大学公開講座」 主催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学 〔第1回〕 ・開催日：平成5年6月19日(土)・6月26日(土)・7月3日(土) ・テーマ：「バイオサイエンスと医療」 ・参加者：54名 〔第2回〕 ・開催日：平成5年9月4日(土)・9月11日(土)・9月18日(土) ・テーマ：「現代日本の芸術文化」 ・参加者：65名
	「平成5年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学 〔第1回〕 ・開催日：平成5年11月18日(木)～11月19日(金) ・テーマ：「これからのマシン・デザインー機械の軽量化設計ー」 ・参加者：18名 〔第2回〕 ・開催日：平成6年1月20日(木)～1月21日(金) ・テーマ：「電子デバイスの基礎と応用」 ・参加者：26名
	「平成5年度市民教養講座」 主催：長岡市、長岡市教育委員会、長岡技術科学大学（本会後援） 開催日：平成5年10月5日(火)～10月22日(金)の間の6日間 開催場所：長岡技術科学大学・長岡市立中央図書館 テーマ：「くらしの中の科学技術」 参加者：42名

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 6	<p>「平成 6 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 6 年 6 月 25 日(土)・7 月 2 日(土)・7 月 9 日(土) ・テ ー マ：「生活を便利に華やかにする化学」 ・参加者：54 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 6 年 11 月 12 日(土)・11 月 19 日(土)・11 月 26 日(土) ・テ ー マ：「生活の中の科学・工学・技術」 ・参加者：47 名</p>
	<p>「平成 6 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 6 年 7 月 28 日(木)～7 月 29 日(金) ・テ ー マ：「エンジニアリングワークステーション活用技術」 ・参加者：20 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 6 年 10 月 20 日(木)～10 月 21 日(金) ・テ ー マ：「建設新技術の解説と演習」 ・参加者：15 名</p>
	<p>「平成 6 年度市民教養講座」 主 催：長岡市、長岡市教育委員会、長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 6 年 10 月 4 日(火)～10 月 21 日(金)の間の 6 日間 開催場所：長岡技術科学大学・長岡市立中央図書館 テ ー マ：「くらしの中の科学技術」 参加者：42 名</p>
平成 7	<p>「平成 7 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援）</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 7 年 5 月 20 日(土)・5 月 27 日(土)・6 月 3 日(土) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・テ ー マ：「環境問題の新たな視点 ーわが『環境システム工学』の試みー」 ・参加者：69 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 7 年 10 月 14 日(土)・10 月 21 日(土)・10 月 28 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・テ ー マ：「物質の第 4 状態 “プラズマ” とその応用」 ・参加者：33 名</p>
	<p>「平成 7 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 7 年 10 月 19 日(木)～10 月 20 日(金) ・テ ー マ：「非接触精密計測の最先端」 ・参加者：15 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 7 年 11 月 14 日(火)～11 月 15 日(水) ・テ ー マ：「機能性薄膜の作製と評価」 ・参加者：10 名</p>
	<p>「平成 7 年度市民教養講座」 主 催：長岡市、長岡市中央公民館、長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 7 年 10 月 4 日(水)～10 月 20 日(金)の間の 6 日間 開催場所：長岡技術科学大学・長岡市立中央図書館 テ ー マ：「くらしの中の科学技術」</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 8	<p>「平成 8 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援）</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 8 年 6 月 8 日(土)・6 月 15 日(土)・6 月 22 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・テ ー マ：「日常生活の中の科学・技術」 ・参加者：50 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 8 年 10 月 5 日(土)・10 月 19 日(土)・11 月 9 日(土) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・テ ー マ：「経済社会の変貌と生活スタイルの変化」 ・参加者：26 名</p> <hr/> <p>「平成 8 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 8 年 9 月 2 日(月)～9 月 3 日(火) ・テ ー マ：「生体情報の計測と処理技術」 ・参加者：10 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 9 年 1 月 23 日(木)～1 月 24 日(金) ・テ ー マ：「光ファイバー（石英、プラスチック等）の基礎と応用」 ・参加者：15 名</p>
平成 9	<p>「平成 9 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援）</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 9 年 6 月 14 日(土)・6 月 21 日(土)・6 月 28 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・テ ー マ：「暮らしとバイオテクノロジー ―微生物・酵素・遺伝子―」 ・参加者：37 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 9 年 10 月 11 日(土)・10 月 18 日(土)・10 月 25 日(土) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・テ ー マ：「暮らしの中のおもしろ化学」 ・参加者：30 名</p> <hr/> <p>「平成 9 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 9 年 10 月 30 日(木)～10 月 31 日(金) ・テ ー マ：「機械要素・機械システムの運動と制御」 ・参加者：10 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 9 年 11 月 13 日(木)～11 月 14 日(金) ・テ ー マ：「建設技術の最先端」 ・参加者：10 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 10	<p>「平成 10 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：10 年 6 月 6 日(土)・6 月 13 日(土)・6 月 20 日(土) ・テ ー マ：「21 世紀地球市民のための環境学講座」 ・参 加 者：55 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 10 年 10 月 17 日(土)・10 月 24 日(土)・10 月 31 日(土) ・テ ー マ：「マルチメディアの世界 ー理解と体感ー」 ・参 加 者：46 名</p> <hr/> <p>「平成 10 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 10 年 11 月 9 日(月)～11 月 10 日(火) ・テ ー マ：「発想と意思決定の技法」 ・参 加 者：10 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 10 年 11 月 12 日(木)～11 月 13 日(金) ・テ ー マ：「最先端セラミックス材料の応用と解析評価」 ・参 加 者：10 名</p>
平成 11	<p>「平成 11 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：「もの造り、ひと造り、最近の話題」</p> <p>〔第 1 期〕 ・開 催 日：平成 11 年 6 月 12 日(土)・6 月 26 日(土) ・参 加 者：29 名</p> <p>〔第 2 期〕 ・開 催 日：平成 11 年 8 月 14 日(土)・8 月 28 日(土) ・参 加 者：23 名</p> <p>〔第 3 期〕 ・開 催 日：平成 11 年 10 月 9 日(土)・10 月 23 日(土) ・参 加 者：21 名</p> <hr/> <p>「平成 11 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 11 年 11 月 4 日(木)～11 月 5 日(金) ・講 座 名：「電力とパワーエレクトロニクスの先端技術」 ・参 加 者：10 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 11 年 11 月 11 日(木)～11 月 12 日(金) ・講 座 名：「環境・建設分野への情報システムの応用」 ・参 加 者：10 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 12	<p>「平成 12 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 12 年 6 月 24 日(土)・7 月 1 日(土)・7 月 8 日(土) ・講 座 名：「光で生活を豊かに」 ・参 加 者：36 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 12 年 7 月 29 日(土) ・講 座 名：「電気自動車の現状、将来、試作について」 ・参 加 者：31 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開 催 日：平成 12 年 10 月 7 日(土)・10 月 14 日(土) ・講 座 名：「極限エネルギー密度状態の発生と応用」 ・参 加 者：16 名</p> <hr/> <p>「平成 12 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 12 年 10 月 31 日(火)・平成 12 年 11 月 1 日(水) ・講 座 名：「新しい微生物の検査法」 ・参 加 者：10 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 12 年 11 月 10 日(金)・平成 12 年 11 月 11 日(土) ・講 座 名：「鋳造および鍛造のシミュレーション技術」 ・参 加 者：10 名</p>
平成 13	<p>「平成 13 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援）</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 13 年 6 月 16 日(土)・6 月 23 日(土)・6 月 30 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・講 座 名：「IT 社会を生き抜くための基礎講座」 ・参 加 者：30 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 13 年 6 月 30 日(土)・7 月 7 日(土)・7 月 14 日(土) ・開催場所：上越教育大学 学校教育総合研究センター ・講 座 名：「光で生活を豊かに」 ・参 加 者：9 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開 催 日：平成 13 年 7 月 19 日(木)・7 月 25 日(水)・8 月 8 日(水)・ 8 月 22 日(水)・8 月 29 日(水) ・開催場所：長岡市中央公民館 ・講 座 名：「きのこの科学」 ・参 加 者：29 名</p> <p>〔第 4 回〕 ・開 催 日：平成 13 年 9 月 29 日(土)・10 月 6 日(土) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・講 座 名：「環境と身の回りの生活 ーリサイクルと環境微量有害物質」 ・参 加 者：16 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 13	<p>「平成 13 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 13 年 10 月 15 日(月)・10 月 16 日(火) ・講 座 名：「小規模 LAN の活用入門とこれからの情報ネットワーク応用技術」 ・参 加 者：10 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 13 年 11 月 5 日(月)・11 月 6 日(火) ・講 座 名：「建設と環境対応技術」 ・参 加 者：11 名</p>
平成 14	<p>「平成 14 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援）</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 14 年 7 月 6 日(土)・7 月 13 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・講 座 名：「これからの機械安全」 ・参 加 者：27 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 14 年 9 月 29 日(土) ・開催場所：上越市市民プラザ ・講 座 名：「環境とエネルギー」 ・参 加 者：14 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開 催 日：平成 14 年 10 月 12 日(土)・10 月 19 日(土) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・講 座 名：「アルツハイマー型痴呆の原因と診断・治療 －医学、工学、理学の立場からのアプローチ」 ・参 加 者：32 名</p>
	<p>「平成 14 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 14 年 11 月 5 日(火)・11 月 6 日(水) ・講 座 名：「有機機能材料開発のための高度機器分析 －基礎と応用－」 ・参 加 者：8 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 14 年 11 月 11 日(月)・11 月 12 日(火) ・講 座 名：「“統計技術” 再入門 －実践的な視点から－」 ・参 加 者：6 名</p>

年度	件名・開催日等
平成 15	<p>「平成 15 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援）</p> <p>〔第 1 回〕 ・開催日：平成 15 年 6 月 7 日(土)・6 月 14 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・講座名：「クリーンエネルギー「燃料電池」－基礎から身の回りの応用まで－」 ・参加者：56 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開催日：平成 15 年 7 月 12 日(土) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・講座名：「暮らしの中のプラズマの不思議」 ・参加者：16 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開催日：平成 15 年 9 月 20 日(土)・9 月 27 日(土) ・開催場所：上越市市民プラザ ・講座名：「脳の老化・痴呆に挑む」 ・参加者：23 名</p> <p>〔第 4 回〕 ・開催日：平成 15 年 11 月 1 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・講座名：「光の性質と光学的測定法」 ・参加者：28 名</p>
	<p>「平成 15 年度長岡技術科学大学技術開発センター高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開催日：平成 15 年 8 月 7 日(木)・8 月 8 日(金) ・講座名：「ロボット技術と機械システムの制御」 ・参加者：5 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開催日：平成 15 年 10 月 7 日(火)・10 月 8 日(水) ・講座名：「新しい道路舗装技術の基準類と舗装構造解析プログラムの活用法」 ・参加者：19 名</p>
平成 16	<p>「平成 16 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援）</p> <p>〔第 1 回〕 ・開催日：平成 16 年 10 月 2 日(土)・10 月 9 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・講座名：「IT 社会の光と影」 ・参加者：21 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開催日：平成 16 年 11 月 13 日(土)・11 月 20 日(土)・11 月 27 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ⇒地震のため中止 ・講座名：「先端材料の最先端」</p> <p>〔第 3 回〕 ・開催日：平成 16 年 12 月 4 日(土)・12 月 11 日(土) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・講座名：「情報技術を用いた新潟県・長岡市の雪害・水害の実態把握とその対策」 ・参加者：31 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 16	<p>「平成 16 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 16 年 8 月 26 日(木)・8 月 27 日(金) ・講 座 名：「生物由来材料の構造・物性評価」 ・参 加 者：6 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 16 年 10 月 7 日(木)・10 月 8 日(金) ・講 座 名：「最新の電子・光デバイスとそれを支える先端技術」 ・参 加 者：7 名</p>
平成 17	<p>「平成 17 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援）</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 17 年 8 月 30 日(火) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・講 座 名：「大きな事故が起こるが、それはなぜか。－国際安全規格入門－」 ・参 加 者：22 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 17 年 10 月 30 日(日) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・講 座 名：「医用・ヘルスケア機器の現状と展望」 ・参 加 者：13 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開 催 日：平成 17 年 11 月 12 日(土)・11 月 19 日(土)・11 月 26 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・講 座 名：「先端材料の最先端」 ・参 加 者：26 名</p>
	<p>「平成 17 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 18 年 1 月 10 日(火)・1 月 11 日(水) ・講 座 名：「日本における安全技術の現状とその将来」 ・参 加 者：13 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 18 年 1 月 26 日(木)・1 月 27 日(金) ・講 座 名：「環境情報技術の実利用」 ・参 加 者：7 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 18	<p>「平成 18 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：第 4 回のみ長岡市立中央図書館、その他は長岡市中央公民館</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 18 年 7 月 22 日(土) ・講 座 名：「金融工学入門 ～工学的視点でみたお金とは～」 ・参 加 者：42 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 18 年 10 月 7 日(土)・10 月 14 日(土) ・講 座 名：「『がん』をみつけて、やっつける！～最新技術をがん治療に生かす～」 ・参 加 者：29 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開 催 日：平成 18 年 10 月 21 日(土) ・講 座 名：「遺伝子組換え食品のどこが危険なのか？」 ・参 加 者：44 名</p> <p>〔第 4 回〕 ・開 催 日：平成 18 年 11 月 18 日(土) ・講 座 名：「環境問題をエネルギーと有害物質の視点から考える」 ・参 加 者：34 名</p>
	<p>「平成 18 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 18 年 10 月 10 日(火)・10 月 11 日(水) ・講 座 名：「先端プラズマ・ビーム技術を用いた物作りと評価方法 －ナノテクの神髄を知りたいと思いませんか？－」 ・参 加 者：5 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 18 年 11 月 14 日(火)・11 月 15 日(水) ・講 座 名：「光触媒材料の作成と評価法」 ・参 加 者：8 名</p>
平成 19	<p>「平成 19 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開催場所：第 1 回のみ長岡市立中央図書館、その他は長岡市中央公民館</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 19 年 8 月 25 日(土) ・講 座 名：「自然災害はなぜ生じるか ～自然災害と地盤の関係～」 ・参 加 者：59 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 19 年 10 月 13 日(土) ・講 座 名：「遺伝子組換え食品のどこが危険なのか？その 2」 ・参 加 者：50 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開 催 日：平成 19 年 10 月 20 日(土)・10 月 27 日(土)・11 月 3 日(土) ・講 座 名：「新しい高度電気エネルギー利用技術 －宇宙から電車まで－」 ・参 加 者：25 名</p> <p>〔第 4 回〕 ・開 催 日：平成 19 年 11 月 10 日(土) ・講 座 名：「活性酸素・活性水素・マイナスイオンの実態 －化学的視点から－」 ・参 加 者：41 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 19	<p>「平成 19 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開 催 日：平成 19 年 10 月 1 日(月)～10 月 3 日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 講 座 名：「計測制御用の汎用ソフトウェア LabVIEW の実技と技術・製品開発への応用」 参 加 者：17 名</p>
平成 20	<p>「平成 20 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援）</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 20 年 7 月 5 日(土) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・講 座 名：「中小零細企業のための産学連携マネジメント」 ・参 加 者：17 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 20 年 7 月 19 日(土) ・開催場所：長岡市中央公民館 ・講 座 名：「テクノロジーが拓く野生動物の行動研究と共存への道」 ・参 加 者：18 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開 催 日：平成 20 年 7 月 26 日(土) ・開催場所：長岡市立中央図書館 ・講 座 名：「天然ゴムを精製することによるアレルギー低減と脱化石燃料化」 ・参 加 者：18 名</p> <p>〔第 4 回〕 ・開 催 日：平成 20 年 10 月 4 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学 ・講 座 名：「地球の気候環境変動の過去と現在 ―南極の氷から何が分かるのか？そして地球の将来は？―」 ・参 加 者：25 名</p> <p>〔第 5 回〕 ・開 催 日：平成 20 年 10 月 11 日(土) ・開催場所：長岡市中央公民館 ・講 座 名：「サステイナブル（持続可能）社会のための先端技術」 ・参 加 者：26 名</p>
	<p>「平成 20 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会後援） 開 催 日：平成 20 年 4 月 22 日(火)～4 月 24 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学 講 座 名：「計測制御用の汎用ソフトウェア LabVIEW の実技と技術・製品開発への応用」 参 加 者：16 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 21	<p>「平成 21 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：第 4 回のみ長岡技術科学大学、その他は長岡市中央公民館</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 21 年 7 月 4 日(土)・7 月 11 日(土)・7 月 18 日(土) ・講 座 名：「不況でも生き生きと安心して働ける職場を目指して」 ・参 加 者：延べ 40 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 21 年 9 月 5 日(土)・9 月 12 日(土)・10 月 10 日(土) ・講 座 名：「情報通信技術最前線」 ・参 加 者：延べ 61 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開 催 日：平成 21 年 9 月 26 日(土) ・講 座 名：「橋梁の構造ヘルスマニタリング」 ・参 加 者：21 名</p> <p>〔第 4 回〕 ・開 催 日：平成 21 年 10 月 17 日(土) ・講 座 名：「遺伝子組換え食品・作物とどうつき合っていくのか」 ・参 加 者：25 名</p> <p>〔第 5 回〕 ・開 催 日：平成 21 年 10 月 31 日(土) ・講 座 名：「コンピュータによる物質創製」 ・参 加 者：11 名</p> <p>〔第 6 回〕 ・開 催 日：平成 21 年 11 月 14 日(土) ・講 座 名：「くらしの中の超音波および電磁波の利用」 ・参 加 者：31 名</p>
	<p>「平成 21 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 21 年 10 月 6 日(火)・10 月 7 日(水)・10 月 19 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 講 座 名：「国際規格の安全原則で不安を解消するモノづくり」 参 加 者：23 名</p>
平成 22	<p>「平成 22 年度長岡技術科学大学公開講座」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催場所：第 4 回のみ長岡技術科学大学、その他は長岡市中央公民館</p> <p>〔第 1 回〕 ・開 催 日：平成 22 年 6 月 5 日(土) ・講 座 名：「エコ技術と電気自動車への期待」 ・参 加 者：24 名</p> <p>〔第 2 回〕 ・開 催 日：平成 22 年 7 月 3 日(土)・7 月 10 日(土) ・講 座 名：「おもしろいエコロジー講座 -身近に起こっている野生鳥獣問題を読み解く-」 ・参 加 者：14 名</p> <p>〔第 3 回〕 ・開 催 日：平成 22 年 7 月 24 日(土) ・講 座 名：「低炭素社会を如何に構築するか」 ・参 加 者：14 名</p>

年度	件名・開催日等
平成 22	[第 4 回] ・開催日：平成 22 年 9 月 11 日(土) ・講座名：「カオス・フラクタルを通してヒトの心を推し測る」 ・参加者：7 名 [第 5 回] ・開催日：平成 22 年 9 月 25 日(土) ・講座名：「鉄やコンクリートはどうして劣化するのか」 ・参加者：15 名 [第 6 回] ・開催日：平成 22 年 10 月 23 日(土) ・講座名：「宇宙物理入門ーブラックホールからダークエネルギーまでー」 ・参加者：13 名 [第 7 回] ・開催日：平成 22 年 12 月 11 日(土) ・講座名：「地元のメタンを使ってエネルギーを生み出す」 ・参加者：19 名
	「平成 22 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催日：平成 23 年 2 月 22 日(火)～2 月 24 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学 講座名：「技術者のための安全工学ーシステム安全の考え方ー」 参加者：11 名

※ 平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し

「2. 教育研究機関と産業界等との連携・交流の実施の(1)産学共同教育研究問題検討会の開催」と

「4. 講習会、研究会等の開催の(1)講習会の開催・後援、(2)講演会の開催・後援」をまとめ、

II 産学地域連携交流事業 1 産学地域連携事業支援 に (158 ページ～)



公開講座の様子

(2) 講演会の開催（実践的技術開発推進に関する講演会の開催）

年度	件名・開催日等
昭和 57	<p>「長岡技術科学大学技術開発センター開所特別講演会」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催日：昭和 57 年 5 月 14 日(金) 開催場所：長岡市立劇場 講師：福井 謙一〔京都大学名誉教授〕 演題：「科学技術と創造力」 対象者：長岡技術科学大学及び長岡工業高等専門学校教職員・学生並びに一般市民 約 1500 名</p>
昭和 58	<p>「新技術利用研究会特別講演会」 主催：(財)長岡テクノポリス開発機構（本会后援） 開催日：昭和 58 年 10 月 24 日(月) 開催場所：長岡新産管理センター 講師：増本 健〔東北大学金属材料研究所教授〕 演題：アモルファス金属 —最近の技術と応用—</p>
	<p>「高分子学会北陸支部公開講演会」 主催：高分子学会北陸支部（本会共催） 開催日：昭和 58 年 11 月 18 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 講師・演題：① 中山 暢三〔新潟大学教授〕 「これからの高分子工業」 ② 西下 正治〔(株)クラレ クラリーノ研究開発室長〕 「最近の人工皮革」 ③ 植田 昭夫〔東レ(株)トレカ技術部主任部員〕 「最近の炭素繊維（CF）とCRPの動向」 対象者：高分子学会会員、長岡技術科学大学教職員及び学生、長岡技術者協会会員 参加者：約 70 名</p>
昭和 59	<p>「技術講演会」 主催：長岡技術者協会（本会共催） ア開催日：昭和 59 年 9 月 25 日(火) 開催場所：長岡商工会議所 講師：福井 雅彦〔東京大学工学博士〕 演題：「金型のCAD/CAMシステムの条件」 参加者：財団賛助会員、長岡技術者協会会員等 70 名</p>
	<p>イ開催日：昭和 59 年 12 月 11 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 講師・演題：齋藤 進六〔長岡技術科学大学長〕 「最近のセラミックスの動向」 鎌田喜一郎〔長岡技術科学大学助教授〕 「機能性セラミックス 薄膜材料と超微粉」 参加者：財団賛助会員、長岡技術者協会会員等 200 名</p>
	<p>ウ開催日：昭和 60 年 2 月 28 日(木) 開催場所：長岡商工会議所 講師：柏原 康徳〔日本電信電話公社新潟企業通信システム室長〕 演題：「INS（高度情報通信システム）とニューメディアの動向について」 参加者：財団賛助会員、長岡技術者協会会員等 70 名</p>

年度	件名・開催日等
昭和 59	<p>「長岡技術科学大学匠陵講演会」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催日：昭和 59 年 11 月 27 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 講師：伊藤 昌壽〔東レ(株)代表取締役社長〕 演題：「研究開発と新分野への展開」 参加者：長岡技術科学大学学生及び教職員、財団賛助会員、長岡技術者協会会員、長岡技術科学大学協力会会員等 150 名</p>
昭和 60	<p>「技術講演会」 主催：長岡技術者協会（本会共催） 開催場所：イのみホテル・ニューオータニ長岡、その他は長岡商工会議所</p> <p>ア開催日：昭和 60 年 6 月 7 日(金) 講師：成瀬 正之〔日本電気ロボットエンジニアリング(株)取締役技術部長〕 演題：「日本電気における F A 化（工場の自動化・機械化）の歩み」 参加者：110 名</p> <p>イ開催日：昭和 60 年 6 月 20 日(木) 講師：山口 正邦〔(株)神戸製鋼所専務取締役〕 演題：「最近のプレスについて」 参加者：80 名</p> <p>ウ開催日：昭和 60 年 10 月 25 日(金) 講師：海野 陽一〔(株)東芝総合研究所次長〕 演題：「最近の光技術について」 参加者：65 名</p> <p>エ開催日：昭和 60 年 10 月 28 日(月) 講師：金子 良明〔中小企業開発センター専務理事、三基電子工業(株)代表取締役社長〕 演題：「異業種交流成功の秘訣 ―中小企業開発センターにおける事例を中心に―」 参加者：60 名</p> <p>オ開催日：昭和 60 年 11 月 14 日(木) 講師：吉川 昌範〔東京工業大学工学部助教授〕 演題：「ダイヤモンドの工業利用 ―ダイヤモンドの工学から先端産業での実例まで―」 参加者：55 名</p> <p>カ開催日：昭和 60 年 11 月 22 日(金) 講師：牧本 良夫〔(株)滑川不二越精機部課長〕 演題：「静圧機械要素とその応用について」 参加者：50 名</p> <p>キ開催日：昭和 61 年 1 月 31 日(金) 講師：佐藤 眞〔(株)牧野フライス製作所取締役技術本部長〕 演題：「機械工場における F M S の設計と計画」 参加者：70 名</p> <p>ク開催日：昭和 61 年 3 月 19 日(水) 講師：宮川 松男〔長岡技術科学大学副学長〕 演題：「レーザーによる工作測定」 参加者：60 名</p>



年度	件 名 ・ 開 催 日 等
昭和 61	<p>「技術講演会」</p> <p>主 催：長岡技術者協会（本会共催）（エ以外）</p> <p>ア開 催 日：昭和 61 年 4 月 18 日(金)</p> <p>開催場所：長岡商工会議所</p> <p>講 師：横山 恭男〔金沢大学工学部教授〕</p> <p>演 題：「自動組み立てのためのパーツハンドリング入門」</p> <p>参 加 者：45 名</p> <p>イ開 催 日：昭和 61 年 10 月 8 日(水)</p> <p>開催場所：長岡商工会議所</p> <p>講師・演題：①村田 良司〔工業技術院機械技術研究所機械加工課長〕 「ファインセラミックス研削加工の基礎」</p> <p>②酒井 安昭〔ノリタケカンパニーリミテッド研削試験課長〕 「ビトリファイドダイヤモンドホイールによるセラミックスの研削加工」</p> <p>参 加 者：40 名</p> <p>ウ開 催 日：昭和 61 年 10 月 31 日(金)</p> <p>開催場所：長岡商工会議所</p> <p>講 師：牧野 洋〔山梨大学工学部教授〕</p> <p>演 題：「自動化 こぼれ話」</p> <p>参 加 者：30 名</p> <p>エ主 催：長岡技術科学大学（本会後援）</p> <p>開 催 日：昭和 61 年 11 月 12 日(水)</p> <p>開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>講 師：原田 隆夫〔本田技研工業(株)専務取締役〕</p> <p>演 題：「企業経営と国際戦略 ー理念と現実ー」</p> <p>参 加 者：55 名</p> <p>オ開 催 日：昭和 61 年 11 月 14 日(金)</p> <p>開催場所：長岡商工会議所</p> <p>講 師：高橋 勲〔長岡技術科学大学助教授〕</p> <p>演 題：「インバータを用いた誘導電動機の高性能制御」</p> <p>参 加 者：30 名</p> <p>カ開 催 日：昭和 61 年 11 月 21 日(金)</p> <p>開催場所：長岡商工会議所</p> <p>講師・演題：①三山 創〔長岡技術科学大学教授〕 「新潟県の異業種交流について」</p> <p>②吉井 昭栄〔吉井特許事務所所長〕 「特許もうけ話・こぼれ話」</p> <p>参 加 者：30 名</p> <p>キ開 催 日：昭和 61 年 12 月 2 日(火)</p> <p>開催場所：長岡商工会議所</p> <p>講師・演題：①谷村 吉久〔工業技術院計量研究所機械計測研究室長〕 「レーザー干渉技術の基礎と精密機械計測への応用」</p> <p>②宮本 紘三〔(株)小坂研究所精密機器本部長〕 「接触式と非接触式による微細形状測定」</p> <p>参 加 者：55 名</p> <p>ク開 催 日：昭和 62 年 3 月 9 日(月)</p> <p>開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>講 師：藤岡 知夫〔(財)工業開発研究所レーザー研究センター長〕</p> <p>演 題：「高出力レーザー技術の最近の進歩」</p> <p>参 加 者：55 名</p> <p>ケ開 催 日：昭和 62 年 3 月 20 日(金)</p> <p>開催場所：長岡商工会議所</p> <p>講 師：小関 智弘〔小説家〕</p> <p>演 題：「鉄を削る……バンコからMCへ」</p> <p>参 加 者：30 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
昭和 62	<p>「技術講演会」</p> <p>主 催：長岡技術科学大学（本会後援）（ア・ウ・エ・オ・カ・ケ・サ） 長岡技術者協会（本会共催）（イ・キ・ク・コ）</p> <p>ア開 催 日：昭和 62 年 7 月 17 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：矢島 達夫〔東京大学物性研究所教授〕 演 題：「レーザの極限性能の開発とその応用」 参 加 者：45 名</p> <p>イ開 催 日：昭和 62 年 7 月 29 日(水) 開催場所：中越婦人会館（長岡市） 講 師：古川 勇二〔東京都立大学教授〕 演 題：「超精密機械の要素技術と超精密加工技術について」 参 加 者：50 名</p> <p>ウ開 催 日：昭和 62 年 9 月 8 日(火) 開催場所：長岡市立劇場大ホール 講 師：江崎 玲於奈〔日本アイ・ピー・エム(株)取締役〕 演 題：「科学における創造性」 参 加 者：1500 名</p> <p>エ開 催 日：昭和 62 年 9 月 22 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：小田 稔〔文部省宇宙科学研究所長〕 演 題：「星をつぶす話 ―ブラックホール―」 参 加 者：250 名</p> <p>オ開 催 日：昭和 62 年 9 月 24 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：山本 勇麓〔福井工業大学副学長〕 演 題：「エネルギーと環境問題」 参 加 者：65 名</p> <p>カ開 催 日：昭和 62 年 9 月 25 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：岸 源也〔東京工業大学大学院総合理工学研究科長〕 演 題：「科学技術の伝承と発展」 参 加 者：85 名</p> <p>キ開 催 日：昭和 62 年 12 月 22 日(火) 開催場所：長岡商工会議所 講 師：堤 正臣〔東京農工大学助教授〕 演 題：「アジア新興工業諸国地域（N I C）の工作機械工業の実態を探る ～円高経済下、日本の脅威となりうるか～」 参 加 者：60 名</p> <p>ク開 催 日：昭和 63 年 2 月 13 日(土) 開催場所：長岡商工会議所 講 師：柳下 和夫〔三菱電機(株)海外事業本部参事〕 演 題：「三菱電機に於ける創造性教育訓練とその成果」 参 加 者：50 名</p> <p>ケ開 催 日：昭和 63 年 2 月 15 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：稲垣 博〔京都大学化学研究所教授〕 演 題：「天然高分子・セルロース科学のあゆみ」 参 加 者：45 名</p> <p>コ開 催 日：昭和 63 年 2 月 19 日(金) 開催場所：長岡商工会議所 講師・演題：①吉川 敏則〔長岡技術科学大学助教授〕 「パーソナルコンピュータの有効利用」 ②高田 雅介〔長岡技術科学大学助教授〕 「超伝導セラミックスについて」 参 加 者：70 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
昭和 62	サ開催日：昭和 63 年 3 月 10 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：横山 昌弘〔大阪大学レーザー核融合研究センター教授〕 演 題：「レーザー核融合の現状と将来」 参 加 者：30 名
昭和 63	長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ア「化学反応のポテンシャル面」 開催日：昭和 63 年 5 月 21 日(土) 講 師：諸熊 奎治〔岡崎国立共同研究機構分子科学研究所教授〕 参 加 者：50 名 イ「中性子回折と高温超伝導体の電子構造」 開催日：昭和 63 年 6 月 2 日(木) 講 師：白根 元〔米国ブルックヘブン国立研究所中性子回折施設長〕 参 加 者：62 名 ウ「カナダにおける大学教育、実務訓練等の実情」 開催日：昭和 63 年 6 月 8 日(水) 講 師：リツカラ サミ〔カナダマニトバ大学工学部助教授〕 参 加 者：58 名 エ「生体の情報伝達と分子、集合体」 開催日：昭和 63 年 6 月 10 日(金) 講 師：小島 陽之助〔北海道大学薬学部教授〕 参 加 者：92 名 オ「角度分布光電子分光法による最近の表面分析 —シンクロトロン放射光の利用—」 開催日：昭和 63 年 6 月 15 日(水) 講 師：宮崎 栄三〔東京工業大学理学部教授〕 参 加 者：65 名 カ「一人の技術者の見た戦略戦術と経営」 開催日：昭和 63 年 6 月 16 日(木) 講 師：加賀谷 誠一〔藤倉電線(株)取締役社長〕 参 加 者：92 名 キ「実証発明学」 開催日：昭和 63 年 7 月 1 日(金) 講 師：樋口 芳朗〔東京理科大学理工学部教授〕 参 加 者：128 名 ク「構造用高性能セラミックスの現状」 開催日：昭和 63 年 7 月 18 日(月) 講 師：エドワード・マーク・レノー〔米国セラミックス協会駐在科学者〕 参 加 者：30 名 ケ「生物運動と情報」 開催日：昭和 63 年 9 月 9 日(金) 講 師：松本 元〔工業技術院電子技術総合研究所アナログ研究室長〕 参 加 者：45 名 コ「ハイビジョンと将来の情報社会」 開催日：昭和 63 年 9 月 20 日(火) 講 師：藤尾 孝〔松下電器産業(株)テレビ本部映像技術研究所長〕 参 加 者：240 名 サ「基礎科学におけるレーザーの応用」 開催日：昭和 63 年 9 月 28 日(水) 講 師：霜田 光一〔慶応義塾大学理工学部客員教授〕 参 加 者：135 名

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成元	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。</p> <p>開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「電子顕微鏡－その発展と将来－」</p> <p>開催日：平成元年6月16日(金)</p> <p>講師：伊藤 一夫〔日本電子(株)取締役会長〕</p> <p>参加者：168名</p> <p>イ「機能性材料開発と表面解析」</p> <p>開催日：平成元年6月22日(木)</p> <p>講師：石谷 炯〔(株)東レ リサーチセンター理事・構造化学研究部長〕</p> <p>参加者：54名</p> <p>ウ「我が国における情報技術教育の課題と今後の展望」</p> <p>開催日：平成元年6月22日(木)</p> <p>講師：猪瀬 博〔学術情報センター所長〕</p> <p>参加者：88名</p> <p>エ「レーザーと未来社会」</p> <p>開催日：平成元年6月26日(月)</p> <p>講師：山中 千代衛〔(財)レーザー技術総合研究所長〕</p> <p>参加者：210名</p> <p>オ「インテリジェントセラミックス－材料科学のフロンティア－」</p> <p>開催日：平成元年7月3日(月)</p> <p>講師：柳田 博明〔東京大学先端科学技術研究センター長〕</p> <p>参加者：95名</p> <p>カ「日本の大学像を求めて」</p> <p>開催日：平成元年7月4日(火)</p> <p>講師：田中 郁三〔東京工業大学長〕</p> <p>参加者：78名</p> <p>キ「長江を見る」</p> <p>開催日：平成元年7月6日(木)</p> <p>講師：菅原 正己〔元科学技術庁国立防災科学技術センター所長〕</p> <p>参加者：83名</p> <p>ク「高速鉄道－現状と将来－」</p> <p>開催日：平成元年7月21日(金)</p> <p>講師：佐藤 吉彦〔日本機械保線(株)技術開発部長〕</p> <p>参加者：86名</p> <p>ケ「技術者の将来像」</p> <p>開催日：平成元年9月21日(木)</p> <p>講師：深川 修吉〔新日本無線(株)顧問〕</p> <p>参加者：48名</p> <p>コ「特許のすすめ」</p> <p>開催日：平成元年10月24日(火)</p> <p>講師：浅利 明〔(株)神戸製鋼所機械エンジニアリング事業本部 産業機械本部 I Pセンター長〕</p> <p>参加者：62名</p> <p>サ「土木化学の現状と課題」</p> <p>開催日：平成元年11月2日(木)</p> <p>講師：青山 芳夫〔日本大学生産工学部工業化学科教授〕</p> <p>参加者：58名</p> <p>シ「道路舗装の現状と課題」</p> <p>開催日：平成元年11月9日(木)</p> <p>講師：多田 宏行〔(財)日本道路交通情報センター副理事長〕</p> <p>参加者：84名</p> <p>ス「研削現象の数式モデル化と加工シミュレーションソフトについて」</p> <p>開催日：平成元年12月8日(金)</p> <p>講師：須藤 徹也〔工業技術院機械技術研究所生産システム部機械加工課長〕</p> <p>参加者：45名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 2	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。</p> <p>開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「国際経済の動向と技術の国際的展開」</p> <p>開催日：平成 2 年 5 月 17 日(木)</p> <p>講師：中尾 久〔(財)機械振興協会経済研究所調査役〕</p> <p>参加者：118 名</p> <p>イ「最近の自動車開発－新型フェアレディ Z の展開－」</p> <p>開催日：平成 2 年 6 月 8 日(金)</p> <p>講師：石川 康雄〔日産車体(株)常務取締役開発本部長〕</p> <p>参加者：196 名</p> <p>ウ「宇宙への夢」</p> <p>開催日：平成 2 年 6 月 11 日(月)</p> <p>講師：河島 信樹〔文部省宇宙科学研究所教授〕</p> <p>参加者：158 名</p> <p>エ「バイオサイエンスからバイオテクノロジー」</p> <p>開催日：平成 2 年 6 月 12 日(火)</p> <p>講師：福井 三郎〔京都大学名誉教授〕</p> <p>参加者：138 名</p> <p>オ「ビスマス系酸化物高温超電導体の発見と将来の展望」</p> <p>開催日：平成 2 年 6 月 15 日(金)</p> <p>講師：前田 弘〔科学技術庁金属材料技術研究所第一研究グループ総合研究官〕</p> <p>参加者：229 名</p> <p>カ「トポケミカル光反応を中心とする研究の展開」</p> <p>開催日：平成 2 年 6 月 25 日(月)</p> <p>講師：長谷川 正木〔東京大学工学部教授〕</p> <p>参加者：62 名</p> <p>キ「地球環境問題」</p> <p>開催日：平成 2 年 6 月 29 日(金)</p> <p>講師：松尾 友矩〔東京大学工学部教授〕</p> <p>参加者：186 名</p> <p>ク「住み良い地球環境を作り出す海」</p> <p>開催日：平成 2 年 6 月 29 日(金)</p> <p>講師：永田 豊〔東京大学理学部教授〕</p> <p>参加者：186 名</p> <p>ケ「化学と情報」</p> <p>開催日：平成 2 年 7 月 5 日(木)</p> <p>講師：田中 信行〔日本事務器(株)取締役会長〕</p> <p>参加者：88 名</p> <p>コ「材料科学の現状と将来」</p> <p>開催日：平成 2 年 7 月 6 日(金)</p> <p>講師：堂山 昌男〔西東京科学大学教授〕</p> <p>参加者：192 名</p> <p>サ「遺伝子工学の現状と将来」</p> <p>開催日：平成 2 年 7 月 12 日(木)</p> <p>講師：堀田 凱樹〔東京大学理学部教授〕</p> <p>参加者：84 名</p> <p>シ「ロボティクスと宇宙への応用」</p> <p>開催日：平成 2 年 9 月 7 日(金)</p> <p>講師：内山 隆〔(株)富士通研究所宇宙メカトロニクス研究部部長代理〕</p> <p>参加者：86 名</p> <p>ス「アナログは生き残れるか」</p> <p>開催日：平成 2 年 10 月 19 日(金)</p> <p>講師：柳沢 健〔東京工業大学工学部教授〕</p> <p>参加者：125 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 2	セ「バイオセンサー」 開 催 日：平成 2 年 10 月 19 日(金) 講 師：相澤 益男〔東京工業大学工学部教授〕 参 加 者：76 名 ソ「システムと情報と自動制御 ―そのフロンティア開拓の可能性―」 開 催 日：平成 2 年 10 月 24 日(水) 講 師：榎木 義一〔(社)システム総合研究所理事長〕 参 加 者：175 名 タ「The Photosynthetic Reaction Center from the Purple Bacterium Rhodospseudomonas viridis 紅色細菌の光合成反応中心の立体構造 ―解き明かされた光合成のメカニズム―」 開 催 日：平成 2 年 11 月 24 日(土) 講 師：Johann Deisenhofer〔テキサス大学生化学科教授〕 参 加 者：190 名 チ「放電加工技術における最近の動向」 開 催 日：平成 2 年 12 月 3 日(月) 講 師：岸 雅一〔日立精工(株)研究部主任技師〕 参 加 者：26 名
平成 3	長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ア「大学等における情報技術教育の在り方」 開 催 日：平成 3 年 5 月 16 日(木) 講 師：高橋 延匡〔東京農工大学工学部教授〕 参 加 者：292 名 イ「高速増殖炉開発について」 開 催 日：平成 3 年 5 月 20 日(月) 講 師：高橋 克郎〔動力炉・核燃料開発事業団動力炉技術開発部開発計画室長〕 参 加 者：67 名 ウ「材料開発の動向」 開 催 日：平成 3 年 5 月 28 日(火) 講 師：早川 茂〔松下電器産業(株)顧問〕 参 加 者：108 名 エ「レーザーによるエネルギー開発」 開 催 日：平成 3 年 6 月 27 日(木) 講 師：山中 龍彦〔大阪大学レーザー核融合研究センター教授〕 参 加 者：112 名 オ「国際防災の十年にあたって災害科学者からの提言」 開 催 日：平成 3 年 7 月 9 日(火) 講 師：土岐 憲三〔京都大学防災研究所教授〕 参 加 者：164 名 カ「超LSI技術の展望」 開 催 日：平成 3 年 7 月 11 日(木) 講 師：堀内 司朗〔松下電器産業(株)半導体研究センター所長〕 参 加 者：123 名 キ「機械工業を支える精密計測 ―主として長さの計測―」 開 催 日：平成 3 年 9 月 24 日(火) 講 師：遠藤 大海〔(株)第一測範製作所代表取締役社長〕 参 加 者：86 名 ク「オールアルミニウムボディ車“NSX”の開発と実用化」 開 催 日：平成 3 年 9 月 27 日(金) 講 師：中沢 靖〔(株)本田技術研究所栃木研究所研究員〕 参 加 者：167 名 ケ「最近のセラミックス複合材とその応用」 開 催 日：平成 3 年 9 月 27 日(金) 講 師：上垣外 修己〔(株)豊田中央研究所取締役副所長〕 参 加 者：98 名

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 3	<p>コ「セルロースの科学とその応用」 開 催 日：平成 3 年 10 月 11 日(金) 講 師：上出 健二〔旭化成工業(株)繊維基礎研究所長〕 参 加 者：83 名</p> <p>サ「地球環境論序説 - 「地球温暖化」をめぐって-」 開 催 日：平成 3 年 10 月 11 日(金) 講 師：安成 哲三〔筑波大学地球科学系助教授〕 参 加 者：122 名</p> <p>シ「動いている分子を見る」 開 催 日：平成 3 年 11 月 8 日(金) 講 師：柳田 敏雄〔大阪大学基礎工学部教授〕 参 加 者：52 名</p> <p>ス「相転移の新しい考え方」 開 催 日：平成 3 年 12 月 4 日(水) 講 師：鈴木 増雄〔東京大学理学部教授〕 参 加 者：154 名</p> <p>セ「水汚染制御の展望について」 開 催 日：平成 3 年 12 月 6 日(金) 講 師：松本 順一郎〔日本大学工学部教授〕 参 加 者：93 名</p> <p>ソ「通産省の地域活性化政策と通産局の役割」 開 催 日：平成 3 年 12 月 11 日(水) 講 師：後藤 力〔通商産業省中部通商産業局商工部商工課長〕 参 加 者：206 名</p> <p>タ「分析化学における創造」 開 催 日：平成 4 年 3 月 12 日(木) 講 師：合志 陽一〔東京大学工学部教授〕 参 加 者：72 名</p>
	<p>「暮らしとエネルギー問題を考えるフォーラム」 主 催：長岡商工会議所（本会後援） 開 催 日：平成 3 年 10 月 8 日(火) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 講師・演題：①小関 哲哉〔時事通信社解説委員〕 「エネルギー情勢と環境問題」 ②松村 満美子〔テレビキャスター〕 「高齢化社会を生きぬく」</p>
	<p>「信濃川テクノフェア記念講演会 - 新たな異業種交流を求めて」 主 催：長岡商工会議所、長岡中小企業相談所（本会後援） 開 催 日：平成 3 年 10 月 19 日(土) 開催場所：長岡商工会議所 講師・演題：①柳田 一千一〔日本テクトロン(株)代表取締役〕 「21 世紀に向けた異業種交流の展開」 ②内田 安三〔長岡技術科学大学長〕 「今、製造企業に求められるもの」</p>
平成 4	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「グローバルゼイション」 開 催 日：平成 4 年 5 月 22 日(金) 講 師：金子 尚志〔日本電気(株)専務取締役 NECアメリカ社長〕 参 加 者：90 名</p> <p>イ「高齢化社会と工業技術の役割」 開 催 日：平成 4 年 5 月 27 日(水) 講 師：斎藤 正男〔東京大学医学部附属医用電子研究施設長〕 参 加 者：340 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 4	<p>ウ「企業における基礎研究の推進」 開 催 日：平成 4 年 5 月 27 日(水) 講 師：丸山 瑛一 [(株)日立製作所理事・研究開発推進本部技師長] 参 加 者：70 名</p> <p>エ「光・電子材料としてのニューガラス」 開 催 日：平成 4 年 5 月 29 日(金) 講 師：生嶋 明 [HOYA(株)材料研究所長] 参 加 者：100 名</p> <p>オ「日米大学の教育と研究の比較」 開 催 日：平成 4 年 6 月 12 日(金) 講 師：増淵 興一 [マサチューセッツ工科大学教授] 参 加 者：100 名</p> <p>カ「強誘電体セラミックスの空間電荷効果」 開 催 日：平成 4 年 6 月 3 日(水) 講 師：岡崎 清 [湘南工科大学教授] 参 加 者：140 名</p> <p>キ「Extensional Rheology and Its Application In Engineering」 開 催 日：平成 4 年 6 月 19 日(金) 講 師：David F. James [トロント大学工学部教授] 参 加 者：80 名</p> <p>ク「事業の多角化推進と人材の育成」 開 催 日：平成 4 年 7 月 1 日(水) 講 師：谷口 邦彦 [住友電気工業(株)支配人] 参 加 者：250 名</p> <p>ケ「21 世紀への提言」 開 催 日：平成 4 年 7 月 9 日(木) 講 師：浅田 彰 [京都大学経済研究所助教授] 参 加 者：230 名</p> <p>コ「地球環境問題の科学と政治」 開 催 日：平成 4 年 9 月 9 日(水) 講 師：米本 昌平 [三菱化成(株)生命科学研究所社会生活科学研究室長] 参 加 者：60 名</p> <p>サ「蛋白質の分子設計」 開 催 日：平成 4 年 9 月 11 日(金) 講 師：中村 春木 [蛋白工学研究所第二研究部長] 参 加 者：60 名</p> <p>シ「石器・ひすいはどこからきたか？ -古代の遺物の原産地分析と交易圏-」 開 催 日：平成 4 年 9 月 18 日(金) 講 師：東村 武信 [関西外国語大学教授] 参 加 者：60 名</p> <p>ス「核融合を用いた宇宙推進」 開 催 日：平成 4 年 10 月 5 日(月) 講 師：長谷川 晃 [大阪大学工学部教授] 参 加 者：120 名</p> <p>セ「β-ポリアスパラギン酸とその誘導体」 開 催 日：平成 4 年 10 月 7 日(水) 講 師：関口 [フランス国立中央科学研究所教授] 参 加 者：40 名</p> <p>ソ「土木技術と生物工学」 開 催 日：平成 4 年 9 月 22 日(火) 講 師：亀山 章 [東京農工大学農学部教授] 参 加 者：200 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 4	<p>タ「構造物の地震時挙動と耐震設計の考え方」 開 催 日：平成 4 年 10 月 7 日(水) 講 師：志賀 敏男〔東北学院大学工学部教授〕 参 加 者：170 名</p> <p>チ「光音響分光法と分析科学」 開 催 日：平成 4 年 11 月 30 日(月) 講 師：杉谷 嘉則〔神奈川県大学理学部教授〕 参 加 者：30 名</p> <p>「フロンと環境問題」 主 催：日本化学学会 関東支部新潟地域懇談会（本会后援） 開 催 日：平成 4 年 7 月 17 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：富永 健〔東京大学理学部教授〕 参 加 者：85 名</p> <p>「ポーラスアスファルト舗装研究会発表会」 主 催：ポーラスアスファルト研究会、長岡技術科学大学技術開発センター（本会后援） 開 催 日：平成 4 年 11 月 11 日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：丸山 暉彦〔長岡技術科学大学建設系教授〕 他 参 加 者：290 名</p>
平成 5	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「“生物は分子機械か？”に始まって“生物学の工学化”に至る」 開 催 日：平成 5 年 6 月 16 日(水) 講 師：和田 昭允〔(財)相模中央化学研究所理事〕 参 加 者：170 名</p> <p>イ「あるく」 開 催 日：平成 5 年 6 月 18 日(金) 講 師：宮下 充正〔東京大学教育学部教授〕 参 加 者：85 名</p> <p>ウ「原子クラスターの構造と物性」 開 催 日：平成 5 年 6 月 18 日(金) 講 師：田中 信夫〔名古屋大学工学部助教授〕 参 加 者：50 名</p> <p>エ「日本の宇宙開発について」 開 催 日：平成 5 年 6 月 18 日(金) 講 師：宮沢 政文〔宇宙開発事業団筑波宇宙センター所長〕 参 加 者：60 名</p> <p>オ「日本文化の新しい流れ」 開 催 日：平成 5 年 7 月 6 日(火) 講 師：三浦 朱門〔作家〕 参 加 者：180 名</p> <p>カ「人間の情報処理機構の解明」 開 催 日：平成 5 年 7 月 19 日(月) 講 師：中津 良平〔日本電信電話(株)基礎研究所情報科学研究部長〕 参 加 者：110 名</p> <p>キ「ヘルスケアと電子工学のかかわり」 開 催 日：平成 5 年 9 月 8 日(水) 講 師：宇都宮 敏男〔東京理科大学理工学部教授〕 参 加 者：180 名</p> <p>ク「鋳造から刃物までの技術」 開 催 日：平成 5 年 9 月 30 日(木) 講 師：渥美 武明〔元沼津工業高等専門学校助教授〕 参 加 者：55 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 5	<p>ケ「人間感覚計測研究の最前線」 開 催 日：平成 5 年 10 月 20 日(水) 講 師：栗山 洋四 [(社)人間生活工学研究センター研究開発部長] 参 加 者：120 名</p> <p>コ「フレットング疲労破壊とその防止」 開 催 日：平成 5 年 11 月 2 日(火) 講 師：R. B. Waterhouse [ノッティング大学教授] 参 加 者：50 名</p> <p>サ「メタン転換における新しい固体電解質アノード材料についての評価」 開 催 日：平成 5 年 11 月 4 日(木) 講 師：lan s. Metcalfe [インペリアル大学講師] 参 加 者：35 名</p> <p>シ「レーザー法によるダイヤモンド薄膜の作成」 開 催 日：平成 5 年 10 月 29 日(金) 講 師：T. S. Sudarshan [Materials Modification Inc. Technical Director] 参 加 者：60 名</p> <p>ス「地球環境の危機」 開 催 日：平成 5 年 11 月 29 日(月) 講 師：伊藤 和明 [文教大学国際学部教授] 参 加 者：220 名</p> <p>セ「高分子の固体構造と物性」 開 催 日：平成 5 年 12 月 7 日(火) 講 師：宮坂 啓象 [新潟職業能力開発短期大学校長] 参 加 者：35 名</p>
平成 6	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「企業経営と研究開発」 開 催 日：平成 6 年 5 月 18 日(水) 講 師：村田 昭 [(株)村田製作所会長] 参 加 者：235 名</p> <p>イ「パソコン用プリンタの開発物語」 開 催 日：平成 6 年 6 月 8 日(水) 講 師：高木 正幹 [新潟日本電気(株)取締役会長] 参 加 者：80 名</p> <p>ウ「D・アミノ酸に作用する酵素 ―その姿と特性―」 開 催 日：平成 6 年 6 月 14 日(火) 講 師：左右田 健次 [京都大学化学研究所教授] 参 加 者：80 名</p> <p>エ「技術開発政策の課題と展望」 開 催 日：平成 6 年 6 月 15 日(水) 講 師：柏木 寛 [通商産業省工業技術院長] 参 加 者：330 名</p> <p>オ「地球温暖化と異常気象の科学」 開 催 日：平成 6 年 7 月 8 日(金) 講 師：松野 太郎 [東京大学気候システム研究センター長] 参 加 者：175 名</p> <p>カ「地球環境変動に対する国際的取り組み」 開 催 日：平成 6 年 7 月 8 日(金) 講 師：西岡 秀三 [国立環境研究所地球環境研究センター総括研究管理官] 参 加 者：175 名</p> <p>キ「ダイヤモンド薄膜の気相合成とそのエレクトロニクスへの応用」 開 催 日：平成 6 年 9 月 8 日(木) 講 師：平木 昭夫 [大阪大学工学部教授] 参 加 者：64 名</p>

年度	件名・開催日等
平成 6	<p>ク「Recent advances in Optical Rheometry ―その姿と特性―」 開催日：平成 6 年 9 月 22 日(木) 講師：Gerald G. Fuller [Department of Chemical Engineering Stanford University Professor] 参加者：48 名</p> <p>ケ「社会・経済動向に適応する企業の研究開発」 開催日：平成 6 年 9 月 29 日(木) 講師：佐藤 公彦 [旭硝子(株)取締役開発本部長] 参加者：87 名</p> <p>コ「進化分子工学 ―進化を実験室で実験する―」 開催日：平成 6 年 10 月 14 日(金) 講師：伏見 謙 [埼玉大学工学部教授] 参加者：103 名</p> <p>サ「ハンガリーの工業技術 ―生産技術を中心として―」 開催日：平成 6 年 10 月 14 日(金) 講師：Illes Dudas [ミシュコルツ大学工学部教授] 参加者：48 名</p> <p>シ「光エレクトロニクスの将来」 開催日：平成 6 年 10 月 19 日(水) 講師：中村 道治 [(株)日立製作所中央研究所長] 参加者：128 名</p> <p>ス「移動体通信用高周波フィルタの現状と将来」 開催日：平成 6 年 10 月 27 日(木) 講師：脇野 喜久男 [(株)村田製作所常任顧問] 参加者：40 名</p> <p>セ「熔鉱炉(キューーラ)の熔化過程及びコンピュータシミュレーション」 開催日：平成 6 年 11 月 8 日(火) 講師：陳 方 [ハルビン技術科学大学教授] 参加者：50 名</p> <p>ソ「有機電気化学の新展開」 開催日：平成 6 年 11 月 14 日(月) 講師：長 哲郎 [東北大学薬学部教授] 参加者：34 名</p> <p>タ「機械設計と加工・組立の実際」 開催日：平成 6 年 12 月 5 日(木) 講師：中村 多喜夫 [(株)オーエム製作所技術部研究開発課] 参加者：124 名</p>
平成 7	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「モダン・エンジニアリングとは？ ―大学における現実と理想―」 開催日：平成 7 年 5 月 26 日(金) 講師：和田 昭允 [(財)相模中央化学研究所理事] 参加者：80 名</p> <p>イ「蛋白質の設計と合成」 開催日：平成 7 年 5 月 31 日(水) 講師：三浦 謹一郎 [学習院大学理学部生命分子科学研究所長] 参加者：98 名</p> <p>ウ「環境と人間のかかわり ―景観・景域の問題」 開催日：平成 7 年 6 月 21 日(水) 講師：川瀬 篤美 [(株)環境設計研究室代表取締役] 参加者：210 名</p> <p>エ「レーザーアブレーションによる薄膜材料の形成」 開催日：平成 7 年 6 月 22 日(木) 講師：英 貢 [豊橋技術科学大学電気・電子工学系教授] 参加者：160 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 7	<p>オ「地盤構造物の信頼性設計の考え方」 開 催 日：平成 7 年 6 月 30 日(金) 講 師：松尾 稔〔名古屋大学工学部教授〕 参 加 者：180 名</p> <p>カ「心臓の力学とエナジェティックス」 開 催 日：平成 7 年 7 月 5 日(水) 講 師：菅 弘之〔岡山大学医学部教授〕 参 加 者：335 名</p> <p>キ「日本 I BM の成長と技術者の管理」 開 催 日：平成 7 年 7 月 10 日(月) 講 師：新井 保宣〔(株)アイスタッフ大和セキュリティ担当部長〕 参 加 者：50 名</p> <p>ク「英語による留学生教育とその効果」 開 催 日：平成 7 年 7 月 14 日(金) 講 師：西野 文雄〔埼玉大学大学院政策科学研究科教授〕 参 加 者：55 名</p> <p>ケ「地球環境問題と製品設計技術」 開 催 日：平成 7 年 9 月 21 日(木) 講 師：井上 英夫〔工業技術院機械技術研究所生産システム部長〕 参 加 者：110 名</p> <p>コ「情報化社会と材料開発」 開 催 日：平成 7 年 9 月 28 日(木) 講 師：丹羽 紘一〔(株)富士通研究所取締役基盤技術研究所副所長〕 参 加 者：75 名</p> <p>サ「東京の都市問題と都市計画」 開 催 日：平成 7 年 10 月 6 日(金) 講 師：森村 道美〔東京大学工学部教授〕 参 加 者：120 名</p> <p>シ「ドイツ人からみた日本社会」 開 催 日：平成 7 年 10 月 18 日(水) 講 師：ユルゲン・ヴェルブロック〔ドイツ連邦共和国大使館一等書記官〕 参 加 者：320 名</p> <p>ス「技術革新と経営多角化」 開 催 日：平成 7 年 11 月 1 日(水) 講 師：伊藤 昌壽〔東レ(株)相談役最高顧問〕 参 加 者：300 名</p> <p>セ「最新の石炭資源転換技術」 開 催 日：平成 7 年 11 月 27 日(月) 講 師：堀田 善治〔新日鐵化学(株)商品開発研究所長〕 参 加 者：35 名</p> <p>ソ「電子材料セラミックス」 開 催 日：平成 7 年 12 月 11 日(月) 講 師：岡崎 清〔岡崎セラミックス研究所長〕 参 加 者：50 名</p> <p>タ「ベネズエラと日本（大学の比較を中心として）」 開 催 日：平成 8 年 3 月 11 日(月) 講 師：リラ・オリバール ホアキン〔シモンボリバル大学教授〕 参 加 者：20 名</p>
	<p>研究発表会「排水性舗装の機能改善に関する研究」 主 催：ポーラスアスファルト研究会、長岡技術科学大学技術開発センター（本会后援） 開 催 日：平成 8 年 1 月 26 日(金) 開催場所：ブリヂストン美術館ホール</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 8	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。</p> <p>開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「青色半導体レーザーの開発と励起子分子を利用する高性能半導体レーザーの提案」</p> <p>開催日：平成 8 年 6 月 13 日(木)</p> <p>講師：塩谷 繁雄〔東京大学名誉教授〕</p> <p>参加者：80 名</p> <p>イ「技術者と科学者 一二足わらじの発明人生」</p> <p>開催日：平成 8 年 6 月 21 日(金)</p> <p>講師：眞殿 統〔(社)日本鑄造技術協会顧問〕</p> <p>参加者：16 名</p> <p>ウ「日本の医用機器技術サービスの現状と将来」</p> <p>開催日：平成 8 年 6 月 24 日(月)</p> <p>講師：田辺 昭二〔元 関東島津メディカルサービス(株)社長〕</p> <p>参加者：15 名</p> <p>エ「規制緩和について」</p> <p>開催日：平成 8 年 6 月 26 日(水)</p> <p>講師：鈴木 良男〔(株)旭リサーチセンター代表取締役社長〕</p> <p>参加者：130 名</p> <p>オ「21 世紀の技術と社会」</p> <p>開催日：平成 8 年 9 月 10 日(火)</p> <p>講師：吉田 弥智〔名古屋工業大学長〕</p> <p>参加者：185 名</p> <p>カ「生物機能の探索と設計」</p> <p>開催日：平成 8 年 9 月 12 日(木)</p> <p>講師：別府 輝彦〔日本大学農獣医学部教授〕</p> <p>参加者：95 名</p> <p>キ「ナフサC₅留分の総合利用による研究開発と事業展開」</p> <p>開催日：平成 8 年 9 月 17 日(火)</p> <p>講師：渡辺 浩志〔日本ゼオン(株)総合開発センター所長〕</p> <p>参加者：40 名</p> <p>ク「工学表面トポグラフィの三次元表示に関する国際規格及びバイオエンジニアリング分野における表面計測技術の利用」</p> <p>開催日：平成 8 年 9 月 25 日(水)</p> <p>講師：K. J. Stout〔University of Birmingham Professor〕</p> <p>参加者：105 名</p> <p>ケ「バイオアッセイの基礎と環境技術への応用」</p> <p>開催日：平成 8 年 9 月 26 日(木)</p> <p>講師：浦野 紘平〔横浜国立大学工学部教授〕</p> <p>参加者：125 名</p> <p>コ「夢の新素材 ー傾斜機能材料ー」</p> <p>開催日：平成 8 年 10 月 14 日(月)</p> <p>講師：平井 敏雄〔東北大学金属材料研究所教授〕</p> <p>参加者：50 名</p> <p>サ「21 世紀への企業の研究開発と大学への期待」</p> <p>開催日：平成 8 年 11 月 6 日(水)</p> <p>講師：笠見 昭信〔(株)東芝常務取締役〕</p> <p>参加者：25 名</p> <p>シ「国際企業におけるマーケティング戦略」</p> <p>開催日：平成 8 年 11 月 8 日(金)</p> <p>講師：ロバート イ ギャリティ〔日米経営科学研究所長〕</p> <p>参加者：20 名</p> <p>ス「重大岐路における日本製造業の選択 ー文明の衝突のはざまにあってー」</p> <p>開催日：平成 8 年 11 月 13 日(水)</p> <p>講師：山下 敏郎〔オリンパス光学工業(株)会長〕</p> <p>参加者：230 名</p>

年度	件名・開催日等
平成 8	セ「新素材の疲労挙動について」 開催日：平成 8 年 11 月 19 日(火) 講師：Marc J Anglada G [カタルニヤP工科大学教授] 参加者：30 名
	ソ「空間データベース処理と災害情報システム ー阪神・淡路大震災の経験からー」 開催日：平成 8 年 11 月 20 日(水) 講師：角本 繁 [(株)日立製作所中央研究所主任研究員] 参加者：30 名
	タ「化学酸素・ヨウ素レーザーの開発」 開催日：平成 8 年 11 月 22 日(金) 講師：藤井 洋郎 [川崎重工業(株)関東技術研究所光技術研究部課長] 参加者：25 名
	チ「ダイヤモンド工具を用いた精密な微細形状の形成技術」 開催日：平成 8 年 12 月 17 日(火) 講師：榎田 正美 [新潟大学大学院自然科学研究科教授] 参加者：230 名

講演会の様子（昭和 59 年～61 年頃）



年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 9	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。</p> <p>開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「蛋白質立体構造の安定化機構」</p> <p>開催日：平成 9 年 5 月 30 日(金)</p> <p>講師：油谷 克英〔大阪大学蛋白質研究所助教授〕</p> <p>参加者：40 名</p> <p>イ「情報通信産業と化学」</p> <p>開催日：平成 9 年 6 月 2 日(月)</p> <p>講師：竹野 寿彦〔本州化学工業(株)常務取締役〕</p> <p>参加者：55 名</p> <p>ウ「日本の新しい進路」</p> <p>開催日：平成 9 年 6 月 12 日(木)</p> <p>講師：賀来 龍三郎〔キャノン(株)取締役名誉会長〕</p> <p>参加者：300 名</p> <p>エ「日本の宇宙科学・技術研究」</p> <p>開催日：平成 9 年 6 月 13 日(金)</p> <p>講師：中島 俊〔宇宙科学研究所教授〕</p> <p>参加者：35 名</p> <p>オ「生活・時間・文化」</p> <p>開催日：平成 9 年 6 月 19 日(木)</p> <p>講師：牧田 徹雄〔NHK放送文化研究所主任研究員〕</p> <p>参加者：80 名</p> <p>カ「ナノテクノロジーとエレクトロニクス」</p> <p>開催日：平成 9 年 6 月 19 日(木)</p> <p>講師：難波 進〔長崎総合科学大学教授〕</p> <p>参加者：290 名</p> <p>キ「バンコク軟弱粘土の補強・改良の設計と実際」</p> <p>開催日：平成 9 年 7 月 4 日(金)</p> <p>講師：D. T. Bergado〔佐賀大学低平地防災研究センター客員研究員〕</p> <p>参加者：20 名</p> <p>ク「阪神大震災の被害とその教訓」</p> <p>開催日：平成 9 年 7 月 18 日(金)</p> <p>講師：西田 明良〔神戸市都市計画局区画整理部谷上土地区画整理事務所工務係〕</p> <p>参加者：110 名</p> <p>ケ「筋収縮のカルシウム調節とトロポニン」</p> <p>開催日：平成 9 年 9 月 5 日(金)</p> <p>講師：大槻 馨男〔九州大学医学部教授〕</p> <p>参加者：55 名</p> <p>コ「蛋白質の 1 分子測定に向けて」</p> <p>開催日：平成 9 年 9 月 12 日(金)</p> <p>講師：猪飼 篤〔東京工業大学生命理工学部教授〕</p> <p>参加者：180 名</p> <p>サ「ルイスキャロル『鏡の国のアリス』から 赤の女王一性が何のためにあるか」</p> <p>開催日：平成 9 年 9 月 12 日(金)</p> <p>講師：日高 敏隆〔滋賀県立大学長〕</p> <p>参加者：55 名</p> <p>シ「情報通信革命とガラス材料の進歩」</p> <p>開催日：平成 9 年 9 月 18 日(木)</p> <p>講師：小泉 健〔(財)日本板硝子材料工学助成会専務理事〕</p> <p>参加者：50 名</p> <p>ス「21 世紀 日本の難問」</p> <p>開催日：平成 9 年 10 月 8 日(水)</p> <p>講師：佐和 隆光〔京都大学経済研究所長〕</p> <p>参加者：170 名</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 9	<p>セ「先端金属材料の開発動向 ―学問を技術に如何に生かすか―」 開 催 日：平成 9 年 10 月 17 日(金) 講 師：前 義治〔三菱伸銅(株)開発センター所長〕 参 加 者：45 名</p> <p>ソ「FRP for the 21st Century (21 世紀における新素材)」 開 催 日：平成 9 年 10 月 20 日(月) 講 師：Sami H. Rizkalla〔カナダ・マニトバ大学教授〕 参 加 者：45 名</p> <p>タ「機能性酸化物薄膜の原子層制御と量子機能化」 開 催 日：平成 9 年 11 月 17 日(月) 講 師：鯉沼 秀臣〔東京工業大学応用セラミックス研究所教授〕 参 加 者：100 名</p> <p>チ「プラストドレッシングによる砥石表面の調整技術」 開 催 日：平成 9 年 11 月 18 日(火) 講 師：柳下 福蔵〔沼津工業高等専門学校制御情報工学科教授〕 参 加 者：90 名</p> <p>ツ「東西二刀流 (異文化) コミュニケーション」 開 催 日：平成 9 年 11 月 21 日(金) 講 師：黒田 高之〔(株)インテック・ジャパン営業部次長〕 参 加 者：55 名</p> <p>テ「我が国の留学生交流の現状と課題 ―受入れ体制・日本人学生・地域社会―」 開 催 日：平成 9 年 12 月 1 日(月) 講 師：古城 紀雄〔大阪大学留学生センター教授〕 参 加 者：30 名</p>
平成 10	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「私の日本経済論」 開 催 日：平成 10 年 5 月 20 日(水) 講 師：熊野 英昭〔(株)産業研究所顧問〕 参 加 者：150 名</p> <p>イ「これからの電力技術」 開 催 日：平成 10 年 6 月 4 日(木) 講 師：尾出 和也〔(財)電力中央研究所特別顧問〕 参 加 者：50 名</p> <p>ウ「バクテリア由来セルロースの材料への応用」 開 催 日：平成 10 年 6 月 5 日(金) 講 師：井口 正俊〔通商産業省工業技術院物質工学工業技術研究所主任研究官〕 参 加 者：30 名</p> <p>エ「機能光工学」 開 催 日：平成 10 年 6 月 16 日(火) 講 師：藤嶋 昭〔東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻教授〕 参 加 者：100 名</p> <p>オ「さらに大きい研究の流れに」 開 催 日：平成 10 年 7 月 3 日(金) 講 師：田中 郁三〔武蔵学園学園長〕 参 加 者：50 名</p> <p>カ「レーザー光による事故例とその安全対策」 開 催 日：平成 10 年 9 月 30 日(水) 講 師：西坂 剛〔北陸先端科学技術大学院大学教授〕 参 加 者：60 名</p> <p>キ「モノづくり・得意技・人」 開 催 日：平成 10 年 10 月 9 日(金) 講 師：守友 貞雄〔セイコーインスツルメンツ(株)常勤監査役〕 参 加 者：80 名</p>

年度	件名・開催日等
平成 10	<p>ク「工業化の具体例における会社での研究開発」 開催日：平成 10 年 10 月 15 日(木) 講師：柴谷 亨一郎〔クラレ(株)常務理事研究開発担当補佐〕 参加者：110 名</p> <p>ケ「日本的生産管理方式の現状と展望」 開催日：平成 10 年 10 月 27 日(火) 講師：圓川 隆夫〔東京工業大学大学院社会理工学研究科経営工学専攻教授〕 参加者：40 名</p> <p>コ「環境の 21 世紀と技術者（人類）の役割」 開催日：平成 10 年 11 月 20 日(金) 講師：田米 豊〔住友重機械工業(株)プラント環境事業本部・環境エネルギー事業センター・エンジニアリンググループ総括部長〕 参加者：50 名</p> <p>サ「工業高校における教育の現状と課題」 開催日：平成 10 年 11 月 26 日(木) 講師：入野 修〔東京工業大学工学部金属工学科教授〕 参加者：30 名</p> <p>シ「水文学における大気陸面過程に関する大規模野外観測プロジェクト」 開催日：平成 10 年 12 月 2 日(水) 講師：Brutsaert, Wilfried〔アメリカ合衆国コネール大学教授〕 参加者：50 名</p> <p>ス「21 世紀の『物』つくりへの指針 ～生産文化論的発想の重要性～」 開催日：平成 10 年 12 月 8 日(火) 講師：伊東 誼〔東京工業大学工学部機械知能システム学科教授〕 参加者：90 名</p> <p>セ「味覚のしくみ」 開催日：平成 10 年 12 月 11 日(金) 講師：阿部 啓子〔東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻教授〕 参加者：90 名</p> <p>ソ「半導体量子ドット」 開催日：平成 11 年 1 月 22 日(金) 講師：舛本 泰章〔筑波大学物理学系教授〕 参加者：40 名</p> <p>タ「環境問題としてのエイズーエイズを通じて人間を考えるー」 開催日：平成 11 年 2 月 10 日(水) 講師：大井 玄〔国立環境研究所長〕 参加者：50 名</p> <p>チ「窒化物半導体の結晶成長と電子・光デバイス応用」 開催日：平成 11 年 2 月 12 日(金) 講師：平松 和政〔三重大学工学部電気電子工学科教授〕 参加者：40 名</p>
平成 11	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「航空機用ジェットエンジンの研究開発」 開催日：平成 11 年 5 月 21 日(金) 講師：玉木 貞一〔石川島播磨重工業(株)防衛エンジン事業部長〕 参加者：130 名</p> <p>イ「記憶とアルツハイマー病の分子生物学」 開催日：平成 11 年 6 月 9 日(水) 講師：黒田 洋一郎〔(財)東京都医学研究機構東京都神経科学総合研究所参事研究員〕 参加者：70 名</p> <p>ウ「一次元フォトニック結晶とその応用」 開催日：平成 11 年 6 月 18 日(金) 講師：中塚 宏樹〔筑波大学物理学系教授〕 参加者：50 名</p>

年度	件名・開催日等
平成 11	<p>エ「企業が期待する 21 世紀の工業教育」 開催日：平成 11 年 6 月 23 日(水) 講師：鍛冶舎 巧〔松下電器産業(株)人事部採用担当部長〕 参加者：60 名</p> <p>オ「ヨーロッパにおける研究開発」 開催日：平成 11 年 6 月 25 日(金) 講師：Paul Siffert〔フランス国立研究センター理事〕 参加者：80 名</p> <p>カ「再生医工学の概要」 開催日：平成 11 年 9 月 3 日(金) 講師：岩田 博夫〔京都大学再生医科学研究所教授〕 参加者：70 名</p> <p>キ「鉄器のルーツを探る」 開催日：平成 11 年 9 月 6 日(月) 講師：平井 昭司〔武蔵工業大学工学部教授〕 参加者：30 名</p> <p>ク「進化分子工学的手法による蛋白質の分子育種」 開催日：平成 11 年 9 月 10 日(金) 講師：巖倉 正寛〔工業技術院生命工業技術研究所酵素デザイン研究室長〕 参加者：35 名</p> <p>ケ「地下鉄 12 号線六本木・青山工区の建設」 開催日：平成 11 年 12 月 15 日(水) 講師：小野 敏雄〔(株)間組土木本部都市土木統括部長〕 参加者：20 名</p> <p>コ「産業廃棄物の再資源化に関して」 開催日：平成 11 年 12 月 15 日(水) 講師：森末 晴男〔(株)中越興業専務取締役〕 参加者：50 名</p>
平成 12	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「新科学と気エネルギー」 開催日：平成 12 年 6 月 12 日(月) 講師：パク ミンヨン〔韓国 延世大学工学部電子工学科教授〕</p> <p>イ「多元化合物半導体の構造と物性 —CuInSe₂, Ga₂Se₃などを例に—」 開催日：平成 12 年 10 月 27 日(金) 講師：中村 吉男〔東京工業大学大学院理工学研究科材料専攻助教授〕</p> <p>ウ「JABEE (土木および土木関連分野) について」 開催日：平成 12 年 11 月 16 日(木) 講師：二羽 淳一郎〔東京工業大学教授〕</p> <p>エ「社会生活で学んだこと」 開催日：平成 12 年 11 月 17 日(金) 講師：藤井 誠〔(元)旭化成プロマックス(株)代表取締役社長〕</p> <p>オ「エアスピンドルを用いた金型の高速加工」 開催日：平成 12 年 11 月 28 日(火) 講師：嶽岡 悦雄〔新潟県工業技術総合研究所上越技術支援センター専門研究員〕</p> <p>カ「科学技術文明のゆくえ」 開催日：平成 12 年 12 月 6 日(水) 講師：市川 惇信〔東京工業大学名誉教授・(元)国立環境研究所長, 人事院人事官〕</p> <p>キ「鍛造技術の進歩」 開催日：平成 12 年 12 月 20 日(水) 講師：元井 憲雄〔上越工業(株)取締役工場長〕</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 13	長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ア「日本の航空宇宙開発の現状」 開催日：平成 13 年 6 月 29 日(金) 講師：岡崎 正史〔三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所飛島工場長〕 イ「環境ホルモン問題の現状」 開催日：平成 13 年 9 月 20 日(木) 講師：松井 三郎〔京都大学大学院工学研究科教授〕 ウ「太陽光エネルギーの科学的変換技術研究の最前線ー色素増感太陽電池と水素製造用光触媒」 開催日：平成 13 年 10 月 3 日(水) 講師：荒川 裕則〔独立法人産業技術総合研究所光反応制御研究センター長〕 エ「新材料開発における構造・機能設計技術ーセラミックス、複合材料、コーティングー」 開催日：平成 13 年 10 月 15 日(月) 講師：松原 秀彰〔(財)ファインセラミックスセンター試験研究所副所長〕 オ「加圧熱水によるバイオマスの高度処理」 開催日：平成 13 年 10 月 26 日(金) 講師：柴田 昌男〔産業技術総合研究所九州センター天然素材複合化技術研究グループ長〕 カ「高度技術化社会におけるリスクマネジメントと技術者倫理」 開催日：平成 13 年 11 月 6 日(火) 講師：松井 武久〔三菱化学MKV(株)常勤監査役〕 キ「蛋白質の隠れた設計ー高圧NMRが明かす新しい蛋白質像ー」 開催日：平成 13 年 12 月 7 日(金) 講師：赤坂 一之〔立命館大学理工学部客員教授〕 ク「高純度アルミナの製造技術と応用」 開催日：平成 13 年 12 月 13 日(木) 講師：島井 駿蔵〔東芝セラミックス(株)開発研究所主幹〕 ケ「木質資源の微生物変換」 開催日：平成 13 年 12 月 19 日(水) 講師：栞原 正章〔秋田県立大学木材高度加工研究所教授〕 コ「中国の高度教育改革について」 開催日：平成 13 年 12 月 21 日(金) 講師：ショウ コウドウ〔河海大学長〕 サ「企業環境と高品質経営」 開催日：平成 14 年 1 月 30 日(水) 講師：嶋田 英輔〔日本品質経営研究会代表〕 シ「これからの科学産業」 開催日：平成 14 年 2 月 6 日(水) 講師：三澤 千代治〔ミサワホーム(株)代表取締役社長〕 ス「先端e-Learningとバーチャルユニバーシティ」 開催日：平成 14 年 3 月 28 日(木) 講師：岡本 敏雄〔電気通信大学教授〕
	長岡技術科学大学技術開発センター主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ア「電子部品材料の研究開発とその国際的展開」 開催日：平成 13 年 12 月 3 日(月) 講師：八野 耕明〔(有)エッチ・ティ・エス代表取締役社長〕 イ「環境と未利用エネルギー」 開催日：平成 14 年 1 月 29 日(火) 講師：吉田 可紀〔(株)荏原製作所システムエンジニアリング統括システム技術室長〕
	長岡技術科学大学工作センター主催による講演会を後援した。 「放電加工面の変質層と表面改質」 開催日：平成 13 年 9 月 18 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 講師：田村 武夫〔新潟大学工学部機械システム工学科助教授〕

年度	件名・開催日等
平成 14	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ア「技術者倫理（技術者の倫理と実践－なぜ今、技術者の倫理教育が必要なのか？－）」 開催日：平成 14 年 6 月 5 日(水) 講師：柴山 知也〔横浜国立大学大学院工学研究院システムの創生部教授〕 イ「制御工学の目指すもの」 開催日：平成 14 年 6 月 14 日(金) 講師：原 辰次〔東京大学大学院情報理工学系研究科教授〕 ウ「(今 材料研究が面白い) 青色発光素子はいかにして創られたか」 開催日：平成 14 年 9 月 3 日(火) 講師：赤崎 勇〔名城大学理工学研究科電気電子工学専攻教授〕 エ「新潟大学情報通信プログラムにおける学生の理解度向上への取り組み」 開催日：平成 14 年 9 月 4 日(水) 講師：中野 敬介〔新潟大学工学部情報工学科助教授〕 オ「分子モーター：基礎研究における最近のブレークスルーと、ナノバイオテクノロジーへの対応」 開催日：平成 14 年 9 月 10 日(火) 講師：上田 太郎〔産業技術総合研究所つくば中央第 4 ジーンディスカバリー研究センター細胞運動解析チームリーダー主任研究員〕 カ「経営者の期待する技術者像」 開催日：平成 14 年 9 月 18 日(水) 講師：前田 又兵衛〔前田建設(株)代表取締役〕 キ「アルツハイマー病 痴呆のしくみ」 開催日：平成 14 年 9 月 24 日(火) 講師：森 啓〔大阪市立大学大学院医学研究科老年医科学大講座脳神経科学教授〕 ク「分子機能化学－材料科学への新しいアプローチ」 開催日：平成 14 年 10 月 11 日(金) 講師：吉田 善一〔京都大学名誉教授〕 ケ「人間活動の歴史と環境問題の展開－環境管理のこれから」 開催日：平成 14 年 12 月 2 日(月) 講師：松尾 知矩〔東洋大学国際地域学部教授〕 コ「光ファイバの増幅器の現状と今後の展望」 開催日：平成 14 年 12 月 6 日(金) 講師：大石 泰丈〔豊田工業大学大学院工学研究科教授〕 サ「企業の成長過程と評価」 開催日：平成 14 年 12 月 11 日(水) 講師：品田 勇〔(株)BSN アイネット代表取締役社長〕 シ「Network economies for The internet」 開催日：平成 15 年 2 月 6 日(木) 講師：ハンス ウェルナー ゴッティンガー〔関西学院大学総合政策学部教授〕</p>
	<p>長岡技術科学大学技術開発センター主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ア「スポットビーム型電子線描画装置の最新技術」 開催日：平成 14 年 5 月 1 日(水) 講師：上柿 順一〔(株)エリオニクス技術部主幹〕 イ「キレート剤の用途展開の現状と将来展望」 開催日：平成 15 年 3 月 12 日(水) 講師：南部 信義〔中部キレスト(株)代表取締役〕</p>
	<p>長岡技術科学大学工作センター主催による講演会を後援した。 「タグチメソッドって何？（品質工学の考え方と現状）」 開催場所：長岡技術科学大学 開催日：平成 14 年 12 月 17 日(火) 講師：水谷 淳之介〔富山商船高等専門学校電子制御工学科助教授〕</p>

年度	件名・開催日等
平成 15	長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ア「回転軸系におけるスマートマシン技術」 開催日：平成 15 年 7 月 24 日(木) 講師：ライネル ノルトマン〔ダルムシュタット工科大学機械工学科長〕 イ「フェムト秒レーザーとマイクロ・ナノテクノロジーへの展開」 開催日：平成 15 年 9 月 19 日(金) 講師：三澤 弘明〔北海道大学電子科学研究所教授〕 ウ「21 世紀ネット社会とは何か」 開催日：平成 15 年 9 月 24 日(水) 講師：西垣 通〔東京大学大学院情報学研究所(情報環)教授〕 エ「バッファレーヤ導入による酸化エピタキシャル薄膜の成膜」 開催日：平成 15 年 9 月 26 日(金) 講師：篠崎 和夫〔東京工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻助教授〕 オ「注目されている光触媒の現状とこれからの課題」 開催日：平成 15 年 10 月 29 日(水) 講師：藤嶋 昭〔神奈川科学技術アカデミー理事長〕 カ「セラミック開発を通して見た情報社会」 開催日：平成 15 年 12 月 17 日(水) 講師：川田 正興〔(株)日本セラテック代表取締役社長〕 キ「DNA shuffling を用いた酵素の試験管内進化」 開催日：平成 16 年 1 月 19 日(月) 講師：原山 重明 〔(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジー本部生物遺伝資源開発部門長〕 ク「可視光光媒体開発の現状と将来」 開催日：平成 16 年 2 月 23 日(月) 講師：多賀 康訓〔(株)豊田中央研究所シニアフェロー第一特別研究室長〕
	長岡技術科学大学「21 世紀 COE プログラム」特別講演会を後援した。 「素粒子と宇宙」 開催日：平成 15 年 10 月 3 日(金) 開催場所：長岡市立劇場 講師：小柴 昌俊〔ノーベル物理学賞受賞者・東京大学素粒子物理国際研究センター参与〕
	長岡技術科学大学技術開発センター主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ア「企業における技術研修」 開催日：平成 15 年 6 月 18 日(水) 講師：山崎 重之〔(株)日立製作所嘱託〕 参加者：32 名 イ「企業における研究開発」 開催日：平成 15 年 7 月 16 日(水) 講師：浅井 治〔大成化工(株)コンサルタント〕 参加者：28 名 ウ「太平洋セメントグループの環境・エネルギーへの取り組み ～水素貯蔵に関する新材料について～」 開催日：平成 15 年 10 月 6 日(月) 講師：小川 賢治〔太平洋セメント(株)中央研究所テクノロジーマネジメントグループ ゼネラルマネージャー〕 参加者：67 名
	長岡技術科学大学工作センター主催による講演会を後援した。 「オンリーワン商品を生み出すための仕組み『SOZO STUDIO』」 開催場所：長岡技術科学大学 開催日：平成 15 年 12 月 2 日(火) 講師：金子 靖仙〔ミズノ(株)商品開発部研究開発室次長〕

年度	件名・開催日等
平成 16	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。</p> <p>開催場所：キノみ まちなか・考房、その他は長岡技術科学大学</p> <p>ア「景観を考慮した土木建造物の設計について」 開催日：平成 16 年 6 月 18 日(金) 講師：尾崎 京子 [(株)オズカースタジオ代表取締役]</p> <p>イ「ものづくりの発展過程と産学連携」 開催日：平成 16 年 7 月 14 日(水) 講師：清水 二郎 [山形県立産業技術短期大学校長]</p> <p>ウ「創薬研究最前線 一新薬誕生までの総合研究プロセスの特徴と実際」 開催日：平成 16 年 9 月 16 日(木) 講師：菱沼 宇春 [エーザイ(株)創薬研究本部・フロンティア研究所長]</p> <p>エ「日本列島における深刻な海浜汚染問題と自然環境的魅力 —列島漂着ゴミ汚染・沖縄赤土流亡汚染・海浜域のジオアート・鳴き砂等—」 開催日：平成 16 年 9 月 22 日(水) 講師：山口 晴幸 [防衛大学校建設環境工学科教授]</p> <p>オ「デジタル技術がもたらす世界 —その光と影、そして倫理—」 開催日：平成 16 年 9 月 29 日(水) 講師：市川 忠男 [広島大学名誉教授]</p> <p>カ「女性だからできる、仕事も家事も子育ても」 開催日：平成 16 年 9 月 29 日(水) 講師：服部 恵子 [アマシャムバイオサイエンス(株)代表取締役社長]</p> <p>キ「コイに引かれて宇宙まで」 開催日：平成 16 年 10 月 15 日(金) 講師：御手洗 玄洋 [名古屋大学名誉教授]</p> <p>ク「原子力発電の今と将来」 開催日：平成 16 年 12 月 10 日(金) 講師：荒井 滋喜 [(株)グローバルニュークリアフュエルジャパン常勤監査役]</p> <p>ケ「シリコン基板上への窒化物微細構造の作製」 開催日：平成 16 年 12 月 10 日(金) 講師：澤木 宣彦 [名古屋大学教授]</p> <p>コ「ロボットの過去・現在・未来」 開催日：平成 16 年 12 月 24 日(金) 講師：高森 年 [(財)神戸市産業振興財団プロジェクトマネージャー]</p> <p>サ「燃料電池の実用化に向けて —高分子形燃料電池の課題と新規材料開発—」 開催日：平成 17 年 2 月 28 日(月) 講師：渡辺 政廣 [山梨大学教授]</p>
	<p>長岡技術科学大学工作センター主催による講演会を後援した。</p> <p>「5 軸制御工作機械の開発動向」 開催場所：長岡技術科学大学 開催日：平成 16 年 12 月 7 日(火) 講師：堤 正臣 [東京農工大学大学院共生科学技術研究部長]</p>
	<p>長岡技術科学大学技術開発センター主催による講演会を後援した。</p> <p>「産業副産物を用いたコンクリートの消波ブロックへの適用」 開催場所：長岡技術科学大学 開催日：平成 17 年 3 月 16 日(水) 講師：森末 晴男 [長岡技術科学大学技術開発センター客員教授 緑物産(株)代表取締役会長]</p>

年度	件名・開催日等
平成 17	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。</p> <p>開催場所：クのみ 長岡商工会議所、その他は長岡技術科学大学</p> <p>ア「日本の高等教育・研究推進施策」 講師：北尾 善信〔文部科学省研究振興局学術機関課研究調整官〕 「日本のナノテク・材料研究の国家戦略」 講師：岸 輝雄〔独立行政法人物質・材料研究機構理事長〕 「フロンティアを歩むわが国の核融合研究 ―学術と工業技術のインテグレーション―」 講師：本島 修〔自然科学研究機構核融合科学研究所〕 開催日：平成 17 年 6 月 4 日(土)</p> <p>イ「技術立国日本を目指して」 開催日：平成 17 年 6 月 25 日(土) 講師：安川 英昭〔セイコーエプソン(株)取締役相談役〕</p> <p>ウ「ものづくり技術研究開発の現状と将来」 開催日：平成 17 年 7 月 14 日(木) 講師：中川 泰夫〔(株)日立製作所研究開発本部技師長〕</p> <p>エ「夢を世界に広げよう!!」 開催日：平成 17 年 7 月 16 日(土) 講師：曾我 弘〔Improvista Interactive Music,Inc. Chairman of the Board〕</p> <p>オ「港湾空港技術研究所の役割と最近の津波研究の動向 ―スマートラ沖地震大津波に挑む日本の最先端研究技術―」 開催日：平成 17 年 7 月 29 日(金) 講師：小和田 亮〔独立行政法人港湾空港技術研究所理事長〕</p> <p>カ「食と食材の未来を考える ―GMO(遺伝子組換え作物)開発研究者が見た事実―」 開催日：平成 17 年 9 月 7 日(水) 講師：大澤 勝次〔北海道大学大学院農学研究科教授〕</p> <p>キ「システム制御と情報科学」 開催日：平成 17 年 9 月 20 日(火) 講師：藤田 政之〔東京工業大学大学院理工学研究科教授〕</p> <p>ク「キヤノンの経営と人事戦略」 開催日：平成 17 年 9 月 21 日(水) 講師：山下 征雄〔キヤノン(株)専務取締役〕</p> <p>ケ「知能ロボットによる無人化工場への挑戦」 開催日：平成 17 年 10 月 14 日(金) 講師：稲葉 善治〔ファナック(株)代表取締役社長〕</p> <p>コ「科学技術政策の展望と大学」 開催日：平成 17 年 10 月 28 日(金) 講師：阿部 博之〔総合科学技術会議議員〕</p> <p>サ「R&Dの“D”～或る技術者の 45 年間」 開催日：平成 17 年 10 月 31 日(月) 講師：西村 三千男〔元 電気化学工業(株)顧問〕</p> <p>シ「電子部品のスピード調達ビジネスモデルについて」 開催日：平成 17 年 11 月 11 日(金) 講師：高乗 正行〔(株)チップワンストップ代表取締役社長〕</p> <p>ス「世界の水問題と国連」 開催日：平成 17 年 12 月 5 日(月) 講師：吉村 和就〔国連テクニカルアドバイザー〕</p> <p>セ「山形大学工学研究科の挑戦」 開催日：平成 18 年 1 月 13 日(金) 講師：小山 清人〔山形大学工学部長〕</p> <p>ソ「化学物半導体量子デバイスの高密度集積化とその知的量子(IQ)チップへの展開」 開催日：平成 18 年 1 月 13 日(金) 講師：阿部 博之〔総合科学技術会議議員〕</p> <p>タ「バイオ環境工学への挑戦」 開催日：平成 18 年 1 月 17 日(火) 講師：藤田 正憲〔高知工業高等専門学校長〕</p>

年度	件名・開催日等
平成 17	<p>チ「生体に学ぶバイオマテリアル創成と医療応用」 開催日：平成 18 年 3 月 7 日(火) 講師：秋吉 一成〔東京医科歯科大学生体材料工学研究所教授〕</p> <p>長岡技術科学大学技術開発センター主催による講演会を後援した。 「液体・反応シミュレーション」 開催日：平成 17 年 12 月 26 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 講師：土居 陽〔長岡技術科学大学技術開発センター客員教授、土居技術研究所代表〕</p>
平成 18	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「企業と開発 ―商品開発・技術開発部門を学ぶ―」 開催日：平成 18 年 7 月 1 日(土) 講師：山崎 彬〔越後製菓(株)代表取締役会長〕</p> <p>イ「国土計画と社会資本整備」 開催日：平成 18 年 7 月 13 日(木) 講師：森地 茂〔政策研究大学院大学教授〕</p> <p>ウ「新しい石油危機？」 開催日：平成 18 年 7 月 20 日(木) 講師：佐々木 修一〔むつ小川原油備蓄(株)〕</p> <p>エ「労働安全のグローバルな展開とシステム安全」 開催日：平成 18 年 7 月 27 日(木) 講師：阿南 惟正〔中央労働災害防止協会副会長〕</p> <p>オ「食の安全を考える ―プリオン病とはどんな病気か？―」 開催日：平成 18 年 9 月 15 日(金) 講師：山内 一也〔東京大学名誉教授〕</p> <p>講演会の案内を行った。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>*知的財産センター講演会 「大学の『知識』を製品や技術に変換する ―大学の知財の役割―」 開催日：平成 18 年 6 月 26 日(月) 講師：清水 啓助〔慶應義塾大学教授〕</p> <p>*「セレンディピティーを知っていますか ～導電性高分子の発見とセレンディピティー～」 開催日：平成 18 年 10 月 1 日(日) 講師：白川 英樹〔ノーベル化学賞受賞者 筑波大学名誉教授〕</p> <p>*テクノインキュベーションセンター講演会 「地域活性化と産学連携」 開催日：平成 18 年 10 月 25 日(水) 講師：池田 弘〔新潟総合学院理事長 (株)アルビレックス新潟代表取締役会長〕</p> <p>*知的財産センター講演会 開催日：平成 19 年 2 月 26 日(月) 「知的財産活動における産学官連携のあり方 ―企業の立場からの提言―」 講師：秋元 浩〔武田薬品工業(株)常務取締役〕 「早稲田大学における産学官連携への取組」 講師：三島 克彦〔早稲田大学研究推進本部文部科学省産学官連携コーディネーター〕</p>

年度	件名・開催日等
平成 18	長岡技術科学大学技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開催日：平成 18 年 7 月 7 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 「エネルギー最小消費型下水処理システムの開発」 講師：長野 晃弘〔三機工業(株)〕 「舗装非破壊試験方法の開発」 講師：阿南 長門〔東亜道路工業(株)〕 「電子ビーム・レーザー加工技術の高確度化と高効率化」 講師：横井 哲郎〔東成エレクトロビーム(株)〕 「窒化アルミニウムセラミックスへの新規メタライズ法の開発」 講師：谷口 人文〔(株)トクヤマ〕 「大気開放型CVDシステムの開発」 講師：時田 修二〔時田シーブイディーシステムズ(株)〕 「冷陰極を利用した新型X線源の開発」 講師：大河原 吉明〔(株)大河原製作所〕 「高圧水素下での化学計測／ガス濃度分布解析」 講師：土居 陽〔(株)レスカ〕 「EDTA法を利用した蛍光体の開発」 講師：中村 淳〔中部キレスト(株)〕
平成 19	長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：クのみ 長岡商工会議所、その他は長岡技術科学大学 ア「クリーンディーゼル新時代ーその実力と未来ー(講演及び試乗)」 開催日：平成 19 年 6 月 6 日(水) 講師：山口 進〔ボッシュ(株)ディーゼルシステム事業部 営業プロジェクト統括部門営業企画部長〕 イ「炉の歴史から地球温暖化問題を考える」 開催日：平成 19 年 6 月 11 日(月) 講師：杉田 清〔紫綬褒章、科学技術長官賞受賞、元新日鐵(株)フェロー(常務取締役待遇)〕 ウ「アメリカの製造物責任法：第三次リステメントを中心に」 開催日：平成 19 年 6 月 20 日(水) 講師：平野 晋〔中央大学総合政策学部教授〕 エ「鉄道トンネルの維持管理」 開催日：平成 19 年 6 月 28 日(木) 講師：小島 芳之〔(財)鉄道総合技術研究所構造物技術研究部トンネル研究室長〕 オ「なぜ疑似科学が流行するのか」 開催日：平成 19 年 7 月 25 日(水) 講師：池内 了〔総合研究大学院大学学長補佐、先導科学研究科教授〕 カ「グローバル化時代における我が国の留学生戦略と大学のあり方」 開催日：平成 19 年 7 月 26 日(木) 講師：谷口 吉弘〔立命館大学工学部特別招聘教授〕 キ「安全学と安全曼荼羅について」 開催日：平成 19 年 9 月 3 日(月) 講師：向殿 政男〔明治大学理工学部長、教授〕 ク「スウェーデンに学ぶ『持続可能な社会』安心と安全の国づくりとは何か」 開催日：平成 19 年 9 月 6 日(木) 講師：小澤 徳太郎〔環境問題スペシャリスト、 大学非常勤講師(静岡県立大学、東海大学、日本大学、法政大学)〕 ケ「有人宇宙開発の現場」 開催日：平成 19 年 9 月 7 日(金) 講師：斎藤 芳和〔(独)宇宙航空研究開発機構有人宇宙環境利用プログラムグループ 有人宇宙技術部有人宇宙技術開発グループ〕 コ「ゲノム情報と酵母の分子遺伝学」 開催日：平成 19 年 9 月 27 日(木) 講師：仁川 純一〔九州工業大学副学長、情報工学部教授〕

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 19	<p>サ「人生の時間、歴史の時間」 開 催 日：平成 19 年 10 月 1 日(月) 講 師：森 毅〔京都大学名誉教授〕</p> <p>シ「光電気化学より半導体触媒へ」 開 催 日：平成 19 年 10 月 17 日(水) 講 師：本多 健一〔日本学士院会員、東京大学名誉教授、東京工芸大学名誉学長〕</p> <p>ス「学生のための企業におけるリスクマネジメントの実際」 開 催 日：平成 19 年 10 月 25 日(木) 講 師：水野 恒夫〔(株)ブリヂストン技術センター安全管理部主任部員〕</p> <p>セ「非弾性領域における Datta-Das 型スピントランジスタの動作の実証」 開 催 日：平成 19 年 11 月 9 日(金) 講 師：陽 完治〔北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター教授〕</p> <p>ソ「新規なヘリカル構造材料群の開発とその電磁気的特性 ーカーボンマイクロコイル(CMC)を中心としてー」 開 催 日：平成 19 年 11 月 12 日(月) 講 師：元島 栖二〔岐阜大学特任教授〕</p>
	<p>長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開 催 日：平成 19 年 7 月 13 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>「アモルファス炭素系膜を用いた X 線源に関する研究」 講 師：大河原 吉明〔(株)大河原製作所取締役開発部長〕</p> <p>「マグネシウム合金製品ののための接合技術開発」 講 師：塩浦 時宗〔(財)新潟県県央地域地場産業振興センター産業振興部長〕</p> <p>「超耐磨耗部材創製の鍵 ー焼結用電源装置の共同開発ー」 講 師：浅井 嘉久〔マコー(株)技術部長〕</p> <p>「小型大気開放型 CVD システムの開発Ⅱ」 講 師：時田 修二〔時田シーブイディーシステムズ(株)代表取締役〕</p> <p>「ダイレクトアルコール燃料電池のデバイス開発と実用化への期待」 講 師：田中 正治〔(株)リコー研究開発本部先端技術研究所環境技術研究室主幹研究員〕</p> <p>「EDTA法を利用した蛍光体開発」 講 師：中村 淳〔中部キレスト(株)四日市工場研究部研究一課係長〕</p> <p>「地盤の非破壊試験装置(小型 FWD)の開発と評価に関する研究」 講 師：藤生 高弘〔(株)東京測器研究所開発部 TR 開発室課長代理〕</p> <p>「マグネシウム合金の開発 ー主にスピーカ振動板についてー」 講 師：三戸部 邦男 〔東北パイオニア(株)スピーカ事業本部スピーカ事業部次長(兼)開発技術部長〕</p> <p>参 加 者：133 名</p>
	<p>長岡技術科学大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開 催 日：平成 19 年 6 月 15 日(金) 開催場所：科学技術振興機構東京本部 J S T ホール 開催内容：プレゼンテーション 7 件/展示 13 件 参 加 者：166 名</p>
	<p>長岡技術科学大学、(株)オムニ研究所主催による新技術発表会を協賛した。 開 催 日：平成 20 年 1 月 25 日(金) 開催場所：みずほ銀行本店レセプションルーム 開催内容：プレゼンテーション 12 件/展示 13 件 参 加 者：75 名</p>

年度	件名・開催日等
平成 19	学術講演会等助成（一般市民も聴講可能な学術講演会等に対する助成） 1 申請者：長岡技術科学大学電気系教授 原田 信弘 名称：平成 19 年度（第 17 回）電気学会東京支部新潟支所研究発表会 開催日：平成 19 年 11 月 23 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：学内者 97 名 学外者 115 名 2 申請者：長岡技術科学大学機械系教授 金子 覚 名称：すぐに役立つ技術英語によるプレゼンテーション 開催日：平成 19 年 12 月 1 日(土) 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：学内者 38 名 学外者 13 名
平成 20	長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ア「生命の知と工学の知の融合をめざして」 開催日：平成 20 年 5 月 27 日(火) 講師：榊 佳之〔国立大学法人豊橋技術科学大学長〕 イ「再生科学の現状と今後」 開催日：平成 20 年 6 月 4 日(水) 講師：浅島 誠〔東京大学理事（副学長）、大学院総合文化研究科教授〕 ウ「安全の作り方－防爆安全と国際規格－」 開催日：平成 20 年 7 月 10 日(木) 講師：鈴木 健二〔防爆電気・計装研究所長〕 エ「経営革新と情報技術」 開催日：平成 20 年 7 月 17 日(木) 講師：牧田 孝衛〔松下電器産業(株)常務役員〕 オ「メゾスコピック系の量子伝導現象と量子計算」 開催日：平成 20 年 7 月 25 日(金) 講師：岩淵 修一〔奈良女子大学理学部物理科学科教授〕 カ「学部・大学院での学び方と過ごし方－あるOBからのメッセージ」 開催日：平成 20 年 9 月 17 日(水) 講師：朽津 耕三〔長岡技術科学大学名誉教授、東京大学名誉教授〕 キ「山岳トンネル施工と都市地下空間の開発」 開催日：平成 20 年 9 月 19 日(金) 講師：三上 哲司〔(株)大林組生産技術本部トンネル技術部長〕 ク「分子の構造・機能・反応設計の魅力」 開催日：平成 20 年 9 月 22 日(月) 講師：諸熊 奎治〔国立大学法人京都大学福井謙一記念研究センター 福井謙一記念研究部第一リサーチリーダー〕 ケ「大強度陽子加速器施設（J-PARC）が拓く科学と技術」 開催日：平成 20 年 9 月 26 日(金) 講師：大山 幸夫 〔独立行政法人日本原子力研究開発機構J-PARCセンター副センター長〕 コ「航空機エンジン開発：材料と加工技術」 開催日：平成 20 年 10 月 10 日(金) 講師：正木 彰樹〔(株)IHIジェットサービス代表取締役社長〕 サ「どうせ生きるなら」≪体育・保健センター開催≫ 開催日：平成 20 年 11 月 18 日(火) 講師：廣道 純〔(株)ライツパラリンピックメダリスト 車いすプロアスリート〕 シ「絵画を楽しむ脳神経の働き」 開催日：平成 20 年 11 月 25 日(火) 講師：森 啓〔大阪市立大学大学院医学研究科教授〕

年度	件名・開催日等
平成 20	<p>ス「長岡技科大への期待と要望」《テクノインキュベーションセンター開催》 開催日：平成 20 年 12 月 26 日(金) 講師：賀井 治久 [(株)ツバメックス取締役社長] 植木 義明 [(株)植木組代表取締役社長] 池田 英夫 [(株)三條機械製作所取締役社長] 小林 清作 [ウエカツ工業(株)代表取締役] 本合 邦彦 [(株)東陽理化学研究所代表取締役会長]</p> <p>セ「MEMS 技術の医療への応用」《技術開発センター開催》 開催日：平成 21 年 3 月 6 日(金) 講師：唐木 幸一 [オリンパス(株)未来創造研究所長]</p> <p>長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開催日：平成 20 年 9 月 26 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 「21 世紀の水環境保全に向けて省エネルギー型排水処理の導入」 講師：長野 晃弘 [三機工業(株)技術開発本部技術研究所 環境システム開発グループ研究開発部長] 「ナノテムの提案 ～多孔質セラミックス・砥石の応用例～」 講師：上段 一樹 [(株)ナノテム技術開発部長] 「ダイレクトアルコール燃料電池の材料研究と応用開発」 講師：田中 正治 [(株)リコーグループ技術開発本部グループ技術企画室 事業企画室シニアスペシャリスト] 「ベンチャー企業による薄膜技術を駆使した光学素子の開発」 講師：田中 大祐 [シービーデープロダクツ代表] 「食品廃棄物を対象とした無加水メタン発酵システムの開発」 講師：帆秋 利洋 [大成建設(株)土木技術研究所水域・生物環境研究室 生物環境チームリーダー] 「ナノインデンテーション試験法の開発とその先進材料評価への適用」 講師：上柿 順一 [(株)エリオニクス開発技術本部主幹] 参加者：約 130 名</p> <p>長岡技術科学大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開催日：平成 20 年 5 月 30 日(金) 開催場所：科学技術振興機構東京本部 J S T ホール 開催内容：プレゼンテーション 9 件 参加者：163 名</p> <p>高専一技科大連合・スーパー地域産学官連携本部による 「高専一技科大 知的財産報告会」・「特許実践講座」を協賛した。 開催日：平成 21 年 3 月 27 日(金)・3 月 28 日(土) 開催場所：ホテルニューオータニ長岡 開催内容：北陸・東海地区以西の西日本地区 33 機関からの活動報告及び特許実践講座</p>
平成 21	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「新興国（中国・ベトナムなど）の現状と将来展望」 開催日：平成 21 年 6 月 10 日(水) 講師：戸松 信博 [グローバルリンクアドバイザーズ(株)代表取締役社長]</p> <p>イ「ファイターズ ファン獲得の試みーサービス工学からのアプローチ」 開催日：平成 21 年 7 月 14 日(火) 講師：北島 宗雄 〔独立行政法人産業技術総合研究所サービス工学研究センター主幹研究員〕</p> <p>ウ「知の統合から価値創出に向けて」 開催日：平成 21 年 7 月 17 日(金) 講師：笠木 伸英 [東京大学大学院工学系研究科教授]</p>

年度	件名・開催日等
平成 21	エ「『一家に1枚周期表』に見る科学技術の進歩」 開催日：平成21年7月24日(金) 講師：玉尾 皓平〔独立行政法人理化学研究所基幹研究所所長、京都大学名誉教授〕 オ「原子力安全に関する研究・開発の動向」 開催日：平成21年9月11日(金) 講師：工藤 和彦〔九州大学高等教育開発推進センター特任教授〕 カ「認知症の最新情報 ～早期発見から予防に向けて～」 開催日：平成21年9月18日(金) 講師：浦上 克哉〔鳥取大学医学部保健学科教授〕 キ「ビールのアート&サイエンス」 開催日：平成21年10月9日(金) 講師：渡 淳二〔サッポロビール(株)取締役執行役員、マーケティング本部副本部長兼新価値開発部長〕 ク「化学物質のリスク評価の現状」 開催日：平成21年11月2日(月) 講師：北野 大〔明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻教授〕 ケ「暮らしに役立つ量子ビーム ～バイオ技術・医療応用・環境保全・材料開発の最近の成果～」 開催日：平成21年11月6日(金) 講師：南波 秀樹〔独立行政法人日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所長兼量子ビーム研究開発部門副部門長〕 コ「脳波から『メタ認知』を判別する ～『メタ認知』スキル向上のバイオ・フィードバック学習に向けて～」 ≪技術開発センター開催≫ 開催日：平成21年10月28日(水) 講師：畑田 敏雄〔(株)ジェック行動理論研究所専門部長〕
	長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開催日：平成21年7月10日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 「多孔質炭素材料の水素吸蔵特性」 講師：田中 大祐〔シーブイディープロダクツ代表〕 「金属錯体を利用した新規青色蛍光体の合成」 講師：中村 淳〔中部キレスト(株)研究一課係長〕 「大気開放型化学気相析出(CVD)法の半導体製造装置部材への用途開発」 講師：川口 晋之介〔(株)日本セラテック開発部研究員〕 「X線CTを用いた鋳造品質モニタリング」 講師：三和田 靖彦〔トヨタ自動車(株)計測技術部企画総括室〕 「小型燃料電池用部材の研究開発」 講師：川本 裕久〔日本ピラー工業(株)開発事業部長〕 「スポーツ用品支援材料の開発」 講師：田中 大祐〔シーブイディープロダクツ代表〕 参加者：約111名
	長岡技術科学大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開催日：平成21年5月19日(金) 開催場所：科学技術振興機構東京本部JSTホール 開催内容：プレゼンテーション10件 参加者：196名
	長岡技術科学大学、(株)オムニ研究所主催による新技術発表会を協賛した。 開催日：平成21年10月16日(金) 開催場所：みずほ銀行本店 開催内容：プレゼンテーション9件 参加者：77名

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 22	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>ア「日野レンジャー ダカーララーへの挑戦」 開催日：平成 22 年 7 月 12 日(月) 講 師：折笠 公德〔日野自動車(株)技術管理部長〕 菅原 照仁〔日本レーシングマネージメント(株)代表取締役〕</p> <p>イ「コンプライアンス推進としての社会基盤整備」 開催日：平成 22 年 9 月 30 日(木) 講 師：阪田 憲次〔(社)土木学会長(第 98 代)、岡山大学名誉教授〕</p> <p>ウ「癌早期診断用アイソトープの新製造法開発」 開催日：平成 22 年 10 月 8 日(金) 講 師：永井 泰樹〔日本原子力研究開発機構客員研究員グループリーダー、 大阪大学名誉教授、東京工業大学名誉教授〕</p> <p>エ「日本復活の方策と研究者への期待 ―科学技術立国で世界をリードするのが唯一の策―」 開催日：平成 22 年 10 月 28 日(木) 講 師：谷口 正俊〔大塚化学(株)特別顧問〕</p> <p>オ「鉄道構造物の地震被害と復旧について」 開催日：平成 22 年 11 月 11 日(木) 講 師：石橋 忠良〔東日本旅客鉄道(株)執行役員 (構造技術センター所長)〕</p> <p>カ「失敗学から危険学へ ―技術者共通の基盤素養として―」 開催日：平成 22 年 11 月 11 日(木) 講 師：畑村 洋太郎 〔畑村創造工学研究所代表、工学院大学国際基礎工学科教授、東京大学名誉教授〕</p> <p>キ「酒は旨いよ、美味しいよ ―越後吉乃川の世界戦略―」 開催日：平成 22 年 11 月 12 日(金) 講 師：中村 隆〔吉乃川(株)専務取締役〕</p>
	<p>長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開催日：平成 22 年 7 月 9 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>「ハンマー鍛造における金型/ワークの焼付きについて」 講 師：元井 憲雄〔上越工業(株)常務取締役工場長〕</p> <p>「糖蜜の利活用技術と糖蜜廃液の高効率処理・資源化技術の開発」 講 師：河合 俊和〔三井製糖(株)開発本部課長〕</p> <p>「イットリアコーティングのご紹介」 講 師：時田 修二〔時田シーブイディーシステムズ(株)代表取締役〕</p> <p>「金属-EDTA 錯体を原料としたフレイム溶射法の開発」 講 師：中村 淳〔中部キレスト(株)研究一課係長〕</p> <p>「災害診療支援システムの開発 ―Crush syndrome を回避する Rescue Robot を目指して―」 講 師：佐橋 昭〔(株)プロジェクトアイ代表取締役〕</p> <p>「マイクロ垂直軸風車の開発 ―大学の『知』による地域産業の創造―」 講 師：佐藤 一男〔(財)燕三条地場産業振興センター総務部次長〕</p> <p>参加者：72 名</p>
	<p>長岡技術科学大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開催日：平成 22 年 5 月 25 日(火) 開催場所：科学技術振興機構東京本部 J S T ホール 開催内容：プレゼンテーション 6 件 参加者：108 名</p>

※ 平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し

「2. 教育研究機関と産業界等との連携・交流の実施の(1)産学共同教育研究問題検討会の開催」と
 「4. 講習会、研究会等の開催の(1)講習会の開催・後援、(2)講演会の開催・後援」をまとめ、
 以下の「Ⅱ 産学地域連携交流事業 1 産学地域連携事業支援」に

Ⅱ 産学地域連携交流事業 1 産学地域連携事業支援

年度	件名・開催日等
平成 23	(1)「平成 23 年度長岡技術科学大学公開講座」を後援した。 開催場所：第 4 回のみ 長岡技術科学大学、その他は長岡中央公民館 [第 1 回] ・開催日：平成 23 年 8 月 20 日(土)・8 月 27 日(土) ・講座名：「東日本大震災から見た新しいインフラ整備と防災対策」 ・参加者：30 名 [第 2 回] ・開催日：平成 23 年 9 月 3 日(土) ・講座名：「カラー写真がきれいにできるわけ ～銀塩カラー写真とインクジェットカラー写真～」 ・参加者：16 名 [第 3 回] ・開催日：平成 23 年 9 月 24 日(土)・10 月 1 日(土) ・講座名：「スポーツ科学・工学を長岡に生かす ～スポーツを生かしたヒトづくり、 モノづくり、そしてマチづくりの長岡ブランド構築～」 ・参加者：17 名 [第 4 回] ・開催日：平成 23 年 10 月 1 日(土) ・講座名：「太陽エネルギーによる発電システムの最新動向 ～太陽の恵みで未来を拓く～」 ・参加者：28 名 [第 5 回] ・開催日：平成 23 年 10 月 29 日(土) ・講座名：「再生可能エネルギー利用推進に向けた軽量小型垂直軸風車の研究開発」 ・参加者：40 名 [第 6 回] ・開催日：平成 23 年 12 月 17 日(土) ・講座名：「微生物の力を借りた『モノ造り』～お酒・エネルギー・材料～」 ・参加者：32 名
	(2)「平成 23 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」を後援した。 開催日：平成 24 年 2 月 9 日(木)～2 月 10 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 講座名：「東日本大震災にみる被害実態と建設工学的・社会工学的対応」 参加者：8 名
	(3)「2011 技術シーズプレゼンテーション in 魚沼」を後援した。 主催：長岡技術科学大学、新潟工科大学、長岡工業高等専門学校、 魚沼市、南魚沼市、魚沼市モノづくり振興協議会 開催日：平成 23 年 9 月 29 日(木) 開催場所：小出ボランティアセンター（魚沼市） 参加者：93 名

年度	件名・開催日等
平成 23	<p>(4)「NTIC 新春トーク『求む！イノベーションのための掛け橋』」を後援した。 主 催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター 開 催 日：平成 24 年 1 月 4 日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：山崎 彬（越後製菓(株)代表取締役会長） 参加者：114 名</p>
	<p>(5)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>①「半導体レーザーが通信を変える」 ・開 催 日：平成 23 年 7 月 13 日(水) ・講 師：末松 安晴〔公益財団法人高柳記念財団理事長〕</p> <p>②「小惑星探査機はやぶさ奇跡の帰還 ～電池運用から見る逆転劇～」 ・開 催 日：平成 23 年 7 月 14 日(木) ・講 師：曾根 理嗣〔宇宙航空研究開発機構研究開発本部未踏技術研究センター准教授〕</p> <p>③「賢者の石を求めてー自動車の環境技術と貴金属ー」 ・開 催 日：平成 23 年 11 月 21 日(月) ・講 師：田中 裕久〔ダイハツ工業(株)フラットフォーム開発部エンジン開発室 エクゼクティブ・テクニカル・エキスパート〕</p> <p>④「荷電粒子ビームを用いたナノスケール超微細加工装置」《技術開発センター主催》 ・開 催 日：平成 23 年 10 月 5 日(水) ・講 師：上柿 順一〔(株)エリオニクス開発技術部主幹〕</p>
	<p>(6)長岡技術科学大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開 催 日：平成 23 年 5 月 10 日(火) 開催場所：科学技術振興機構東京本部 J S T ホール</p>
	<p>(7)長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開 催 日：平成 23 年 7 月 8 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>「燃料電池用機能性電極に関する研究」 講 師：金子 和功〔三洋半導体製造(株)岐阜工場製造技術部品品質技術部長〕</p> <p>「有機光センサーの開発」 講 師：太田 正文〔(株)リコー画像エンジン開発本部機能材料開発センター テクニカルアドバイザー〕</p> <p>「多機能多孔質セラミックスの開発とその製品」 講 師：小島 明〔(株)ナノテム シニアテクニカルアドバイザー〕</p> <p>「フレーム溶射法に用いる金属-EDTA 錯体の改良」 講 師：中村 淳〔中部キレスト(株)研究一課係長〕</p> <p>「未利用稲わらからのメタンエネルギー生産」 講 師：藤田 昌一〔(株)東京設計事務所特任理事〕</p> <p>「DHS 技術のバイオエタノール製造廃水への適用」 講 師：長野 晃弘〔三機工業(株)技術開発本部研究開発部長〕 参加者：124 名</p>
	<p>(8)長岡技術科学大学主催による「第 1 回国際技学カンファレンス in 長岡」を後援した。 開 催 日：平成 24 年 2 月 3 日(金)～2 月 5 日(日) 開催場所：長岡技術科学大学</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 24	(1)「平成 24 年度長岡技術科学大学公開講座」を後援した。 開催場所：第 3 回・第 7 回は まちなかキャンパス長岡、その他は長岡中央公民館 [第 1 回] ・開催日：平成 24 年 9 月 1 日(土) ・講座名：「新潟県液状化しやすさマップの活用」 ・講師：大塚 悟〔長岡技術科学大学環境・建設系教授〕 ・参加者：23 名 [第 2 回] ・開催日：平成 24 年 9 月 8 日(土) ・講座名：「省エネルギー社会の未来を照らす LED 照明」 ・講師：加藤 有行〔長岡技術科学大学電気系准教授〕 ・参加者：28 名 [第 3 回] ・開催日：平成 24 年 10 月 13 日(土) ・講座名：「生物を動かすマイクロなしくみとエネルギー」 ・講師：城所 俊一〔長岡技術科学大学生物系教授〕 本多 元〔長岡技術科学大学生物系准教授〕 今井 栄一〔長岡技術科学大学生物系助教〕 ・参加者：18 名 [第 4 回] ・開催日：平成 24 年 10 月 20 日(土) ・講座名：「安全の基礎 ～安全を理解するために歴史・法律・国際動向の三つの切り口で考えます～」 ・講師：三上 喜貴〔長岡技術科学大学システム安全系教授〕 福田 隆文〔長岡技術科学大学システム安全系教授〕 岡本 満貴子〔長岡技術科学大学システム安全系准教授〕 ・参加者：16 名 [第 5 回] ・開催日：平成 24 年 11 月 10 日(土) ・講座名：「光と磁気の話 ～究極の 3D テレビを目指して～」 ・講師：石橋 隆幸〔長岡技術科学大学物質・材料系准教授〕 ・参加者：21 名 [第 6 回] ・開催日：平成 24 年 11 月 17 日(土) ・講座名：「滑らない話 ～くらしの中の摩擦とその有効利用～」 ・講師：田浦 裕生〔長岡技術科学大学機械系准教授〕 ・参加者：20 名 [第 7 回] ・開催日：平成 24 年 12 月 1 日(土) ・講座名：「『御鼻唄さん』はどのようにして生まれるか ～『初めてのお客』が『リピーター』に変容するプロセスを科学する」 ・講師：北島 宗雄〔長岡技術科学大学経営情報系教授〕 ・参加者：28 名
	(2)「平成 24 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」を後援した。 開催日：平成 25 年 2 月 4 日(月)～2 月 5 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 講座名：「スマートグリッド技術と新潟県次世代地域エネルギー」 参加者：18 名

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 24	(3)「2012 技術シーズプレゼンテーション in 柏崎」を後援した。 主 催：長岡技術科学大学、新潟工科大学、長岡工業高等専門学校、柏崎市、 柏崎商工会議所、柏崎技術開発振興協会 開 催 日：平成 24 年 9 月 21 日(金) 開催場所：柏崎市 市民プラザ (柏崎市) 参 加 者：87 名
	(4)「NTIC 新春トーク『地域金融機関を取り巻く環境変化と対応』」を後援した。 主 催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター 開 催 日：平成 25 年 1 月 31 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：古出 哲彦 [(株)大光銀行取締役頭取] 参 加 者：72 名
	(5)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ①「原子力事故時の放射性物質の環境拡散予測について」 ・開 催 日：平成 24 年 9 月 4 日(火) ・講 師：茅野 政道 [(独)日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究部門長] ②「太陽電池技術の現状と将来展望」 ・開 催 日：平成 24 年 10 月 5 日(金) ・講 師：櫛屋 勝巳 [ソーラーフロンティア(株)執行役員戦略企画部長] ③「トヨタ式感性の創出：場と風」 ・開 催 日：平成 24 年 11 月 12 日(月) ・講 師：改田 哲也 [風の企画事務所代表 (前職：トヨタ自動車(株)BR 企画価値創造室長)] ④「将来のエネルギーとガスタービン」 ・開 催 日：平成 24 年 11 月 28 日(水) ・講 師：壹岐 典彦 [(独)産業技術総合研究所つくば東事業所エネルギー技術研究部門 ターボマシングループ研究グループ長] ⑤「バイオテクノロジーの父、高峰譲吉博士」 ・開 催 日：平成 24 年 11 月 28 日(水) ・講 師：山本 緯 [新日本化学工業(株)顧問、NPO 法人高峰譲吉博士研究会理事長] ⑥「大学と企業での研究活動の狭間で思うことー花王での健康&美容の研究開発を通じて」 ・開 催 日：平成 24 年 12 月 19 日(水) ・講 師：矢田 幸博 [花王(株)HHC 研究センター上席主任研究員] ⑦「革新的医療機器の開発 日本光電 60 年の歴史と新たな挑戦」 ・開 催 日：平成 25 年 1 月 24 日(木) ・講 師：荻野 博一 [日本光電工業(株)マーケティング戦略部長、取締役上席執行役員(兼務)] ⑧「学力・研究力・創造力について考える ー半導体デバイス分野での研究経験を基にー」 ・開 催 日：平成 25 年 1 月 24 日(木) ・講 師：榊 裕之 [豊田工業大学長] ⑨「未定 (内容：企業での研究開発の話、博士が日本の企業で重要である話)」 ・開 催 日：平成 25 年 1 月 30 日(水) ・講 師：山口 高司 [(株)リコー研究開発本部技師長・基盤技術研究センター所長] ⑩「ナノテクノロジーの研究開発と応用展開 (両親媒性カリックスアレーン系フェノール樹脂の活用)」 <技術開発センター主催> ・開 催 日：平成 24 年 7 月 2 日(月) ・講 師：吉村 幸雄 [(株)ヨシムラ化研]
	(6)長岡技術科学大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開 催 日：平成 24 年 5 月 29 日(火) 開催場所：科学技術振興機構東京本部 J S T ホール 参 加 者：94 名

年度	件名・開催日等
平成 24	(7)長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開催日：平成 24 年 7 月 13 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 「珪殻活性炭とその市場」 講師：津田 欣範 [(株)ヒューズ・テクノネット代表取締役] 「鉄鋼業における溶射技術の適用事例／高品位溶射皮膜開発」 講師：李 燾 [日鉄ハード(株)技術開発部技術員] 「技術と資金で死の谷を乗り越える -CCNS 冷陰極及び同製品の実用化-」 講師：石黒 義久 [(株)ライフ技術研究所代表取締役] 「直接ガス電解法に基づく C 1 電極反応の研究」 講師：木下 暢 [住友大阪セメント(株)新規技術研究所主幹研究員] 「バイオマスからの有価物生産に関する研究」 講師：若山 樹 [国際石油開発帝石(株)経営企画本部事業企画ユニット 事業企画グループコーディネーター] 参加者：136 名
平成 25	(1)「平成 25 年度長岡技術科学大学公開講座」を後援した。 [第 1 回] ・開催日：平成 25 年 6 月 8 日(土)・6 月 15 日(土) ・開催場所：長岡市中央公民館 ・講座名：「今なぜ、低炭素社会を目指し、どう実現するのか」 ・講師：李 志東 [長岡技術科学大学経営情報系教授] 市川 類 [長岡技術科学大学経営情報系教授] 湯川 高志 [長岡技術科学大学経営情報系教授] ・参加者：13 名 [第 2 回] ・開催日：平成 25 年 6 月 29 日(土) ・開催場所：長岡技術科学大学工作センター ・講座名：『最強金属』 VS 『最強工具』・・・どちらが強いのか真剣勝負！！ ・講師：磯部 浩己 [長岡技術科学大学機械系准教授] ・参加者：16 名 [第 3 回] ・開催日：平成 25 年 7 月 13 日(土) ・開催場所：長岡市中央公民館 ・講座名：「お酒にかかるサイエンスと新潟のヒストリー」 ・講師：福田 雅夫 [長岡技術科学大学生物系教授] ・参加者：33 名 [第 4 回] ・開催日：平成 25 年 9 月 7 日(土) ・開催場所：まちなかキャンパス長岡 ・講座名：「3D 映像のしくみ」 ・講師：圓道 知博 [長岡技術科学大学電気系准教授] ・参加者：17 名 [第 5 回] ・開催日：平成 25 年 10 月 19 日(土) ・開催場所：まちなかキャンパス長岡 ・講座名：「ヨウ素 -新潟の隠れ名産品-」 ・講師：今久保 達郎 [長岡技術科学大学物質・材料系准教授] ・参加者：16 名

年度	件名・開催日等
平成 25	<p>(2)「平成 25 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」を後援した。 開催日：平成 26 年 1 月 20 日(月) 開催場所：長岡技術科学大学 講座名：「地域資源とメタンを活用したエネルギー開発と新規展開 ～実験・実演を交えた研修～」 講師：岡崎 正和〔長岡技術科学大学機械系教授〕 原田 信弘〔長岡技術科学大学電気系教授〕 佐々木 徹〔長岡技術科学大学電気系准教授〕 佐藤 一則〔長岡技術科学大学環境・建設系教授〕 参加者：3 名</p>
	<p>(3)「2013 技術シーズプレゼンテーション in 長岡」を後援した。 主催：長岡技術科学大学、新潟工科大学、長岡工業高等専門学校 開催日：平成 25 年 12 月 10 日(火) 開催場所：まちなかキャンパス長岡 参加者：86 名</p>
	<p>(4)「NTIC 新春トーク 『持続可能な社会形成の取り組み及び次世代水環境保全技術開発の展開』」を後援した。 主催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター 開催日：平成 26 年 1 月 10 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 講師：山口 隆司〔長岡技術科学大学環境・建設系教授〕 参加者：50 名</p>
	<p>(5)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>①「クライシス・コミュニケーション」 ・開催日：平成 25 年 6 月 7 日(金) ・講師：森山 善範〔(独)原子力安全基盤機構総括参事、人材開発・知識管理推進室長〕</p> <p>②「日本を支える『もの作り』産業の課題と展望 ～皆さんへの期待～」 ・開催日：平成 25 年 9 月 18 日(水) ・講師：日覺 昭廣〔東レ(株)代表取締役社長〕</p> <p>③「企業における研究開発」 ・開催日：平成 25 年 9 月 18 日(水) ・講師：長我部 信行〔(株)日立製作所中央研究所長〕</p> <p>④「iPS 細胞由来がん幹細胞モデルから考察されるがんの姿」 ・開催日：平成 25 年 11 月 28 日(木) ・講師：妹尾 昌治〔岡山大学大学院・自然科学研究科教授〕</p> <p>⑤「安全学について」 ・開催日：平成 25 年 12 月 13 日(金) ・講師：向殿 政男〔明治大学名誉教授〕</p> <p>⑥「新パワーデバイスとパワエレ製品の現状と動向」《技術開発センター主催》 ・開催日：平成 25 年 7 月 10 日(水) ・講師：松本 康〔富士電機(株)技術開発本部パワエレ技術研究センター応用技術開発部長〕</p>
	<p>(6)長岡技術科学大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開催日：平成 25 年 5 月 28 日(火) 開催場所：科学技術振興機構東京本部別館ホール 参加者：104 名</p>

年度	件名・開催日等
平成 25	(7)長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開催日：平成 25 年 7 月 12 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 「三井造船の再生可能エネルギーへの取り組みについて」 講師：大橋 弘隆〔三井造船(株) 事業開発本部 戦略企画部長〕 「短周期周波数変動補償のためのネットワーク型フライホイール蓄電システムの開発」 講師：伊東 洋一〔サンケン電気(株)技術本部 PS 事業部開発 G グループリーダー〕 「酸化物フレームデポジション法の技術開発」 講師：中村 淳〔中部キレスト(株)四日市工場研究部研究一課長〕 「低速高トルク AC サーボモータの制御系の開発」 講師：田中 将博〔ニイガタ機電(株)常務取締役〕 「セラミック平膜を用いた新しい水処理技術」 講師：野口 寛〔(株)明電舎水・環境事業部膜・水処理プラント部副部長〕 参加者：144 名
平成 26	(1)「平成 26 年度長岡技術科学大学公開講座」を後援した。 開催場所：第 6 回のみ長岡技術科学大学、その他は長岡市中央公民館 [第 1 回] ・開催日：平成 26 年 6 月 7 日(土) ・講座名：「タイヤのはなし・免震ゴム支承のはなし ～あくなき安全性の追求～」 ・講師：五十野 善信〔長岡技術科学大学物質・材料系教授〕 ・参加者：26 名 [第 2 回] ・開催日：平成 26 年 6 月 28 日(土) ・講座名：「雪利用最前線 ～野菜からデータセンターまで何でも冷やす～」 ・講師：上村 靖司〔長岡技術科学大学機械系教授〕 ・参加者：19 名 [第 3 回] ・開催日：平成 26 年 7 月 26 日(土) ・講座名：「アジアの水事情見て歩き ～写真で綴る水環境の現状と日本の貢献～」 ・講師：幡本 将史〔長岡技術科学大学環境・建設系助教〕 山口 隆司〔長岡技術科学大学環境・建設系教授〕 ・参加者：22 名 [第 4 回] ・開催日：平成 26 年 8 月 23 日(土) ・講座名：「細胞社会の不思議：へ～、そんな仕組みで病気になるの？」 ・講師：三木 徹〔長岡技術科学大学生物系教授〕 滝本 浩一〔長岡技術科学大学生物系教授〕 霜田 靖〔長岡技術科学大学生物系准教授〕 佐藤 武史〔長岡技術科学大学生物系准教授〕 大沼 清〔長岡技術科学大学生物系准教授〕 ・参加者：30 名 [第 5 回] ・開催日：平成 26 年 9 月 6 日(土) ・講座名：「安全な包丁・危険な包丁 ー安全って何だろうー」 ・講師：福田 隆文〔長岡技術科学大学システム安全系教授〕 ・参加者：20 名 [第 6 回] ・開催日：平成 26 年 9 月 14 日(日) ・講座名：「プラズマの探求 ～産業・環境・医療そして次世代エネルギーへ～」 ・講師：佐々木 徹〔長岡技術科学大学電気系准教授〕 原田 信弘〔長岡技術科学大学電気系教授〕 高橋 一匡〔長岡技術科学大学電気系助教〕 菊池 崇志〔長岡技術科学大学原子力安全系准教授〕 参加者：21 名

年度	件名・開催日等
平成 26	<p>(5)長岡技術科学大学、新潟工科大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開催日：平成 26 年 7 月 25 日(金) 開催場所：科学技術振興機構東京本部別館ホール 参加者：103 名</p> <p>(6)長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開催日：平成 26 年 7 月 11 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 「ガラスセラミックス法による高性能リチウムイオン二次電池電極の開発」 講師：坂本 明彦〔日本電気硝子(株)電子部品事業部長付〕 「繊維状除染材による放射性セシウム除去技術の開発」 講師：大城 優〔(株)カサイ水環境事業部主任研究員〕 「酸化物フレームデポジション法の改良」 講師：中村 淳〔中部キレスト(株)四日市工場研究部研究一課長〕 「電子写真感光体材料の新規デバイスへの展開に関する研究」 講師：長山 智男〔(株)リコー画像エンジン開発本部 ICT 開発センターOM 開発室長〕 「モノづくりにおける非破壊計測への期待」 講師：三和田 靖彦〔トヨタ自動車(株)計測技術部主査〕 参加者：114 名</p>
平成 27	<p>(1)「平成 27 年度長岡技術科学大学公開講座」を後援した。 開催場所：第 6 回のみ長岡技術科学大学、その他は長岡市中央公民館〔第 1 回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 27 年 7 月 25 日(土) ・講座名：「低炭素社会構築の長岡モデルを創ろう」 ・講師：李 志東〔情報・経営システム工学専攻教授〕 ・参加者：15 名 <p>〔第 2 回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 27 年 8 月 23 日(日) ・講座名：「安全技術入門 ～生活の中の安全～」 ・講師：芳司 俊郎〔長岡技術科学大学システム安全専攻准教授〕 ・参加者：10 名 <p>〔第 3 回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 27 年 9 月 19 日(土) ・講座名：「見えざるモノを音で診る ～超音波エコーの活用あれこれ～」 ・講師：井原 郁夫〔長岡技術科学大学機械創造工学専攻教授〕 ・参加者：20 名 <p>〔第 4 回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 27 年 10 月 3 日(土) ・講座名：「水分析よもやま話 ～環境中の超微量イオンの世界～」 ・講師：高橋 由紀子〔長岡技術科学大学物質材料工学専攻准教授〕 ・参加者：16 名 <p>〔第 5 回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 27 年 10 月 10 日(土) ・講座名：「振動を感じる ～地震計からスマホまで～」 ・講師：河合 晃〔長岡技術科学大学電気電子情報専攻教授〕 ・参加者：14 名 <p>〔第 6 回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成 27 年 12 月 12 日(土) ・講座名：「農業リモートセンシングよもやま話 ～衛星から地上観測までの遠隔計測技術～」 ・講師：力丸 厚〔長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻教授〕 高橋 一義〔長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻准教授〕 坂田 健太〔長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻助手〕 ・参加者：12 名

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 27	(2)「2015 技術シーズプレゼンテーション in 魚沼市」を後援した。 主 催：長岡技術科学大学、新潟工科大学、長岡工業高等専門学校 開 催 日：平成 27 年 11 月 5 日(木) 開催場所：魚沼市堀之内体育館 参 加 者：68 名
	(3)「NTIC 新春トーク『青色LEDの開発と商品化』」を後援した。 主 催：長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター 開 催 日：平成 28 年 2 月 16 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 講 師：宮本 康司〔豊田合成(株)常務執行役員〕 参 加 者：73 名
	(4)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ①「安全・危機管理工学について」 ・開 催 日：平成 27 年 7 月 7 日(火) ・講 師：吉澤 厚文〔原燃輸送(株)代表取締役社長〕 ②「原子力安全確保に向けた提言」 ・開 催 日：平成 27 年 7 月 16 日(木) ・講 師：班目 春樹〔東京大学名誉教授〕 ③「5 年目の夏@長岡高専」 ・開 催 日：平成 27 年 8 月 7 日(金) ・講 師：渡邊 和忠〔長岡工業高等専門学校長〕 ④「新潟県健康づくりスポーツ医科学センターの現状と将来展望」 ・開 催 日：平成 27 年 9 月 9 日(水) ・講 師：荒川 正昭〔新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター長 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院理事長〕 ⑤「我国の「インフラシステム輸出戦略」と建設業界の海外事業展開について」 ・開 催 日：平成 27 年 9 月 30 日(水) ・講 師：山根 尚之〔(一社)海外建設協会常務理事〕 ⑥「最先端研究における安全確保 大学の安全管理者の立場から」 ・開 催 日：平成 27 年 10 月 16 日(金) ・講 師：大久保 靖司〔東京大学安全環境本部〕 ⑦「グローバル電気機器メーカーの英語の必要性について」 ・開 催 日：平成 27 年 10 月 21 日(水) ・講 師：村木 洋介〔(株)JA I コーポレーション技術部門最高技術責任者〕 ⑧「時代の変化に対応した環境保全技術開発の取組」 <<技術開発センター主催>> ・開 催 日：平成 27 年 10 月 21 日(水) ・講 師：長野 晃弘〔三機工業(株)技術研究所統括部長〕 ⑨「タイヤの進化と生産を支える技術」 ・開 催 日：平成 27 年 11 月 27 日(金) ・講 師：加々美 茂〔横浜ゴム(株)執行役員(タイヤ生産技術本部長 兼タイヤ北米工場臨時建設本部長)〕 ⑩「システム安全の変遷と展望」 ・開 催 日：平成 27 年 12 月 4 日(金) ・講 師：中村 英夫〔日本大学理工学部応用情報工学科教授〕
	(5)長岡技術科学大学、新潟工科大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開 催 日：平成 27 年 5 月 26 日(火) 開催場所：科学技術振興機構東京本部別館ホール 参 加 者：165 名

年度	件名・開催日等
平成 27	(6)長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会を後援した。 開催日：平成 27 年 7 月 10 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 「S i C パワー半導体を適用したパワエレ装置の製品開発状況」 講師：松本 康〔富士電機(株)技術開発本部 製品技術研究所 パワエレ技術開発センター電機制御技術開発部長〕 「交流電源にインターフェースされるパワーエレクトロニクス機器の高性能化」 講師：大沼 喜也〔長岡パワーエレクトロニクス(株)代表取締役〕 「金属材料表面処理による物性改善とそのメカニズム解明」 講師：相馬 憲一〔(株)日立産機システム C T O 兼研究開発センタ長〕 「グラスウール強化複合材料の諸特性評価と高性能化」 講師：塚本 雅也〔マグ・イゾペール(株)開発部技術開発課研究員 主任〕 「高性能吸着材料とその生産装置の技術開発」 講師：津田 欣範〔(株)ヒューズ・テクノネット代表取締役〕 参加者：149 名 (7)「平成 27 年度長岡技術科学大学高度技術者研修」を後援した。 開催日：平成 28 年 2 月 4 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学 講座名：「嫌気性生物処理による有機性排水・廃棄物からの資源回収およびメタン精製」 聴講者：3 名
平成 28	(1)「平成 28 年度長岡技術科学大学公開講座」を後援した。 開催場所：さいわいプラザ [第 1 回] ・開催日：平成 28 年 7 月 9 日(土) ・講座名：「都市の成り立ちと変遷を考える」 ・講師：中出 文平〔長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻教授〕 樋口 秀〔長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻准教授〕 ・参加者：14 名 [第 2 回] ・開催日：平成 28 年 8 月 6 日(土) ・講座名：「解けそうで解けない魅力的な数学の未解決問題たち」 ・講師：山本 謙一郎〔長岡技術科学大学基盤共通教育部講師〕 ・参加者：30 名 [第 3 回] ・開催日：平成 28 年 9 月 3 日(土) ・講座名：「有人火星探査に電池で挑む」 ・講師：梅田 実〔長岡技術科学大学物質材料工学専攻教授〕 ・参加者：23 名 [第 4 回] ・開催日：平成 28 年 9 月 24 日(土) ・講座名：「どうしてリニアモーターカーは浮上できるのか～磁石を嫌う超伝導体の不思議～」 ・講師：末松 久幸〔長岡技術科学大学電気電子情報専攻教授〕 岡本 智一郎〔長岡技術科学大学電気電子情報専攻准教授〕 山田 靖幸〔長岡技術科学大学電気電子情報専攻講師〕 加藤 孝弘〔長岡技術科学大学電気電子情報専攻助教〕 ・参加者：24 名 [第 5 回] ・開催日：平成 28 年 10 月 29 日(土) ・講座名：「情報革命と情報社会、そして機械との競争 ～情報社会の行き着く所～」 ・講師：山田 耕一〔長岡技術科学大学情報・経営システム工学専攻教授〕 ・参加者：19 名 [第 6 回] ・開催日：平成 28 年 11 月 12 日(土) ・講座名：「なぜ“こま”は倒れないのか？回転の不思議」 ・講師：田浦 裕生〔長岡技術科学大学機械創造工学専攻准教授〕 ・参加者：21 名

年度	件名・開催日等
平成 28	<p>(2)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>①「東日本大震災津波からの復興について」 ・開催日：平成 28 年 5 月 13 日(金) ・講師：中村 一郎〔岩手県復興局 前復興局長〕</p> <p>②「星と海からのエネルギー」 ・開催日：平成 28 年 6 月 10 日(金) ・講師：相良 明男〔核融合科学研究所 核融合工学研究プロジェクト研究総主幹教授〕</p> <p>③「人間の知的・創造的な活動を阻害せず、真に支援する情報メディアのデザインについて」 ・開催日：平成 28 年 6 月 17 日(金) ・講師：田野 俊一〔電気通信大学大学院情報システム学研究科教授〕</p> <p>④「地震による地盤災害 ―災害事例とその対策―」 ・開催日：平成 28 年 7 月 22 日(金) ・講師：島村 淳〔ケミカルグラウト(株)技術開発部課長〕</p> <p>⑤「ヒトの臓器を動物で作る：国境を跨いだ挑戦」 ・開催日：平成 28 年 7 月 25 日(月) ・講師：中内 啓光〔東京大学医科学研究所教授、スタンフォード大学医学部教授〕</p> <p>⑥「日本の立ち位置とキャリア設計上のキャリアショックに備えて」 ・開催日：平成 28 年 7 月 29 日(金) ・講師：久保 伸夫〔Merck Chemicals (Shanghai) Co., Ltd. Manager, Product Development Team Display Materials Business Unit Performance Materials〕</p> <p>⑦「マネジメントツールとしての I R ～佐賀大学版 I R の概要～」 ・開催日：平成 28 年 9 月 14 日(水) ・講師：西郡 大〔佐賀大学アドミッションセンター准教授〕</p> <p>⑧「電気自動車開発の軌跡」 ・開催日：平成 28 年 9 月 28 日(水) ・講師：吉田 裕明〔三菱自動車(株)開発本部設計マスター〕</p> <p>⑨「いいクルマ、勝てるユニット開発の加速に向けた計測技術の取り組み」 ・開催日：平成 28 年 9 月 30 日(金) <<技術開発センター主催>> ・講師：奥野 友和〔トヨタ自動車(株)計測技術部 PT 計測評価室 エンジン G グループ長〕</p> <p>⑩「『下町ロケット』に学ぶ中小企業の知財・経営戦略」 ・開催日：平成 28 年 10 月 5 日(水) ・講師：鮫島 正洋〔弁護士法人内田・鮫島法律事務所 弁護士・弁理士〕</p> <p>⑪「シリアから来た技術者が語る ★★星と人間★★」 ・開催日：平成 28 年 11 月 2 日(水) ・講師：アレキサンダー・アドリ [(有)大平技研 (Ohira Tech Ltd) 海外ビジネス担当兼システムエンジニア]</p> <p>⑫「リンテックにおける環境問題への取り組み」 ・開催日：平成 28 年 11 月 18 日(金) ・講師：松田 智宏〔リンテック(株)主幹研究員〕</p> <p>⑬「トヨタで学んだ教訓・トヨタを成長させた実践的安全活動」 ・開催日：平成 28 年 12 月 2 日(金) ・講師：古澤 登〔安全と人づくりサポート代表〕</p> <p>⑭「エネルギーと気候変動」 ・開催日：平成 28 年 12 月 9 日(金) ・講師：中山 寿美枝〔電源開発(株)経営企画部審議役代表〕</p> <p>(3)長岡技術科学大学、新潟工科大学、科学技術振興機構主催による新技術説明会を後援した。 開催日：平成 28 年 5 月 19 日(木) 開催場所：科学技術振興機構東京本部別館ホール 参加者：159 名</p>

年度	件名・開催日等
平成 28	<p>(4)長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会「知の実践」を後援した。</p> <p>開催日：平成 28 年 7 月 8 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>「小型バイナリー発電システムの実用化開発」 講師：池田 博史〔木村化工機(株)開発部長〕</p> <p>「排水処理管理の技術向上に伴う環境負荷低減と技術転用の可能性」 講師：中村 稔〔(株)昭和興業代表取締役〕</p> <p>「未利用地下水を活用した水供給システムの開発」 講師：藤田 昌一〔(株)東京設計事務所技術相談室長〕</p> <p>参加者：57 名</p> <p>(5)長岡技術科学大学、(一財)地域ルネッサンス創造機構シンクタンク・ザ・リバーバンク主催による長岡技術科学大学開学 40 周年記念公開講演会を後援した。</p> <p>開催日：平成 28 年 12 月 20 日(火) 開催場所：長岡リリックホール</p> <p>「エクサスケールの衝撃 次世代スーパーコンピュータが、壮大な新世界の扉を開く」 講師：齊藤 元章〔(株)PEZY Computing 代表取締役社長〕</p>
平成 29	<p>(1)「平成 29 年度長岡技術科学大学公開講座」を後援した。</p> <p>開催日：平成 29 年 10 月 28 日(土) 開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>全体テーマ：安全な暮らしの知恵</p> <p>①・講座名：「日本人のケガ」 ・講師：三上 喜貴〔長岡技術科学大学理事・副学長〕</p> <p>②・講座名：「製品事故に学ぶ 一分からない、怖い」 ・講師：張 坤〔長岡技術科学大学原子力システム安全工学専攻特任講師〕</p> <p>③・講座名：「AI を使って事故データを分析しよう！」 ・講師：野中 尋史〔長岡技術科学大学情報・経営システム工学専攻講師〕</p> <p>参加者：21 名</p> <p>(2)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。</p> <p>開催場所：長岡技術科学大学</p> <p>①「JETSTREAM 開発秘話」 ・開催日：平成 29 年 7 月 26 日(水) ・講師：市川 秀寿〔三菱鉛筆(株)横浜研究開発センター部長〕</p> <p>②「福島第一原子力発電所事故の教訓を反映した国際原子力機関の安全基準」 ・開催日：平成 29 年 7 月 27 日(木) ・講師：Gustavo Caruso〔国際原子力機関原子力安全・核セキュリティ局、安全・核セキュリティ調整部、部長〕</p> <p>③「蛋白質の凝集と過飽和生命科学の開拓」 ・開催日：平成 29 年 10 月 12 日(木) ・講師：後藤 祐児〔大阪大学蛋白質研究所教授〕</p> <p>④ 匠陵講演会 「ベトナムの将来性と日本の人材育成協力」 ・開催日：平成 29 年 10 月 12 日(木) ・講師：武部 勤〔日本ベトナム友好議員連盟特別顧問、(一財)東亜総研代表理事・会長〕</p> <p>⑤「デンカの 100 年、これからの 100 年 一材料開発者の視点から」 ・開催日：平成 29 年 10 月 18 日(水) ・講師：伊吹山 正浩〔デンカ(株)新事業開発部シニアテクニカルアドバイザー〕</p> <p>⑥「科学者技術者の社会的責任」 ・開催日：平成 29 年 10 月 25 日(水) ・講師：池内 了〔名古屋大学名誉教授〕</p>

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
平成 29	<p>(3)長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会「知の実践」を後援した。 開 催 日：平成 29 年 7 月 7 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト① 発表 者：太田 義悦〔上越工業(株)技術課工場長補佐兼技術課長〕 ・プロジェクト② 発表 者：大城 優 〔(株)カサイ水環境事業部主任研究員〕 ・プロジェクト③ 発表 者：丹羽 輝武〔MEIDEN SINGAPORE PTE.LTD. General Manager〕 ・プロジェクト④ 発表 者：柳沼 基 〔日産自動車(株)総合研究所 EV システム研究所〕 ・プロジェクト⑤ 発表 者：中村 淳 〔中部キレスト(株)四日市工場研究部研究一課長〕 <p>参 加 者：96 名</p> <p>(4) 長岡技術科学大学技術開発センター特別講演会を後援した。 開 催 日：平成 29 年 7 月 20 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学 「長寿命・高効率 AC モジュールの開発と最近のパワーエレクトロニクスについて」 講 師：長井 真一郎〔ポニー電機(株)専務取締役〕 参 加 者：79 名</p>
平成 30	<p>(1)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「マルチスケールロボットシステムとその未来」 ・開 催 日：平成 30 年 7 月 13 日(金) ・講 師：福田 敏男〔名城大学理工学部・北京理工大学教授〕 ②「土木工学実践講座 ―エクセレントエンジニアへの道― Civil Engineering Practice―For an excellent engineer―」 ・開 催 日：平成 30 年 8 月 2 日(木) ・講 師：渡辺 泰充〔ベトナム国ホーチミン市都市鉄道 CP 1 a 工区施工監理 コンストラクションマネージャー〕 ③「理系学生、技術者・研究者に必要な特許工学入門」 ・開 催 日：平成 30 年 9 月 18 日(火) ・講 師：谷川 英和〔IRD 国際特許事務所 所長・弁理士〕 ④「学生時代に学んで欲しい安全衛生の基礎」 ・開 催 日：平成 30 年 9 月 25 日(火) ・講 師：南保 昌孝〔中央労働災害防止協会技術支援部長〕 ⑤「未来の海外勤務に備えて、今から始めたい3つのこと／日本的経営の独自性とベトナム的 経営の特殊性 ～世界で通用する日本的経営と日本人材を目指して～」 ・開 催 日：平成 30 年 10 月 31 日(水) ・講 師：八谷 賢次〔IMTC マネジメント教育&コンサルティング代表取締役社長〕

年度	件名・開催日等
平成 30	(2)長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会「知の実践」を後援した。 開催日：平成 30 年 7 月 6 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 ・プロジェクト① 発表者：小林 正利 [(株)福田組技術部環境技術課担当課長] ・プロジェクト② 発表者：藤田 昌一 [(株)東京設計事務所特任理事] 学生発表：石川 隆世 [長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻 2 年] ・プロジェクト③ 発表者：中村 淳 [中部キレスト(株)四日市工場研究部研究一課長] 学生発表：中村 陽平 [長岡技術科学大学物質材料工学専攻 2 年] ・プロジェクト④ 発表者：長山 智男 [(株)リコー研究開発本部 A P T 研究所 材料技術開発センター副所長] 学生発表：佐々木 啓登 [長岡技術科学大学物質材料工学専攻 2 年] 参加者：78 名
令和元	(1)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催場所：長岡技術科学大学 ①「TOTOの歩みとイノベーション 焼かないセラミックス技術(AD 法)の研究と実用化」 ・開催日：令和元年 10 月 18 日(金) ・講師：清原 正勝 [TOTO(株)フェロー 総合研究所副所長] ②「道路構造物の維持管理と新技術の活用 ～安全、安心な交通インフラの実現に向けて～」 ・開催日：令和元年 10 月 25 日(金) ・講師：木村 嘉富 [国土交通省国土技術政策総合研究所道路構造物研究部長] ③「脂肪由来幹細胞：新しい治療への可能性 (Adipose-derived Mesenchymal Stem Cells : Potential for Novel Therapeutics)」 ・開催日：令和元年 11 月 5 日(火) ・講師：杉井 重紀 [Institute of Bioengineering and Nanotechnology, Agency for Science, Technology and Research (A*STAR) Team Leader] ④「原子力研究開発の展望」 ・開催日：令和元年 12 月 6 日(金) ・講師：大井川 宏之 [国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門副部門長 原子力科学研究所長]
	(2)長岡技術科学大学主催による技術開発センタープロジェクト成果報告会「知の実践」を後援した。 開催日：令和元年 7 月 5 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 ・特別講演 講師：工藤 孝一 [日本メッキ工業(株)] ・プロジェクト① 「暗黙知の見える化によるプロセス改善」 発表者：相馬 憲一 [日立産機システム(株)] 「能性表面処理によるステンレス高耐食化の研究開発」 学生発表：山田 さくらこ [長岡技術科学大学物質材料工学専攻修士 2 年] ・プロジェクト② 「長寿命太陽光用マイクロインバータの開発とその他パワエレ機器開発紹介」 発表者：長井 真一郎 [ポニー電機(株)] 「太陽光発電システム向け長寿命高効率 AC モジュールの開発」 学生発表：大沼 渚 [長岡技術科学大学エネルギー・環境工学専攻博士 2 年] ・プロジェクト③ 「空調用配管のスケール防止に関する研究」 発表者：佐藤 峰彦 [高砂熱学工業(株)] 参加者：106 名

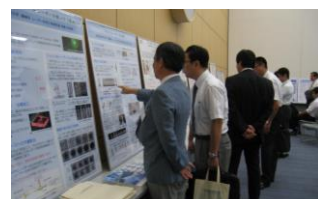
年度	件名・開催日等
令和2	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 「新型コロナウイルスを捕まえる Combating nCoV-19 on the front line of research.」 ・開催日：令和2年11月20日(金) ・開催方法：Zoom 配信 ・講師：井上 雅文〔The Experimental Drug Development Center (EDDC) Agency for Science, Technology and Research (A*STAR) Singapore Principal Scientist 〕</p>
令和3	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 「出芽酵母の細胞形態に関する研究から抗真菌農薬の開発へ」 ・開催日：令和3年11月9日(火) ・開催方法：Zoom 配信 ・講師：大矢 禎一〔国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科教授〕</p>
令和4	<p>長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。 開催方法：Zoom 配信</p> <p>①「電磁流体力学の研究を振り返って」 ・開催日：令和4年5月20日(金) ・講師：原田 信弘〔長岡技術科学大学名誉教授、 前独立行政法人国立高等専門学校機構長岡工業高等専門学校長〕</p> <p>②「社会インフラ整備における地盤エンジニアの役割」 ・開催日：令和4年6月29日(水) ・講師：柳浦 良行〔基礎地盤コンサルタンツ株式会社代表取締役社長〕</p> <p>③「行動分析学から「安全」を考える」 ・開催日：令和4年11月6日(日) ・講師：小野 浩一〔駒澤大学名誉教授〕</p> <p>④「互いに動きを読み合うことが群れに秩序をもたらす」 ・開催日：令和5年3月6日(月) ・開催場所：長岡技術科学大学（Zoom 聴講も可） ・講師：村上 久〔京都工芸繊維大学助教〕</p>



公開講座の様子



シーズプレゼンテーションの様子



(3) 研究会の開催（後援・経費一部助成）

昭和 57 年度から平成 21 年度までの間、以下の研究会の後援及び経費の一部助成を行った。

年度	件 名 ・ 開 催 日 等
昭和 57	「昭和 57 年度高等専門学校教員研究集会」 主 催：文部省（本会后援） 開 催 日：昭和 57 年 8 月 30 日(月)～8 月 31 日(火) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：高等専門学校・技術科学大学における工業教育の特質 ー技術者としての基礎能力とその養成方法ー 参 加 者：国公立高等専門学校の教務主事及び技術科学大学教官
昭和 59	「昭和 59 年度高等専門学校教員研究集会」 主 催：文部省（本会后援） 開 催 日：昭和 59 年 7 月 31 日(火)～8 月 1 日(水) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：技術革新の時代における工業教育のあり方 ー主として新素材への対応についてー 参 加 者：国公立高等専門学校、技術科学大学の教官
平成 2	「平成 2 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 2 年 8 月 28 日(火)・8 月 30 日(木) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：機械系「高専・技科大の機械関連学科の将来像」 化学系「科学教育の現状と将来」 建設系「乱流現象のモデル化と混相流・成層流の諸問題」
平成 3	「平成 3 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 3 年 7 月 30 日(火)・8 月 26 日(月)～8 月 30 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 テ ー マ：機械系「高専・技科大の教育研究における今後の連携」 電気系「研究発表セミナーと電気系教育研究の討論」 化学系「高等専門学校教官と長岡技術科学大学教官による材料化学に関する 研究交流」 建設系「土木建築系教育研究の将来展望」 生物系「生物機能工学関連学科の現状と展望」
平成 4	「平成 4 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 4 年 7 月 30 日(木)～8 月 26 日(水)の間の 10 日間 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「高専・技科大の教育・研究における今後の連携」 び参加者： ー国際化と情報化に向けてー 87 名 電気系「システム・制御・計算機に関する教育と研究の現状」 61 名 化学系「高等専門学校と長岡技術科学大学の化学系教官による 物質工学に関する研究交流」 47 名 建設系「高専教官との研究協力」 41 名 生物系「生物系教育の現状と将来」 35 名
	「平成 4 年度高等専門学校・技術科学大学英語教育研究会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 5 年 1 月 19 日(火)～1 月 22 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 参 加 者：27 名

年度	件名・開催日等	
平成 5	「平成 5 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 5 年 8 月 5 日(木)～8 月 7 日(土) 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「魅力ある『高専一技科大』路線の将来像」 び参加者：電気系「高専と技科大の専門基礎教育における問題点とその対策」 化学系・生物系「化学に関する研究」 建設系「卒業生教官との研究集会」	77 名 48 名 55 名 24 名
	「平成 5 年度高等専門学校・技術科学大学英語教育研究会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 6 年 1 月 18 日(火)～1 月 21 日(金) 開催場所：長岡技術科学大学 参 加 者：28 名	
平成 6	「平成 6 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 6 年 7 月～8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「高専・技科大の更なる飛躍のために」 び参加者：電気系「“情報・通信・制御に関する教育と研究”と “高専と技大間の研究協力”」 化学系・生物系「高等専門学校と長岡技術科学大学との 教育・研究協力の将来像」 建設系「高専と技大との相互協力の在り方について」 計画・経営系「高専・技大における新分野への対応について」	84 名 62 名 41 名 55 名 17 名
	「平成 6 年度高等専門学校・技術科学大学英語教育研究会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開 催 日：平成 7 年 1 月 19 日(木)～1 月 21 日(土) 開催場所：長岡技術科学大学 参 加 者：29 名	
平成 7	「平成 7 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 7 年 7 月～8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「工学／工業の一貫教育とその社会的役割」 び参加者：電気系「電子デバイス・材料に関する高専・技大の教育、 および研究交流の現状と将来のあり方について」 化学系「化学教育・研究の現状と将来展望」 建設系「建設工学分野における高専・技大の相互協力関係の強化」 生物系「高専と技科大の抱える問題と相互協力のあり方」 計画・経営系「高専・技大における新分野への対応について」	78 名 54 名 36 名 38 名 36 名 20 名

年度	件名・開催日等	
平成 8	「平成 8 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」	
	主 催：長岡技術科学大学（本会后援）	
	開催時期：平成 8 年 7 月～8 月	
	開催場所：長岡技術科学大学	
	テーマ及：機械系「21 世紀を設計する」	82 名
	び参加者：電気系「情報通信に関する研究教育および研究交流の 現状と将来のあり方について」	54 名
	化学系「魅力的かつ効果的な化学教育・授業のあり方」	42 名
平成 9	「平成 9 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」	
	主 催：長岡技術科学大学（本会后援後援）	
	開催時期：平成 9 年 7 月～8 月	
	開催場所：長岡技術科学大学	
	テーマ及：機械系「多様化／大衆化／情報化に即した教育システムの模索」	65 名
	び参加者：電気系「高専および技科大における電波および光学関係 教育の充実と関連研究」	37 名
	化学系「高専・技大における新しい化学教育・交流のあり方 ーマルチメディア情報交流ー」	36 名
平成 10	「平成 10 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」	
	主 催：長岡技術科学大学（本会后援）	
	開催時期：平成 10 年 7 月～8 月	
	開催場所：長岡技術科学大学	
	テーマ及：機械系「専攻科開設による高専・技大関係の現状とこれから」	64 名
	び参加者：環境・建設系「第 10 回高専・技科大環境・建設系教官研究集会 （高専・技科大の相互協力に関するシンポジウム）」	70 名
	生物系「生物系における高専・技科大の教育・研究交流の強化」	32 名
平成 11	「平成 11 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」	
	主 催：長岡技術科学大学（本会后援）	
	開催時期：平成 11 年 7 月～8 月	
	開催場所：長岡技術科学大学	
	テーマ及：機械系「高専卒業後の進路 ー技大との関わりー」	60 名
	び参加者：電気系「今後の教育・研究路線のあり方 ー技大 OB と語るー」	70 名
	化学系「高専・技大における化学教育の現状と将来展望」	41 名
計画・経営系「新分野における高専・技大の連携と遠隔授業について」	24 名	

年度	件名・開催日等
平成 12	<p>「平成 12 年度長岡技科大・高専教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 12 年 7 月～8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「社会のニーズに合わせ先取りした教育・研究の改革」 び参加者： <ul style="list-style-type: none"> —社会は高専・技大に何を求めているか— 84 名 環境・建設系「学部、大学院教育における技大、高専の連携について」 69 名 生物系「生物系における高専専攻科と本学大学院修士課程の教育および研究の連携」 31 名 経営情報系「高専・技大における新分野での教育研究の連携について」 38 名 </p>
平成 13	<p>「平成 13 年度高等専門学校・長岡技術科学大学教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 13 年 7 月～8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「・JABEE への対応」 び参加者： <ul style="list-style-type: none"> ・高専一技科大カリキュラムの一貫性 92 名 ・独立行政法人化への対応」 76 名 電気系「JABEE 制度とその試行現状及び教育・研究発表会」 38 名 化学系「変革期における高専・技大間の化学教育連携と将来展望」 37 名 経営情報系「高専・技大における新分野での教育研究課題と新しい連携について」 </p>
平成 14	<p>「平成 14 年度高等専門学校・長岡技術科学大学教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 14 年 7 月～8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「高専一長岡技科大の一貫性カリキュラムと JABEE」 103 名 び参加者：環境・建設系「新たなる環境への取り組み、高専・技科大の連携」 60 名 生物系「高専と技科大の連携の在り方を考える」 32 名 経営情報系「高専と技大の新しい教育・研究の連携」 30 名</p>
平成 15	<p>「平成 15 年度高等専門学校・長岡技術科学大学教官交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 15 年 8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「法人化への取り組み -特色ある高専・大学を目指して-」 111 名 び参加者：電気系「なめらかな進学連携プレイ」 85 名 化学系「高専・長岡技科大における協同活動の新展開」 42 名 経営情報系「経営情報系の e-learning 教育と大学院の展開」 33 名</p>
平成 16	<p>「平成 16 年度高等専門学校・長岡技術科学大学教員交流研究集会」 主 催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 16 年 8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「法人化元年 -高専・大学の現状と課題-」 97 名 び参加者：環境・建設系「高専・技科大の変革と将来」 58 名 生物系「高専+技大連携による共同研究の発展 ～具体例と高等専門学校からの提案～」 25 名</p>

年度	件名・開催日等	
平成 17	「平成 17 年度高等専門学校・長岡技術科学大学教員交流研究集会」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 17 年 8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「基盤教育への回帰」 び参加者：	「地震が来ても揺るぎない基礎学力の確立を目指して」 94 名 電気系「JABEE 受審及び高専専攻科と技大との連携」 78 名 化学系「変革期における高専と技科大の連携」 40 名 経営情報系「教育・研究における連携のための基盤構築と展開」 30 名
平成 18	「平成 18 年度高等専門学校・長岡技術科学大学教員交流研究集会」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 18 年 7 月～8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「超少子化時代の工学教育を考える」 び参加者：	「能力の不足・数の不足にどう向き合うか」 98 名 環境・建設系「教育の連携・研究の連携」 64 名 生物系「高専専攻科の充実と長岡技科大修士課程との連携 ー高専から長岡技科大進学への利点」 21 名
平成 19	「平成 19 年度高等専門学校・長岡技術科学大学教員交流研究集会」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 19 年 8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「高専卒業生の進学の現状について」 び参加者：	電気系「教育・研究を通じた高専・技大連携」 109 名 物質・材料系「法人化後の高専-技科大の新たな連携に向けて」 71 名 経営情報系「教育・研究における連携のための基盤； KJS ネットの構築と活用」 65 名 26 名
平成 20	「平成 20 年度高等専門学校・長岡技術科学大学教員交流研究集会」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 20 年 7 月～9 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「高専・技大の魅力を社会に伝えるために」 び参加者：	生物系「研究連携から教育連携へ」 100 名 環境・建設系「教育と研究の新たな連携に関する検討」 32 名 62 名
平成 21	「平成 21 年度高等専門学校・長岡技術科学大学教員交流研究集会」 主催：長岡技術科学大学（本会后援） 開催時期：平成 21 年 7 月～8 月 開催場所：長岡技術科学大学 テーマ及：機械系「高専専攻科の現状と学生の進路」 び参加者：	電気系「交流を超えた連携 ～地域・高専・技大～」 89 名 物質・材料系「高専から始まる共同研究・教員ネットワーク 構築の可能性」 69 名 経営情報系「工学教育と社会科学教育の両立」 53 名 35 名

5. 研究成果の刊行

(本会の助成に係る研究成果報告書等を関係者に配布)

年度	作 成 品 目 等	発 行 元	作成部数
昭和 58	*電気・電子工学分野における産学協同国際シンポジウム報告集	電気学会東京支部	280
昭和 59	*次代の研究開発を担う研究者・技術者を語る長岡シンポジウム報告集	本会	1,000
	*財団ニュースNo.1	本会	4,000
昭和 60	*産学官連携問題検討委員会報告書	本会	150
	*テクノポリス推進シンポジウム報告集 「人間性豊かなハイテク・ニューメディア 地域社会をどのように構築するか」	本会・(財)長岡テクノ ポリス開発機構	550
	*財団ニュースNo.2	本会	3,000
昭和 61	*テクノポリス推進シンポジウム報告集 「21世紀とテクノポリス」	本会・(財)長岡テクノ ポリス開発機構	550
	*長岡技術科学大学開学10周年史	長岡技術科学大学	大学から贈呈
	*財団ニュースNo.3	本会	3,000
昭和 62	*テクノポリス推進シンポジウム報告集 「国際化に対応するテクノポリスの展開 ー産業空洞化と地域活性化戦略ー」	本会・(財)長岡テクノ ポリス開発機構	550
	*財団ニュースNo.4	本会	3,000
昭和 63	*信濃川テクノポリスシンポジウム報告集 「産業構造変革に対応する地域ニューフロンティア の展開 ー産・学・官連携による地域活性化戦略ー」	本会・(財)長岡テクノ ポリス開発機構	600
	*財団ニュースNo.5	本会	3,000
平成 元	*信濃川テクノポリスシンポジウム報告集 「技術と文化とふるさと ーふるさとプロジェクトを成功させようー」	本会・(財)長岡テクノ ポリス開発機構	600
	*財団ニュースNo.6	本会	3,000
平成 2	*信濃川テクノポリスシンポジウム報告集 「魅力ある地域社会の形成をめざして」	本会・(財)信濃川テク ノポリス開発機構	600
	*財団ニュースNo.7	本会	3,000
平成 3	*財団ニュースNo.8	本会	3,000
	*財団ニュース記念号「10年のあゆみ」	本会	
平成 4	*財団ニュースNo.9	本会	
平成 5	*財団ニュースNo.10	本会	
平成 6	*財団ニュースNo.11	本会	
平成 7	*財団ニュースNo.12	本会	
平成 8	*財団ニュースNo.13	本会	
平成 9	*財団ニュースNo.14	本会	

年度	作 成 品 目 等	発 行 元	作成部数
平成 10	*財団ニュースNo.1 5	本会	1,500 部
平成 11	*財団ニュースNo.1 6	本会	1,500 部
平成 12	*財団ニュースNo.1 7	本会	1,500 部
平成 13	*財団ニュースNo.1 8	本会	1,500 部
平成 14	*財団会報（手作り）	本会	賛助会員のみ 配付

平成 15 年度に本会ホームページを開設。

以降は、ホームページで、本会が助成した教育研究成果等の情報を発信。

6. その他目的を達成するために必要な事業

平成 5 年度から平成 14 年度の間に、以下の事業を行った。

年度	内 容 等
平成 5	アイデア対決ロボットコンテスト（大学部門）参加の一部助成を行った。 対 象：長岡技術科学大学 開催期日：平成 5 年 9 月 5 日(日) 開催場所：大阪府交野市立いわふね自然の森体育館
平成 6	アイデア対決ロボットコンテスト（大学部門）参加の一部助成を行った。 対 象：長岡技術科学大学 開催期日：平成 6 年 9 月 4 日(日) 開催場所：金岡公園体育館（大阪府堺市）
平成 7	全国大学ロボットコンテスト等奨励助成 ① アイデア対決ロボットコンテスト（大学部門）参加の一部助成を行った。 対 象：長岡技術科学大学 開催期日：平成 7 年 9 月 3 日(日) 開催場所：金岡公園体育館（大阪府堺市） ② ソーラーカーラリー学生大会参加の一部助成を行った。 対 象：長岡技術科学大学 開催期日：平成 7 年 10 月 14 日(土)～10 月 15 日(日) 開催場所：神戸市立フルーツ・フラワーパーク（兵庫県神戸市）
平成 8	長岡技術科学大学開学 20 周年記念事業助成 開学 20 周年記念事業に対し、経費の一部助成を行った。
平成 14	創立 20 周年記念事業 財団創立 20 周年記念事業として、平成 14 年 7 月 1 日（月）午後 2 時から長岡技術科学大学マルチメディアシステムセンターにおいて記念式典が執り行われ、また、午後 3 時から兵庫県立美術館の木村重信館長により「技術と芸術」と題して記念講演会が開催された。さらに、午後 5 時からは、同セコムホールにおいて記念祝賀会を開催、財団の創立 20 周年を祝った。



財団ニュース



財団ニュース記念号「10年の歩み」



ロボットコンテスト参加チーム

✿財団創立 20 周年記念事業✿



財団 20 周年記念式典



記念講演会



記念祝賀会

平成 23 年度～公益法人化に向け事業を見直し、
平成 23 年度から実施している事業

I 教育研究助成事業

- 1 研究助成
(幅広い分野の独創的・先駆的な研究に対して必要な研究経費の助成) (→57 ページ)
- 2 海外市場探究奨学金
(海外における産業、社会を積極的に探究する学生への奨励助成) (→69 ページ)

II 産学地域連携交流事業

- 1 産学地域連携事業支援 (→158 ページ)
- 2 先端技術・施設見学会の実施 (→91 ページ)
- 3 産学地域交流の実施
 - (1)技術開発懇談会 (→102 ページ)
 - (2)企業と学長との懇談会

年度	内 容 等
平成 23	企業と学長との懇談会を長岡技術科学大学との共催により実施した。 ①「企業・地域と学長との懇談会」 開催期日：平成 23 年 6 月 20 日 (月) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 参加者：19 人 ②「学長講演会・懇談会」 講演テーマ：「長岡技術科学大学が目指す地域貢献」 開催期日：平成 23 年 12 月 13 日 (火) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 参加者：講演会 124 人・懇談会 74 人
平成 24	「企業と学長との懇談会」を実施した。 開催期日：平成 24 年 11 月 14 日 (水) 開催場所：ホテル・ニューオータニ長岡 参加者：20 人
平成 26	企業・学長交流会を実施した。 テー マ：越後から世界に立つアオ・アクア ～地元企業と世界をつなぐ架け橋～ 開催期日：平成 27 年 2 月 4 日 (水) 開催場所：ホテル ニューオータニ長岡 参加者：77 人



年度	内 容 等
平成 27	企業・学長交流会を実施した。 開催期日：平成 28 年 2 月 26 日（金） 開催場所：ホテル ニューオータニ長岡 参加者：16 人
平成 28	実施なし
平成 29	企業・学長交流会を実施した。 開催期日：平成 30 年 3 月 14 日（水） 開催場所：ホテル ニューオータニ長岡 参加者：14 人
平成 30	実施なし
令和元	企業・学長交流会を実施した。 開催期日：令和元年 7 月 26 日（金） 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：23 人
令和 2	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし
令和 3	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし
令和 4	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし



(3)企業と学生との懇談会

年度	内 容 等
平成 25	企業・学生交流会を実施した。 開催期日：平成 25 年 4 月 24 日（水） 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：35 名
平成 26	企業・学生交流会を実施した。 開催期日：平成 27 年 3 月 10 日（火） 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：企業 41 名・学生 37 名
平成 27	企業・学生交流会を実施した。 開催期日：平成 28 年 3 月 2 日（水） 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：企業 45 人・学生 37 人
平成 28	企業・学生交流会を実施した。 開催期日：平成 29 年 3 月 2 日（木） 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：企業 51 人・学生 38 人
平成 29	企業・学生交流会を実施した。 開催期日：平成 30 年 3 月 2 日（金） 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：企業 37 人・学生 25 人
平成 30	企業・学生交流会を実施した。 開催期日：平成 31 年 3 月 4 日（月） 開催場所：長岡技術科学大学 参加者：企業 50 人・学生 40 人
令和元	企業・学生交流会 令和 2 年 3 月 3 日（火）、長岡技術科学大学にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症流行の影響により中止した。
令和 2	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし
令和 3	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし
令和 4	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし



企業・学生交流会

4 市民向け研究成果等活用事業の実施

長岡技術科学大学と連携して、同大学がもつ財産（研究成果、専門的知識、施設、卓越した人材）を積極的に地域社会に活用してもらうため、企業や市民のニーズによる講師派遣や講座・出前教室等を開催することで、大学と地域住民の交流を深め、さらには人材育成、地域社会の活性化に貢献することを目的に、以下の事業を実施した。

年度	内 容 等
平成 23	大学の施設を活用した水泳教室 対 象：地域の小学生 時 期：春季 4～7 月(全 20 回)、夏休み 7～9 月(全 13 回)、秋季 9～11 月(全 20 回) 参加者：春季 17 名、夏休み 33 名、秋季 26 名
平成 24	大学の施設を活用した水泳教室 対 象：地域の小学生 時 期：春季 4～7 月(全 20 回)、夏休み 7～9 月(全 12 回)、秋季 9～11 月(全 18 回) 参加者：春季 33 名、夏休み 41 名、秋季 50 名
平成 25	大学の施設を活用した水泳教室 対 象：地域の小学生 時 期：春季 4～7 月(全 20 回)、夏休み 7～9 月(全 12 回)、秋季 9～11 月(全 18 回) 参加者：春季 54 名、夏休み 72 名、秋季 77 名
平成 26	大学の施設を活用した水泳教室 対 象：地域の小学生 時 期：春季 4～7 月（10 回コースと 20 回コース 全 48 回） 夏休み 7～9 月（6 回コースと 12 回コース 全 36 回） 秋季 9～11 月（8 回コースと 17 回コース 全 48 回） 参加者：春季 99 名、夏休み 113 名、秋季 112 名
平成 27	大学の施設を活用した水泳教室 対 象：地域の小学生 時 期：春季 4～7 月（10 回コースと 20 回コース 全 60 回） 夏休み 7～9 月（6 回コースと 12 回コース 全 36 回） 秋季 9～11 月（8 回コースと 17 回コース 全 50 回） 参加者：春季 114 名、夏休み 128 名、秋季 122 名
平成 28	大学の施設を活用した水泳教室 対 象：地域の小学生 時 期：春季 4～7 月（10 回コースと 20 回コース 全 60 回） 夏休み 7～9 月（6 回コースと 12 回コース 全 36 回） 秋季 9～11 月（8 回コースと 16 回コース 全 48 回） 参加者：春季 128 名、夏休み 144 名、秋季 161 名



水泳教室

年度	内 容 等
平成 29	*大学の施設を活用した水泳教室 対 象：地域の小学生 時 期：春季 4~7 月（10 回コースと 20 回コース 全 60 回） 夏休み 7~9 月（6 回コースと 12 回コース 全 36 回） 秋季 9~11 月（8 回コースと 16 回コース 全 48 回） 参加者：春季 146 名、夏休み 172 名、秋季 185 名 *大学教員の専門的知識を活用したスキー教室 対 象：地域の小学生 時 期：1~2 月（全 6 回） 参加者：17 名
平成 30	*大学の施設を活用した水泳教室 対 象：地域の小学生 時 期：春季 4~7 月（10 回コースと 20 回コース 全 60 回） 夏休み 7~9 月（6 回コースと 12 回コース 全 36 回） 秋季 9~11 月（8 回コースと 16 回コース 全 50 回） 参加者：春季 179 名、夏休み 199 名、秋季 181 名 *大学教員の専門的知識を活用したスキー教室 対 象：地域の小学生 時 期：1~2 月（全 2 回） → 小雪のため 1 回は中止した 参加者：17 名
令和元	*大学の施設を活用した水泳教室 対 象：地域の小学生 時 期：春季 4~7 月（10 回コースと 20 回コース 全 60 回） 夏休み 7~9 月（6 回コースと 12 回コース 全 36 回） 秋季 9~11 月（8 回コースと 16 回コース 全 50 回） 参加者：春季 173 名、夏休み 180 名、秋季 186 名 *大学教員の専門的知識を活用したスキー教室 対 象：地域の小学生 時 期：1~2 月の 6 日間 → 小雪のため中止した *ヨット乗船体験会 時 期：7~10 月（全 4 回） → 台風の影響により 2 回は中止した 参加者：19 名
令和 2	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし
令和 3	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし
令和 4	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし



水泳教室

Ⅲ 同窓会事務請負事業

H23 年度～令和 4 年度

収益事業として、長岡技術科学大学同窓会の事務の一部を請け負った。

Ⅳ その他

年度	内 容	発行回数
平成 23	財団の活動や事業案内を載せた情報発信紙「かわらばん」を発行し、県内 6 金融機関、市内スーパー等に配布（配列）した。	年 5 回
平成 24	〃	年 5 回
平成 25	〃	年 5 回
平成 26	〃	年 5 回
平成 27	〃	年 5 回
平成 28	〃	年 4 回
平成 29	〃	年 5 回
平成 30	〃	年 5 回
令和元	〃	年 5 回
令和 2	情報発信紙「かわらばん」は休刊とした。	—
令和 3	〃	—
令和 4	〃	—



スキー教室



かわらばん



ヨット乗船体験会



年度別収支一覽

(単位:千円)

科 目	昭和56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度
収入の部						
基本財産収入	70,000	25,661	95,234	31,945	4,590	12,920
寄附金収入	1,867	40,106	26,516	35,700	45,800	41,300
賛助会員会費収入	0	570	1,110	1,750	2,040	1,940
地方公共団体補助金収入	0	0	4,000	2,000	2,000	2,000
民間助成金収入	0	0	3,750	3,245	0	0
負担金収入	0	2,533	915	4,582	5,258	1,984
基本財産運用収入	0	1,287	7,621	13,123	14,085	14,642
特定資産運用収入	0	0	0	0	0	0
雑収入	15	264	418	1,044	1,364	1,324
機械装置売却収入	0	0	0	0	0	5
繰入金収入	0	0	0	0	0	0
受託収入	0	0	0	0	0	0
収入合計 (A)	71,882	70,421	139,564	93,389	75,137	76,115
支出の部						
管理費	446	8,700	5,675	8,951	9,313	8,673
事業費	1,103	25,984	38,447	46,669	54,532	47,091
基本財産運用支出	70,000	25,661	95,234	31,945	4,590	12,920
支出合計 (B)	71,549	60,345	139,356	87,565	68,435	68,684
当期収支差額 (A-B)	333	10,076	208	5,824	6,702	7,431
前期繰越収支差額	0	333	10,409	10,617	16,441	23,143
次期繰越収支差額	333	10,409	10,617	16,441	23,143	30,574

(単位:千円)

62年度	63年度	平成元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
3,260	135	52,408	44,700	7,829	2,481	50	180
47,630	22,400	22,700	26,794	35,901	34,483	33,280	31,880
2,340	2,500	2,570	2,530	2,570	2,610	2,540	2,560
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
528	211	484	602	639	253	226	535
13,475	13,091	13,106	16,373	25,747	22,943	19,949	15,433
0	0	0	0	0	0	0	0
1,484	1,107	1,397	2,171	1,890	1,173	1,019	769
5	0	13	0	0	8	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
68,722	39,444	92,678	93,170	74,576	63,951	57,064	51,357
5,191	4,288	5,064	5,425	7,699	6,245	6,368	6,463
57,440	46,959	27,925	36,181	44,049	49,748	40,997	40,088
3,260	135	52,408	51,700	17,829	12,481	50	180
65,891	51,382	85,397	93,306	69,577	68,474	47,415	46,731
2,831	-11,938	7,281	-136	4,999	-4,523	9,649	4,626
30,574	33,405	21,467	28,748	28,612	33,611	29,088	38,737
33,405	21,467	28,748	28,612	33,611	29,088	38,737	43,363

(単位:千円)

科 目	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
収入の部						
基本財産収入	90	60	2,151	30	30	30
寄附金収入	27,700	24,900	23,300	22,100	17,900	30,800
賛助会員会費収入	2,540	2,490	2,570	2,410	2,170	1,980
地方公共団体補助金収入	0	0	0	0	0	0
民間助成金収入	0	0	0	0	0	0
負担金収入	299	158	190	210	462	214
基本財産運用収入	12,840	8,621	5,941	5,657	5,121	4,807
特定資産運用収入	0	0	0	0	0	0
雑収入	326	277	267	229	135	211
機械装置売却収入	0	0	0	0	0	0
共同研究費引当預金取崩収入 (特定預金取崩収入)	0	0	0	0	3,442	5,204
繰入金収入	0	0	0	0	0	0
受託収入	0	0	0	0	0	0
収入合計 (A)	43,795	36,506	34,419	30,636	29,260	43,246
支出の部						
管理費	6,564	5,297	5,376	5,275	5,186	4,985
事業費	46,223	34,015	28,272	21,427	25,022	38,487
基本財産運用支出 (基本財産取得支出)	90	60	2,151	30	30	30
共同研究費引当預金支出 (特定預金支出)	0	0	0	20,668	0	0
繰入金支出	0	0	0	0	0	0
有価証券売却損	0	0	0	0	0	0
支出合計 (B)	52,877	39,372	35,799	47,400	30,238	43,502
当期収支差額 (A-B)	-9,082	-2,866	-1,380	-16,764	-978	-256
特定資産取崩収入	0	0	0	0	0	0
特定資産取得支出	0	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	43,363	34,281	31,415	30,035	13,271	12,293
次期繰越収支差額	34,281	31,415	30,035	13,271	12,293	12,037

(単位:千円)

13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
500	10	207	0	0	0	0	0
38,050	30,690	49,250	59,400	53,900	55,870	32,270	23,200
1,860	1,740	1,660	1,620	1,580	1,380	1,360	1,330
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
178	228	142	124	140	278	286	308
3,500	5,135	6,018	9,385	11,397	13,207	9,265	8,454
0	0	0	0	0	0	0	0
213	199	410	203	47	69	50	105
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1,000	11,123	0
0	0	2,900	2,541	1,325	2,308	1,528	1,097
0	0	0	0	0	0	0	0
44,301	38,002	60,587	73,273	68,389	74,112	55,882	34,494
4,792	6,665	4,509	4,692	4,669	4,823	5,153	5,010
33,944	22,508	47,229	49,162	51,791	45,571	48,357	65,795
500	10	207	0	0	0	0	0
1,885	12,766	5,302	16,474	11,867	22,826	1,463	0
0	0	2,900	2,541	1,325	2,308	1,528	1,097
0	0	0	0	0	0	0	192
41,121	41,949	60,147	72,869	69,652	75,528	56,501	72,094
3,180	-3,947	440	404	-1,263	-1,416	-619	-37,600
0	0	0	0	0	0	0	42,186
0	0	0	0	0	0	0	6,729
12,037	15,217	11,270	11,710	12,114	10,851	9,435	8,816
15,217	11,270	11,710	12,114	10,851	9,435	8,816	6,673

(単位:千円)

科 目	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
収入の部						
基本財産収入	0	0	0	0	0	0
寄附金収入	5,100	100	100	870	220	298
賛助会員会費収入	1,230	1,240	1,200	1,550	1,875	1,875
地方公共団体補助金収入	0	0	0	0	0	0
民間助成金収入	0	0	0	0	0	0
負担金収入	294	434	1,691	1,726	2,564	3,297
基本財産運用収入	7,268	5,593	4,846	7,092	9,375	8,970
特定資産運用収入	0	0	0	195	100	73
雑収入	293	403	366	0	0	0
機械装置売却収入	0	0	0	0	0	0
繰入金収入	394	0	0	5	12	6
受託収入	0	0	120	120	120	120
収入合計 (A)	14,579	7,770	8,323	11,558	14,266	14,639
支出の部						
管理費	2,020	2,087	2,030	1,877	1,746	2,497
事業費	19,346	7,557	7,894	7,778	8,817	10,668
基本財産運用支出	0	0	0	0	0	0
繰入金支出	394	0	0	5	12	6
支出合計 (B)	21,760	9,644	9,924	9,660	10,575	13,171
当期収支差額 (A-B)	-7,181	-1,874	-1,601	1,898	3,691	1,468
基本財産寄附金	0	0	0	5,000	0	0
特定資産取崩収入	6,200	2,000	2,000	0	0	0
基本財産取得支出	0	0	397	5,000	30	0
特定資産取得支出	521	446	0	918	2,468	524
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	6,673	5,171	4,851	4,853	5,833	7,026
次期繰越収支差額	5,171	4,851	4,853	5,833	7,026	7,970

(単位:千円)

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度	2 年度	3 年度
0	0	0	0	0	0	0
253	155	145	128	114	0	0
2,035	2,315	2,310	2,370	2,480	2,490	2,480
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
3,471	3,579	3,811	3,956	3,720	0	0
4,374	6,334	6,699	6,644	6,481	6,227	8,159
51	6	5	5	5	3	328
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
8	57	39	12	8	12	7
120	120	120	120	120	120	120
10,312	12,566	13,129	13,235	12,928	8,852	11,094
12,517	1,374	1,573	2,016	1,919	3,267	3,665
9,697	8,248	9,377	10,455	10,832	4,718	5,443
0	0	0	0	0	0	0
8	57	39	12	8	12	7
22,222	9,679	10,989	12,483	12,759	7,997	9,115
-11,910	2,887	2,140	752	169	855	1,979
0	0	0	0	0	0	0
10,495	0	0	0	500	500	0
0	0	0	0	0	0	0
407	3,000	1,121	124	125	126	158
0	0	0	0	506	0	0
7,970	6,148	6,035	7,054	7,682	7,720	8,949
6,148	6,035	7,054	7,682	7,720	8,949	10,770

年度別事業費一覧

(単位:千円)

科 目	昭和 56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度
(1) 実践的な技術の開発を主眼とする 教育研究に対する援助	1,000	25,548	35,300	42,034	47,754	41,196
a. 産学共同教育研究助成	1,000	24,168	33,920	38,684	41,788	34,790
b. 実務訓練実施助成	0	1,380	1,380	2,000	2,000	3,000
c. 産学共同教育研究制度研究・ 調査等助成	0	0	0	1,350	3,966	3,406
d. 学間共同研究助成	0	0	0	0	0	0
e. ツイニングプログラム支援助成	0	0	0	0	0	0
f. 研究助成	0	0	0	0	0	0
g. 実践的教育研究奨励助成	0	0	0	0	0	0
(2) 教育研究機関と産業界等との 連携・交流の実施	0	220	2,702	2,105	4,175	2,465
a. 産学共同教育研究問題検討会の開催	0	179	405	295	2,178	840
b. 企業の技術に関する資料の収集、 展示、配布	0	0	90	90	449	410
c. 工業技術に関する見学会の実施	0	0	1,662	1,029	987	903
d. 工業技術に関する相談の実施	0	31	174	119	278	91
e. 技術開発懇談会	0	0	0	0	0	0
f. その他 (PR 活動等含む)	0	10	371	572	283	221
(3) 工業所有権の取得に対する援助	103	166	237	625	467	516
(4) 講習会、研究会等の開催	0	50	142	1,281	1,054	609
a. 講習会の開催	0	50	112	1,145	900	451
b. 講演会の開催	0	0	30	136	154	158
c. 研究会の開催	0	0	0	0	0	0
(5) 研究成果の刊行	0	0	66	624	1,082	2,305
(6) その他必要な事業	0	0	0	0	0	0
a. ロボットコンテスト等奨励助成	0	0	0	0	0	0
b. 大学・財団の周年記念事業等	0	0	0	0	0	0
合計	1,103	25,984	38,447	46,669	54,532	47,091

(単位:千円)

62年度	63年度	平成 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
54,302	43,501	23,677	30,607	35,354	41,865	32,494	30,401	37,149
49,231	38,449	19,605	25,061	29,684	35,091	27,204	24,199	30,601
2,300	2,500	2,500	2,500	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900
2,771	2,552	1,572	3,046	2,770	3,874	2,390	2,522	2,038
0	0	0	0	0	0	0	780	1,100
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	510
2,202	2,455	2,806	3,771	3,698	2,498	2,727	3,226	2,867
880	945	1,062	1,127	1,320	455	100	248	304
271	602	614	1,190	932	995	1,023	827	837
794	562	799	1,003	919	621	628	1,223	760
124	40	94	149	204	68	51	17	0
0	0	0	0	0	0	639	548	618
133	306	237	302	323	359	286	363	348
308	310	680	607	582	751	779	979	1,143
328	315	342	816	3,210	4,418	3,862	4,361	3,919
115	121	158	444	214	410	683	606	512
213	194	184	372	496	511	478	466	407
0	0	0	0	2,500	3,497	2,701	3,289	3,000
300	378	420	380	1,205	216	241	227	216
0	0	0	0	0	0	894	894	929
0	0	0	0	0	0	894	894	929
0	0	0	0	0	0	0	0	0
57,440	46,959	27,925	36,181	44,049	49,748	40,997	40,088	46,223

(単位:千円)

科 目	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
(1) 実践的な技術の開発を主眼とする 教育研究に対する援助	30,131	24,588	18,465	21,682	35,893	31,930
a. 産学共同教育研究助成	28,676	23,288	17,465	20,372	34,584	30,834
b. 実務訓練実施助成	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
c. 産学共同教育研究制度研究・ 調査等助成	300	200	0	210	210	0
d. 学間共同研究助成	0	0	0	0	0	0
e. ツイニングプログラム支援助成	0	0	0	0	0	0
f. 研究助成	0	0	0	0	0	0
g. 実践的教育研究奨励助成	155	100	0	100	99	96
(2) 教育研究機関と産業界等との 連携・交流の実施 教育研究に対する援助	1,056	1,154	1,177	1,351	971	756
a. 産学共同教育研究問題検討会の開催	100	100	100	100	100	0
b. 企業の技術に関する資料の収集、 展示、配布	124	147	94	86	94	94
c. 工業技術に関する見学会の実施	273	267	213	483	72	68
d. 工業技術に関する相談の実施	0	0	0	0	0	0
e. 技術開発懇談会	373	460	458	431	455	379
f. その他 (PR 活動等含む)	186	180	312	251	250	215
(3) 工業所有権の取得に対する援助	533	1,240	523	684	415	44
(4) 講習会、研究会等の開催	1,096	1,092	1,064	1,141	1,025	1,014
a. 講習会の開催	96	92	64	141	25	14
b. 講演会の開催	0	0	0	0	0	0
b. 研究会の開催	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
(5) 研究成果の刊行	199	198	198	164	183	200
(6) その他必要な事業	1,000	0	0	0	0	0
a. ロボットコンテスト等奨励助成	0	0	0	0	0	0
b. 大学・財団の周年記念事業等	1,000	0	0	0	0	0
合計	34,015	28,272	21,427	25,022	38,487	33,944

(単位:千円)

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
18,316	45,084	47,433	49,867	41,569	45,973	63,602	16,370	5,121
17,064	44,988	47,338	48,767	40,617	41,698	58,014	11,248	0
1,000	0	0	0	0	0	1,000	0	0
153	0	0	480	462	795	687	1,357	1,082
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	200	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	2,600	2,961	2,584	2,925
99	96	95	420	490	880	940	1,181	1,114
845	692	659	681	959	929	867	1,301	1,979
100	100	100	100	100	100	100	245	258
100	66	69	0	92	42	0	0	0
68	63	70	90	72	100	75	0	738
0	0	0	0	0	0	0	0	0
434	360	335	387	607	612	638	741	983
143	103	85	104	88	75	54	315	0
1,140	172	46	207	0	0	274	0	0
1,031	1,233	1,009	1,036	1,043	1,455	1,052	1,433	457
31	13	9	36	43	0	0	147	204
0	220	0	0	0	455	52	189	253
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,097	0
0	48	15	0	0	0	0	242	0
1,176	0	0	0	2,000	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,176	0	0	0	2,000	0	0	0	0
22,508	47,229	49,162	51,791	45,571	48,357	65,795	19,346	7,557

(単位:千円)

科 目	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
I 教育研究助成事業	3,184	3,289	3,286	3,407	3,393	2,971
1 研究助成	2,446	2,503	2,498	2,506	2,499	2,319
2 海外市場探究奨学金	738	786	788	901	894	652
II 産学地域連携交流事業	4,620	4,393	5,433	7,158	6,201	5,214
1 産学地域連携事業支援	262	800	870	1,050	1,049	926
2 先端技術・施設見学会の実施	593	458	557	502	495	470
3 産学地域交流会の実施	2,321	987	923	1,309	973	573
4 地域社会向け研究成果等活用事業	1,444	2,148	3,083	4,297	3,684	3,245
III その他必要な事業	90	96	98	103	103	63
合計	7,894	7,778	8,817	10,668	9,697	8,248

(単位:千円)

29 年度	30 年度	令和 元年度	2 年度	3 年度
3,325	3,413	3,407	2,683	3,097
2,541	2,510	2,548	2,521	3,097
784	903	859	162	0
5,973	6,936	7,315	1,930	2,237
997	1,124	1,173	366	457
366	666	634	162	325
565	672	634	273	408
4,045	4,474	4,874	1,129	1,047
79	106	110	105	109
9,377	10,455	10,832	4,718	5,443

年度別基本財産寄附状況

(単位:千円)

寄 附 者	昭和 56 年度	57 年度	58 年度	59 年度	60 年度	61 年度
(1) 地方公共団体	70,000	—	—	—	—	—
(2) 企業・企業団体	—	23,500	88,840	31,900	4,200	12,500
(3) 個人	—	—	30	—	—	—
(4) 長岡技術科学大学教職員	—	2,161	6,364	45	390	420
(5) その他	—	—	—	—	—	—
合計	70,000	25,661	95,234	31,945	4,590	12,920
基本財産額	70,000	95,661	190,895	222,840	227,430	240,350

(単位:千円)

寄 附 者	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
(1) 地方公共団体	—	—	—	—	—	—
(2) 企業・企業団体	—	—	—	30	—	—
(3) 個人	—	—	2,121	—	—	—
(4) 長岡技術科学大学教職員	90	60	30	—	30	30
(5) その他	—	—	—	—	—	—
合計	90	60	2,151	30	30	30
基本財産額	378,483	378,543	380,694	380,724	380,754	380,784

(単位:千円)

寄 附 者	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
(1) 地方公共団体	—	—	—	—	—	—
(2) 企業・企業団体	—	—	—	5,000	—	—
(3) 個人	—	—	—	—	—	—
(4) 長岡技術科学大学教職員	—	—	—	—	—	—
(5) その他	—	—	—	—	—	—
合計	0	0	0	5,000	0	0
基本財産額	381,502	381,502	381,502	386,502	386,502	386,502

(単位:千円)

62年度	63年度	平成元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
—	—	—	—	—	—	—	—
3,000	—	51,300	43,800	2,500	1,300	—	100
—	—	763	630	2,000	480	—	—
260	135	345	270	3,330	700	50	80
—	—	—	7,000	10,000	10,000	—	—
3,260	135	52,408	51,700	17,830	12,480	50	180
243,610	243,745	296,153	347,853	365,683	378,163	378,213	378,393

(単位:千円)

13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
500	—	208	—	—	—	—	—
—	10	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
500	10	208	0	0	0	0	0
381,284	381,294	381,502	381,502	381,502	381,502	381,502	381,502

(単位:千円)

27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
0	0	0	0	0	0	0
386,502	386,502	386,502	386,502	386,502	386,502	386,502

役員名簿

〈昭和 57 年 1 月 30 日現在〉

〔理事〕	理事長	齋藤 進六	東京工業大学名誉教授
	常務理事	丸山 一雄	長岡商工会議所副会頭
	事務局長	大谷 正明	長岡技術科学大学事務局長
		青柳 忠克	(社)全国工業高等学校長協会理事長
	池田 朔次	長岡工業高等専門学校長	
	大久保政賢	新潟県商工会議所連合会会頭	
	岡野 澄	東京工業高等専門学校名誉教授	
	川上 正光	長岡技術科学大学長	
	君 健男	新潟県知事	
	熊澤 源三	長岡工業高等学校長	
	小林 孝平	長岡市長	
	酒井 信之	新潟大学工学部長	
	辰野 千壽	上越教育大学長	
	土光 敏夫	(社)経済団体連合会名誉会長	
	南野 竹男	新潟県工業技術センター館長	
	吉川 孔敏	(財)国際大学設立準備財団理事兼事務局長	
	〔監事〕	居林 次雄	(社)経済団体連合会秘書室長
齋藤 信義		長岡技術科学大学副学長	

〈昭和 58 年 7 月 1 日現在〉

〔理事〕	理事長	齋藤 進六	東京工業大学名誉教授
	常務理事	丸山 一雄	長岡商工会議所副会頭
	事務局長	大谷 正明	長岡技術科学大学事務局長
		青柳 忠克	(社)全国工業高等学校長協会理事長
	池田 朔次	長岡工業高等専門学校長	
	大久保政賢	新潟県商工会議所連合会会頭	
	岡野 澄	東京工業高等専門学校名誉教授	
	川上 正光	長岡技術科学大学長	
	君 健男	新潟県知事	
	熊澤 源三	長岡工業高等学校長	
	小林 孝平	長岡市長	
	酒井 信之	新潟大学工学部長	
	辰野 千壽	上越教育大学長	
	土光 敏夫	(社)経済団体連合会名誉会長	
	南野 竹男	(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事	
	吉川 孔敏	(財)国際大学設立準備財団理事兼事務局長	
	〔監事〕	居林 次雄	(社)経済団体連合会国際経済部長
齋藤 信義		長岡技術科学大学副学長	

〈昭和 59 年 7 月 1 日現在〉

〔理事〕	理事長	橋本 宇一	科学技術庁金属材料技術研究所客員
	常務理事	丸山 一雄	長岡商工会議所副会頭
	事務局長	安藤 和夫	長岡技術科学大学事務局長
		青柳 忠克	東京工業大学講師
	上野 學	長岡技術科学大学教授	
	大来佐武郎	国際大学長	
	大久保政賢	新潟県商工会議所連合会会頭	
	岡野 澄	東京工業高等専門学校名誉教授	
	川上 正光	(財)長岡テクノポリス開発機構理事長	
	君 健男	新潟県知事	
	熊澤 源三	長岡工業高等学校長	
	酒井 信之	新潟大学工学部長	
	高橋 且	長岡工業高等専門学校長	
	辰野 千壽	上越教育大学長	
	土光 敏夫	(社)経済団体連合会名誉会長	
〔監事〕	南野 竹男	(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事	
	日浦晴三郎	長岡市長	
	吉川 孔敏	(財)大学セミナーハウス専務理事	
	居林 次雄	(社)経済団体連合会国際経済部長	
	齋藤 信義	学校法人總持学園理事長	

〈昭和 60 年 7 月 1 日現在〉

〔理事〕	理事長	橋本 宇一	科学技術庁金属材料技術研究所客員
	常務理事	丸山 一雄	長岡商工会議所副会頭
	事務局長	安藤 和夫	長岡技術科学大学事務局長
		上野 學	長岡技術科学大学教授
	大来佐武郎	国際大学長	
	大久保政賢	新潟県商工会議所連合会会頭	
	岡野 澄	東京工業高等専門学校名誉教授	
	加藤 時男	(社)全国工業高等学校長協会理事長	
	金子 関男	新潟県工業技術センター館長	
	君 健男	新潟県知事	
	慶伊 富長	国立高等専門学校協会会長	
	下田 茂	新潟大学工学部長	
	高橋 且	長岡工業高等専門学校長	
	辰野 千壽	上越教育大学長	
	田中 良平	長岡工業高等学校長	
〔監事〕	土光 敏夫	(社)経済団体連合会名誉会長	
	南野 竹男	(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事	
	日浦晴三郎	長岡市長	
	居林 次雄	(社)経済団体連合会国際経済部長	
	齋藤 信義	学校法人總持学園理事長	

〈昭和 61 年 7 月 1 日現在〉

〔理事〕	理事長	橋本 宇一	科学技術庁金属材料技術研究所客員
	常務理事	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	森嶋 和次	長岡技術科学大学事務局長
		上野 學	長岡技術科学大学教授
		大来佐武郎	国際大学長
		大久保政賢	新潟県商工会議所連合会会頭
		岡野 澄	東京工業高等専門学校名誉教授
		加藤 時男	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		君 健男	新潟県知事
		慶伊 富長	国立高等専門学校協会会長
		下田 茂	新潟大学工学部長
		鈴木 誠一	新潟県工業技術センター館長
		高橋 旦	長岡工業高等専門学校長
		辰野 千壽	上越教育大学長
		田中 良平	長岡工業高等学校長
	〔監事〕		土光 敏夫
		南野 竹男	(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事
		日浦晴三郎	長岡市長
		居林 次雄	(財)経済広報センター常務理事
		斎藤 信義	学校法人總持学園理事長

〈昭和 62 年 7 月 1 日現在〉

〔理事〕	理事長代理	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	森嶋 和次	長岡技術科学大学事務局長
		阿部 武雄	新潟大学工学部長
		上野 學	長岡技術科学大学教授
		大来佐武郎	前国際大学長
		大久保政賢	新潟県商工会議所連合会会頭
		太田 博夫	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		岡野 澄	東京工業高等専門学校名誉教授
		君 健男	新潟県知事
		慶伊 富長	国立高等専門学校協会会長
		斎藤英四郎	(社)経済団体連合会会長
		鈴木 誠一	新潟県工業技術センター館長
		高橋 旦	長岡工業高等専門学校長
		辰野 千壽	上越教育大学長
		田中 良平	長岡工業高等学校長
	〔監事〕		南野 竹男
		日浦晴三郎	長岡市長
		居林 次雄	立正大学教授
		斎藤 信義	学校法人總持学園理事長

〈昭和 63 年 7 月 1 日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	五十嵐 剛	長岡技術科学大学事務局長
		阿部 武雄	新潟大学工学部長
		大久保政賢	新潟県商工会議所連合会会頭
		君 健男	新潟県知事
		慶伊 富長	国立高等専門学校協会会長
		小林 勝	長岡技術科学大学教授
		斎藤英四郎	(社)経済団体連合会会長
		宍戸駿太郎	国際大学長
		鈴木 誠一	新潟県工業技術センター館長
		高橋 旦	長岡工業高等専門学校長
		辰野 千壽	上越教育大学長
		田中 良平	長岡工業高等学校長
		永井 淳夫	長岡商工会議所副会頭
		南野 竹男	(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事
		日浦晴三郎	長岡市長
〔監事〕	居林 次雄	立正大学教授	
	斎藤 信義	学校法人總持学園理事長	

〈平成元年 7 月 1 日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	五十嵐 剛	長岡技術科学大学事務局長
		阿部 武雄	新潟大学工学部長
		大久保政賢	新潟県商工会議所連合会会頭
		小川 幸男	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		金子 清	新潟県知事
		小林 勝	長岡技術科学大学教授
		斎藤英四郎	(社)経済団体連合会会長
		宍戸駿太郎	国際大学長
		鈴木 誠一	新潟県工業技術センター館長
		高橋 旦	長岡工業高等専門学校長
		田中 良平	長岡工業高等学校長
		永井 淳夫	長岡商工会議所副会頭
		南野 竹男	(財)長岡テクノポリス開発機構常務理事
		日浦晴三郎	長岡市長
		〔監事〕	松野 純孝
脇田 仁	国立高等専門学校協会会長		
居林 次雄	立正大学教授		
	斎藤 信義	学校法人總持学園理事長	

〈平成2年7月1日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	井上 清	長岡技術科学大学事務局長
		阿部 武雄	新潟大学工学部長
		伊藤 惇	長岡工業高等学校長
		今井 清和	長岡技術科学大学教授
		大久保政賢	新潟県商工会議所連合会会頭
		岡本 祥一	長岡工業高等専門学校長
		金子 清	新潟県知事
		木村 寛治	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		斎藤英四郎	(社)経済団体連合会会長
		宍戸駿太郎	国際大学長
		鈴木 誠一	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		永井 淳夫	長岡商工会議所副会頭
		日浦晴三郎	長岡市長
		松野 純孝	上越教育大学長
	〔監事〕		吉田 暁
		脇田 仁	国立高等専門学校協会会長
		居林 次雄	立正大学教授
		斎藤 信義	学校法人總持学園理事長

〈平成3年7月1日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	井上 清	長岡技術科学大学事務局長
		一宮 亮一	新潟大学工学部長
		伊藤 惇	長岡工業高等学校長
		大久保政賢	前新潟県商工会議所連合会会頭
		岡本 祥一	長岡工業高等専門学校長
		金子 清	新潟県知事
		木村 寛治	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		斎藤英四郎	新日本製鐵(株)取締役相談役名誉会長
		宍戸駿太郎	国際大学長
		清水 敬二	長岡技術科学大学教授
		清水 二郎	国立高等専門学校協会会長
		鈴木 誠一	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		田中 誠三	日本精機(株)取締役
		永井 淳夫	長岡商工会議所副会頭
	〔監事〕		日浦晴三郎
		松野 純孝	上越教育大学長
		吉田 暁	新潟県工業技術センター館長
		居林 次雄	富山大学教授
	斎藤 信義	学校法人總持学園理事長	

〈平成4年3月31日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	井上 清	長岡技術科学大学事務局長
		一宮 亮一	新潟大学工学部長
		伊藤 惇	長岡工業高等学校長
		大久保政賢	前新潟商工会議所会頭
		岡本 祥一	長岡工業高等専門学校長
		金子 清	新潟県知事
		木村 寛治	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		斎藤英四郎	新日本製鐵(株)取締役相談役名誉会長
		宍戸駿太郎	国際大学長
		清水 敬二	長岡技術科学大学教授
		清水 二郎	国立高等専門学校協会会長
		鈴木 誠一	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		田中 誠三	日本精機(株)取締役
		永井 淳夫	日本精機(株)代表取締役社長
		日浦晴三郎	長岡市長
		松野 純孝	上越教育大学長
		吉田 暁	新潟県工業技術センター館長
〔監事〕		居林 次雄	富山大学教授
		斎藤 信義	学校法人總持学園理事長

〈平成5年3月31日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	脇坂 正典	長岡技術科学大学事務局長
		一宮 亮一	新潟大学工学部長
		伊藤 惇	長岡工業高等学校長
		岩本 洋	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		岡本 祥一	長岡工業高等専門学校長
		斎藤英四郎	新日本製鐵(株)取締役相談役名誉会長
		宍戸駿太郎	国際大学長
		清水 敬二	長岡技術科学大学教授
		清水 二郎	国立高等専門学校協会会長
		鈴木 誠一	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		田中 誠三	日本精機(株)取締役
		永井 淳夫	日本精機(株)代表取締役社長
		中田 久蔵	新潟県商工会議所連合会会頭
		日浦晴三郎	長岡市長
		平山 征夫	新潟県知事
		松野 純孝	上越教育大学長
		吉田 暁	新潟県工業技術センター館長
〔監事〕		居林 次雄	富山大学教授
		斎藤 信義	学校法人總持学園理事長

〈平成6年3月31日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	磯野 守正	長岡技術科学大学事務局長
		一宮 亮一	新潟大学工学部長
		岩本 洋	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		浦壁 英紀	長岡工業高等学校長
		岡本 祥一	長岡工業高等専門学校長
		加藤 章	上越教育大学長
		斎藤英四郎	新日本製鐵(株)取締役相談役名誉会長
		宍戸駿太郎	国際大学長
		清水 敬二	長岡技術科学大学教授
		鈴木 誠一	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		田中 誠三	日本精機(株)取締役
		永井 淳夫	長岡商工会議所副会頭
		中田 久蔵	新潟県商工会議所連合会会頭
		春山 志郎	国立高等専門学校協会会長
		日浦晴三郎	長岡市長
		平山 征夫	新潟県知事
		吉田 暁	新潟県工業技術センター館長
〔監事〕		居林 次雄	富山大学教授
		斎藤 信義	学校法人總持学園理事長

〈平成7年3月31日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	磯野 守正	長岡技術科学大学事務局長
		五十嵐昭男	長岡技術科学大学教授
		一宮 亮一	新潟大学工学部長
		浦壁 英紀	長岡工業高等学校長
		岡本 祥一	長岡工業高等専門学校長
		加藤 章	上越教育大学長
		斎藤英四郎	新日本製鐵(株)取締役相談役名誉会長
		鈴木 誠一	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		田中 誠三	日本精機(株)取締役
		永井 淳夫	長岡商工会議所副会頭
		中田 久蔵	新潟県商工会議所連合会会頭
		春山 志郎	国立高等専門学校協会会長
		日浦晴三郎	長岡市長
		渡邊 光男	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		坂田 昌裕	新潟県工業技術センター館長 (H7.3.6 退任)
		宍戸駿太郎	前国際大学長 (H7.3.28 退任)
		平山 征夫	新潟県知事 (H7.3.7 退任)
〔監事〕		居林 次雄	富山大学教授
		斎藤 信義	学校法人總持学園理事長

〈平成8年3月29日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	磯野 守正	長岡技術科学大学事務局長
		五十嵐昭男	長岡技術科学大学教授
		浦壁 英紀	長岡工業高等学校長
		岡本 祥一	長岡工業高等専門学校長
		加藤 章	上越教育大学長
		斎藤英四郎	新日本製鐵(株)取締役相談役名誉会長
		齊藤 義明	新潟大学工学部長
		鈴木 誠一	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		鈴木 直和	新潟県商工労働部長
		田中 誠三	日本精機(株)取締役
		永井 淳夫	日本精機(株)代表取締役社長
		中田 久蔵	新潟県商工会議所連合会会頭
		春山 志郎	国立高等専門学校協会会長
		日浦晴三郎	長岡市長
		丸茂 明則	国際大学副学長
		渡邊 光男	(社)全国工業高等学校長協会理事長
〔監事〕		居林 次雄	東亜大学法学部長
		斎藤 信義	学校法人總持学園理事長

〈平成9年3月31日現在〉

〔理事〕	理事長	丸山 一雄	長岡商工会議所顧問
	事務局長	木島 令己	長岡技術科学大学事務局長
		五十嵐昭男	長岡技術科学大学教授
		石田 康雄	長岡工業高等学校長
		小川 正二	長岡工業高等専門学校長
		加藤 章	上越教育大学長
		斎藤英四郎	新日本製鐵(株)取締役相談役名誉会長
		齊藤 義明	新潟大学工学部長
		鈴木 直和	前新潟県商工労働部長
		田中 誠三	日本精機(株)取締役
		永井 淳夫	長岡商工会議所副会頭
		中田 久蔵	新潟県商工会議所連合会会頭
		速水 清	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		春山 志郎	国立高等専門学校協会会長
		日浦晴三郎	長岡市長
		丸茂 明則	国際大学副学長
		渡邊 光男	前(社)全国工業高等学校長協会理事長
〔監事〕		居林 次雄	東亜大学法学部長
		斎藤 信義	長岡技術科学大学名誉教授

〈平成 10 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	渡邊 健三	長岡商工会議所相談役	
	事務局長	東府 義之	長岡技術科学大学事務局長	
		井口 茂	(社)全国工業高等学校長協会理事長	
		石田 康雄	長岡工業高等学校長	
		小川 正二	長岡工業高等専門学校長	
		加藤 章	上越教育大学長	
		斎藤英四郎	新日本製鐵(株)取締役相談役名誉会長	
		斉藤正三郎	国立高等専門学校協会会長	
		齊藤 義明	新潟大学工学部長	
		田中 誠三	日本精機(株)取締役	
		永井 淳夫	日本精機(株)代表取締役社長	
		中田 久蔵	新潟県商工会議所連合会会頭	
		新島 良夫	新潟県商工労働部長	
		林 正	長岡技術科学大学教授	
		速水 清	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事	
		日浦晴三郎	長岡市長	
		丸茂 明則	国際大学副学長	
	〔監事〕		居林 次雄	東亜大学法学部長
			斎藤 信義	長岡技術科学大学名誉教授

〈平成 11 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	渡邊 健三	長岡商工会議所相談役	
	常務理事	速水 清	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事	
	事務局長	東府 義之	長岡技術科学大学事務局長	
		石田 康雄	長岡工業高等学校長	
		小川 正二	長岡工業高等専門学校長	
		加藤 章	上越教育大学長	
		斎藤英四郎	新日本製鐵(株)取締役相談役名誉会長	
		斉藤正三郎	国立高等専門学校協会会長	
		齊藤 義明	新潟大学工学部長	
		田中 誠三	日本精機(株)取締役	
		永井 淳夫	日本精機(株)代表取締役社長	
		中田 久蔵	新潟県商工会議所連合会会頭	
		新島 良夫	新潟県商工労働部長	
		林 正	長岡技術科学大学教授	
		日浦晴三郎	長岡市長	
		丸茂 明則	国際大学教授	
		山下 省蔵	(社)全国工業高等学校長協会理事長	
	〔監事〕		居林 次雄	東亜大学法学部長
			斎藤 信義	長岡技術科学大学名誉教授

〈平成 12 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	渡邊 健三	長岡商工会議所相談役
	常務理事	速水 清	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		大澤 健郎	上越教育大学長
		小川 正二	長岡工業高等専門学校長
		後藤 靖夫	長岡工業高等学校長
		斎藤英四郎	(社)経済団体連合会名誉会長
		斉藤正三郎	国立高等専門学校協会会長
		島野 卓爾	国際大学長
		田中 誠三	日本精機(株)取締役
		永井 淳夫	日本精機(株)代表取締役社長
		中田 久蔵	新潟県商工会議所連合会会頭
		新島 良夫	前新潟県商工労働部長
		長谷川富市	新潟大学工学部長
		林 正	長岡技術科学大学教授
		森 民夫	長岡市長
		山下 省蔵	前(社)全国工業高等学校長協会理事長
		〔監事〕	居林 次雄
斎藤 信義	長岡技術科学大学名誉教授		

〈平成 13 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	渡邊 健三	長岡商工会議所相談役
	常務理事	吉田 暁	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		大澤 健郎	上越教育大学長
		小川 正二	長岡工業高等専門学校長
		生越 久靖	国立高等専門学校協会会長
		後藤 靖夫	長岡工業高等学校長
		斎藤英四郎	(社)経済団体連合会名誉会長
		島野 卓爾	国際大学長
		高橋傳一郎	新潟県商工会議所連合会会頭
		高間 伸一	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		田村 巖	長岡商工会議所会頭
		永井 正二	日本精機(株)専務取締役
		西埜 孝樹	新潟県商工労働部長
		長谷川富市	新潟大学工学部長
		松田 甚一	長岡技術科学大学附属図書館長
		森 民夫	長岡市長
		〔監事〕	山崎 彬
斎藤 信義	長岡技術科学大学名誉教授		
吉井 剛	吉井国際特許事務所長		

〈平成 14 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所会頭	
		有澤 榮一	(社)新潟県電子機械工業会会長	
		大澤 健郎	上越教育大学長	
		小川 正二	長岡工業高等専門学校長	
		生越 久靖	国立高等専門学校協会会長	
		斎藤英四郎	(社)経済団体連合会名誉会長	
		笹本 正司	長岡工業高等学校長	
		島野 卓爾	国際大学長	
		高橋傳一郎	前新潟県商工会議所連合会会頭	
		高橋 豊	新潟県産業労働部長	
		高間 伸一	(社)全国工業高等学校長協会理事長	
		永井 正二	日本精機(株)取締役社長	
		長谷川富市	新潟大学工学部長	
		福田 実	(社)新潟県建設業協会会長	
		松田 甚一	長岡技術科学大学教授	
		森 民夫	長岡市長	
		山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長	
	〔監事〕		斎藤 信義	長岡技術科学大学名誉教授
			吉井 剛	吉井国際特許事務所長

〈平成 15 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所会頭	
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長	
		有澤 榮一	(社)新潟県電子機械工業会会長	
		上原 明	新潟県商工会議所連合会会頭	
		大澤 健郎	上越教育大学長	
		小川 正二	長岡工業高等専門学校長	
		小島 陽	長岡技術科学大学教授	
		笹本 正司	長岡工業高等学校長	
		島野 卓爾	前国際大学長	
		高橋 豊	新潟県産業労働部長	
		永井 正二	日本精機(株)取締役社長	
		長谷川富市	新潟大学工学部長	
		原田 昭	(社)全国工業高等学校長協会理事長	
		宮崎 俊麿	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事	
		森 民夫	長岡市長	
		四ツ柳隆夫	国立高等専門学校協会会長	
	〔監事〕		斎藤 信義	長岡技術科学大学名誉教授
			吉井 剛	吉井国際特許事務所長

〈平成 16 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所会頭
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
		有澤 榮一	前(社)新潟県電子機械工業会会長
		上原 明	新潟県商工会議所連合会会頭
		小島 陽	長岡技術科学大学長
		小林征四郎	長岡工業高等学校長
		島野 卓爾	元国際大学長
		仙石 正和	新潟大学工学部長
		高田 孝次	長岡工業高等専門学校長
		高橋 豊	新潟県産業労働部長
		永井 正二	日本精機(株)取締役社長
		原田 昭	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		宮崎 俊麿	(財)信濃川テクノポリス開発機構常務理事
		森 民夫	長岡市長
		四ツ柳隆夫	国立高等専門学校協会会長
		渡邊 隆	上越教育大学長
〔監事〕	斎藤 信義	長岡技術科学大学名誉教授	
	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	

〈平成 17 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所会頭
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
		上原 明	新潟県商工会議所連合会会頭
		久住 和裕	新潟県産業労働部長
		小林 聰	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		小林征四郎	長岡工業高等学校長
		齊藤 昭治	(社)新潟県電子機械工業会会長
		仙石 正和	新潟大学工学部長
		高田 孝次	長岡工業高等専門学校長
		永井 正二	日本精機(株)取締役社長
		西口 郁三	長岡技術科学大学教授
		宮崎 俊麿	(財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長
		森 民夫	長岡市長
		山澤 逸平	国際大学長
		四ツ柳隆夫	国立高等専門学校協会会長
		渡邊 隆	上越教育大学長
〔監事〕	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	

※監事 H16. 3. 31 斎藤信義氏辞任、4. 1 内田安三氏就任、11. 26 内田安三氏逝去、H17. 4. 1 服部賢氏就任

〈平成 18 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所会頭
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
		上原 明	新潟県商工会議所連合会会頭
		久住 和裕	新潟県産業労働部長
		久保田幸正	長岡工業高等学校長
		小島 陽	長岡技術科学大学長
		小林 聰	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		齊藤 昭治	(社)新潟県電子機械工業会会長
		仙石 正和	新潟大学工学部長
		高田 孝次	長岡工業高等専門学校長
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役社長
		宮崎 俊麿	(財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長
		森 民夫	長岡市長
		山澤 逸平	国際大学長
		四ツ柳隆夫	国立高等専門学校機構理事
		渡邊 隆	上越教育大学長
〔監事〕		服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長

〈平成 19 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所会頭
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
		上原 明	新潟県商工会議所連合会会頭
		久保田幸正	長岡工業高等学校長
		小島 陽	長岡技術科学大学長
		齊藤 昭治	(社)新潟県電子機械工業会会長
		仙石 正和	新潟大学工学部長
		高田 孝次	長岡工業高等専門学校長
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役社長
		能智 功	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		丸山 仁	新潟県産業労働観光部長
		宮崎 俊麿	(財)にいがた産業創造機構理事
		森 民夫	長岡市長
		山澤 逸平	前国際大学長
		四ツ柳隆夫	国立高等専門学校機構理事
		渡邊 隆	上越教育大学長
〔監事〕		服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長

〈平成 20 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所会頭
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
		大川 秀雄	新潟大学工学部長
		久保田幸正	長岡工業高等学校長
		小島 陽	長岡技術科学大学長
		齊藤 昭治	(社)新潟県電子機械工業会会長
		杉原 泰馬	国際大学長
		高田 孝次	長岡工業高等専門学校長
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役社長
		能智 功	(社)全国工業高等学校長協会理事長
		長谷川雅人	(財)にいがた産業創造機構テクノプラザ長
		丸山 仁	新潟県産業労働観光部長
		森 民夫	長岡市長
		四ツ柳隆夫	国立高等専門学校機構顧問
		渡邊 隆	上越教育大学長
〔監事〕	服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問	
	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	

〈平成 21 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所会頭
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
		大川 秀雄	新潟大学工学部長
		久保田幸正	長岡工業高等学校長
		小島 陽	長岡技術科学大学長
		齊藤 昭治	(社)新潟県電子機械工業会会長
		杉原 泰馬	国際大学長
		高井 盛雄	新潟県産業労働観光部長
		高田 孝次	長岡工業高等専門学校長
		敦井 榮一	(社)新潟県商工会議所連合会会頭
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役社長
		宮下 孝洋	(財)にいがた産業創造機構テクノプラザ長
		森 民夫	長岡市長
		四ツ柳隆夫	国立高等専門学校機構顧問
		渡邊 隆	上越教育大学長
〔監事〕	服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問	
	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	

〈平成 22 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所相談役
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
		大川 秀雄	新潟大学工学部長
		小島 陽	前長岡技術科学大学長
		齊藤 昭治	(社)新潟県電子機械工業会会長
		杉原 泰馬	前国際大学長
		高井 盛雄	新潟県産業労働観光部長
		高田 孝次	長岡工業高等専門学校長
		敦井 榮一	(社)新潟県商工会議所連合会会頭
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役社長
		宮下 孝洋	(財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長
		村山 健一	長岡工業高等学校長
		森 民夫	長岡市長
		四ツ柳隆夫	前国立高等専門学校機構顧問
		若井 彌一	上越教育大学長
〔監事〕	服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問	
	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	

〈平成 23 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所相談役
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
		池田 忠彦	(社)新潟県電子機械工業会会長
		大川 秀雄	新潟大学工学部長
		河野伊一郎	国立高等専門学校機構顧問
		斎藤 秀俊	長岡技術科学大学副学長
		高井 盛雄	新潟県産業労働観光部長
		高田 孝次	長岡工業高等専門学校長
		敦井 榮一	(社)新潟県商工会議所連合会会頭
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役社長
		新原 皓一	長岡技術科学大学長
		宮下 孝洋	(財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長
		村山 健一	長岡工業高等学校長
		森 民夫	長岡市長
		森 正勝	国際大学長
若井 彌一	上越教育大学長		
〔監事〕	小島 陽	長岡技術科学大学名誉教授	
	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
〔顧問〕	服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問	

〈平成 24 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	田村 巖	長岡商工会議所相談役
	常務理事	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
		池田 忠彦	(社)新潟県電子機械工業会会長
		大川 秀雄	新潟大学工学部教授
		河野伊一郎	国立高等専門学校機構顧問
		斎藤 秀俊	長岡技術科学大学副学長
		高井 盛雄	新潟県産業労働観光部長
		敦井 榮一	(社)新潟県商工会議所連合会会頭
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役社長
		新原 皓一	長岡技術科学大学長
		宮下 孝洋	(財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長
		村山 健一	長岡工業高等学校長
		森 民夫	長岡市長
		森 正勝	国際大学長
		若井 彌一	上越教育大学長
渡邊 和忠	長岡工業高等専門学校長		
〔監事〕		小島 陽	長岡技術科学大学名誉教授
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長
〔顧問〕		服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問

長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会 歴代理事長



初代理事長
齋藤 進六



第2代理事長
橋本 宇一



第3代理事長
丸山 一雄



第4代理事長
渡邊 健三



第5代理事長
田村 巖



第6代理事長
山崎 彬



第7代理事長
吉井 剛

〈平成 24 年 4 月 1 日現在〉

〔理事〕	理事長	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学副学長	
〔監事〕		永井 正二	日本精機(株)代表取締役社長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学長	
		宮下 孝洋	(財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
		渡邊 和忠	長岡工業高等専門学校長	
		大石 秀男	(株)大石組取締役会長	
		小島 陽	信州大学監事	
	〔顧問〕		服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長
		笠原 芳彦	前長岡市政策監(市長政策室長事務取扱)	
		熊倉 哲	(株)北越銀行金融サービス部部长	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役頭取	
		高田 雅介	長岡技術科学大学理事・副学長	
		長谷川 聡	(株)第四銀行常務取締役長岡ブロック営業本部長	
		原 和彦	原信ナルスホールディングス(株)代表取締役社長	
		堀田 実	(株)ニッカン代表取締役社長	
		武藤 睦治	長岡技術科学大学理事・副学長	
		山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事	
		吉野 孝也	(社)新潟県電子機械工業会専務理事	

〈平成 25 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学副学長	
〔監事〕		永井 正二	日本精機(株)代表取締役社長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学長	
		宮下 孝洋	(財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
		渡邊 和忠	長岡工業高等専門学校長	
		大石 秀男	(株)大石組取締役会長	
		小島 陽	信州大学監事	
	〔顧問〕		服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長
		金山 宏行	長岡市市長政策室長	
		熊倉 哲	(株)北越銀行金融サービス部部长	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役頭取	
		坂上 昭	(株)第四銀行常務取締役長岡ブロック営業本部長	
		高田 雅介	長岡技術科学大学理事・副学長	
		原 和彦	原信ナルスホールディングス(株)代表取締役社長	
		堀田 実	(株)ニッカン代表取締役社長	
		武藤 睦治	長岡技術科学大学理事・副学長	
		山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事	
		吉野 孝也	(社)新潟県電子機械工業会専務理事	

〈平成 26 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学副学長	
〔監事〕		白倉 哲男	前(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役会長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学長	
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
		渡邊 和忠	長岡工業高等専門学校長	
		小島 陽	信州大学監事	
		吉野 孝也	(公財)ブルボン吉田記念財団常務理事	
	〔顧問〕		服部 賢	(株)ホクギン経済研究所顧問
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		遠藤 公一	(株)北越銀行金融サービス部部长
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		金山 宏行	長岡市政策監	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役頭取	
		坂上 昭	(株)第四銀行常務取締役長岡ブロック営業本部長	
		高田 雅介	長岡技術科学大学理事・副学長	
		原 和彦	原信ナルスホールディングス(株)代表取締役社長	
		堀田 実	(株)ニッカン代表取締役社長	
		本田 慶和	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		武藤 睦治	長岡技術科学大学理事・副学長	
		山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事	

〈平成 27 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学副学長	
〔監事〕		畔上 正美	(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役会長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学長	
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
		渡邊 和忠	長岡工業高等専門学校長	
		小島 陽	信州大学監事	
		吉野 孝也	前(公財)ブルボン吉田記念財団常務理事	
	〔顧問〕		服部 賢	長岡技術科学大学名誉教授
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		東 信彦	長岡技術科学大学理事・副学長
		遠藤 公一	(株)北越銀行コンサルティング営業部長	
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		桐山 晃	(株)第四銀行常務取締役長岡ブロック営業本部長	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役頭取	
		近藤 信行	長岡市市長政策室長	
		原 和彦	アクシアルリテイリング(株)代表取締役社長	
		堀田 実	(株)ニッカン顧問	
		本田 慶和	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		武藤 睦治	長岡技術科学大学理事・副学長	
		山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事	

〈平成 28 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学教授	
〔監事〕		畔上 正美	(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役会長	
		新原 皓一	前長岡技術科学大学長	
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
		渡邊 和忠	長岡工業高等専門学校長	
		小島 陽	信州大学監事	
		吉野 孝也	前(公財)ブルボン吉田記念財団常務理事	
	〔顧問〕		服部 賢	長岡技術科学大学名誉教授
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		東 信彦	長岡技術科学大学長
		遠藤 公一	(株)北越銀行コンサルティング営業部長	
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		桐山 晃	(株)第四銀行常務取締役長岡ブロック営業本部長	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役頭取	
		近藤 信行	長岡市市長政策室長	
		原 和彦	アクシアルリテイリング(株)代表取締役社長	
		堀田 実	(株)ニッカン顧問	
		本田 慶和	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		武藤 睦治	前長岡技術科学大学理事・副学長	
		山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事	

〈平成 29 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学教授	
〔監事〕		東 信彦	長岡技術科学大学長	
		竹前 園生	(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役会長	
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
		渡邊 和忠	長岡工業高等専門学校長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学名誉教授	
		吉野 孝也	柏崎農業協同組合監事	
	〔顧問〕		小島 陽	長岡技術科学大学名誉教授
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		池田 弘	(株)イケダ代表取締役社長
		永塚 重松	(株)第四銀行取締役長岡営業部長	
		遠藤 公一	(株)北越銀行コンサルティング営業部長	
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		鎌土 重晴	長岡技術科学大学理事・副学長	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役頭取	
		原 和彦	アクシアルリテイリング(株)代表取締役社長	
		本田 慶和	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		三上 喜貴	長岡技術科学大学理事・副学長	
		山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事	
		渡邊 則道	長岡市地方創生推進部長	

〈平成 30 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学教授	
〔監事〕		東 信彦	長岡技術科学大学長	
		竹茂 求	長岡工業高等専門学校長	
		竹前 園生	(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役会長	
		吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学名誉教授	
		吉野 孝也	柏崎農業協同組合監事	
	〔顧問〕		小島 陽	長岡技術科学大学名誉教授
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		池田 弘	(株)イケダ代表取締役社長
		石坂 貴	(株)北越銀行ソリューション営業部長	
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		鎌土 重晴	長岡技術科学大学理事・副学長	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役頭取	
		原 和彦	アクシアルリテイリング(株)代表取締役社長	
		保坂 成仁	(株)第四銀行執行役員長岡ブロック営業本部長	
		本田 慶和	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		三上 喜貴	長岡技術科学大学理事・副学長	
		山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事	
		渡邊 則道	長岡市地方創生推進部長	

〈平成 31 年 3 月 31 日現在〉

〔理事〕	理事長	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学教授	
〔監事〕		東 信彦	長岡技術科学大学長	
		坂井 朋之	(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		竹茂 求	長岡工業高等専門学校長	
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役会長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学名誉教授	
		吉野 孝也	柏崎農業協同組合監事	
	〔顧問〕		小島 陽	長岡技術科学大学名誉教授
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
			池田 弘	(株)イケダ代表取締役社長
		石坂 貴	(株)北越銀行ソリューション営業部長	
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		鎌土 重晴	長岡技術科学大学理事・副学長	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役頭取	
		小嶋 洋一	長岡市商工部長	
		原 和彦	アクシアルリテイリング(株)代表取締役社長	
		保坂 成仁	(株)第四銀行執行役員長岡営業部長	
		本田 慶和	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		三上 喜貴	長岡技術科学大学理事・副学長	
		山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事	

〈令和2年3月31日現在〉

〔理事〕	理事長	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学教授	
〔監事〕		東 信彦	長岡技術科学大学長	
		坂井 朋之	(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		竹茂 求	長岡工業高等専門学校長	
		永井 正二	日本精機(株)代表取締役会長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学名誉教授	
		吉野 孝也	国際雪割草協会監査員	
	〔顧問〕		小島 陽	長岡技術科学大学名誉教授
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		山崎 彬	越後製菓(株)代表取締役会長
			池田 弘	(株)イケダ代表取締役社長
		大石 潔	長岡技術科学大学理事・副学長	
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		鎌土 重晴	長岡技術科学大学理事・副学長	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役会長	
		小林 幹央	(株)北越銀行ソリューション営業部長	
		中野 誠	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		長谷川 亨	長岡市商工部長	
		原 和彦	アクシアルリテイリング(株)代表取締役社長	
	堀 岳彦	(株)第四銀行執行役員長岡営業部長		
	山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事		

〈令和3年3月31日現在〉

〔理事〕	理事長	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学教授	
〔監事〕		東 信彦	長岡技術科学大学長	
		坂井 朋之	(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		永井 正二	日本精機(株)取締役相談役	
		原田 信弘	長岡工業高等専門学校長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学名誉教授	
		吉野 孝也	国際雪割草協会監査員	
	〔顧問〕		小島 陽	長岡技術科学大学名誉教授
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		山崎 彬	越後製菓(株)取締役名誉会長
			池田 弘	(株)イケダ代表取締役社長
		大石 潔	長岡技術科学大学理事・副学長	
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		鎌土 重晴	長岡技術科学大学理事・副学長	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役会長	
		小林 幹央	(株)第四北越銀行営業本部法人グループ部長	
		高橋 賢	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		長谷川 亨	長岡市商工部長	
		原 和彦	アクシアルリテイリング(株)代表取締役社長	
	堀 岳彦	(株)第四北越銀行執行役員		
	山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事		

〈令和4年3月31日現在〉

〔理事〕	理事長	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学教授	
〔監事〕		鎌土 重晴	長岡技術科学大学長	
		坂井 朋之	(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		永井 正二	日本精機(株)取締役相談役	
		原田 信弘	長岡工業高等専門学校長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学名誉教授	
		吉野 孝也	国際雪割草協会監査員	
	〔顧問〕		小島 陽	長岡技術科学大学名誉教授
			田村 巖	長岡商工会議所相談役
	〔評議員〕		山崎 彬	越後製菓(株) 取締役名誉会長
			東 信彦	長岡技術科学大学名誉教授
		池田 弘	(株)イケダ代表取締役社長	
		梅田 実	長岡技術科学大学理事・副学長	
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役会長	
		小林 幹央	(株)第四北越銀行営業本部法人グループ部長	
		高橋 賢	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		長谷川 亨	長岡市商工部長	
		原 和彦	アクシアルリテイリング(株)代表取締役社長	
	山村 雅隆	長岡商工会議所専務理事		
	和田 安弘	長岡技術科学大学理事・副学長		

〈令和5年3月31日現在〉

〔理事〕	理事長	吉井 剛	吉井国際特許事務所長	
	業務執行理事	斎藤 秀俊	長岡技術科学大学教授	
〔監事〕		相田 収平	(公財)にいがた産業創造機構 NICO テクノプラザ長	
		鎌土 重晴	長岡技術科学大学長	
		小林 幸夫	長岡工業高等専門学校長	
		田村 和仁	(株)田村商店代表取締役社長	
		永井 正二	(一財)永井知覚科学振興財団理事長	
		新原 皓一	長岡技術科学大学名誉教授	
		吉野 孝也	国際雪割草協会監査員	
	〔顧問〕		小島 陽	長岡技術科学大学名誉教授
			東 信彦	長岡技術科学大学名誉教授
	〔評議員〕		池田 弘	(株)イケダ代表取締役社長
		梅田 実	長岡技術科学大学理事・副学長	
		大原 興人	(株)大原鉄工所代表取締役社長	
		金子 文大	(株)第四北越銀行コンサルティング事業部副部長	
		古出 哲彦	(株)大光銀行取締役会長	
		高橋 賢	(一社)新潟県電子機械工業会専務理事	
		長谷川 亨	長岡市商工部長	
		原 和彦	アクシアルリテイリング(株)代表取締役社長	
		山口 隆司	長岡技術科学大学教授	
		山村 雅隆	前長岡商工会議所専務理事	
	和田 安弘	長岡技術科学大学理事・副学長		

歴代役員・評議員

(敬称略)

		就任	退任			就任	退任
理事長				理事（五十音順）			
齋藤 進六		昭 57. 1. 30	～ 昭 58. 9. 15	相田 収平		令 4. 6. 15	～
丸山 一雄		昭 58. 9. 16	～ 昭 59. 3. 31	青柳 忠克		昭 57. 1. 30	～ 昭 60. 3. 31
(理事長代理)				東 信彦		平 28. 6. 7	～ 令 3. 3. 31
橋本 宇一		昭 59. 4. 1	～ 昭 61. 11. 29	畔上 正美		平 26. 6. 5	～ 平 28. 6. 7
丸山 一雄		昭 61. 11. 29	～ 昭 63. 3. 31	阿部 武雄		昭 62. 7. 1	～ 平 3. 3. 31
(理事長代理)				有澤 榮一		平 13. 4. 1	～ 平 16. 3. 31
丸山 一雄		昭 63. 4. 1	～ 平 9. 6. 3	安藤 和夫		昭 59. 4. 1	～ 昭 61. 3. 31
渡邊 健三		平 10. 3. 10	～ 平 13. 3. 31	五十嵐 剛		昭 63. 4. 1	～ 平 2. 3. 31
田村 巖		平 13. 4. 1	～ 平 24. 3. 31	五十嵐 昭男		平 6. 4. 1	～ 平 9. 3. 31
山崎 彬		平 24. 4. 1	～ 平 30. 6. 14	井口 茂		平 9. 4. 1	～ 平 10. 5. 28
吉井 剛		平 30. 6. 14	～	池田 朔次		昭 57. 1. 30	～ 昭 59. 2. 17
				池田 忠彦		平 22. 4. 1	～ 平 24. 3. 31
				石田 康雄		平 8. 7. 1	～ 平 11. 6. 30
				磯野 守正		平 5. 4. 1	～ 平 8. 3. 29
				一宮 亮一		平 3. 7. 1	～ 平 7. 4. 20
				伊藤 惇		平 2. 7. 1	～ 平 5. 4. 20
				井上 清		平 2. 4. 1	～ 平 4. 4. 1
				今井 清和		平 2. 7. 1	～ 平 3. 3. 31
				岩本 洋		平 4. 7. 1	～ 平 6. 6. 30
				上野 學		昭 59. 7. 1	～ 昭 63. 3. 31
				上原 明		平 14. 4. 1	～ 平 19. 11. 22
				浦壁 英紀		平 5. 7. 1	～ 平 8. 4. 9
				大川 秀雄		平 19. 7. 1	～ 平 24. 3. 31
				大来 佐武郎		昭 59. 7. 1	～ 昭 63. 3. 31
				大久保 政賢		昭 57. 1. 30	～ 平 4. 4. 1
				大澤 健郎		平 11. 7. 1	～ 平 15. 6. 30
				太田 博夫		昭 62. 4. 1	～ 昭 63. 3. 31
				大谷 正明		昭 57. 1. 30	～ 昭 59. 4. 1
				大槻 聰幸		平 11. 4. 1	～ 平 11. 8. 10
				岡野 澄		昭 57. 1. 30	～ 昭 63. 3. 31
				岡本 祥一		平 2. 7. 1	～ 平 8. 4. 5
				小川 幸男		平元. 7. 1	～ 平 2. 6. 30
				小川 正二		平 8. 7. 1	～ 平 15. 6. 30
				生越 久靖		平 12. 4. 1	～ 平 14. 6. 30
常務理事							
丸山 一雄		昭 57. 1. 30	～ 昭 63. 3. 31				
速水 清		平 11. 3. 4	～ 平 12. 7. 18				
吉田 暁		平 13. 2. 1	～ 平 13. 6. 30				
山崎 彬		平 14. 4. 1	～ 平 24. 3. 31				
業務執行理事							
齋藤 秀俊		平 24. 4. 1	～				
事務局長							
大谷 正明		昭 57. 1. 30	～ 昭 59. 3. 31				
安藤 和夫		昭 59. 4. 1	～ 昭 61. 3. 31				
森嶋 和次		昭 61. 4. 1	～ 昭 63. 3. 31				
五十嵐 剛		昭 63. 4. 1	～ 平 2. 3. 31				
井上 清		平 2. 4. 1	～ 平 4. 4. 1				
脇坂 正典		平 4. 4. 1	～ 平 5. 3. 31				
磯野 守正		平 5. 4. 1	～ 平 8. 3. 29				
木島 令己		平 8. 4. 1	～ 平 9. 10. 15				
東府 義之		平 9. 10. 16	～ 平 11. 3. 31				

就任		退任		就任		退任	
加藤 章	平 5. 7. 1	～	平 11. 6. 30	鈴木 誠一	昭 61. 7. 1	～	平 8. 4. 3
加藤 時男	昭 60. 4. 1	～	昭 62. 3. 31	鈴木 直和	平 7. 4. 1	～	平 9. 3. 31
金子 清	平元. 7. 1	～	平 4. 11. 20	仙石 正和	平 15. 7. 1	～	平 19. 6. 30
金子 関男	昭 60. 4. 1	～	昭 61. 6. 30	高井 盛雄	平 20. 7. 1	～	平 24. 3. 31
鎌土 重晴	令 3. 5. 12	～		高田 孝次	平 15. 7. 1	～	平 23. 6. 30
川上 正光	昭 57. 1. 30	～	昭 60. 3. 31	高橋 旦	昭 59. 7. 1	～	平 2. 6. 30
木島 令己	平 8. 4. 1	～	平 9. 10. 15	高橋 傳一郎	平 12. 8. 1	～	平 14. 3. 31
君 健男	昭 57. 1. 30	～	平元. 4. 20	高橋 豊	平 13. 7. 1	～	平 16. 6. 30
木村 寛治	平 2. 7. 1	～	平 4. 6. 1	高間 伸一	平 12. 7. 1	～	平 14. 6. 30
久住 和裕	平 16. 7. 1	～	平 18. 6. 30	竹茂 求	平 29. 6. 6	～	令 2. 3. 31
久保田 幸正	平 17. 7. 1	～	平 21. 6. 30	竹前 園生	平 28. 6. 7	～	平 30. 6. 14
熊澤 源三	昭 57. 1. 30	～	昭 60. 3. 31	辰野 千壽	昭 57. 1. 30	～	平元. 6. 30
慶伊 富長	昭 60. 7. 1	～	平元. 6. 30	田中 誠三	平 3. 4. 1	～	平 12. 5. 30
河野 伊一郎	平 22. 4. 1	～	平 24. 3. 31	田中 良平	昭 60. 7. 1	～	平 2. 6. 30
小島 陽	平 14. 4. 1	～	平 16. 3. 31	田村 巖	平 13. 3. 1	～	平 24. 3. 31
〃	平 17. 4. 1	～	平 22. 3. 31	田村 和仁	令 4. 6. 15	～	
後藤 康夫	平 11. 7. 1	～	平 13. 6. 30	敦井 榮一	平 20. 4. 1	～	平 24. 3. 31
小林 孝平	昭 57. 1. 30	～	昭 59. 6. 15	東府 義之	平 9. 10. 16	～	平 11. 3. 31
小林 聰	平 16. 7. 1	～	平 18. 6. 30	土光 敏夫	昭 57. 1. 30	～	昭 62. 3. 31
小林 征四郎	平 15. 7. 1	～	平 17. 6. 30	永井 淳夫	昭 63. 4. 1	～	平 12. 5. 30
小林 勝	昭 63. 4. 1	～	平 2. 6. 30	永井 正二	平 12. 5. 31	～	
小林 幸夫	令 4. 4. 27	～		中田 久蔵	平 4. 4. 1	～	平 12. 7. 6
斎藤 英四郎	昭 62. 4. 1	～	平 14. 4. 22	南野 竹男	昭 57. 1. 30	～	平 2. 6. 30
斎藤 正三郎	平 9. 7. 1	～	平 12. 3. 31	新島 良夫	平 9. 4. 1	～	平 12. 3. 31
齊藤 昭治	平 16. 4. 1	～	平 22. 3. 31	新原 皓一	平 22. 4. 1	～	平 28. 6. 7
齋藤 進六	昭 57. 1. 30	～	昭 59. 6. 21	西口 郁三	平 16. 4. 1	～	平 17. 3. 31
斎藤 秀俊	平 22. 4. 1	～		西埜 孝樹	平 12. 4. 1	～	平 13. 6. 30
齊藤 義明	平 7. 7. 1	～	平 11. 6. 30	能智 功	平 18. 7. 1	～	平 20. 7. 31
坂井 朋之	平 30. 6. 14	～	令 4. 6. 15	橋本 宇一	昭 59. 4. 1	～	昭 61. 11. 29
酒井 信之	昭 57. 1. 30	～	昭 60. 3. 31	長谷川 富市	平 11. 7. 1	～	平 15. 6. 30
坂田 昌裕	平 6. 7. 1	～	平 7. 3. 6	長谷川 雅人	平 19. 7. 1	～	平 20. 6. 30
笹本 正司	平 13. 7. 1	～	平 15. 6. 30	原田 昭	平 14. 7. 1	～	平 16. 6. 30
宍戸 駿太郎	昭 63. 4. 1	～	平 7. 3. 28	原田 信弘	令 2. 6. 1	～	令 4. 3. 31
島野 卓爾	平 12. 1. 1	～	平 16. 3. 31	林 正	平 9. 4. 1	～	平 12. 3. 31
清水 敬二	平 3. 4. 1	～	平 6. 3. 31	速水 清	平 8. 7. 1	～	平 12. 7. 18
清水 二郎	平 3. 7. 1	～	平 5. 5. 12	春山 志郎	平 5. 7. 1	～	平 9. 7. 1
下田 茂	昭 60. 7. 1	～	昭 62. 6. 30	日浦 晴三郎	昭 59. 7. 1	～	平 11. 10. 20
白倉 哲男	平 25. 7. 1	～	平 26. 6. 5	平山 征夫	平 4. 12. 1	～	平 7. 3. 7
杉原 泰馬	平 19. 4. 1	～	平 22. 3. 31	福田 実	平 13. 4. 1	～	平 15. 3. 10

		就任	退任			就任	退任
松田 甚一		平 12. 4. 1	～ 平 14. 3. 31	顧問	服部 賢	平 22. 4. 1	～ 平 28. 6. 7
松野 純孝		平元. 7. 1	～ 平 5. 5. 7		田村 巖	平 24. 4. 1	～ 令 4. 6. 1
丸茂 明則		平 7. 4. 1	～ 平 11. 3. 31		小島 陽	平 28. 6. 7	～
丸山 一雄		昭 57. 1. 30	～ 平 9. 6. 3		山崎 彬	平 30. 6. 14	～ 令 4. 6. 15
丸山 仁		平 18. 7. 1	～ 平 20. 6. 30		東 信彦	令 3. 4. 22	～
宮崎 俊麿		平 14. 7. 1	～ 平 19. 6. 30				
宮下 孝洋		平 20. 7. 1	～ 平 25. 6. 30				
村山 健一		平 21. 7. 1	～ 平 24. 3. 31		評議員 (五十音順)		
森 民夫		平 12. 1. 1	～ 平 24. 3. 31		会田 洋	平 9. 4. 1	～ 平 11. 3. 31
森 正勝		平 22. 4. 1	～ 平 24. 3. 31		青木 彰	昭 63. 4. 1	～ 平 2. 3. 31
森嶋 和次		昭 61. 4. 1	～ 昭 63. 3. 31		赤羽 正志	平 14. 4. 1	～ 平 16. 3. 31
山崎 彬		平 12. 5. 31	～ 平 30. 6. 14		浅野 重初	平 2. 4. 1	～ 平 4. 3. 31
山澤 逸平		平 16. 4. 1	～ 平 19. 3. 31		東 信彦	平 22. 4. 1	～ 平 24. 3. 31
山下 省藏		平 10. 7. 1	～ 平 12. 3. 31		”	平 26. 6. 5	～ 平 28. 6. 7
吉井 剛		平 24. 4. 1	～		厚地 武	平元. 7. 1	～ 平 4. 3. 31
吉川 孔敏		昭 57. 1. 30	～ 昭 60. 3. 31		阿部 武雄	昭 62. 4. 1	～ 平 3. 3. 31
吉田 暁		平 2. 7. 1	～ 平 6. 6. 30		網干 道雄	昭 63. 6. 28	～ 平 7. 6. 30
”		平 13. 2. 1	～ 平 13. 6. 30		荒井 和夫	平 4. 7. 10	～ 平 8. 7. 9
四ツ柳 隆夫		平 14. 7. 1	～ 平 22. 3. 31		有賀 長郎	平 18. 6. 23	～ 平 21. 9. 3
若井 彌一		平 21. 7. 1	～ 平 24. 3. 31		安藤 和夫	昭 59. 4. 1	～ 昭 61. 3. 31
脇坂 正典		平 4. 4. 1	～ 平 5. 3. 31	飯田 誠之	平 11. 9. 16	～ 平 15. 9. 15	
脇田 仁		平元. 7. 1	～ 平 3. 3. 31	飯野 勝栄	平 10. 6. 26	～ 平 16. 6. 29	
渡邊 和忠		平 23. 7. 1	～ 平 29. 6. 5	五十嵐 純夫	平 2. 4. 1	～ 平 4. 3. 31	
渡邊 健三		平 10. 2. 1	～ 平 13. 3. 31	五十嵐 剛	昭 63. 4. 1	～ 平 2. 3. 31	
渡邊 隆		平 15. 7. 1	～ 平 21. 6. 30	五十嵐 昭男	平 7. 9. 16	～ 平 8. 3. 31	
渡邊 光男		平 6. 7. 1	～ 平 9. 3. 31	池田 朔次	昭 58. 4. 1	～ 昭 59. 2. 17	
				池田 俊雄	昭 58. 4. 1	～ 昭 59. 6. 30	
監事				池田 弘	平 28. 6. 7	～	
居林 次雄		昭 57. 1. 30	～ 平 12. 3. 31	石川 允	昭 59. 7. 1	～ 昭 62. 3. 31	
斎藤 信義		昭 57. 1. 30	～ 平 16. 3. 31	石坂 貴	平 29. 6. 6	～ 令元. 5. 15	
吉井 剛		平 12. 4. 1	～ 平 24. 3. 31	石崎 彰	昭 59. 7. 1	～ 平 2. 3. 31	
内田 安三		平 16. 4. 1	～ 平 16. 11. 26	石崎 幸三	平 17. 4. 1	～ 平 19. 9. 15	
服部 賢		平 17. 4. 1	～ 平 22. 3. 31	磯田 達伸	平 15. 4. 1	～ 平 16. 3. 31	
小島 陽		平 22. 4. 1	～ 平 28. 6. 7	磯野 守正	平 5. 4. 1	～ 平 8. 3. 31	
大石 秀男		平 24. 4. 1	～ 平 25. 6. 30	井田 哲生	平 5. 6. 29	～ 平 7. 6. 28	
吉野 孝也		平 25. 7. 1	～	市川 雅一	平 7. 4. 1	～ 平 8. 5. 31	
新原 皓一		平 28. 6. 7	～	市川 祐三	平 16. 7. 21	～ 平 23. 3. 31	
				一宮 亮一	平 3. 4. 1	～ 平 7. 3. 31	
				伊藤 晴朗	昭 60. 7. 1	～ 平 3. 4. 23	

		就任	退任			就任	退任
乾	侑	平 4. 2. 1	～ 平 5. 3. 17	金内	寛	平 3. 5. 29	～ 平 3. 8. 20
井上	明俊	平 13. 4. 1	～ 平 15. 2. ?	金山	宏行	平 24. 7. 1	～ 平 26. 5. 15
井上	清	平 2. 4. 1	～ 平 4. 3. 31	金子	清	昭 59. 7. 1	～ 平元. 5. 15
井上	泰宣	平 15. 9. 16	～ 平 18. 3. 31	〃		平元. 7. 1	～ 平 4. 9. 9
伊吹	英明	平 12. 6. 1	～ 平 14. 3. 31	金子	文大	令 4. 10. 27	～
今井	清和	昭 61. 4. 1	～ 昭 63. 3. 31	鎌土	重晴	平 28. 6. 7	～ 令 3. 5. 12
岩熊	省三	平 10. 6. 21	～ 平 13. 5. ?	川上	正光	昭 58. 4. 1	～ 昭 60. 3. 31
植田	守昭	昭 61. 4. 1	～ 平 7. 5. 31	川崎	篤	平 17. 4. 1	～ 平 20. 3. 31
上野	學	昭 62. 9. 16	～ 昭 63. 3. 31	川畑	仁	平 3. 8. 21	～ 平 4. 8. 20
植松	敬三	平 18. 4. 1	～ 平 20. 3. 31	菅野	昌義	昭 61. 4. 1	～ 平 3. 9. 15
内田	安三	平元. 9. 16	～ 平 9. 9. 15	神林	茂	平 16. 4. 1	～ 平 19. 3. 31
宇野	浩	昭 58. 7. 1	～ 昭 61. 3. 31	神林	紀嘉	平 10. 4. 1	～ 平 14. 3. 31
梅田	実	令 3. 5. 12	～	木島	令己	平 8. 4. 1	～ 平 9. 10. 15
梅村	晃由	平 4. 4. 1	～ 平 10. 3. 31	喜多	祥旁	平 7. 8. 1	～ 平 10. 6. 30
永塚	重松	平 28. 7. 1	～ 平 29. 6. 27	北谷	孝和	平 13. 4. 1	～ 平 15. 3. 31
海老	忠彦	平 5. 10. 16	～ 平 7. 3. 31	君	健男	昭 58. 4. 1	～ 平元. 4. 20
遠藤	修司	平 22. 7. 1	～ 平 24. 3. 31	清島	俊雄	平 4. 8. 21	～ 平 5. 8. 20
遠藤	公一	平 25. 7. 1	～ 平 29. 6. 6	桐山	晃	平 26. 7. 1	～ 平 28. 6. 7
大石	潔	平 19. 4. 1	～ 平 24. 3. 31	久須美	隆	平 19. 6. 26	～ 平 24. 3. 31
〃		令元. 5. 15	～ 令 3. 5. 12	朽津	耕三	平 2. 4. 1	～ 平 5. 3. 31
大石	幸一	昭 58. 4. 1	～ 平 5. 6. 28	熊	新六	平 13. 6. 20	～ 平 18. 6. 23
大久保	政賢	昭 58. 4. 1	～ 平 3. 6. 24	熊倉	哲	平 24. 4. 1	～ 平 25. 6. 30
大里	有生	平 14. 4. 1	～ 平 18. 3. 31	黒沢	宥	平 4. 4. 1	～ 平 5. 10. 15
大澤	健郎	平 11. 4. 1	～ 平 13. 3. 31	古出	哲彦	平 21. 10. 1	～
大谷	正明	昭 58. 4. 1	～ 昭 61. 3. 31	小浦	克之	平 18. 4. 1	～ 平 19. 6. 30
大原	興人	平 12. 5. 31	～	小島	国人	平 16. 6. 29	～ 平 20. 3. 31
大原	松夫	昭 58. 4. 1	～ 平 10. 7. 3	小島	陽	平 8. 4. 1	～ 平 13. 9. 16
岡本	祥一	平 2. 4. 1	～ 平 8. 3. 31	〃		平 16. 4. 1	～ 平 17. 3. 31
小川	正二	平 2. 4. 1	～ 平 4. 3. 31	小嶋	洋一	平 30. 6. 14	～ 令元. 5. 15
〃		平 8. 4. 1	～ 平 13. 3. 31	後藤	隆夫	平 14. 4. 1	～ 平 17. 3. 31
小口	武彦	昭 61. 5. 16	～ 平 2. 3. 31	小林	孝平	昭 58. 4. 1	～ 昭 61. 3. 31
奥村	虎雄	昭 58. 4. 1	～ 昭 61. 3. 31	小林	幹央	令元. 5. 15	～ 令 4. 9. 30
小野塚	進	平 20. 4. 1	～ 平 23. 3. 31	近藤	信行	平 26. 5. 15	～ 平 28. 6. 7
小原	雅之	平 20. 4. 1	～ 平 24. 3. 31	斎藤	信義	昭 58. 4. 1	～ 昭 61. 3. 31
小柳	喜實	平 6. 10. 1	～ 平 13. 3. 31	齋藤	進六	昭 59. 7. 1	～ 昭 62. 9. 15
海野	隆哉	平 14. 4. 1	～ 平 16. 3. 31	齋藤	秀俊	平 18. 4. 1	～ 平 22. 3. 31
笠原	芳彦	平 23. 4. 1	～ 平 24. 6. 30	齊藤	義明	平 7. 4. 1	～ 平 11. 3. 31
加藤	章	平 5. 4. 1	～ 平 11. 3. 31	酒井	信之	昭 58. 4. 1	～ 昭 60. 6. 30
金泉	保	平 8. 7. 10	～ 平 12. 3. 31	坂上	昭	平 24. 7. 1	～ 平 26. 7. 1

就任		退任		就任		退任	
坂田 昌裕	平 6. 4. 1	～	平 7. 3. 31	手嶋 立男	昭 58. 4. 1	～	昭 61. 3. 31
作田 共平	平 2. 4. 1	～	平 4. 3. 31	東府 義之	平 9. 10. 16	～	平 11. 3. 31
〃	平 8. 4. 1	～	平 10. 3. 31	豊山 晃	昭 60. 7. 1	～	昭 61. 3. 31
桜井 優	平 15. 4. 1	～	平 18. 3. 31	鳥居 邦夫	平 8. 4. 1	～	平 11. 9. 15
佐々木 徹	平 10. 2. 4	～	平 13. 6. 20	内藤 忠一	昭 61. 4. 1	～	平 4. 7. 9
佐藤 猛行	平 21. 6. 1	～	平 23. 7. 11	永井 淳夫	昭 61. 4. 1	～	平 12. 5. 31
佐野 甫	昭 58. 4. 1	～	昭 63. 6. 27	仲川 稔	平 7. 4. 1	～	平 11. 3. 31
塩見 友雄	平 20. 4. 1	～	平 24. 3. 31	長倉 繁麿	昭 63. 4. 1	～	平 2. 3. 31
篠原 忠彦	昭 58. 4. 1	～	昭 62. 6. 30	中島 富雄	平 15. 6. 27	～	平 21. 9. 30
清水 敬二	昭 62. 4. 1	～	平 4. 3. 31	中田 久蔵	平 3. 6. 24	～	平 12. 7. 6
〃	平 6. 4. 1	～	平 7. 9. 15	中野 誠	令元. 5. 15	～	令 2. 3. 31
下田 茂	昭 60. 7. 1	～	昭 62. 3. 31	長野 謙之進	昭 61. 4. 1	～	昭 63. 3. 31
霜鳥 秋則	平 10. 7. 1	～	平 13. 3. 31	中野目 直明	平 4. 4. 1	～	平 6. 3. 31
杉田 昌久	平 7. 6. 29	～	平 15. 6. 27	中村 和男	平 18. 4. 1	～	平 21. 9. 30
鈴木 治輔	平 2. 3. 22	～	平 10. 6. 25	中村 正久	昭 58. 4. 1	～	昭 62. 9. 15
鈴木 誠一	昭 61. 4. 1	～	平 8. 3. 31	中村 正秀	昭 58. 4. 1	～	平 2. 3. 21
鈴木 秀松	平 10. 4. 1	～	平 14. 3. 31	中村 勝	平 11. 4. 1	～	平 14. 3. 31
鈴木 政徳	平 7. 9. 13	～	平 10. 2. 3	中山 真	昭 62. 7. 1	～	平 5. 6. 28
関 昭一	昭 58. 4. 1	～	昭 59. 6. 30	難波江 章	昭 63. 4. 1	～	平 2. 3. 31
曾田 邦嗣	平 18. 4. 1	～	平 20. 3. 31	南野 竹男	昭 58. 4. 1	～	平 2. 3. 31
反町 芝郎	昭 58. 4. 1	～	昭 62. 9. 30	二澤 和夫	平 12. 4. 1	～	平 20. 3. 31
高田 雅介	平 15. 3. 1	～	平 19. 3. 31	西口 郁三	平 12. 4. 1	～	平 15. 9. 15
〃	平 21. 9. 16	～	平 26. 6. 5	〃	平 17. 4. 1	～	平 21. 9. 15
高田 正一	平 5. 6. 29	～	平 11. 3. 31	西澤 良之	平 15. 4. 1	～	平 18. 3. 31
高橋 勲	平 10. 4. 1	～	平 15. 2. 28	根木 昭	平 6. 4. 1	～	平 14. 3. 31
高橋 且	昭 59. 7. 1	～	平 2. 3. 31	野崎 國昭	平 15. 4. 1	～	平 19. 6. 26
高橋 傳一郎	平 12. 7. 6	～	平 13. 3. 31	野中 敏	平 23. 4. 1	～	平 24. 3. 31
高橋 正康	平 11. 4. 1	～	平 15. 3. 31	長谷川 聡	平 24. 4. 1	～	平 24. 6. 30
高橋 賢	令 2. 6. 1	～		長谷川 亨	令元. 5. 15	～	
嶽岡 悦雄	平 17. 4. 1	～	平 23. 3. 31	長谷川 富市	平 11. 4. 1	～	平 13. 3. 31
田尻 正之助	昭 58. 4. 1	～	平 5. 8. 3	服部 一郎	昭 59. 7. 1	～	昭 61. 3. 31
辰野 千壽	昭 58. 4. 1	～	平元. 3. 31	服部 賢	平 3. 9. 16	～	平 15. 9. 15
田中 賢一	平元. 7. 1	～	平 6. 9. 30	早川 典生	平 6. 4. 1	～	平 8. 3. 31
谷崎 義衛	昭 59. 7. 1	～	昭 61. 3. 31	林 正	平 4. 4. 1	～	平 6. 3. 31
田村 巖	平 7. 4. 1	～	平 13. 3. 31	速水 清	平 8. 4. 1	～	平 12. 7. 18
土田 純一	平 4. 4. 1	～	平 6. 3. 31	原 和彦	平 24. 4. 1	～	
土屋 英俊	昭 58. 4. 1	～	昭 59. 6. 30	半澤 宏	昭 63. 4. 2	～	平 3. 9. 15
津端 一郎	昭 58. 4. 1	～	昭 59. 6. 30	日浦 晴三郎	昭 58. 4. 1	～	平 11. 10. 20
都原 正守	昭 58. 4. 1	～	昭 58. 6. 30	樋口 栄治	平 13. 4. 1	～	平 22. 3. 31

		就任		退任				就任		退任	
平山	征夫	平 4.10.27	～	平 7. 3. 31		森	民夫	平11.11.22	～	平13. 3. 31	
弘津	匡啓	平 8. 6. 1	～	平16. 7. 21		森嶋	和次	昭61. 4. 1	～	昭63. 3. 31	
福地	稔	昭59. 1. 1	～	昭60. 6. 30		矢田	敏夫	平 2. 4. 1	～	平 6. 3. 31	
福村	好美	平21.10. 1	～	平24. 3. 31		柳	晃	平 3. 4. 23	～	平 7. 8. 20	
藤井	信行	平 5. 4. 1	～	平12. 3. 31		矢鍋	重夫	平18. 4. 1	～	平22. 3. 31	
藤本	輝雄	昭61. 4. 1	～	昭63. 3. 31		山口	隆司	令 4. 6. 15	～		
古川	清	平20. 4. 1	～	平24. 3. 31		山崎	和夫	平19. 4. 1	～	平20. 3. 31	
保坂	成仁	平29. 7. 7	～	令元. 7. 18		〃		平23. 4. 1	～	平24. 3. 31	
星野	敏夫	昭58. 4. 1	～	平元. 6. 30		山田	勝兵	平 5. 4. 1	～	平 7. 3. 31	
堀田	実	平21. 8. 1	～	平28. 6. 7		山田	善弘	平 7. 7. 1	～	平13. 3. 31	
堀	岳彦	令元. 7. 18	～	令 3. 6. 16		山田	良平	平12. 4. 1	～	平14. 3. 31	
本田	慶和	平25. 7. 1	～	令元. 5. 15		山ノ川	孝二	平 5. 8. 21	～	平10. 6. 20	
間島	健一	平11. 4. 1	～	平13. 3. 31		山村	雅隆	平22. 4. 1	～		
松下	和正	昭63. 4. 1	～	平 2. 3. 31		山元	皓二	平 8. 4. 1	～	平10. 3. 31	
松島	康夫	昭58. 4. 1	～	昭61. 6. 15		〃		平14. 4. 1	～	平16. 3. 31	
松田	一郎	平21. 9. 3	～	平23. 3. 31		山本	夏樹	平13. 5. 23	～	平16. 3. 31	
松月	宏之	平 8. 6. 1	～	平10. 6. 19		由良	英雄	平10. 6. 20	～	平12. 5. 31	
松野	孝一郎	平元. 7. 1	～	平 6. 3. 31		吉井	昭栄	昭58. 4. 1	～	平10. 6. 10	
松野	純孝	平元. 4. 1	～	平 5. 3. 31		吉井	剛	平11. 4. 1	～	平12. 3. 31	
松本	昌二	平16. 4. 1	～	平20. 3. 31		吉田	暁	平 2. 4. 1	～	平 6. 3. 31	
丸山	一雄	昭58. 4. 1	～	昭61. 3. 31		吉田	精二	平11. 4. 1	～	平21. 7. 31	
丸山	久一	平15. 9. 16	～	平21. 9. 15		吉野	孝也	平23. 4. 1	～	平25. 6. 30	
〃		平22. 4. 1	～	平24. 3. 31		吉原	治	平 7. 4. 1	～	平10.12. 9	
丸山	暉彦	平20. 4. 1	～	平22. 3. 31		脇坂	正典	平 4. 4. 1	～	平 5. 3. 31	
三上	喜貴	平23. 4. 1	～	平24. 3. 31		脇屋	正一	昭59. 7. 1	～	昭60. 6. 30	
〃		平28. 6. 7	～	令元. 5. 15		和田	弘正	昭62. 7. 1	～	平 3. 5. 29	
三島	直樹	平13. 4. 1	～	平18. 6. 30		和田	安弘	令 3. 5. 12	～		
水澤	千秋	平20. 4. 1	～	平23. 3. 31		渡邊	和忠	平19. 9. 16	～	平23. 3. 31	
三井	幸雄	平 6. 4. 1	～	平 8. 3. 31		渡邊	健三	昭58. 4. 1	～	昭62. 6. 30	
南	英雄	平18. 7. 1	～	平22. 6. 30		〃		昭62.10. 1	～	平 7. 3. 31	
宮内	信之助	平16. 4. 1	～	平18. 3. 31		渡辺	紳一郎	平14. 4. 1	～	平15. 3. 31	
宮川	松男	昭59. 7. 1	～	昭62. 9. 15		渡辺	琢也	平23. 7. 11	～	平24. 3. 31	
宮田	保教	平13. 9. 16	～	平18. 3. 31		渡邊	則道	平28. 6. 7	～	平30. 6. 14	
宮部	勝弘	平19. 7. 1	～	平20. 6. 1							
三山	創	昭58. 4. 1	～	昭59. 6. 30							
武藤	克己	平 6. 4. 1	～	平 9. 3. 31							
武藤	睦治	平21. 9. 16	～	平28. 6. 7							
村田	正男	平 4. 4. 1	～	平 8. 3. 31							
桃井	清至	平 9. 9. 16	～	平12. 3. 31							

基本財産寄附企業等一覧

(敬称略 五十音順)

令和4年3月31日現在

会社名等	会社名等
(株)アイ・エヌ・エー新土木研究所 (現 (株)クレアリア)	九州松下電器(株) (現 パナソニックシステムソリューションズジャパン(株))
(株)曙建設	京セラ(株)
旭化成工業(株) (現 旭化成(株))	協和ガス化学工業(株) (現 (株)クラレ)
旭硝子(株) (現 AGC(株))	クーロン(株)
(株)アドバンテスト	朽津 耕三
アルプス電気(株) (現 アルプスアルパイン(株))	(株)熊谷組
アロカ(株)	(株)クラレ
安立電気(株) (現 アンリツ(株))	黒崎窯業(株) (現 黒崎播磨(株))
池田 俊雄	原子燃料工業(株)
出光興産(株)	(株)建設技術研究所
(株)内田製作所 (現 (株)コロナ)	(社)建設コンサルタンツ協会 (現 (一社)建設コンサルタンツ協会)
越後製菓(株)	(株)鴻池組
(株)荏原製作所	(株)神戸製鋼所
エプソン(株) (現 セイコーエプソン(株))	光洋精工(株) (現 (株)ジェイテクト)
王子製紙(株)	(株)小杉組
(株)大石組	小林 勝
(株)大林組	(株)コパル (現 日本電産コパル(株))
(株)大原鉄工所	(株)小松製作所
沖電気工業(株)	五洋建設(株)
オリエント時計(株)	斎藤 信義
(株)加賀田組	(株)酒井鉄工所
鹿島エンジニアリング(株)	佐藤工業(株)
鹿島建設(株)	サンケン電気(株)
金田 重男	(株)三條機械製作所
川崎重工業(株)	三洋電機(株)
川崎製鐵(株) (現 JFEスチール(株))	三和工業(株)
キヤノン(株)	ジェコー(株)
	シチズン時計(株)
	(株)島津製作所

会社名等	会社名等
清水建設(株)	東亜建設工業(株)
シャープ(株)	東亜設備工業(株)
商工組合中央金庫	東京応化工業(株)
神鋼電機(株)	東京芝浦電気(株)
(現 シンフォニアテクノロジー(株))	(現 (株)東芝)
新日鐵化学(株)	(株)東京精密
(現 日鉄ケミカル&マテリアル(株))	東京電力(株)
新日本気象海洋(株)	東光(株)
(現 いであ(株))	東芝エンジニアリング(株)
新日本製鐵(株)	(現 東芝プラントシステム(株))
(現 日本製鉄(株))	東芝機械(株)
スカイアルミニウム(株)	(現 芝浦機械(株))
(現 (株)UACJ)	東芝シリコーン(株)
住友金属工業(株)	(現 モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン)
(現 日本製鉄(株))	東芝セラミックス(株)
住友重機械工業(株)	(現 クアーズテック(株))
住友電気工業(株)	東北電力(株)
(株)諏訪精工舎	東洋電機製造(株)
(現 セイコーエプソン(株))	東レ(株)
ソニー(株)	徳山曹達(株)
第一建設工業(株)	(現 (株)トクヤマ)
(株)大光相互銀行	トピー工業(株)
(現 (株)大光銀行)	飛島建設(株)
(株)第四銀行	トヨタ自動車(株)
(現 (株)第四北越銀行)	トヨタ車体(株)
大成建設(株)	直江津電子工業(株)
大同特殊鋼(株)	長岡技術科学大学教職員 ※氏名は別記
大日本電線(株)	長岡市
(現 三菱電線工業(株))	(株)長岡歯車製作所
大日本インキ化学工業(株)	新潟県
(現 DIC(株))	新潟三洋電子(株)
玉川マシナリー(株)	(株)新潟鉄工所
(現 三菱マテリアルテクノ(株))	(有)西陣旅館
千葉 賢	日産自動車(株)
中央電気工業(株)	日新製鋼(株)
(株)ツガミ	(現 日本製鉄(株))
T. D. K. (株)	新田ベルト(株)
手嶋 立男	(現 ニッタ(株))
鉄建建設(株)	

会社名等	会社名等
日鐵建材工業(株) (現 日鐵建材(株))	日立電線(株) (現 日立金属(株))
日本アイ・ビー・エム(株)	(株)日立メディコ (現 (株)日立ヘルスケアマニュファクチャリング)
日本碍子(株) (現 日本ガイシ(株))	日野自動車工業(株) (現 日野自動車(株))
(社)日本橋梁建設協会 (現 (一社)日本橋梁建設協会)	(株)福田組
日本ケミコン(株)	藤井信行先生退官記念会
日本工営(株)	藤倉電線(株) (現 (株)フジクラ)
日本鋼管(株) (現 J F Eホールディングス(株))	富士ゼロックス(株) (現 富士フイルムビジネスイノベーション(株))
日本重化学工業(株)	富士通(株)
日本真空技術(株) (現 (株)アルバック)	富士電機製造(株) (現 富士電機(株))
日本精機(株)	古河電気工業(株)
日本精工(株)	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 (現 (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会)
日本通信工業(株) (現 NECプラットフォームズ(株))	(株)北越銀行 (現 (株)第四北越銀行)
日本テトラポッド(株) (現 (株)不動テトラ)	堀井
日本電気(株)	本田技研工業(株)
日本電気ソフトウェア(株) (現 NEC ソリューションズイノベーション(株))	(株)本間組
日本電装(株) (現 (株)デンソー)	増田 孝雄
日本ベアリング(株)	マックス(株)
日本無線(株)	松下電器産業(株) (現 パナソニック(株))
日本モトローラ製造(株) (現 モトローラソリューションズ)	松下電送(株) (現 パナソニックシステムソリューションズジャパン(株))
日本冶金工業(株)	マツダ(株)
ネミックラムダ(株) (現 TDKラムダ(株))	丸五技研(株) (現 (株)アスコテック)
半澤宏先生と朽津耕三先生をお祝いする会	丸福証券(株) (現 岡三にいがた証券(株))
日立化成工業(株) (現 昭和電工マテリアルズ(株))	丸山 一雄
日立金属(株)	故丸山一雄さんを偲ぶ会
日立建機(株)	丸山 ひさ
(株)日立製作所	三井建設(株)
日立造船(株)	(現 三井住友建設(株))

会社名等	会社名等
三井石油化学工業(株) (現 三井化学(株)) 三井造船(株) (現 (株)三井E&Sホールディングス) (株)三豊製作所 (現 (株)ミットヨ) 三菱瓦斯化学(株) 三菱金属(株) (現 三菱マテリアル(株)) 三菱重工業(株) 三菱電機(株) 三山 創 (株)村田製作所 (株)明電舎 桃井 雅子 安田信託銀行(株) (現 みずほ信託銀行(株)) (株)横河橋梁製作所 (現 (株)横河ブリッジ) 横河電機(株) (株)吉原組 (株)リケン 渡長建設(株)	

長岡技術科学大学教職員基本財産等寄附者氏名一覧

(敬称略 五十音順)

相田 久夫	植松 敬三	金田 重男	近藤 正示
青木 和夫	打木 久雄	金原 和秀	近藤 二郎
青山 安宏	内田 安三	加納 満	齋藤 和夫
赤木 泰文	内富 直隆	鎌田 喜一郎	齋藤 勝一
赤羽 正志	内山 尚志	鎌土 重晴	齋藤 信義
明田川 正人	梅村 晃由	上林 利生	齋藤 進六
浅野 一志	江島 俊朗	上村 靖司	齋藤 信雄
浅野 重初	大石 潔	河合 晃	齋藤 秀俊
東 信彦	大岩 孝彰	川上 正光	齋藤 寛章
阿部 雅二郎	大久保 尚一	川田 重夫	坂本 勲
飯田 誠之	大里 有生	川谷 亮治	作田 共平
五十嵐 昭男	大塩 茂夫	河原 能久	佐久田 博司
郁 蓮	太田 浩之	菅野 昌義	笹戸 松二
池田 清宏	大竹 孝平	神部 一男	佐藤 一男
池田 俊雄	大谷 正明	神林 紀嘉	佐藤 一則
池谷 光荣	大塚 悟	北谷 英嗣	佐藤 隆士
石川 高史	大塚 雄市	木村 哲也	佐野 可寸志
石川 允	大津賀 望	木村 宗弘	サラムーン アビチャート
石黒 孝	大西 隆	久曾神 晃	塩野谷 明
石崎 彰	大橋 晶良	朽津 耕三	塩見 友雄
石崎 幸三	岡崎 正和	栗田 政則	島田 正治
泉 敏彦	小笠原 悟司	解良 芳夫	嶋本 篤
五十野 善信	岡田 宏文	小池 俊雄	清水 敬二
一ノ瀬 幸雄	岡田 昌章	小出 学	清水 武明
伊藤 猷顯	岡本 祥一	江 偉華	下村 雅人
伊藤 廣	岡元 智一郎	古口 日出男	朱世杰
伊藤 義郎	小川 正二	小島 陽	白石 万紀子
稲垣 文雄	沖野 英明	小長井 一男	白樫 正高
乾 侑	荻原 春生	小林 建吉郎	末松 久幸
井上 明俊	小口 武彦	小林 俊一	杉本 光隆
井上 誠	奥村 勇人	小林 高臣	鈴木 忠
井上 泰宣	片桐 保男	小林 史典	鈴木 俊夫
井原 郁夫	片倉 純一	小林 勝	鈴木 秀松
今井 清和	加藤 有行	小林 迪夫	数藤 悦子
今田 剛	加藤 和夫	小林 泰秀	關 一
入沢 寿逸	加藤 幸夫	小俣 虎之助	関 美津子
岩橋 政宏	金澤 喜平	小松 高行	十河 宏行
上野 學	金子 覚	小松 俊哉	曾田 邦嗣

袖山 忠一	中 哲裕	藤井 信行	八井 淨
反町 嘉夫	中村 和男	藤原 清	柳 和久
田浦 裕生	中村 和郎	古谷 千里	矢鍋 重夫
高田 雅介	中村 奨	細山田 得三	矢野 圭司
高田 孝次	中村 正久	升方 勝巳	矢野 豊彦
高野 敦志	中山 忠親	増田 勝郎	山内 健
高橋 勲	永吉 勇	増田 孝雄	山口 芳一
高橋 祥司	難波江 章	増田 渉	山口 義郎
高橋 勉	新原 皓一	松井 正夫	山越 賢乗
高原 美規	西尾 嘉之	松下 和正	山下 健
瀧澤 信子	西口 郁三	松島 康夫	山下 努
竹内 健蔵	西野 純一	松田 甚一	山田 明文
竹下 宏樹	二瓶 和	松野 孝一郎	山田 耕一
竹中 克彦	根木 昭	松原 浩	山田 良平
太刀川 信一	野坂 芳雄	松本 昌二	山元 皓二
田中 紘一	橋本 親典	松本 珠緒	山谷 昭二
田辺 郁男	橋本 哲雄	マメドフ ナジム	湯川 高志
田辺 伊佐雄	長谷川 光彦	丸林 元	横田 良助
谷崎 義衛	服部 一郎	丸山 一典	横山 紀美江
塚本 悟郎	服部 久雄	丸山 久一	横山 友
土屋 英俊	服部 賢	丸山 暉彦	吉川 昭吉郎
津端 一郎	濱崎 勝義	三上 喜貴	吉川 敏則
坪井 望	早川 典生	三井 幸雄	吉國 忠亜
手嶋 立男	林 健治	宮内 信之助	吉谷 豊
手塚 育志	林 範行	宮川 松男	瀬 和則
戸井 啓夫	林 正	宮木 康幸	李 志東
陶山 明	原 辰次	三宅 仁	陸 旻皎
トーマス ハンソン	原田 秀樹	宮田 保教	若林 敦
豊山 晃	半澤 宏	三山 創	脇屋 正一
鳥居 邦夫	樋口 良之	武藤 睦治	渡邊 守
内藤 祥雄	平尾 裕司	村田 正男	渡邊 裕一
中川 博文	弘津 禎彦	村山 康雄	和田森 直
中川 匡弘	福沢 康	桃井 清至	
長倉 繫磨	福嶋 祐介	森川 康	
永澤 茂	福田 隆文	森戸 望	
長瀬 恵一郎	福田 雅夫	安井 寛治	
中出 文平	福本 一朗	矢田 敏夫	
中野目 直明	ヒューブレヒツ ベン ジョセフ		

賛助会員一覧

(敬称略 五十音順)

令和4年3月31日現在

会社名等	会社名等
アクシアル リテイリング(株)	開発技建(株)
旭タクシー(株)	加賀工業(株)
アズサイエンス(株)	(株)柿崎機械
(株)アドテックエンジニアリング	(株)笠原建設
アドバンエンジ(株)	柏崎技術開発振興協会
阿部幸製菓(株)	(株)カネコ商会
(株)阿部製作所	(株)キタック
アルプスアルパイン(株) 長岡工場	キヤノントッキ(株)
(株)池田組	近代事務機(株)
(株)磯部ハイテック	久保誠電気興業(株)
牛木国際特許事務所	グローバルウェーハズ・ジャパン(株)
(株)内山熔接工業	恒成(株)
越後製菓(株)	(株)興和
越後札紙(株)	国内フードサービス(株)
エヌエスアドバンテック(株)	(株)小西鍍金
荏原実業(株)	(株)コロナ
遠藤工業(株)	紺商(株)
(株)遠藤製作所	近藤産業(株)
(株)大原鉄工所	(株)三條機械製作所
大森機械工業(株) 長岡工場	三条商工会議所
岡三にいがた証券(株)	(株)サンシン
小川コンベヤ(株)	(株)七里商店
小千谷商工会議所	島津サイエンス東日本(株) 新潟支店
(株)オフィスサポート	シンコー(株)
オムニ技研(株)	シンワ測定(株)
小柳建設(株)	(株)セキグチカメラ
(株)オンスイ	(株)創風システム

会社名等	会社名等
(株)ダイアテック	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟
(株)第一印刷所	(株)ネクスコ・メンテナンス新潟
第一建設工業(株)	(株)ピー・シー・エヌ
(株)大光銀行	(株)広井工機
ダイヤモンド電子(株)	(株)藤谷製作所
(株)タケショー	(株)フジミック新潟
(株)タナベ	藤村クレスト(株)
(株)中越カントリー倶楽部	(株)淵本鋼機
(株)中越興業	(株)物理計測コンサルタント
(株)ツガミ	(株)ブレーク
(公財)燕三条地場産業振興センター	(株)文信堂書店
THK新潟(株)	北越工業(株)
十日町商工会議所	(株)ホクエツ信越
東芝ホームテクノ(株)	(株)本間組
(株)東陽理化学研究所	マコー(株)
(株)トップ工業	三越タクシー(株)
轟産業(株)	三星工業(株)
直江津精密加工(株)	(株)メビウス
長岡商工会議所	(株)悠久堂医科器械店
長岡タクシー(株)	ユキワ精工(株)
(株)ナカムラ	吉井国際特許事務所
ナミックス(株)	(株)吉田建設
(株)ナルサワコンサルタント	吉乃川(株)
新潟産業人クラブ	吉茂造園(株)
(公財)にいがた産業創造機構	ヨネックス(株)
新潟精機(株)	理研精機(株)
新潟メタリコン工業(株)	(株)菱電社
日東電工(株) 関東営業所	(株)渡辺ドライ
日本精機(株)	【個人会員】 新原皓一
日本メディカルオーダー(株)	【個人会員】 東 信彦
	【個人会員】 斎藤秀俊

公益財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を新潟県長岡市に置く。

2 この法人は、理事会の決議によって従たる事務所を必要な地に置くことができる。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、実践的な技術の開発と多様化する社会のニーズや課題の解決を主眼とする教育・研究活動への支援事業及び産学地域連携交流事業を行うことにより、技術開発、人材育成、産業の活性化を推進し、もって我が国の科学技術の向上と社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 工学系の高等教育研究機関に属する若手研究者、学生等に対する教育研究助成事業
- (2) 教育研究機関と産業界、地域社会等との連携交流事業
- (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、日本全国において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の基本財産は、理事会において、この法人の目的である事業を行うために不可欠なものとして定めた財産とする。

2 基本財産は、評議員会において別に定めるところにより、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時評議員会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
- (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
 - (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。

第4章 評議員

(評議員)

第10条 この法人に評議員8人以上12人以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

- 第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第179条から第195条の規定に従い、評議員会において行う。
- 2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。
- (1) 各評議員について、次のイからへに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。
 - イ 当該評議員及びその配偶者又は3親等内の親族
 - ロ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者
 - ハ 当該評議員の使用人
 - ニ ロ又はハに掲げる者以外の者であつて、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持しているもの
 - ホ ハ又はニに掲げる者の配偶者
 - へ ロからニまでに掲げる者の3親等内の親族であつて、これらの者と生計を一にするもの
 - (2) 他の同一の団体（公益法人を除く。）の次のイからニに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。
 - イ 理事
 - ロ 使用人
 - ハ 当該他の同一の団体の理事以外の役員（法人でない団体で代表者又は管理人の定

めのあるものにあつては、その代表者又は管理人）又は業務を執行する社員である者

ニ 次に掲げる団体においてその職員（国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く。）である者

①国の機関

②地方公共団体

③独立行政法人通則法第2条第1項に規定する独立行政法人

④国立大学法人法第2条第1項に規定する国立大学法人又は同条第3項に規定する大学共同利用機関法人

⑤地方独立行政法人法第2条第1項に規定する地方独立行政法人

⑥特殊法人（特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人であつて、総務省設置法第4条第15号の規定の適用を受けるものをいう。）又は認可法人（特別の法律により設立され、かつ、その設立に関し行政官庁の認可を要する法人をいう。）

(3) 評議員のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数、又は評議員のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を越えて含まれることになってはならない。また、評議員には、監事及びその親族その他特殊の関係がある者が含まれてはならない。

（任期）

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

（評議員に対する報酬等）

第13条 評議員は無報酬とする。

2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前項に関し必要な事項は、評議員会において別に定める役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程による。

第5章 評議員会

（構成）

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

（権限）

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

(1) 理事及び監事の選任及び解任

(2) 理事及び監事の報酬等の額

(3) 評議員に対する報酬等の支給の基準

(4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認

(5) 定款の変更

(6) 残余財産の処分

- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(招集の通知)

第18条 理事長は評議員会の開催日の5日前までに、評議員に対して、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面又は電磁的方法により通知を発しなければならない。

2 前項にかかわらず、評議員全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく、評議員会を開催することができる。

(議長)

第19条 評議員会の議長は、評議員会において互選する。

(決議)

第20条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第24条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第21条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、決議に加わることができる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第22条 理事が評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

- 第 23 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 議事録には、議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人 2 人がこれに記名押印しなければならない。

第 6 章 役員

(役員の設定)

第 24 条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 5 人以上 7 人以内
 - (2) 監事 3 人以内
- 2 理事のうち 1 人を理事長、1 人を業務執行理事とする。
- 3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とする。

(役員を選任)

第 25 条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び業務執行理事は、理事会の決議によって、理事の中から選定する。
- 3 理事のうちには、理事のいずれか 1 人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の 3 分の 1 を越えて含まれることになってはならない。
- 4 監事には、この法人の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びにこの法人の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

- 第 26 条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。業務執行理事は、理事長を補佐し、理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、その業務執行に係わる職務を代行する。
 - 3 理事長及び業務執行理事は、毎事業年度毎に 4 ヶ月を越える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

- 第 27 条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

- 第 28 条 理事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
 - 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
 - 4 理事又は監事は、第 24 条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第29条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(報酬等)

第30条 役員には職務を執行した対価として、評議員会において別に定める総額の範囲内で報酬を支給することができる。

- 2 役員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程による。

(顧問)

第31条 この法人には、顧問を置くことができる。

- 2 顧問の定数は、理事会で定める。
- 3 顧問は理事会で選出し、理事長が委嘱する。

(顧問の任期)

第32条 顧問の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

- 2 顧問は、前条第2項に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお顧問としての権利義務を有する。

(顧問の職務)

第33条 顧問は、事業の執行に関し、理事長の諮問に応じ、又は自ら参考意見を述べることができる。

第7章 理事会

(構成)

第34条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第35条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第36条 理事会は、理事長が招集する。ただし、理事長以外の理事から会議に付すべき事項を示して理事会の招集を請求されたときは、理事長は、その請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする臨時理事会の招集を通知しなければならない。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(招集の通知)

- 第 37 条 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面をもって、開催日の 5 日前までに、各理事及び各監事に対して通知しなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく理事会を開催することができる。

(議長)

- 第 38 条 理事会の議長は、理事長とする。

(決議)

- 第 39 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

- 第 40 条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場においては、その事項を理事会に報告することを要しない。
- 2 前項の規定は、第 26 条第 3 項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

- 第 41 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

(株式に関する権利の行使の制限)

- 第 42 条 この法人が保有する株式（出資）について、その株式（出資）の発行会社に対して株主等としての権利を行使する場合には、次の事項を除き、あらかじめ理事会において理事総数（理事現在数）の 3 分の 2 以上の承認を要する。
- (1) 配当の受領
 - (2) 無償新株式
 - (3) 株主配当増資への応募
 - (4) 株主宛配付書類の受領

第 8 章 事務局

(職員)

- 第 43 条 この法人の事務を処理するため、必要な職員を置く。
- 2 職員は、理事長が任免する。
- 3 職員は、有給とする。

第 9 章 賛助会員

(賛助会員)

- 第 44 条 この法人の設立趣旨に賛同する法人又は個人であって、理事会の定める賛助会費を納付した者を賛助会員とする。
- 2 特別の寄附を行った法人又は個人については、賛助会員の特典を享受することができる。

第10章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第45条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条及び第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第46条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第47条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第48条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、国若しくは地方公共団体又は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人であって租税特別措置法第40条第1項に規定する公益法人等に該当する法人に贈与するものとする。

第11章 公告の方法

(公告の方法)

第49条 この法人の公告は、電子公告による。

2 やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載する方法による。

(実施細則)

第50条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

附則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の理事長は山崎 彬とする。

◇ 編集後記 ◇

創立40周年を迎えた記念に、これまでの歴史を振り返り、記念誌を発刊する運びとなりました。内容は、10周年の際に作成した「長岡技科大振興財団10年の歩み」をベースにその後の30年間の活動等を加えて編集したもので、財団事務局が編集を担当いたしました。

40年分の資料を纏める作業は、どこから手を付けたらよいのかも分からず、全くの手探りで始めましたが、いつしかその作業の中で、40年前に遡り、設立時からの歴代の役員の方々や大学の先生方、諸先輩の皆様と共に、時に会話をし、笑ったり驚いたりしながら、40年間の財団の足あとを駆け足で辿って、また現在に戻ってきたような感覚を味わえた楽しい時間となりました。

改めて、40年間活動を続けてこられたのは、皆様方のご支援と諸先輩方のご尽力の賜物と深く感謝の意を表する次第です。これから50周年に向かって活動を充実させ、社会に貢献していきたいと思えます。

本誌は冊子体を若干部数作成し、誰からも簡単に見られるようにweb版として公開します。多くの方にご覧いただき、当財団の果たしてきた役割を少しでもご理解いただけますと幸いです。

結びに、記念誌発刊にあたりご協力を賜りました皆様に心より御礼を申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし、編纂のあとがきとさせていただきます。

令和5（2023）年12月
業務執行理事 齋藤 秀俊
事務局 諸橋 緑

設立40周年記念誌

SINCE1982

長岡技科大振興財団40年の歩み

発行 令和5年12月
発行者 公益財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会
〒940-2137 新潟県長岡市上富岡町1301-1
長岡技術科学大学内
TEL・FAX 0258-46-5455
URL <https://fartun.org>

印刷・製本 株式会社 第一印刷所

40^{年の}
歩み

